

令和2年度
(2020年度)

農作物病虫害発生予察事業年報

Annual Report of Plant Protection

Kumamoto Prefecture

熊 本 県

目 次

第1 事業運営状況	- 3 -
1 関係機関の設置状況	- 4 -
2 病害虫発生予察員の設置状況	- 4 -
3 病害虫防除員の設置及び活動状況	- 5 -
4 病害虫発生予察事業の体系図	- 7 -
5 主な対象病害虫	- 8 -
6 発生予察調査地点	- 10 -
第2 事業等内容	- 11 -
1 病害虫の発生及び防除状況	- 12 -
(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要	- 12 -
(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積	- 29 -
(3) 普通作病害虫発生予察事業(大豆・イグサを含む)	- 33 -
ア 病害虫防除所における調査	- 33 -
(ア) 巡回調査	- 33 -
(イ) 予察灯における水稻害虫調査	- 36 -
(ウ) ネットトラップにおける水稻害虫調査	- 37 -
(エ) フェロモントラップにおける水稻害虫調査	- 38 -
(オ) 無防除田におけるウンカ類の調査	- 39 -
(カ) イネ縞葉枯病の保毒虫率調査(令和2年5月)	- 40 -
(キ) イグサシンムシガ半旬別誘殺数	- 41 -
(ク) イグサシンムシガ越冬調査結果	- 42 -
イ 県予察ほ場における調査	- 43 -
(4) 果樹病害虫発生予察事業(茶を含む)	- 45 -
ア 病害虫防除所における調査	- 45 -
(ア) 巡回調査	- 45 -
(イ) チャバネアオカメムシの誘殺状況	- 49 -
(ウ) ツヤアオカメムシの誘殺状況	- 51 -
(エ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況	- 53 -
(オ) チャトゲコナジラミ発生状況結果	- 55 -
イ 県予察ほ場における調査	- 56 -
(ア) カンキツ病害虫	- 56 -
(イ) 茶害虫	- 65 -
(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業	- 68 -
ア 病害虫防除所における調査	- 68 -
(ア) 巡回調査	- 68 -
(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況	- 74 -
(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況	- 82 -
(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査	- 83 -

イ 県予察ほにおける調査(試験研究機関における調査成績)	- 84 -
2 発生予察情報の提供	- 87 -
(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報	- 87 -
(2) 発生予報	- 175 -
4月予報	- 175 -
5月予報	- 179 -
6月予報	- 183 -
7月予報	- 187 -
8月予報	- 193 -
9月予報	- 198 -
10月予報	- 202 -
11月予報	- 206 -
12月予報	- 209 -
1月予報	- 212 -
2月予報	- 215 -
3月予報	- 218 -
(3) ホームページ掲載内容	- 222 -
3 植物検疫事業	- 223 -
(1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査	- 223 -
(2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査	- 223 -
(3) イモゾウムシ侵入警戒調査	- 223 -
(4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査	- 224 -
(5) ミバエ類等特殊病害虫侵入警戒調査	- 225 -
第3 その他	- 226 -
1 病害虫診断	- 227 -
2 気象概要	- 228 -

第1 事業運営状況

- 1 関係機関の設置状況
- 2 病害虫発生予察員の設置状況
- 3 病害虫防除員の設置及び活動状況
- 4 病害虫発生予察事業の体系図
- 5 主な対象病害虫
- 6 発生予察調査地点

1 関係機関の設置状況

機 関 名	所 在 地	県予察 ほ 場	地区予 察ほ場
病虫害防除所 (農業研究センター生産環境研究所 病虫害研究室予察指導係)	合志市栄 3801		
農業研究センター生産環境研究所	合志市栄 3801	○	
農業研究センター果樹研究所	宇城市松橋町豊福 2566	○	
農業研究センター茶業研究所	上益城郡御船町滝尾 5450	○	
農業研究センターアグリシステム総 合研究所	八代市鏡町鏡村 363		○
農業研究センター高原農業研究所	阿蘇市一の宮町宮地 5896-2		○
農業研究センター球磨農業研究所	球磨郡あさぎり町上 2248-16		○
農業研究センター天草農業研究所	天草市本渡町本戸馬場 2315		○

2 病虫害発生予察員の設置状況

(1) 病虫害防除所勤務職員

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室 予察指導係)

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
所 長	戸田 世嗣	R 2 . 4 . 1 ~	総括 (兼病虫害研究室長)
副 所 長	作本 信次	H31. 4 . 1 ~	総括補佐 (普通作病虫害、茶病虫害)
参 事	西本 佳子	R 2 . 4 . 1 ~	普通作病虫害
参 事	丹 信広	R 2 . 4 . 1 ~	野菜病虫害
技 師	中村 桂介	H31. 4 . 1 ~	果樹病虫害、野菜病虫害

(2) 農業研究センター 生産環境研究所 病虫害研究室 病虫害研究係勤務職員

職 名	氏 名	勤務年月日	担 当
室 長	戸田 世嗣	R 2 . 4 . 1 ~	総括 (普通作・野菜虫害)
係 長	樋口 聡志	R 2 . 4 . 1 ~	普通作・野菜病害
研究参事	坂本 美沙	R 2 . 4 . 1 ~	普通作・野菜病害
研 究 員	舛本 将明	R 2 . 4 . 1 ~	普通作・野菜虫害
研 究 員	吉永 英樹	R 2 . 4 . 1 ~	普通作・野菜虫害

(3) 農業研究センター 果樹研究所 病虫化学研究室勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究参事 研究員	神山 光子	H28. 4. 1～	果樹虫害
	工藤 裕美	H30. 4. 1～	果樹病害

(4) 農業研究センター茶業研究所勤務職員

職名	氏名	勤務年月日	担当
研究員	山口 尚子	H30. 4. 1～	茶病虫害

3 病虫害防除員の設置及び活動状況

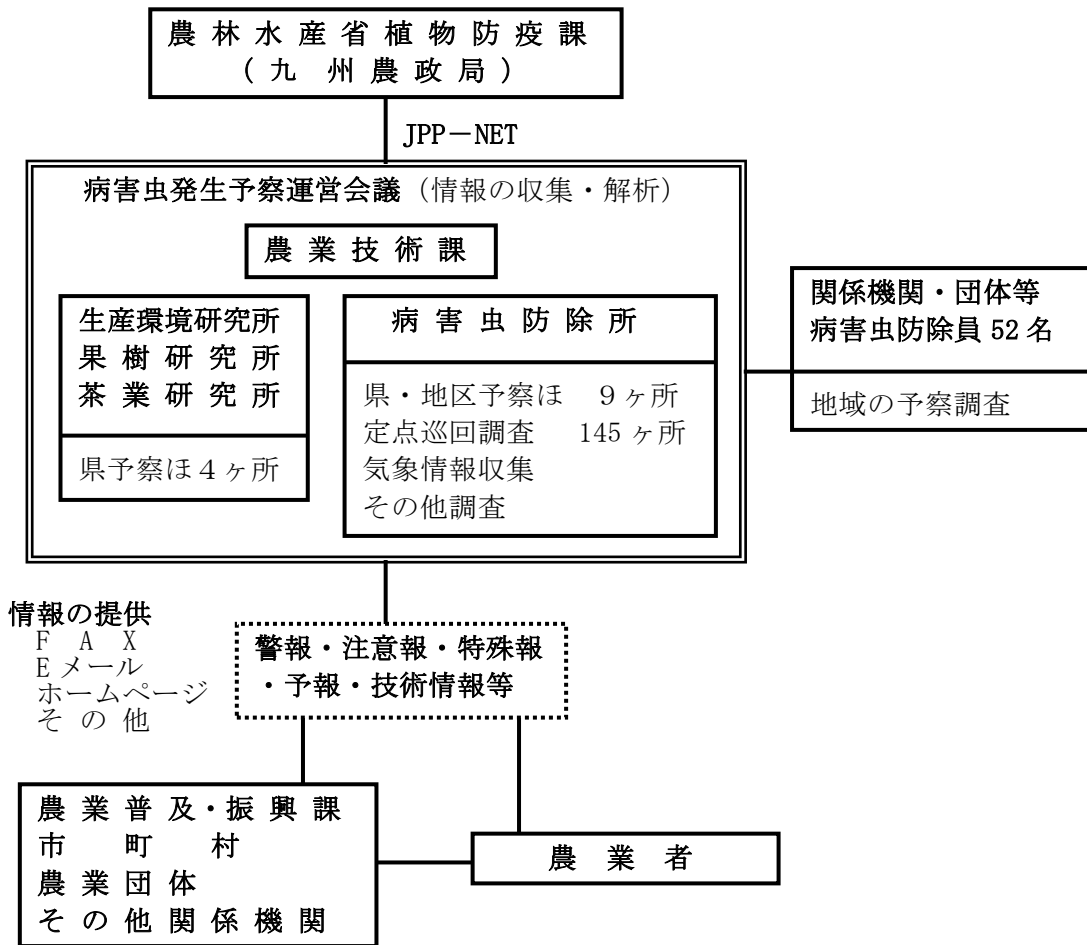
(1) 設置状況

地区名	防除員数	作物別内訳				
		普通作	果樹	野菜	花き	特産
熊本	7	2	1	4	0	0
宇城	3	1	1	1	0	0
玉名	5	1	2	2	0	0
鹿本	5	1	1	1	1	1
菊池	3	1	1	1	0	0
阿蘇	4	2	0	2	0	0
上益城	5	1	0	3	0	1
八代	6	3	1	2	0	0
芦北	3	1	2	0	0	0
球磨	5	1	2	1	0	1
天草	6	2	2	2	0	0
計	52	16	13	19	1	3

(2) 活動状況

	No.	防除指導		病害虫発生状況調査		農薬安全使用指導		関係機関との打ち合わせ		講習会・協議会		計	
		回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間	回	時間
熊本	1	2	3	7	18	0	0	0	0	1	3	10	24
	2	4	11	8	23	0	0	1	3	0	0	13	36
	3	4	6	11	30	0	0	0	0	0	0	15	36
	4	1	3	11	33	0	0	0	0	0	0	12	36
	5	4	6	10	30	0	0	0	0	0	0	14	36
	6	3	8	7	20	0	0	1	3	2	6	13	36
	7	5	12	8	21	0	0	3	3	0	0	16	36
宇城	8	3	5	12	32	0	0	0	0	0	0	15	36
	9	7	21	5	15	0	0	0	0	0	0	12	36
	10	5	15	7	21	0	0	0	0	0	0	12	36
玉名	11	5	12	8	21	0	0	1	3	0	0	14	36
	12	6	12	7	15	0	0	3	9	0	0	16	36
	13	5	8	12	29	0	0	0	0	0	0	17	36
	14	11	20	10	17	0	0	0	0	0	0	21	36
	15	7	11	12	26	0	0	0	0	0	0	19	36
鹿本	16	4	9	5	12	1	3	0	0	4	12	14	36
	17	3	9	6	12	0	0	3	9	2	6	14	36
	18	4	12	8	24	0	0	0	0	0	0	12	36
	19	9	20	7	12	0	0	0	0	2	5	18	36
	20	1	3	9	26	1	3	1	2	1	3	13	36
菊池	21	10	23	7	14	0	0	0	0	0	0	17	36
	22	6	18	6	18	0	0	0	0	0	0	12	36
	23	8	18	7	15	0	0	1	3	0	0	16	36
阿蘇	24	3	6	7	17	0	0	4	12	1	2	15	36
	25	4	12	6	18	0	0	2	6	0	0	12	36
	26	6	14	7	17	0	0	2	6	0	0	15	36
	27	7	15	5	9	1	3	3	9	0	0	16	36
上益城	28	6	14	6	11	0	0	2	6	2	6	16	36
	29	1	2	11	32	0	0	1	3	0	0	13	36
	30	4	9	9	24	1	3	0	0	0	0	14	36
	31	1	3	7	21	1	3	3	9	0	0	12	36
	32	7	17	8	20	0	0	0	0	0	0	15	36
八代	33	7	18	7	18	0	0	0	0	0	0	14	36
	34	9	21	7	15	0	0	0	0	0	0	16	36
	35	4	11	8	21	0	0	2	5	0	0	14	36
	36	4	9	9	24	1	3	0	0	0	0	14	36
	37	3	5	12	32	0	0	0	0	0	0	15	36
	38	3	9	9	27	0	0	0	0	0	0	12	36
芦北	39	1	2	5	12	0	0	8	23	0	0	14	36
	40	6	9	11	24	0	0	0	0	1	3	18	36
	41	3	5	12	30	0	0	1	2	0	0	16	36
球磨	42	5	12	9	23	0	0	1	2	0	0	15	36
	43	5	11	6	14	1	3	3	9	0	0	15	36
	44	5	9	11	27	0	0	0	0	0	0	16	36
	45	2	5	10	29	1	3	0	0	0	0	13	36
	46	5	12	6	15	0	0	2	6	1	3	14	36
天草	47	0	0	5	15	0	0	7	21	0	0	12	36
	48	9	17	10	18	0	0	1	2	0	0	20	36
	49	4	9	5	12	0	0	5	15	0	0	14	36
	50	6	12	10	18	0	0	4	6	0	0	20	36
	51	2	3	6	12	0	0	0	0	2	6	10	21
	52	3	9	4	12	0	0	3	9	2	6	12	36
	合計	242	536	418	1,043	8	24	68	183	21	60	757	1,845
	平均/人	4.7	10.3	8.0	20.0	0.2	0.5	1.3	3.5	0.4	1.2	14.6	35.5

4 病虫害発生予察事業の体系図



5 主な対象病害虫

	作物名	指定 指定外	有害動植物名
普通 作病 害虫 発生 予察 事業	イネ	指定	いもち病、紋枯病、縞葉枯病、稲こうじ病、ばか苗病、もみ枯細菌病、トビイロウンカ、セジロウンカ、ヒメトビウンカ、イネミズゾウムシ、ニカメイト、ツマグロヨコバイ、コブノメカ、カメシ類（クヘリカメシ、ホソハラカメシ、シラホシカメシ、ミナミアカメシ、アカシカメシ）、フタホトコヤカ
		指定外	黄化萎縮病、萎縮病、白葉枯病、スクミンコカイ
	ムギ	指定	うどんこ病、赤かび病
		指定外	斑葉病、縞萎縮病、さび病、シトビシ類
	ダイズ	指定	ハモンヨトウ、カメシ類（アオサカメシ、イモシカメシ、ホソハラカメシ、ミナミアカメシ）
		指定外	べと病、葉焼病、紫斑病、コカネシ
	バレイショ	指定	疫病、アブラムシ類
		指定外	モザイク病、軟腐病、ニジュウヤホシテントウ
	イグサ	指定外	イグサシロムシガ
	果樹等 作物病 害虫 発生 予察 事業	カンキツ	指定
指定外			灰色かび病、貯蔵病害（青かび病、緑かび病、軸腐病）、アザミウマ類（チャノキアザミウマ、ミカンキアザミウマ）、カイガラムシ類（ナシマルカイガラムシ、アカマルカイガラムシ）
ナシ		指定	黒斑病、黒星病、ナシヒメシクイ、ハダニ類（ミカンハダニ、カンザワハダニ、ナシハダニ）、カメシ類（チャハネアカメシ、ツヤアカメシ、クサキカメシ）、アブラムシ類（ワタアブラムシ、ユキヤナギアブラムシ、ナシアブラムシ）、ハマキムシ類
		指定外	赤星病、うどんこ病、輪紋病、炭疽病、
ブドウ		指定	べと病、灰色かび病、晩腐病
		指定外	黒とう病、褐斑病、チャノキアザミウマ
クリ		指定外	実炭疽病、モモノコマダラノメカ、クリタマハチ、カツラマルカイガラムシ、クリガアブラムシ、コウモリカ
カキ		指定	炭疽病、カキノハタムシガ、カメシ類（ツヤアカメシ、クサキカメシ、チャハネアカメシ）、アザミウマ類（チャノキアザミウマ、カキクダアザミウマ）、カイガラムシ類
		指定外	落葉病、うどんこ病、灰色かび病
チャ		指定	炭疽病、チャノカクモンハマキ、カンザワハダニ、チャハマキ、チャノホリカ
		指定外	もち病、網もち病、輪斑病、チャノキアザミウマ、ツマグロアオカシカメ、チャノイトリヒメヨコバイ、クリシカラムシ

	作物名	指定 指定外	有害動植物名
野菜・花き類病害虫発生予察事業	トマト	指定	灰色かび病、疫病、葉かび病、アブラムシ類、ハモンヨトウ、コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）、オオタバコガ
		指定外	すすかび病、輪紋病、ウイルス病（黄化葉巻病）、ハメグリハエ類
	ナス	指定	灰色かび病、うどんこ病、アブラムシ類、ハモンヨトウ、ハダニ類、アザミウマ類、オオタバコガ
		指定外	すすかび病、コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）、ハメグリハエ類
	キュウリ	指定	灰色かび病、べと病、うどんこ病、褐斑病、ワタアブラムシ、アザミウマ類、コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）
		指定外	炭疽病、菌核病、斑点細菌病、ウイルス病（黄化えそ病、退緑黄化病）
	スイカ	指定	ワタアブラムシ
		指定外	疫病、炭疽病、うどんこ病、つる枯病、菌核病、ウイルス病（退緑えそ病）、ハダニ類、アザミウマ類、コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）
	メロン	指定外	べと病、つる枯病、うどんこ病、ウイルス病（黄化えそ病、退緑黄化病）、ワタアブラムシ、コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）、ハダニ類
	キャベツ	指定	黒腐病、菌核病、コガ、アブラムシ類、オオタバコガ
		指定外	軟腐病、べと病、黒斑細菌病、ウハハエ類、モンシロチョウ
	レタス	指定	灰色かび病、菌核病、アブラムシ類、ハモンヨトウ、オオタバコガ
		指定外	軟腐病、斑点細菌病
	イチゴ	指定	灰色かび病、うどんこ病、炭疽病、アブラムシ類、ハモンヨトウ、ハダニ類、アザミウマ類
		指定外	コジラミ類（オシツコジラミ、タバココジラミ）
	キク	指定	白さび病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハモンヨトウ
指定外		黒斑病、ハダニ類、ハメグリハエ類	

6 発生予察調査地点

(1) 県予察ほ場、地区予察ほ場

ほ場名	箇所数	普通作物	果樹	茶・特作	野菜・花
県予察ほ場	4	1 生産環境研	1 果樹研	1 茶研	1 生産環境研
地区予察ほ場	9		2 天草農研 球磨農研	3 〈茶〉 農大 〈イグサ〉 アグリ総研 八代市千丁町	4 アグリ総研 高原農研 阿蘇市波野 山都町鶴ヶ田

(2) 巡回調査地点

地域名	普通作物			果樹等			野菜					計
	イネ	ムギ	ダイズ	カンキツ	ナシ	チャ	トマト	ナス	キュウリ	レタス	イチゴ	
熊本	6	2	4	4				5	3			24
宇城				8					3			11
玉名	2	2	2	4	2		3				6	21
鹿本	2	2										4
菊池	4	6	2			4						16
阿蘇	4		2				3					9
上益城	4	2	2				3					11
八代	2	2			2		3			3	6	18
芦北	2			6								8
球磨	4	2	2		2	4						14
天草	6									3		9
計	36	18	14	22	6	8	12	5	6	6	12	145

第2 事業等内容

- 1 病害虫の発生及び防除状況
 - (1) 発生経過、発生原因及び防除の概要
 - (2) 有害動植物の発生面積及び防除面積
 - (3) 普通作病害虫発生予察事業（大豆・イグサを含む）
 - (4) 果樹等病害虫発生予察事業（茶を含む）
 - (5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

- 2 発生予察情報の提供
 - (1) 警報、注意報、特殊報、技術情報
 - (2) 発生予報
 - (3) ホームページ掲載内容・利用実績

- 3 植物検疫事業
 - (1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査
 - (2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査
 - (3) イモゾウムシ侵入警戒調査
 - (4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査
 - (5) ミバエ類等特殊病害虫侵入警戒調査

1 病害虫の発生及び防除状況

(1) 発生経過、発生原因及び防除の概要

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
水稻 (早期・早植え)	苗立枯病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	早植えてムレ苗の発生がやや多かった。	育苗期の気温が低く発生を助長したと考えられる。	適正な育苗管理 種子消毒の実施
	苗いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	早植えて発生がみられたが、発生量は平年並であった。		適正な育苗管理 種子消毒の実施
	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	早期は6月上旬頃、早植えは7月中旬頃から発生を確認した。早植えの一部ほ場では多発生となったが、全体としては平年並の発生であった。	梅雨期間の降水量は多かったが感染好適条件は平年より少なかった。また夏期はほとんど降雨がなく、その後の発生も抑えられたと考えられる。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:並 前年:並	早期での発生はほとんどみられず、早植えでは9月上旬ごろから一部のほ場で多発したが、全体的には平年並の発生であった。	8月下旬以降は周期的な降雨があったが気温は平年並～高く、平年並の発生となったと考えられる。	出穂期または穂揃い期に他の病害虫(ウンカ、カメムシ等)と同時に防除されている。
	紋枯病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:多	早期水稻は7月上旬、早植え水稻は7月中旬頃から発生を確認した。全体的に発生はやや多かった。	夏期の高温で発生を助長したと考えられる。	箱施用剤 本田防除
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		箱施用剤 本田防除
	セジロウカ	平年:並 前年:やや遅	平年:やや多 前年:多	予察灯(合志市)における梅雨期間中の誘殺数は1,422頭(前年:162頭、平年:650頭)と前年比多、平年比やや多であった。7月の巡回調査では株当たり2.96頭(前年0.12頭、平年1.92頭)で平年比やや多、8月の巡回調査では早植水稻で株当たり2.43頭(前年0.08頭、平年0.22頭)とやや多の発生であった。	飛来量が多く、梅雨明け後の好天で増殖に好適な条件だった。	箱施用剤 本田防除(7月上旬～8月下旬の間に1回～2回)

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	トビイロウンカ	平年:早 前年:やや早	平年:多 前年:並	予察灯(合志市)では梅雨期間中の誘殺数は773頭(前年:95頭、平年:45.3頭)と前年比、平年比ともに多で、初飛来は5月3日と過去10年中最も早かった。6月中旬以降は海外飛来性害虫の断続的な飛来があり、特に7月上～中旬はトビイロウンカが多数飛来した。7月中旬の巡回調査からすべての調査ほ場で発生が確認され、虫数も調査期間を通して平年より多かった。早植え水稻では、8月下旬以降、複数の地域で坪枯れが確認された。	飛来回数、飛来量が多かった。箱施用剤の使用率が低い地域、トリフルメゾピリム剤以外を使用したほ場があった。断続的な飛来により虫体の生育ステージ幅が広く、若齢幼虫期に合わせた適期防除が困難だった。	箱施用剤 本田防除(7月上旬～8月下旬の間に1回～2回、9月に1回)
	ヒメビウンカ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	ネットトラップ(合志市)では5月下旬に捕獲があったが、捕獲数は平年比やや少であった。6月～8月の巡回調査では虫数は概ね平年並で推移した。		箱施用剤 セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除
	ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	作期を通じて発生が見られたが、概ね平年並の発生量だった。		セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除
	イネドロオウムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並			イネミズゾウムシとの同時防除。
	イネゾウムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並			イネミズゾウムシとの同時防除。
	イネクロカメムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並			常発地では分けつ期の防除を行う。
	斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	早期水稻で平年並の発生が見られた。		早期水稻では出穂期と穂揃い期、他の作期では穂揃い期に防除が行われた。
	コブノメイガ	平年:並 前年:やや遅	平年:多 前年:多	フェロモントラップ(合志市)の6～7月累積誘殺数は、851頭(過去8年平均44.5頭、前年75頭)で最も多かった。また飛来は6月中旬～7月中旬まで断続的かつ多数だった。7月上旬の一斉調査では多くの地点で葉巻が確認され、平年比多の発生であった。	飛来回数、飛来量が多かった。箱施薬剤を使用していない地域があった。断続的な飛来により虫体の生育ステージ幅が広く、若齢幼虫期に合わせた適期防除が困難だった。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:並 前年:並	早期水稻での発生はやや遅かったが、発生量は平年並であった。	4月の気温が平年より低く発生が遅れたが、5月以降、気温の上昇とともに活動が活発になった。	

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	スクミリンゴガイ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	早期水稲では4月上旬より発生を確認し、平年よりやや早かった。発生量も平年より多く、一部は場で被害が見られた。	暖冬で越冬量が多かったと思われる。	
水稲 (普通期)	苗立枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で確認されたものの、普通期全体では平年並の発生であった。		適正な育苗管理 種子消毒の実施
	苗いもち	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	一部地域で確認されたものの、普通期全体では平年比やや少の発生であった。	種子消毒の不徹底や水管理不足により発生した。	適正な育苗管理 種子消毒の実施
	葉いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	7月中旬の発生量は平年比やや多だったが、その後は平年並となった。	梅雨期間の天候不順よりに発生が助長されたが、夏期は好天が続き感染好適条件が少なく、平年並の発生となったと考えられる。	箱施用剤 本田防除
	穂いもち	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	8月下旬や9月中旬に降雨が続き、一部は場で多発したものの全体的には平年並の発生だった。	秋雨前線や台風の影響で一時期感染好適条件が発生したが、葉いもちの発生量は平年並で、穂いもちの発生が抑えられたと考えられる。	出穂期または穂揃い期に他の病害虫(ウンカ、カメムシ等)と同時に防除されている。
	紋枯病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	8月までは発生は少なかったが、9月以降は平年よりやや多い発生となった。	前年度の発生が平年比やや多で発生源が多かった。また夏期の高温で発生を助長したと考えられる。	7月下旬～9月上旬に混合剤による防除が行われた。また、箱施用剤に紋枯病剤を含んだ混合剤の使用。
	白葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で発生がみられたが、全体として平年並であった。	多発生につながる風雨害がなかった。	箱施用剤
	ばか苗病	平年:並 前年:並	平年:－ 前年:－	目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施
	心枯線虫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は認められなかった。		種子消毒の実施
	籾枯細菌病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	各地域で発生があり、平年よりやや多い発生であった。	出穂期の風雨により発生が多くなったと考えられる。	
	ごま葉枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	全体的に目立った発生は見られなかった。		適正な肥培管理 いもち病と同時防除
	縞葉枯病	平年:並 前年:並	平年:少 前年:並	目立った発生は見られなかった。		ヒメトビウンカに対して効果のある箱施用剤の使用
	萎縮病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		ツマグロヨコバイのウンカ類との同時防除

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	ニカメイチュウ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	発生は認められなかった。		
	サンカメイチュウ	平年:ー 前年:ー	平年:並 前年:並	発生は認められなかった。		
	セジロウンカ	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	予察灯(合志市)における梅雨期間中の誘殺数は1,422頭(前年:162頭、平年:650頭)と前年比多、平年比やや多であったが、ほ場での発生量は期間を通じて平年比やや少だった。	飛来量は多かったが、トビイロウンカを対象とした本田防除が行われたため、本種の増殖が抑えられたと考えられる。	箱施用剤 本田防除(7月下旬～8月中旬の間に1回)
	トビイロウンカ	平年:並 前年:やや遅	平年:多 前年:並	予察灯(合志市)では梅雨期間中の誘殺数は773頭(前年:95頭、平年:45.3頭)と前年比、平年比ともに多だった。6月中旬以降は海外飛来性害虫の断続的な飛来があり、特に7月上～中旬はトビイロウンカが多数飛来した。ほ場での発生量は9月上旬まで平年比やや多で推移していたが、9月中旬では平年比多の発生だった。発生ほ場率は期間を通じて平年より高かった。6月中旬以降移植の作型では、9月初めより坪枯れが散見された。	飛来回数及び飛来量が多く、特に6月上旬移植では飛来群の定着量が多かったと考えられた。トリフルメゾピリム剤以外を使用したほ場があった。断続的な飛来により虫体の生育ステージ幅が広く、若齢幼虫期に合わせた適期防除が困難だった。梅雨明け後は高温・少雨となり増殖に好適な条件となった。	箱施用剤 本田防除(7月下旬～9月下旬の間に1回～3回)
	ヒメトビウンカ	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:やや少 前年:少	期間を通じて平年比やや少の発生だった。	トビイロウンカを対象とした本田防除が行われたため、本種の増殖が抑えられたと考えられる。	箱施用剤
	ツマグロヨコバイ	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	期間を通じて平年比やや少の発生だった。	トビイロウンカを対象とした本田防除が行われたため、本種の増殖が抑えられたと考えられる。	セジロウンカ、トビイロウンカとの同時防除
	斑点米カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	予察灯の誘殺数及び9月の巡回調査は平年並の発生であった。	8月下旬～9月中儒にかけて秋雨前線や台風の影響で周期的に降雨があり、本種の発生が抑えられたと考えられる。	穂揃い期に防除が行われた。
	イネヨトウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		コブノメイガとの同時防除。
	アワヨトウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られなかった。		コブノメイガとの同時防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	コブノメイガ	平年:並 前年:並	平年:多 前年:多	フェロモントラップ(合志市)の6~7月累積誘殺数は、851頭(過去8年平均44.5頭、前年75頭)で最も多かった。また飛来は6月中旬~7月中旬まで断続的かつ多数だった。7月中旬の巡回調査では一部ほ場での巻葉数が多かったが、8月中旬には全域で確認され、平年比多の発生であった。	飛来量が多く、かつ断続的だった。梅雨明け後は好天が続き増殖に好適な条件だった。	箱施薬剤および本田防除。
	イネミズゾウムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	目立った発生は見られず、平年並の発生であった。		箱施用剤
	スクミリンゴガイ	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	移植後に冠水したほ場で被害が多発し、全体的には平年比やや多の発生であった。	梅雨期間の降水量が多く、冠水したほ場があった。	水位調整、捕殺
麦類	さび病類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	5月に入り発生が目立ち、平年比やや多の発生となった。	5月上旬から気温が平年より高く推移し、5月中旬にはまとまった降水があった。	
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	平年並の発生であった。		
	赤かび病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	小麦は平年並、大麦は平年比やや少の発生であった。発病が確認されたほ場の発病程度は、小麦、大麦ともに少程度であった。	生育が平年より早く、感染時期(開花~乳熟期)にあたる3月下旬から4月上旬は好天が続き、連続した降雨が少なかった。	小麦は、開花最盛期と、その7~10日後、大麦は、穂揃い期10日後と、その7日後の防除を実施。
	縞萎縮病(大麦)	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	抵抗性品種への転換後にほとんど発生はみられていない。	常発地では抵抗性品種(はるしづく)に転換。	
	斑葉病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	ほ場差はあるものの、平年並の発生であった。		
大豆	紫斑病	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:並 前年:並	種子消毒の徹底等により、立毛中の発生は少なかった。播種時期の遅れに伴い発生もやや遅れた。	開花期以降、防除適期である幼莢期は降水量は多かったが、好天が続き、適期に防除が実施された。	種子消毒及び落花期から子実肥大期にかけての薬剤防除。
	べと病	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:やや少 前年:やや少	平年よりやや遅い9月以降に発生が認められ、平年より少ない発生であった。	播種時期の遅れと、台風等の気象災害による生育への影響が少なかった。	
	葉焼病	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:やや少 前年:やや少	平年よりやや遅い9月から発生が認められたが、発病の程度は低く平年比少の発生であった。	播種時期の遅れと、台風等の気象災害による生育への影響が少なかった。	本病を対象とした防除は実施されていない。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	コガネムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	8月から被害が見られ県下全域で発生したが、被害の程度は低かった。	播種時期の遅れにより、発生のピークは9月以降となった。8月下旬から9月中旬には、まとまった降水があり発生の抑制となった。	
	ハスモンヨトウ	平年:早 前年:早	平年:やや多 前年:やや多	フェロモントラップでは7月上旬及び9月中旬に平年を上回る誘殺のピークが確認され、ほ場においても、8月以降の発生量は平年比やや多で推移した。	6月中旬～7月下旬の梅雨前線の長期停滞に伴いトラップ誘殺数が増加。8月上旬以降、気温は平年より高めに推移し、発生の好適条件が続いた。	8月中旬から若齢幼虫を中心に2～3回程度の防除を実施。生産組織等による共同防除も計画的に実施された。
	吸実性カメムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	合志市の予察灯では8月5～6半旬にミナミアオカメムシの誘殺数が平年を上回り急増したが、ほ場での発生は平年並であった。	8月上旬以降は気温は平年より高めに推移し、発生に好適となったが、好天が続いたため計画的な防除が実施された。	子実肥大期を中心に防除を実施。
イグサ	イグサシムシガ	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	3月下旬の幼虫・蛹の発生は平年並。越冬世代の発生ピークは平年より8日早かった。八代市の予察灯での4～6月の誘殺数は平年比やや少で推移し、6月上旬の第1世代発生以降は平年より少なかった。	3月の気温が平年より高く推移したため、越冬世代の発生が早まった。	第1世代幼虫対象に4月中旬、第2世代幼虫対象に5月下旬～6月上旬にかけて2回の防除を実施。
茶	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	5～6月の発生は平年並であったが、梅雨期の7月以降から発生が目立ち、平年並からやや多で推移した。	6～7月の梅雨期の降水量が多く、降雨が長期間続いた。	6～7月は降雨が続いたため、二番茶摘採後の防除が困難となった。
	もち病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部の常発茶園でわずかに発生。		炭疽病との同時防除を実施。
	網もち病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部の常発茶園でわずかに発生。		炭疽病との同時防除を実施。
	輪斑病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	一部ほ場で発生が見られたが、平年比やや少の発生であった。		二、三番茶摘採後に防除が行われた。
	チャノコカモンハマキ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	5月までは平年並の発生であったが、6～7月の梅雨期以降は少～やや少の発生となった。8月以降は平年並で推移した。	6月の気温は高めに推移したが、6～7月の梅雨期は降水量が多く、降雨が長期間続いたため、第1世代の発生は抑制された。	一、二番茶摘採後及び秋芽生育期に防除が行われた。
	チャハマキ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	二番茶期の6月に摘採が遅れた園では平年比やや多の発生となったが、一般的には平年並で推移した。	6月の気温は高めに推移したが、6～7月の梅雨期は降水量が多く、降雨が長期間続いたため、第1世代の発生は抑制された。	チャノコカモンハマキとの同時防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	チャノホソガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	二番茶及び三番茶期に摘採が遅れた園では平年比やや多の発生となったが、全般的には平年並の発生であった。	梅雨期の降雨による摘採時期の遅れで一時的な多発がみられたが、その後は好天が続き、防除及び茶園管理が計画的に実施された。	二、三番茶期、秋芽生育期(チャノミドリヒメコバイ、チャノキイロアザミウマとの同時防除)
	チャノミドリヒメコバイ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	二番茶期以降から気温は平年より高くなり、発生が目立った。6～7月を中心に平年比やや多の発生となった。	6～7月は降雨が続き、摘採後の防除及び茶園管理が計画的に実施しにくかった。気温は平年より高く推移し、発生の好適条件であった。	チャノキイロアザミウマ、チャノホソガと同時防除。
	カンザワハダニ	平年:早 前年:早	平年:並 前年:やや多	4月から5月までの発生は平年比やや多で推移したが、6月以降は梅雨期の多雨により発生量は平年並～少に減少した。6月以降は概ね平年並で推移した。	4月以降は高温少雨に経過し、発生が助長されたが、6月下旬から断続的な雨が続き、発生が抑制された。8月以降は好天が続き、深刈りが実施された。	越冬ダニの産卵開始時期と一番茶摘採後、秋芽生育期に防除が行われた。
	チャノキイロアザミウマ	平年:やや遅 前年:やや遅	平年:やや少 前年:並	一番茶前後から8月まで平年比やや少で推移し、9月は平年並の発生となった。合志市のトラップ調査では、4月から平年比少で推移した。	4月の気温は平年より低く経過し、6月下旬からは7月下旬まで断続的な雨が続き、新芽、新葉の生育期に発生が抑制された。	チャノミドリヒメコバイ、チャノホソガと同時防除。
	ツマクローアオカスミカメ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	4月から6月まで園によって平年比多の発生が続き、7月以降も平年比やや多の発生となった。特に県南地域での発生が目立った。	3月の気温は平年より高く、降水量は少なく推移した。一部地域で発生が目立っており、発生地域の気象条件が発生の好適条件であった。	臨機防除の実施
	クワシロカイガラムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	3月及び6月に多発園が見られたが、7月以降の発生は平年並で推移した。	3月及び5月は高温少雨に経過し、発生の好適条件となった。7月以降は断続的な降雨が続き発生が抑制され、8月以降は好天が続き計画的な防除が実施された。	有効積算温度による防除適期の予測。各世代の幼虫ふ化最盛期における薬剤防除及び中切り、深刈り等耕種的防除を実施。
カンキツ	そうか病	(春葉) 平年:早 前年:やや早 (果実) 平年:早 前年:やや遅	平年:並 前年:並	春葉は平年並、果実は平年並の発生であった。宇城市(果樹研究所)における無防除区「興津早生」の春葉の初発日は、4月14日(平年19日)と平年に比べて早く、果実は5月12日(平年17日)と平年に比べて早かった。		伝染源となる発病した葉や枝のせん除と幼芽期のジチアノン剤による防除。開花期は、灰色かび病との同時防除。落弁期は、黒点病と灰色かび病との同時防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	黒点病	平年:遅 前年:遅	平年:やや多 前年:並	巡回調査では、6～7月は平年並であったが、8～9月に平年比やや多の発生で推移した。 また、宇城市の無防除区「興津早生」では、果実の初発確認日が6月8日で平年に比べての発生時期は遅かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。	本年は、5月中旬～7月下旬にかけて平年に比べて降水量が多く、発病を助長する気象条件であったことから、8～9月の発生量が平年に比べてやや多くなったと考えられる。	伝染源となる枯れ枝剪除および摘果による発病果の除去。 薬剤による防除は、落弁期以降、降雨日数や累積降水量に基づき、マンゼブ水和剤、QoI剤等が散布されている。
	かいよう病	(春葉) 平年:早 前年:早 (果実) 平年:早 前年:やや早	平年:やや多 前年:並	巡回調査では5～9月にかけて概ね平年比やや多の発生であった。特に8～9月では果実での発生が目立った。 宇城市(果樹研究所)無防除区「川野なつだいたい」では、春葉の初発は4月28日(平年5月18日)で平年より早く、果実は6月8日(平年13日)と平年より早かった。	暖冬の影響により初発時期が早まったことや5月中旬～7月下旬にかけて平年に比べて降水量が多かったことから、5月以降の発生が平年に比べてやや多くなったと考えられる。	伝染源となる発病葉、枝のせん除と、発芽直前、花弁落下直後、梅雨時期、および台風襲来直前の無機銅剤による防除。
	ヤノネカイガラムシ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。	冬期のマシン油散布により、初期密度を抑えることができたため、平年並の発生となったと考えられる。	基幹防除としてのマシン油乳剤の散布と他のカイガラムシ類との同時防除。
	ミカンハダニ	平年:早 前年:早	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では、2月～4月にかけて平年比多～やや多で推移し、5～6月に一旦平年並～やや少になったものの、7～8月に再び平年比やや多となり、9月は平年比少の発生となった。	昨年9～10月の発生量が多く、その後の暖冬の影響により、平年に比べて、多くの個体が越冬でき、冬期の増殖が可能だったことから春先から平年に比べて発生量が多くなったと考えられる。5月中旬より平年に比べて降水量が多かったことから、5～6月の発生量は一旦減少したものの、梅雨明け後に晴天が続いたことにより夏期の発生量が多くなったと考えられる。	①冬期～春先のマシン油乳剤散布による初期密度の抑制 ②5～6月のマシン油乳剤散布による夏ダニの発生予防 ③8月下旬～9月上旬の密度が低い時期のダニ剤散布による初期防除
	ミカンサビダニ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部では8月～9月にかけて平年比やや多の発生が見られた地域もあったが、調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		6月中旬～7月上旬、9月上旬～中旬の防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	カメムシ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:多 前年:多 (当年世代) 平年:やや少 前年:少	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比多で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数は平年比多であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は平年比少であり、ヒノキ球果に寄生する成幼虫数も平年比少であった。	越冬量が平年比多であったことから越冬世代の発生量が多かったと考えられる。一方で、ヒノキの球果の着果量は平年に比べて少なかったため、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が抑制され、8月中旬以降の発生量は平年に比べて少なかったと考えられる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	調査期間を通して平年並の発生であった。		有効積算温度による発蛾最盛期予測に基づいた薬剤防除(5月上旬～10月上旬)。
	カイガラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		冬季のマシン油乳剤の散布。第一世代幼虫期の幼虫期である月上旬と、第二世代の幼虫発生である8月上旬～中旬にかけて防除。
	ミカンハモグリガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期のIGR剤、ネオニコチノイド系薬剤の散布や苗木移植時の粒剤施用。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢伸長期にネオニコチノイド系薬剤やカーバメート系薬剤で防除が行われた。
ナシ	黒斑病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		越冬期の罹病枝、ボケ芽の除去。開花直前、開花直後、袋かけ直前及び梅雨期の重点防除。
	黒星病	平年:遅 前年:遅	平年:やや多 前年:やや多	巡回調査では、一部の調査地点で多発生がみられ、6～8月にかけて平年比多の発生であった。	5月中旬～7月下旬にかけて降水量が平年に比べて多く、降雨日が連続したことにより、発生が助長され、また適期の薬剤防除が難しかったことから、発生量が平年に比べて多くなったと考えられる。	罹病芽鱗片の除去と落葉の処分。発病した葉・果実の園外処分。開花初期のDMI剤散布および梅雨期のDMI剤等の散布。
	赤星病	平年:やや早 前年:早	平年:やや少 前年:並	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。宇城市(果樹研究所)における幸水(開花前にチウラム剤のみ散布)での初発日は4月20日(平年4月23日)と平年に比べてやや早かった。		黒星病との同時防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		輪紋病、炭そ病の同時防除。
	輪紋病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		冬期の罹病枝の剪除。 黒星病との同時防除。
	ナシヒメシ ンクイ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		フェロモン剤(交信攪乱剤)の使用。他害虫との同時防除。
	ハマキム シ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		他害虫との同時防除。
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:少	巡回調査では5~7月にかけて平年並だったが、8月では平年比少の発生量であった。	5月中旬~7月下旬にかけて降水量が平年に比べて多かったことでハダニ類の増殖が抑制されたため、発生量が少なかったと考えられる。	発生初期の薬剤防除。
	カメムシ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:多 前年:多 (当年世代) 平年:やや少 前年:少	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比多で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数は平年比多であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は平年比少であり、ヒノキ球果に寄生する成幼虫数も平年比少であった。	越冬量が平年比多であったことから越冬世代の発生量が多かったと考えられる。一方で、ヒノキの球果の着果量は平年に比べて少なかったため、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が抑制され、8月中旬以降の発生量は平年に比べて少なかったと考えられる。	飛来が認められた園や地域での薬剤防除。
	カイガラム シ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		①各種カイガラムシ幼虫の防除適期における薬剤散布 ②冬期の粗皮削りやマシン油散布
ブドウ	アブラムシ 類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	調査期間を通して平年並の発生であった。		新梢発生期から展葉期(4月下旬~5月中旬)にかけて重点的に防除。
	晩腐病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		伝染源の除去。 5月下旬~6月上旬(果実小豆粒大期)に他病害との同時防除。 6月下旬(袋かけ後)に他病害との同時防除。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年比少の発生であった。	本病の発生が盛んになる6月下旬以降は降水量が平年より多く、また長雨が続いたことから本病の発生が抑制され、平年比少の発生となったと推察される。	5月下旬~6月上旬(落花期~果実大粒期)防除。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	褐斑病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:並	7～8月にかけて平年比やや多の発生であった。	5月中旬～7月下旬にかけて降水量が多かったことから発生が助長されたと推察される。	5月上旬(開花前)、6月下旬(袋かけ後)の防除。施設栽培では、園の排水対策を実施。落葉の処分。
	黒とう病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年比少の発生であった。		巻づるや罹病枝の除去。露地栽培では、4月中旬(発芽初期)、5月上旬(開花前)の防除。開花期以降は、べと病と同時防除。
	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		予防散布に努め、発生初期防除の徹底。袋掛け後の銅剤散布。落葉の処分。
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年比少の発生であった。		開花初期からの他病害とも同時防除。
	チャノキイロアザミウマ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:多	6～8月にかけて平年比多～やや多の発生であった。	5月中旬～7月下旬にかけて降雨日が連続したことから、薬剤防除が不十分となったため発生が多くなったと考えられる。	開花前から落花後約1ヶ月間の重点防除。
カキ	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。		冬期の発病枝のせん除と園外処分。発病した果実、徒長枝のせん除と園外処分。開花期から果実肥大期の予防防除。特に5月中旬～梅雨時期、8月中旬～9月の秋雨時期を重点防除。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	7月に発生量が平年比やや多となったものの、調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		伝染源となる落葉の園外処分。落花後から梅雨期および秋期の防除。
	落葉病類	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。		伝染源となる落葉の園外処分。落花後から梅雨期の他病害との同時防除。
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	7月に発生量が平年比やや多となったものの、調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		落弁期(5月下旬～6月上旬)の防除。落弁後の果実に付着した花弁の除去。

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	カキノヘタムシガ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		冬期の粗皮削りや第1世代幼虫(5月下旬～6月上旬)および第2世代幼虫期(7月下旬～8月中旬)の防除。
	カメムシ類	(越冬世代) 平年:並 前年:並 (当年世代) 平年:遅 前年:遅	(越冬世代) 平年:多 前年:多 (当年世代) 平年:やや少 前年:少	チャバネアオカメムシの越冬量は平年比多で、予察灯・フェロモントラップの7月までの誘殺数は平年比多であった。8月以降の当年世代の予察灯誘殺数は平年比少であり、ヒノキ球果に寄生する成幼虫数も平年比少であった。	越冬量が平年比多であったことから越冬世代の発生量が多かったと考えられる。一方で、ヒノキの球果の着果量は平年に比べて少なかったため、ヒノキ球果上での当年世代の増殖が抑制され、8月中旬以降の発生量は平年に比べて少なかったと考えられる。	飛来が認められた圃や地域での薬剤防除。
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		加害期の予防散布。摘果時の被害果のせん除。
	カイガラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		第1世代(6月中下旬)および第2世代(8月中下旬)の防除。バンド誘殺や粗皮削り。
クリ	実炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		間伐、整枝を行うとともに果実肥大期(7月中旬～8月下旬)の防除。
	モモノゴマダラメイガ	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	調査期間を通して平年比やや多の発生であった。		被害果や空のイガ、残った球果の園外処分。早生種では、7月中から下旬、中晩生種では8月中旬から下旬の防除。
冬春 トマト R2.10 ～ R3.4	疫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:多	1月までは平年並で推移し3月から4月は平年比やや多の発生となった。	2月上旬から気温が平年より高く推移し発生が助長されたと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策
	葉かび病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	栽培期間を通して平年比やや少の発生であった。	期間を通して降雨が平年より少なかったため、発生が抑えられと考えられる。	発生初期の薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		防虫ネット被覆、薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
夏秋 トマト R2.6 ～9	疫病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		発生初期の薬剤防除、被害株の抜き取り、ほ場の排水対策
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや少	7～8月までは平年比少で推移し、9月は平年並の発生となった。	7月の平均気温は平年より低く推移し、発生が少なかったものの、その後の気温は高く推移し、平年並の発生となったと考えられる。	薬剤散布、通風換気、排水対策
	葉かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:少	7月に一部のほ場で多発し、やや多となったもののその他の栽培期間は平年並の発生であった。	7月の平均気温は平年より低く推移し、発生が少なかったものの、その後の気温は高く推移し、平年並の発生となったと考えられる。	発生初期の薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	7月は平年比やや多で推移し、8～9月に平年並の発生となった。	6月中旬まで降雨が平年より少なく、野外コナジラミ類のハウス内への侵入もあったもののその後は、平年より多く推移したため発生量も下がり平年並となったと考えられる。	薬剤散布
冬春 ナス R2.10 ～ R3.4	灰色かび病	灰色かび病	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、通風換気、排水対策
	うどんこ病	うどんこ病	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	すすかび病	すすかび病	平年:やや少 前年:並	栽培期間を通して平年並からやや少の発生であった。	期間を通して降雨が平年より少なかったため、発生が抑えられと考えられる。	発生初期の薬剤散布
	ハダニ類	ハダニ類	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	アザミウマ類	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
夏秋 ナス R2.5 ～8	うどんこ病	うどんこ病	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		下葉の除去、薬剤散布
	すすかび病	すすかび病	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		下葉の除去、薬剤散布
	ハダニ類	ハダニ類	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	アザミウマ類	アザミウマ類	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
冬春 キュウリ R1.11 ～ R2..5	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後半にかけて発生が多くなったものの、調査期間を通して平年並の発生であった。	巡回調査では、一部の圃場で4～5月の作期後半に多発生がみられたが、これは草勢低下や肥料切れが原因によるものと推察される。	施設内換気。薬剤散布。適正な肥培管理。
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。薬剤散布。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:やや多	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	5月に平年比やや多の発生となったものの、調査期間を通して概ね平年並であった。		薬剤散布 防虫ネット設置 天敵利用
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。		薬剤散布。 UVカットフィルム、防虫ネット設置 天敵利用
夏秋 キュウリ R2.5 ～8	べと病	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	栽培後半の7～8月にかけて平年比やや多の発生であった。	梅雨明けが平年より遅く、7月末頃まで降雨が続いたことや栽培後期で草勢が低下したことの影響により、7～8月の発生が平年に比べてやや多くなったと考えられる。	薬剤散布。適正な肥培管理。密植を避け通風採光を図る。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:やや少	調査期間を通して平年比やや少の発生であった。		薬剤散布。密植を避け通風採光を図る。
	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		薬剤散布。密植を避け通風採光を図る。窒素質肥料過多を避ける。
	斑点細菌病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。窒素質肥料過多を避ける。
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
スイカ R2.1 ～5	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		株元の乾燥。薬剤散布。排水対策。施設内換気。適正な肥培管理。被害残さ処分
	菌核病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布。施設内換気。
	アブラムシ類	平年:やや早 前年:やや早	平年:やや多 前年:やや多	調査期間を通して平年比やや多の発生であった。	暖冬の影響により屋内外のアブラムシの発生が平年に比べて早まったことが、発生量の増加につながったものと考えられる。	薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	4～5月にかけて平年比やや多の発生であった。	暖冬の影響により屋内外のコナジラミの発生量の増加が平年に比べて早まったことにより、4～5月の発生量が多くなったと考えられる。	薬剤散布。施設内除草。
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して概ね平年並の発生であった。		薬剤散布
春メロン R2.1 ～4	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。排水対策。薬剤散布。適正な肥培管理。
	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		被害残渣除去。排水対策。薬剤散布。株元の乾燥。
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後期に一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後期に一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内の除草。薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
秋冬 メロン R2.8 ～10	べと病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培後期に一部地域で発生がやや多かったが、調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。排水対策。薬剤散布
	つる枯病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		排水対策。薬剤散布
	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		施設内換気。薬剤散布
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	調査期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナジラミ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	9～10月にかけて平年比やや多の発生であった。	8月～9月上旬にかけて降水量が平年に比べて少ないことから野外のコナジラミの発生量が平年に比べて多くなったと考えられる。	薬剤散布、防虫ネットの被覆 育苗期のネオニコチノイド粒剤処理 施設内除草
夏秋 キャベツ R2.5 ～9	黒腐病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、排水対策
	菌核病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、排水対策
	モンシロチョウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	コナカ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布
	ヨトウガ	平年:早 前年:早	平年:やや多 前年:多	フェロモントラップへの誘殺は、平年やや多～並で推移した。ほ場での発生は6月下旬から7月中旬にかけて平年比やや多であったがその後は平年並となった。	山間部を中心に6月から7月にかけていきなり誘殺数が増えたがその後はおさまる傾向であったため、梅雨前線による飛来と考える。	薬剤散布
冬春 イチゴ R2.10 ～ H3.4	うどんこ病	平年:並 前年:並	平年:やや少 前年:並	栽培期間を通して平年比やや少の発生であった。	定植前に薬剤防除が徹底されたことで、本ぼへの持ち込みを防ぐことができ、本ぼにおいても栽培期間を通して薬剤防除等の対策徹底により発生が抑制されたと考えられる。	老化、被害葉の除去、薬剤散布

農作物名	病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析	防除の概要
	灰色かび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤散布、通風換気、排水対策
	炭疽病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。	健全苗の選抜や発病株の早期持ち出しが徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	健全親株、無病苗確保 高設雨よけ育苗、 薬剤散布
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:やや多 前年:やや多	10月から11月までは平年比やや多で推移したもののその後は平年並の発生となった。	1から3月の天敵や薬剤防除が徹底されたことで、発生が抑制されたと考えられる。	下葉の除去、 薬剤散布、天敵利用
	アブラムシ類	平年:やや遅 前年:並	平年:並 前年:やや少	1～2月は平年比やや少で推移したが、3～4月は平年並の発生となった。	3月中旬～4月の気温が平年並に上がり、日照時間も確保されたことから、発生が助長されたと考えられる。	薬剤散布
	ハスモンヨトウ	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	ほ場での発生は、10月に平年よりやや多くなったが、その後は平年並の発生となった。	10月の気温がやや高く、降水量が平年より少なかったことから、野外での活動がやや活発となり、秋期にハウス内への侵入が見られた。その後は薬剤防除等の対策徹底により発生が抑制されたと考えられる。	薬剤散布
夏秋 キク (露地) R2.6 ～9	白さび病	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		健全苗植栽、 薬剤防除
	ハダニ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除
	アザミウマ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除
	アブラムシ類	平年:並 前年:並	平年:並 前年:並	栽培期間を通して平年並の発生であった。		薬剤防除

(2) 農作物有害動植物の発生面積及び防除面積

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
水稲 (早期・ 早植)	8,143	苗立枯病				30	30	※1,000	※1,000
		苗いもち				20	20	3,700	4,900
		葉いもち			100	400	500	3,200	6,800
		穂いもち			50	500	550	2,000	3,000
		紋枯病				2,000	2,000	1,500	1,500
		白葉枯病				50	50	50	50
		セジロウンカ			500	2,700	3,200	6,100	11,200
		トビイロウンカ	250	1,100	1,750	2,100	5,200	※6,100	※11,200
		ヒメトビウンカ			500	2,200	2,700	※6,100	※11,200
		ツマグロヨコバイ			200	900	1,100	※6,100	※11,200
		イネドロオイムシ				120	120	※100	※100
		イネゾウムシ				50	50	50	50
		イネクロカメムシ				60	60	60	60
		斑点米カメムシ類			300	700	1,000	※4,300	※5,900
		コブノメイガ		500	1,900	3,000	5,400	5,600	9,500
		イネミズゾウムシ			100	500	600	2,000	2,500
スクミリンゴガイ		200	450	650	1,300	100	100		
水稲 (普通期)	24,790	苗立枯病				70	70	※20,000	※20,000
		苗いもち			10	540	550	20,000	20,000
		葉いもち			200	2,000	2,200	22,000	22,000
		穂いもち			50	3,950	4,000	16,000	16,000
		紋枯病		120	4,000	7,880	12,000	15,000	20,000
		白葉枯病				500	500	※13,000	※13,000
		ばか苗病				60	60	※20,000	※20,000
		もみ枯細菌病		40	100	660	800	900	900
		縞葉枯病				200	200		
		萎縮病				50	50		
		セジロウンカ				8,000	8,000	※24,000	※48,000
		トビイロウンカ			10,000	12,400	22,400	24,000	72,000
		ヒメトビウンカ		100	600	3,000	3,700	※24,000	※48,000
		ツマグロヨコバイ			240	3,460	3,700	※24,000	※48,000
		斑点米カメムシ類			400	2,000	2,400	※17,000	※17,000
		コブノメイガ			3,700	17,300	21,000	24,000	36,000
イネミズゾウムシ				1,000	1,000	2,700	2,700		
スクミリンゴガイ		250	1,250	5,900	7,400	1,500	1,500		
麦	7,170	さび病類			20	100	120		
		うどんこ病				20	20		
		赤かび病				400	400	7,170	8,000
		斑葉病				50	50		

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
ばれいしょ	553	疫病				25	25	553	1,106
		アブラムシ類			25	100	125	553	1,106
大豆	2,450	紫斑病				60	60	300	300
		べと病				350	350	300	300
		葉焼病			100	350	450		
		コガネムシ類			200	1,190	1,390	※1,500	※1,500
		ハスモンヨトウ		50	200	1,050	1,300	2,300	2,300
		吸実性カメムシ類				400	400	※400	※400
かんきつ	5,508	そうか病		30	100	500	630	3,000	※9,000
		黒点病		300	800	1,500	2,600	5,000	15,000
		かいよう病		50	200	700	950	2,000	※4000
		ヤノネカイガラムシ				100	100	※5,000	※10,000
		ミカンハダニ	50	300	1,000	1,500	2,850	5,000	15,000
		ミカンサビダニ		50	150	500	700	※2,500	※5,000
		カメムシ類		300	700	1,000	2,000	3,000	6,000
		チャノキイロアザミウマ			100	600	700	※2,500	※5,000
		ナシマルカイガラムシ			100	600	700	※5,000	※10,000
		ミカンハモグリガ		150	900	4,450	5,500	※5,000	※5,000
		アブラムシ類			50	450	500	5,000	5,000
なし	441	黒斑病				5	5	40	80
		黒星病		10	30	80	120	440	2,640
		赤星病				30	30	※440	※1,320
		うどんこ病				30	30	※440	※440
		輪紋病				30	30	440	1,320
		ナシヒメシンクイ			10	70	80	※440	※880
		ハマキムシ類				50	50	220	220
		ハダニ類		5	30	50	85	440	1,320
		カメムシ類		50	80	120	250	300	600
		カイガラムシ類				30	30	220	220
		アブラムシ類			20	80	100	440	880
ぶどう	170	晩腐病				20	20	※170	※340
		うどんこ病				40	40	※170	※170
		褐斑病			30	120	150	170	340
		黒とう病				40	40	※170	※340
		べと病			30	80	110	※170	※680
		灰色かび病				40	40	170	340
		ブドウスカシバ				20	20	50	50
		ブドウトラカミキリ				20	20	60	60
		フタテンヒメヨコバイ				15	15	30	30
		チャノキイロアザミウマ			10	30	40	60	120

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
かき	357	炭そ病			5	35	40	250	500
		うどんこ病			20	40	60	※250	※500
		落葉病類			10	60	70	※250	※250
		カキノヘタムシガ			10	60	70	250	250
		カイガラムシ類			30	70	100	※250	※500
		カメムシ類		30	40	100	170	250	250
茶	1,220	炭そ病				580	580	※800	※1,500
		もち病				50	50	※800	※1,500
		網もち病				40	40	※800	※1,500
		輪斑病				50	50	300	600
		チャノコカクモンハマキ			30	260	290	800	2,400
		チャハマキ			30	150	180	※800	※2,400
		チャノホソガ				210	210	1,200	3,000
		チャノミドリヒメヨコバイ			50	430	480	※1,200	※3,000
		カンザワハダニ			50	360	410	1,200	3,600
		チャノキイロアザミウマ			20	200	220	※1,200	※3,000
		ツマグロアオカスミカメ			10	80	90	100	100
		クワシロカイガラムシ			100	300	400	700	1,000
夏秋トマト R2.6～9	295	疫病				15	15	295	885
		灰色かび病				200	200	295	2,950
		葉かび病				50	50	295	2,950
		すすかび病				150	150	295	885
		コナジラミ類				30	30	295	295
		アブラムシ類				15	15	295	885
		ハスモンヨトウ				15	15	295	885
冬春トマト R1.10～ R2.4	543	灰色かび病			400	100	500	543	1,629
		すすかび病				150	150	543	1,629
		黄化葉巻病				300	300	543	1,629
		タバココナジラミ				300	300	543	1,629
夏秋ナス R2.5～8	250	うどんこ病				35	35	250	2,500
		すすかび病				50	50	250	2,000
		アザミウマ類				150	150	250	1,500
		オオタバコガ				50	50	250	1,500
		ハダニ類		5	15	80	100	250	2,500
冬春ナス R1.10～ R2.4	171	うどんこ病				50	50	171	513
		灰色かび病				70	70	171	513
		すすかび病				90	90	171	513
		アザミウマ類				30	30	171	513
		コナジラミ類				120	120	171	513
		ハモグリバエ類				30	30	171	513

作物名	作付面積 (ha)	病害虫名	程度別発生面積(ha)					防除面積(ha)	
			甚	多	中	少	合計	実防除	延防除
夏秋キュ ウリ R2. 5～8	208	べと病		5	15	40	60	208	1,040
		炭そ病			5	15	20	50	100
		うどんこ病			10	20	30	208	1,040
		斑点細菌病				10	10	208	624
		ミナミキイロアザミウマ			10	30	40	208	624
		アブラムシ類				10	10	208	624
冬春キュ ウリ R1. 11～ R2. 5	75	べと病		5	10	15	30	75	375
		うどんこ病			10	30	40	75	375
		ミナミキイロアザミウマ				10	10	75	375
		アブラムシ類				15	15	75	150
		タバココナジラミ			10	20	30	75	375
夏秋 キャベツ R2. 5～9	508	黒腐病				30	30	508	508
		菌核病				25	25	508	※508
		モンシロチョウ				25	25	508	1,016
		コナガ		5	20	65	90	508	2,032
		ヨトウガ			40	160	200	508	1,016
レタス	527	菌核病				80	80	527	1,851
		腐敗病				160	160	527	※1,851
イチゴ R1. 10～ R2. 4	309	うどんこ病			5	10	15	309	1,545
		アブラムシ類			10	70	80	309	927
		アザミウマ類		50	50	150	250	309	927
		ハダニ類			50	150	200	309	1,545
		ハスモンヨトウ			30	80	110	309	618
夏秋キク R2. 6～9	13	白さび病				1	1	13	78
		ハダニ類				1	1	13	78
		アザミウマ類				2	2	13	78
		アブラムシ類				1	1	13	39

注) ※は同時防除

(3) 普通作病虫害発生予察事業 (大豆・イグサを含む)

ア 病虫害防除所における調査

(ア)巡回調査

作物名「水稻 早期早植」

調査 月	調査対象 病虫害	萎縮病	葉いもち		穂いもち		黄化 萎縮病	縞葉枯 病	白葉枯 病
		発病 株率	発病 株率	発病 度	発病 穂率	発病 度	発病 株率	発病 株率	発病 株率
4	平均値	—	0.67	0.17	—	—	—	—	—
	平年値	—	0.07	0.02	—	—	—	—	—
5	平均値	0.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	—
	平年値	0.00	0.05	0.01	—	—	0.00	0.00	—
6	平均値	0.00	0.27	0.07	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.05	0.90	0.22	—	—	0.00	0.00	0.00
7	平均値	0.00	8.80	2.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	9.83	3.14	0.01	0.00	0.00	0.08	0.00
8	平均値	0.00	16.89	4.22	0.00	0.00	0.00	0.44	0.00
	平年値	0.00	11.32	2.83	0.23	0.08	0.00	0.00	0.00

調査 月	調査対象 病虫害	もみ枯細菌病		紋枯病		ばか苗 病
		発病 穂率	発病 度	発病 株率	発病 度	発病 株率
5	平均値	—	—	—	—	0.00
	平年値	—	—	—	—	—
6	平均値	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	—	—	0.00	0.00	—
7	平均値	1.35	2.35	2.53	0.73	0.00
	平年値	0.02	0.04	0.83	0.23	—
8	平均値	0.58	0.96	5.56	2.06	0.00
	平年値	0.02	0.04	2.27	0.61	—

調査 月	調査対象 病虫害	カメシ類	ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	トビイロ ウンカ	セジロ ウンカ	コブノ メイガ	イネヌグウムシ	
		頭/25 株	頭/1株	頭/1株	頭/1株	頭/1株	株当 葉巻	被害 度	頭/ 25株
4	平均値	—	—	—	—	—	—	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.17	0.19
5	平均値	—	—	—	—	—	—	9.00	0.91
	平年値	—	—	—	—	—	—	8.22	1.00
6	平均値	—	0.06	0.18	0.00	0.25	0.00	8.53	1.13
	平年値	—	0.09	0.20	0.00	0.08	0.00	5.01	0.32
7	平均値	0.00	0.39	1.27	0.55	2.95	2.14	—	—
	平年値	0.09	0.71	0.58	0.08	1.92	0.11	—	—
8	平均値	0.00	2.66	0.74	82.90	2.43	1.16	—	—
	平年値	0.23	0.60	0.48	1.11	0.22	0.04	—	—

作物名「水稻 普通期晩期」

調査 月	調査対象 病害虫	萎縮病	葉いもち		穂いもち		黄化 萎縮病	縞葉枯 病	白葉枯 病
		発病 株率	発病 株率	発病 度	発病 穂率	発病 度	発病 株率	発病 株率	発病 株率
6	平均値	—	0.00	0.00	—	—	—	—	—
	平年値	—	0.00	0.00	—	—	—	—	—
7	平均値	0.00	1.20	0.30	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.14	0.04	—	—	0.00	0.04	0.00
8	平均値	0.00	1.40	0.35	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	3.49	0.87	—	—	0.00	0.04	0.00
9	平均値	0.00	3.60	0.95	0.02	0.01	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	2.54	0.64	0.22	0.09	0.00	0.12	0.00

調査 月	調査対象 病害虫	もみ枯細菌病		紋枯病		ばか苗 病
		発病 穂率	発病 度	発病 株率	発病 度	発病 株率
6	平均値	—	—	—	—	—
	平年値	—	—	—	—	—
7	平均値	—	—	0.00	0.00	0.00
	平年値	—	—	0.00	0.00	—
8	平均値	—	—	0.20	0.05	0.00
	平年値	—	—	0.02	0.10	—
9	平均値	0.45	0.75	4.80	1.33	0.00
	平年値	0.04	0.08	2.44	0.79	—

調査 月	調査対象 病害虫	カメムシ類	ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	トビイロ ウンカ	セジロ ウンカ	コブノ メイガ	イネミスジウシ	
		頭/25 株	頭/1株	頭/1株	頭/1株	頭/1株	株当 葉巻	被害 度	頭/ 25株
6	平均値	—	0.00	0.00	0.00	0.13	0.00	0.00	0.00
	平年値	—	—	—	—	—	—	0.20	0.00
7	平均値	—	0.00	0.01	0.02	0.14	0.12	—	—
	平年値	—	0.07	0.12	0.00	0.59	0.01	—	—
8	平均値	—	0.05	0.40	0.34	0.17	0.89	—	—
	平年値	—	0.60	1.17	0.18	1.22	0.22	—	—
9	平均値	0.00	0.06	0.63	5.57	0.07	0.73	—	—
	平年値	0.03	0.91	1.07	1.87	0.17	0.16	—	—

作物名「麦類」

調査月	調査対象 病害虫	赤かび病		うどんこ病		さび病類		大麦縞萎縮病	
		発病穂率	発病度	発病莖率	発病度	発病莖率	発病度	発病莖率	発病度
5	平均値	0.22	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

調査月	調査対象 病害虫	大麦斑葉病	アブラムシ類
		発病株率	頭/25茎
5	平均値	0.00	1.06
	平年値	0.33	0.01

作物名「大豆」

調査月	調査対象 病害虫	ウイルス病	葉 焼 病		べ と 病	
		発病株率	発病株率	発病度	発病株率	発病度
8	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.03	2.80	0.70	3.14	0.82
9	平均値	0.00	1.71	0.43	0.57	0.14
	平年値	0.06	18.23	5.39	43.43	10.90
10	平均値	0.00	52.29	20.36	22.00	5.50
	平年値	0.00	68.86	20.96	28.09	7.44

調査月	調査対象 病害虫	カメムシ類	ヨトウムシ類			コガネムシ類	
		頭/10株	頭/10株	被害株率	食害度	被害株率	食害度
8	平均値	0.03	3.13	52.33	14.25	27.67	7.17
	平年値	0.01	1.39	16.57	4.84	42.14	11.63
9	平均値	0.09	1.46	45.43	11.50	56.00	14.00
	平年値	0.09	4.44	33.64	9.32	63.11	18.11
10	平均値	0.11	0.06	36.00	9.14	51.71	13.71
	平年値	0.84	0.17	27.84	8.64	72.31	23.73

(イ) 予察灯における水稲害虫調査

①セジロウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
6	1	0
	2	0
	3	3
	4	9
	5	30
	6	81
7	1	444
	2	462
	3	187
	4	92
	5	39
	6	76
8	1	29
	2	27
	3	5
	4	17
	5	126
	6	5
9	1	633
	2	83
	3	41
	4	17
	5	6
	6	3
10	1	8
	2	0
	3	0
	4	0
	5	2
	6	2
総合計		2,427

②トビイロウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	1
	2	1
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
6	1	0
	2	7
	3	0
	4	0
	5	0
	6	2
7	1	226
	2	402
	3	119
	4	2
	5	7
	6	17
8	1	28
	2	80
	3	13
	4	22
	5	20
	6	30
9	1	1781
	2	323
	3	611
	4	53
	5	18
	6	6
10	1	72
	2	6
	3	28
	4	0
	5	7
	6	1
総合計		3,883

③ヒメトビウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	1
	6	0
6	1	0
	2	0
	3	0
	4	1
	5	1
	6	1
7	1	22
	2	28
	3	18
	4	14
	5	14
	6	20
8	1	44
	2	46
	3	14
	4	10
	5	4
	6	0
9	1	59
	2	20
	3	23
	4	3
	5	0
	6	0
10	1	3
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
総合計		346

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
6	1	1
	2	5
	3	0
	4	7
	5	0
	6	0
7	1	4
	2	7
	3	0
	4	24
	5	4
	6	2
8	1	26
	2	34
	3	13
	4	27
	5	14
	6	0
9	1	8
	2	38
	3	40
	4	32
	5	3
	6	3
10	1	21
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
総合計		313

(ウ) ネットトラップにおける水稲害虫調査

①セジロウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	2
	4	0
	5	0
	6	0
6	1	0
	2	0
	3	21
	4	29
	5	10
	6	16
7	1	8
	2	69
	3	10
	4	4
	5	1
	6	3
8	1	0
	2	3
	3	1
	4	1
	5	0
	6	6
9	1	0
	2	2
	3	0
	4	0
	5	0
	6	2
10	1	2
	2	2
	3	10
	4	8
	5	1
	6	1
総合計		212

②トビイロウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
6	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	2
7	1	1
	2	10
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
8	1	0
	2	0
	3	1
	4	0
	5	0
	6	2
9	1	1
	2	0
	3	1
	4	2
	5	15
	6	5
10	1	20
	2	48
	3	107
	4	59
	5	6
	6	15
総合計		295

③ヒメトビウンカ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	1
	5	7
	6	13
6	1	6
	2	5
	3	1
	4	0
	5	1
	6	1
7	1	4
	2	4
	3	2
	4	1
	5	0
	6	9
8	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
9	1	0
	2	0
	3	0
	4	1
	5	4
	6	3
10	1	9
	2	36
	3	18
	4	6
	5	1
	6	1
総合計		134

④ツマグロヨコバイ

月	半旬	合志市
4	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
5	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	1
6	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
7	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
8	1	0
	2	0
	3	1
	4	0
	5	0
	6	0
9	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	1
	6	1
10	1	0
	2	0
	3	0
	4	0
	5	0
	6	0
総合計		4

(エ)フェロモントラップにおける水稻害虫調査

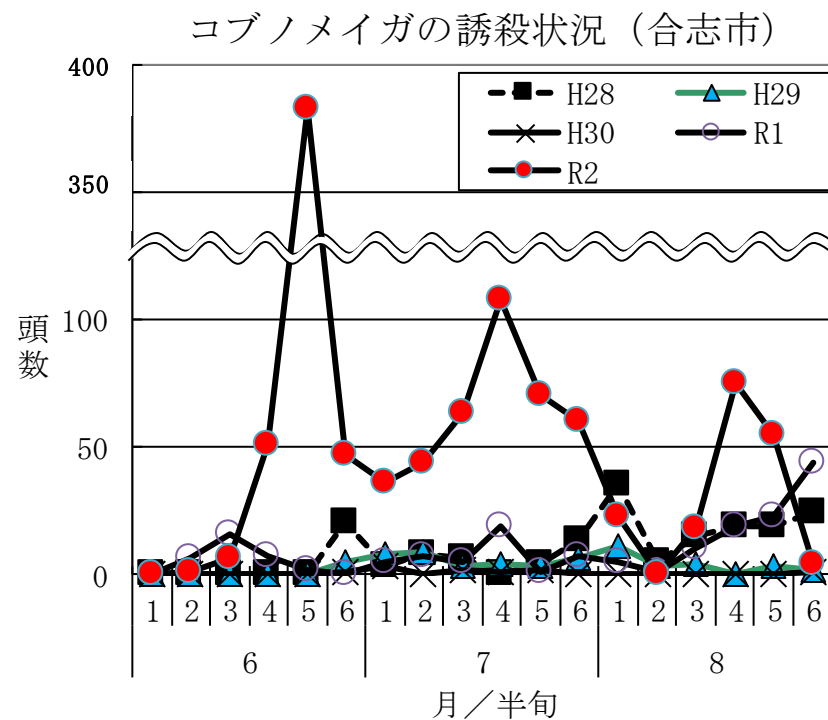
コブノメイガのフェロモントラップでの誘殺数

調査地点： 合志市

調査機関： 病虫害防除所

(コーントラップ・2カ所合計)

月	半旬	H28	H29	H30	R1	R2
6	1	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	6	1
	3	0	0	0	16	6
	4	0	0	0	7	51
	5	0	0	0	2	383
	6	20	5	1	0	47
7	1	3	8	3	5	36
	2	8	9	0	7	44
	3	6	3	2	5	63
	4	0	4	1	19	108
	5	4	3	2	1	70
	6	13	6	0	7	60
8	1	35	11	0	5	23
	2	5	3	0	1	0
	3	15	4	0	10	18
	4	19	0	0	19	75
	5	19	3	0	23	55
	6	24	2	1	44	4
計		171	61	10	177	1,044



(オ)無防除田におけるウンカ類の調査

1. 調査場所 合志市 生産環境研究所ほ場 ほ場面積 4a
2. 耕種概要
 - 1) 品種 ヒノヒカリ
 - 2) 移植 5月14日
3. 調査方法 25×18cmの粘着板に1区30株、2回叩きでウンカ・ヨコバイ類を払い落とし法で調査した。2反復で行った。
4. 調査結果

第1表 ウンカ、ヨコバイ類の発生状況

調査日		6月5日	6月15日	6月24日	7月4日	7月15日	7月22日	8月5日	8月14日	8月24日	9月4日	
セジロウンカ	成虫	長翅♂	0	16.5	5	1	35	7	0	0	0	0
		長翅♀	0.5	32.5	15	4	42	14	3	0	3	0
		短翅♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		短翅♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	幼虫	老齢	0	0	0	145	71	13	4	5	0	0
		中齢	0	0	9	532	36	11	5	2	12	0
		若齢	0	1.5	847	241	23	3	4	2	18	0
合計	0.5	50.5	876	923	207	48	16	9	33	0		
ヒメトビウンカ	成虫	長翅♂	0	1	1	7	2	0	3	3	0	6
		長翅♀	0	2	2	8	4	0	3	1	6	3
		短翅♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		短翅♀	0	0	0	1	1	2	9	1	3	0
	幼虫	老齢	0	0	0	17	3	6	5	8	33	18
		中齢	0	0	8	66	13	31	20	46	165	6
		若齢	0	5	56	81	12	21	18	34	15	3
合計	0	8	67	180	35	60	58	93	222	36		
トビイロウンカ	成虫	長翅♂	0	0	0	6	1	0	74	51	270	741
		長翅♀	0	0	0	4	13	7	16	50	180	798
		短翅♂	0	0	0	0	0	0	78	18	0	0
		短翅♀	0	0	0	0	2	2	151	147	39	33
	幼虫	老齢	0	0	0	0	0	7	132	148	3903	2649
		中齢	0	0	0	1	4	83	147	771	14568	1533
		若齢	0	0	3	3	49	402	99	2592	1815	102
合計	0	0	3	14	69	501	697	3777	20775	5856		
ツマグロヨコバイ	成虫	♂	0.5	0	0	9	14	6	0	2	6	6
		♀	0	3.5	4	10	34	13	3	10	6	0
	幼虫	1	16.5	256	222	46	10	89	14	84	105	
	合計	1.5	20	260	241	94	29	92	26	96	111	

注：粘着板払い落とし虫数の30株調査2反復合計値

(カ) イネ縞葉枯病の保毒虫率調査(令和2年5月)

No.	地点名	検定数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
1	玉名市小島	100	0	0.0
2	山鹿市鹿央町	100	0	0.0
3	菊池市赤星	100	0	0.0
4	大津町陣内	55	0	0.0
5	嘉島町上六嘉	100	0	0.0
6	甲佐町下横田	100	2	2.0
7	氷川町若洲	100	0	0.0
8	錦町木上	22	0	0.0
9	あさぎり町上	15	2	13.3
10	多良木町久米	8	0	0.0
11	農業研究センター	100	1	1.0
合 計		800	5	0.6
昨年値 (12地点の平均値)				0.4
平年値 (過去10年の平均)				2.3

※1 採集地の植物は小麦である。

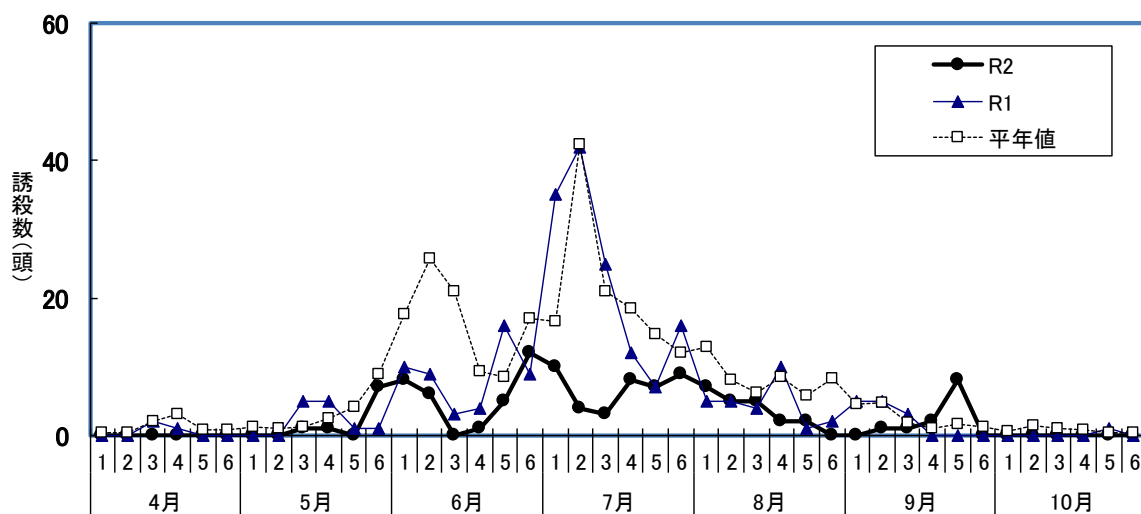
※2 検定は簡易ELISA法、平年値は高比重ラテックス凝集反応法 (H22～H26) と簡易ELISA法 (H27～R1) による検定結果をもとに算定。

(キ) イグサシムシガ半旬別誘殺数

アグリシステム総合研究所

月	半旬	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平年値	R2
4月	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0.4	0
	2	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.3	0
	3	1	0	0	0	0	13	2	0	3	2	2.1	0
	4	0	0	1	4	0	25	0	0	0	1	3.1	0
	5	1	0	1	3	0	0	0	2	0	0	0.7	0
	6	0	0	5	0	0	2	2	0	0	0	0.9	0
5月	1	1	0	3	0	2	0	3	3	1	0	1.3	0
	2	2	3	2	0	0	1	2	1	0	0	1.1	0
	3	1	3	0	2	1	0	0	1	0	5	1.3	1
	4	1	6	2	3	1	4	0	1	2	5	2.5	1
	5	2	10	4	4	2	2	2	5	0	12	4.2	0
	6	1	5	27	23	1	19	5	0	8	1	9.0	7
6月	1	14	12	48	71	0	7	10	0	5	10	17.7	8
	2	41	6	136	28	0	10	15	3	10	9	25.8	6
	3	44	17	77	43	3	10	2	7	4	3	21.0	0
	4	11	2	49	11	5	6	0	0	5	4	9.3	1
	5	7	1	17	8	4	5	2	5	19	16	8.4	5
	6	6	10	34	64	19	9	0	3	16	9	17.0	12
7月	1	15	25	16	21	2	13	17	3	18	35	16.5	10
	2	81	74	80	76	1	29	4	5	32	42	42.4	4
	3	67	29	0	16	17	30	3	7	15	25	20.9	3
	4	47	37	0	0	19	22	13	6	28	12	18.4	8
	5	42	39	1	0	0	4	27	5	22	7	14.7	7
	6	25	39	0	0	0	9	18	0	14	16	12.1	9
8月	1	29	25	0	10	0	29	3	19	9	5	12.9	7
	2	13	15	7	11	0	6	0	16	8	5	8.1	5
	3	30	0	13	7	0	0	0	7	1	4	6.2	5
	4	48	8	12	3	1	1	0	0	1	10	8.4	2
	5	22	6	12	4	9	0	3	0	0	1	5.7	2
	6	36	13	15	1	7	0	6	3	0	2	8.3	0
9月	1	7	10	15	0	1	0	6	1	0	5	4.5	0
	2	16	8	9	4	0	0	6	0	0	5	4.8	1
	3	2	4	2	6	0	0	1	0	0	3	1.8	1
	4	5	3	0	3	0	0	0	0	0	0	1.1	2
	5	8	4	0	4	0	0	0	0	0	0	1.6	8
	6	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1.3	0
10月	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.5	0
	2	4	1	7	0	1	0	1	0	0	0	1.4	0
	3	5	2	2	1	0	0	1	0	0	0	1.1	0
	4	2	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0.8	0
	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.4	0
	6	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0.4	0
年計		655	425	597	431	96	260	164	99	233	244	320.4	115

イグサシムシガ予察灯(い業研)



(ク)イグサシムシガ越冬調査結果

八代地域

(調査日：令和3年3月25日)

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数/10m ² (幼虫+蛹)	茎数/株
1	氷川町	中島	100	2	0	1	1	2.8	89.0
2		鹿野	100	1	0	0	0	0.0	68.0
3		鹿島	100	0	0	0	0	0.0	105.0
4	八代市	両出	100	0	1	0	1	2.8	67.0
5		鏡村	100	1	0	0	0	0.0	76.0
6		北新地	100	1	0	0	0	0.0	119.0
7		古閑出	100	1	0	0	0	0.0	79.0
8		太牟田	100	0	0	0	0	0.0	67.0
9		吉王丸	100	0	0	0	0	0.0	100.0
10		松高	100	2	0	0	0	0.0	129.0
11		三江湖	100	4	0	0	0	0.0	69.0
12		日奈久	100	0	0	0	0	0.0	74.0
計			1,200	12	1	1	2	0.5	86.8
平年			2,070	62	20	7	27	3.7	

表1 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率 (%)	発蛾最盛日予測 (実測日)
本年	3月25日	66.7	4月3日
前年	3月25日	54.2	4月9日 (4月8日)
平年	3月26日	24.1	4月17日 (4月15日)

注) 蛹化率:調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式:調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数(傾き)」と「調査日から発蛾最盛日までの日数係数(切片)」を用いた予測式

発蛾最盛日=調査日の蛹化率(%) $\times(-0.269953107)+26.28415628$ +調査日-31日

実測日:予察灯(八代市)で4月に誘殺のピークが見られた日

(ア) 水稻虫害

1. 目的

水稻主要害虫の発生動態を調査し、適期防除の推進と情報システム化の資料とする。

2. 方法

1) 調査場所 菊池郡合志市 生産環境研究所ほ場

2) 耕種概要 中苗機械移植 植栽密度 30cm×18cm 調査圃場面積 1区 90 m²

作 期	品 種	移 植	出穂期
普通期	森のくまさん	6月18日	8月22日

3) 調査方法

払い落とし調査；25×18cmの粘着板に1区30株、2回叩きでウンカ・ヨコバイ類を払い落とし法で調査した。3反復で行った。

[具体的データ]

第1表 ウンカ、ヨコバイ類の発生状況

種類	調査日 移植後日数	7/2 14	7/13 25	7/21 33	8/3 46	8/13 56	8/24 67	9/3 77	9/16 90	9/28 102
トビイロウンカ	♂成虫	1	8	0	73	106	116	2223	223	21
	♀成虫	1	16	7	89	209	171	3288	287	23
	老齢幼虫	0	0	0	122	100	1168	5446	212	202
	若中齢幼虫	0	6	444	281	1314	10193	5218	7872	1314
	合計	2	30	451	565	1729	11648	16175	8594	1560
セジロウンカ	♂成虫	9	14	0	56	2	0	3	0	0
	♀成虫	6	37	4	88	8	7	5	0	0
	老齢幼虫	0	0	23	57	4	11	7	0	0
	若中齢幼虫	3	441	1079	56	28	50	6	0	0
	合計	18	492	1106	257	42	68	21	0	0
ヒメトビウンカ	♂成虫	1	2	0	1	3	10	19	0	0
	♀成虫	2	0	7	9	6	15	15	4	0
	老齢幼虫	0	0	1	6	8	15	19	0	1
	若中齢幼虫	0	6	89	37	58	78	41	15	0
	合計	3	8	97	53	75	118	94	19	1
ツマグロヨコバイ	♂成虫	0	0	0	9	7	10	26	27	2
	♀成虫	0	0	0	9	21	16	36	40	7
	老齢幼虫	0	0	2	32	10	47	142	36	14
	若中齢幼虫	1	19	67	78	152	348	238	178	53
	合計	1	19	69	128	190	421	442	281	76

注：粘着板払い落とし虫数の30株調査3反復合計値

3. 結果の概要・要約

1) トビイロウンカの水田での発生は、7月13日（移植25日後）に幼虫が初確認された。

その後増加し、9月3日（移植77日後）には179.7頭/株と多発生であった。

- 2) セジロウンカの水田での発生は、7月2日（移植14日後）に成幼虫が確認された。その後増加し、成虫は8月3日（移植46日後）に1.6頭/株、幼虫は7月21日（移植33日後）に12.2頭/株のピークが認められた。
- 3) ヒメトビウンカの水田での発生は、7月13日（移植25日後）に幼虫が初確認された。その後増加し、成虫は9月3日（移植77日後）に0.4頭/株、幼虫は8月24日（移植67日後）1.0頭/株のピークが認められた。
- 4) ツマグロヨコバイの水田での発生は、7月2日（移植14日後）から発生が認められ、9月3日（移植77日後）に成幼虫数が4.9頭/株と最大となり、その後は減少した。

(4) 果樹病害虫発生予察事業 (茶を含む)

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名 カンキツ

調査月	調査対象	そうか病		かいよう病		黒点病	ハダニ類		チャノキロアザミヤ	アブラムシ類
		発病葉率	発病果率	発病葉率	発病果率	発病果率	寄生葉率	頭/10葉	被害果率	寄生新梢率
4月	本年値	0.0	-	-	-	-	8.4	1.6	-	0.0
	前年値	0.0	-	-	-	-	2.2	0.4	-	0.2
	平年値	0.0	-	-	-	-	1.8	0.3	-	0.0
5月	本年値	0.0	-	0.6	-	-	3.5	0.5	-	0.2
	前年値	0.0	-	0.0	-	-	3.6	0.6	-	0.2
	平年値	0.4	-	0.0	-	-	3.3	0.6	-	0.9
6月	本年値	0.3	0.0	0.6	0.0	0.0	8.8	1.6	0.0	0.0
	前年値	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	15.1	4.3	0.0	0.0
	平年値	0.1	0.0	0.5	0.0	0.0	14.3	8.5	0.0	0.2
7月	本年値	0.0	1.5	1.0	1.0	1.2	9.3	3.1	0.4	0.0
	前年値	0.2	1.7	2.2	0.0	2.0	7.4	1.4	0.1	0.1
	平年値	0.1	0.2	0.6	0.0	0.9	4.8	1.7	0.1	0.2
8月	本年値	-	-	2.6	2.2	4.6	4.1	1.0	0.2	-
	前年値	-	-	0.2	1.2	3.2	0.6	0.1	0.4	-
	平年値	-	-	0.4	0.3	1.9	2.6	0.7	0.3	-
9月	本年値	-	-	0.8	4.6	5.8	0.6	0.1	0.5	-
	前年値	-	-	0.2	3.2	6.2	9.1	1.5	1.1	-
	平年値	-	-	0.3	0.5	2.2	3.7	1.0	0.7	-
10月	本年値	-	-	-	-	-	1.2	0.1	-	-
	前年値	-	-	-	-	-	11.1	2.3	-	-
	平年値	-	-	-	-	-	2.3	0.5	-	-
2月	本年値	0.2	0.0	1.2	0.0	-	13.3	3.7	-	-
	前年値	0.0	0.0	1.0	0.0	-	13.7	5.2	-	-
	平年値	0.0	0.0	0.3	0.0	-	2.4	0.7	-	-
3月	本年値	0.0	-	1.4	-	-	16.2	8.6	-	-
	前年値	0.3	-	0.6	-	-	14.4	3.9	-	-
	平年値	0.1	-	0.2	-	-	2.1	0.5	-	-

作物名 ナシ

調査月	調査対象	黒星病	赤星病	うどんこ病	ハダニ類	アブラムシ類
	調査項目	発病葉率	発病葉率	発病葉率	寄生梢率	寄生葉率
4月	本年値	0.0	0.0	-	-	0.0
	前年値	0.0	0.0	-	-	0.7
	平年値	0.0	1.0	-	-	0.3
5月	本年値	1.0	0.0	-	0.0	1.0
	前年値	1.3	0.0	-	0.0	0.7
	平年値	0.7	0.5	-	0.0	0.6
6月	本年値	6.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	前年値	1.3	0.3	0.0	0.7	0.0
	平年値	0.7	1.5	0.0	0.2	1.0
7月	本年値	11.3	-	0.0	1.0	-
	前年値	1.7	-	0.0	0.3	-
	平年値	0.8	-	0.0	1.7	-
8月	本年値	5.3	-	0.0	2.3	-
	前年値	0.7	-	0.0	14.3	-
	平年値	0.8	-	0.0	8.0	-

作物名 茶

調査月	対象病害虫	炭疽病	もち病	網もち病	輪斑病	ハダニ類	スリップス類
	調査項目	病葉 / m ²	病葉 / m ²	病葉 / m ²	病葉 / m ²	寄生葉率	寄生葉率
4	平均値	—	—	—	—	9.25	0.25
	昨年値	—	—	—	—	0.25	0.00
	平年値	—	—	—	—	2.93	0.35
5	平均値	2.50	0.00	0.00	0.00	6.75	0.25
	昨年値	0.63	0.00	0.00	0.13	1.75	1.50
	平年値	1.59	0.29	0.00	0.01	2.71	1.85
6	平均値	2.38	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
	昨年値	1.13	0.00	0.00	0.25	1.25	0.50
	平年値	2.40	0.03	0.00	0.58	2.53	5.16
7	平均値	21.25	0.00	0.00	0.00	0.75	0.50
	昨年値	2.75	0.00	0.00	0.50	0.00	0.25
	平年値	10.24	0.09	0.00	0.18	0.48	1.93
8	平均値	4.75	0.00	0.00	0.13	2.50	1.00
	昨年値	1.75	0.00	0.00	0.25	0.13	1.25
	平年値	6.04	0.01	0.00	2.00	1.54	2.15
9	平均値	8.50	0.00	0.00	—	6.75	0.50
	昨年値	3.25	0.00	0.00	—	13.25	1.50
	平年値	4.84	0.01	0.00	—	2.95	1.40
10	平均値	—	—	—	—	0.50	—
	昨年値	—	—	—	—	7.25	—
	平年値	—	—	—	—	2.40	—
2	平均値	—	—	—	—	3.25	—
	昨年値	—	—	—	—	2.50	—
	平年値	—	—	—	—	1.45	—
3	平均値	—	—	—	—	2.50	—
	昨年値	—	—	—	—	5.50	—
	平年値	—	—	—	—	2.23	—

調査月	対象病害虫	チャノミドリ ヒメヨコバイ		ツマグロア カスミカメ	チャノホソガ	チャノカクモン ハマキ	チャハマキ	クワシロ カイガラムシ
		寄生葉率	被害芽数 /m ²	被害芽数 /m ²	三角巻 数/m ²	巻葉数 /m ²	巻葉数 /m ²	寄生葉率
4	平均値	0.13	0.75	4.25	0.38	0.13	0.38	8.57
	昨年度	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	5.02
	平年度	0.15	0.10	0.31	0.00	0.13	0.03	5.27
5	平均値	0.75	2.13	22.00	1.00	0.00	0.00	6.25
	昨年度	0.00	1.00	0.63	0.00	2.50	0.00	15.75
	平年度	0.20	1.17	5.91	0.04	0.25	0.08	4.36
6	平均値	4.75	3.00	10.50	1.38	0.13	1.63	24.88
	昨年度	1.25	0.75	1.63	0.00	0.00	0.75	21.88
	平年度	2.41	0.80	2.40	0.18	0.55	0.10	15.62
7	平均値	5.00	1.50	2.38	0.50	0.00	0.75	6.25
	昨年度	1.75	1.50	1.63	0.00	6.38	2.13	6.88
	平年度	2.58	2.05	0.84	0.99	1.43	0.50	7.25
8	平均値	2.25	3.75	3.38	2.00	0.50	0.88	5.63
	昨年度	0.50	2.50	2.88	0.38	2.38	2.00	18.13
	平年度	1.95	0.96	0.53	0.09	0.66	0.55	5.96
9	平均値	1.75	6.75	—	2.25	0.50	0.88	1.25
	昨年度	0.75	3.25	—	9.13	0.88	3.25	0.00
	平年度	1.09	1.54	—	2.73	0.30	0.39	1.40
10	平均値	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—
	平年度	—	—	—	—	—	—	—
2	平均値	—	—	—	—	—	—	—
	昨年度	—	—	—	—	—	—	—
	平年度	—	—	—	—	—	—	—
3	平均値	—	—	—	—	—	—	13.13
	昨年度	—	—	—	—	—	—	12.50
	平年度	—	—	—	—	—	—	7.44

(イ) チャバネアオカメムシの誘殺状況
(合志市・フェロモントラップ)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数										H22~R1 平年値			
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22				
4	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	3	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4	1		
	4	0	0	1	0	0	3	0	4	1	0	0	0	1		
	5	0	4	8	0	0	1	0	0	10	0	0	0	2		
	6	4	1	0	2	1	3	2	0	0	0	0	0	1		
5	1	76	0	25	1	1	2	0	0	10	0	0	4			
	2	39	5	1	5	4	16	7	3	0	0	55	10			
	3	73	3	30	1	3	12	16	12	4	3	1	9			
	4	117	0	159	0	6	10	8	6	1	2	12	20			
	5	36	0	11	1	3	1	2	11	8	4	8	5			
	6	84	2	22	0	3	13	14	5	12	1	2	7			
6	1	180	5	74	3	2	21	87	14	5	20	27	26			
	2	287	6	3	0	8	3	47	25	5	6	36	14			
	3	82	2	95	4	13	16	10	48	22	0	39	25			
	4	168	4	73	6	10	4	15	68	2	1	7	19			
	5	199	4	97	1	6	33	27	21	21	70	36	32			
	6	294	3	111	9	2	10	12	7	8	23	53	24			
7	1	94	1	204	75	7	3	32	39	37	3	64	47			
	2	438	1	108	12	2	17	17	10	5	2	16	19			
	3	217	0	149	4	0	30	3	9	2	3	4	20			
	4	424	0	297	2	0	6	4	14	4	0	14	34			
	5	836	0	87	2	1	18	7	9	1	0	13	14			
	6	1,526	0	111	1	0	19	3	3	10	1	11	16			
8	1	1,441	0	43	3	1	25	5	8	3	0	6	9			
	2	138	0	66	1	1	16	2	9	4	0	4	10			
	3	458	1	30	2	1	7	9	3	1	0	5	6			
	4	188	2	10	1	1	6	10	4	6	1	9	5			
	5	22	1	0	2	0	13	2	2	4	0	15	4			
	6	23	3	3	2	0	7	3	2	10	0	0	3			
9	1	18	8	3	10	1	6	9	7	3	0	2	5			
	2	3	16	0	4	3	4	4	9	2	1	3	5			
	3	2	22	0	15	0	2	4	14	2	0	1	6			
	4	1	18	3	5	0	2	4	10	1	0	1	4			
	5	1	2	1	6	0	6	4	22	1	0	1	4			
	6	1	34	1	18	1	1	2	6	0	0	0	6			
10	1	5	26	2	54	12	0	2	4	1	1	5	11			
	2	0	14	1	23	1	0	2	4	1	0	0	5			
	3	2	16	1	18	2	1	0	2	2	1	0	4			
	4	0	5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1			
	5	1	24	0	3	0	2	4	1	0	0	0	3			
	6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0			
合計		7,469	226	1,831	295	99	345	381	415	209	143	455	440			

(天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数										H22~R1 平年値			
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22				
4	1	0	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11		
	2	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5		
	3	1	-	64	-	-	-	-	-	-	-	-	0	32		
	4	1	-	4	0	-	-	-	6	-	-	-	0	3		
	5	1	45	417	0	-	2	-	1	63	1	0	66			
	6	10	0	182	0	51	330	31	4	25	24	0	65			
5	1	788	0	13	24	15	245	5	0	25	54	471	85			
	2	243	0	136	0	2	28	3	9	78	315	52	62			
	3	346	0	1,961	1	5	148	0	18	2	72	6	221			
	4	711	0	1,336	0	4	586	6	13	3	376	44	237			
	5	630	0	1,376	5	6	135	6	14	4	104	102	175			
	6	337	14	837	6	3	248	5	1	7	29	10	116			
6	1	431	17	394	6	2	75	12	28	2	69	3	61			
	2	2,091	7	608	2	0	57	12	29	26	56	2	80			
	3	250	2	91	13	1	340	5	140	28	36	5	66			
	4	430	5	313	8	4	32	4	98	42	20	0	53			
	5	1,537	7	1,208	24	8	96	8	30	10	561	2	195			
	6	1,764	2	2,974	51	5	466	1	74	29	192	2	380			
7	1	405	0	2,553	21	15	256	0	223	24	118	4	321			
	2	872	2	1,363	5	5	2,331	0	1,151	5	214	5	508			
	3	358	0	2,982	2	1	1,361	2	2,164	0	43	1	656			
	4	11,839	0	3,361	0	0	809	0	1,336	1	15	2	552			
	5	2,612	0	2,806	0	0	1,425	0	1,207	0	22	3	546			
	6	9,723	0	1,833	9	0	9,231	1	562	0	22	1	1,166			
8	1	8,401	0	509	0	0	2,122	0	362	0	2	5	300			
	2	4,456	0	316	0	4	831	1	494	0	8	4	166			
	3	2,144	0	230	0	1	416	2	273	1	5	10	94			
	4	1,245	1	22	3	8	303	6	114	3	25	36	52			
	5	535	1	15	21	9	232	1	28	7	63	460	84			
	6	114	0	15	25	0	149	5	12	3	78	213	50			
9	1	18	0	1	10	16	83	6	4	16	20	96	25			
	2	12	0	1	51	12	23	10	0	30	24	676	83			
	3	14	0	3	15	9	8	5	0	45	68	392	55			
	4	2	0	5	5	7	8	1	0	6	37	174	24			
	5	10	0	0	19	11	11	9	1	11	18	29	11			
	6	3	0	1	79	15	7	13	0	9	41	4	17			
10	1	5	1	0	6	20	0	16	0	3	28	2	8			
	2	1	0	4	130	14	0	14	0	5	23	0	19			
	3	2	0	1	55	1	0	1	0	1	61	2	12			
	4	0	0	0	0	7	1	4	0	9	2	0	2			
	5	1	17	0	2	0	0	2	0	1	2	-	3			
	6	2	2	0	7	1	0	3	0	1	1	-	2			
合計		52,346	123	27,951	605	262	22,395	200	8,396	525	2,849	2,818	6,668			

チャバネアオカメムシ

(合志市・予察灯)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数											H22~R1			
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値				
4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	
	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	4	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	5	19	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0	0
	6	0	0	1	2	0	5	0	4	1	0	0	0	1	0	0	1
5	1	35	2	1	4	3	41	4	1	5	1	102	16				
	2	27	5	0	10	8	7	2	13	20	107	24	20				
	3	99	12	12	5	9	17	17	17	1	43	1	13				
	4	134	5	204	3	2	21	14	2	2	10	39	30				
	5	71	0	20	3	2	3	21	20	3	2	25	10				
	6	46	2	34	6	3	10	31	11	7	2	17	12				
6	1	35	5	26	2	0	12	15	11	4	10	43	13				
	2	59	0	65	0	6	2	31	9	6	8	44	17				
	3	27	0	9	6	9	8	13	40	9	4	112	21				
	4	70	1	18	9	6	4	36	36	28	2	206	35				
	5	96	5	62	12	12	21	29	9	4	50	97	30				
	6	55	3	47	22	2	8	14	5	9	17	137	26				
7	1	30	1	56	33	9	9	10	13	4	7	76	22				
	2	66	3	46	5	6	5	15	12	1	15	19	13				
	3	34	2	96	10	3	-	6	12	3	6	28	18				
	4	83	2	55	3	7	11	10	9	9	7	20	13				
	5	99	1	42	5	1	4	21	8	9	9	25	13				
	6	220	4	50	2	2	19	56	51	15	8	46	25				
8	1	169	19	178	21	1	13	195	31	96	25	156	74				
	2	59	17	39	24	7	21	161	125	37	61	97	59				
	3	61	47	55	54	33	15	108	90	72	25	321	82				
	4	33	48	68	64	25	70	105	234	104	55	416	119				
	5	8	131	44	171	40	50	94	115	438	60	257	140				
	6	4	140	28	289	33	43	42	144	182	78	218	120				
9	1	16	272	18	90	40	36	43	15	128	14	136	79				
	2	11	298	9	74	46	20	72	133	61	43	123	88				
	3	10	308	12	105	9	14	30	188	22	76	91	86				
	4	1	110	22	159	17	5	13	141	19	12	144	64				
	5	4	67	6	113	53	34	38	138	9	8	23	49				
	6	3	430	0	435	29	6	12	38	12	40	4	101				
10	1	31	216	4	125	52	1	3	28	2	0	18	45				
	2	2	94	21	181	15	0	10	46	42	0	8	42				
	3	4	25	2	64	2	0	3	5	2	0	12	12				
	4	0	25	0	3	8	0	1	2	3	0	3	5				
	5	0	23	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3			
	6	0	2	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	1			
合計		1,702	2,330	1,372	2,124	501	537	1,276	1,756	1,370	805	3,093	1,518				

(天草市・予察灯)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数											H22~R1		
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値			
4	1	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-	-	0			
	2	0	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	5			
	3	0	-	58	-	-	-	-	-	-	-	0	0	19		
	4	0	-	4	0	-	-	-	6	6	0	7	4			
	5	0	33	650	0	-	0	-	0	4	0	5	87			
	6	16	3	46	0	60	221	6	33	11	1	0	38			
5	1	782	0	100	74	7	650	3	0	40	4	207	109			
	2	2,110	2	112	2	4	99	11	66	79	1,650	80	211			
	3	344	9	3,542	23	17	1,026	0	183	9	561	23	539			
	4	2,447	18	2,037	1	1	1,443	9	140	6	534	96	429			
	5	1,713	6	1,731	11	4	176	4	148	7	167	383	264			
	6	687	12	987	3	0	186	10	137	16	15	28	139			
6	1	2,714	31	278	7	0	81	16	76	16	43	14	56			
	2	865	5	1,032	1	1	81	15	22	23	43	22	125			
	3	972	4	88	2	3	253	4	178	29	13	64	64			
	4	643	5	755	6	3	36	4	196	68	41	106	122			
	5	1,860	6	1,394	45	10	121	10	31	46	394	22	208			
	6	4,464	11	2,974	43	1	496	2	72	55	206	104	396			
7	1	6,930	3	3,654	69	11	155	2	362	26	118	85	449			
	2	7,493	2	1,857	21	0	2,259	1	770	18	135	24	509			
	3	7,373	5	1,880	10	2	1,027	1	1,043	21	17	18	402			
	4	30,043	6	2,532	3	1	815	6	1,125	17	13	18	454			
	5	21,456	11	3,506	5	1	1,811	9	1,546	11	22	25	695			
	6	11,015	9	2,423	9	0	3,073	11	1,236	13	31	342	715			
8	1	5,897	20	1,080	16	4	1,596	16	565	39	73	582	399			
	2	2,383	33	579	66	17	943	45	817	74	161	545	328			
	3	1,128	47	360	62	45	355	101	709	140	276	7,557	965			
	4	608	361	349	287	78	261	210	390	337	1,555	6,000	983			
	5	539	697	226	1,310	167	280	635	200	734	1,639	3,880	977			
	6	271	1,070	285	2,127	118	109	931	126	1,090	890	1,672	842			
9	1	125	1,889	87	589	322	62	628	78	1,838	211	1,930	763			
	2	82	2,967	61	1,251	168	45	466	341	1,191	276	6,483	1,325			
	3	64	1,561	96	496	79	6	120	126	718	437	4,132	777			
	4	23	121	50	1,224	22	13	50	13	210	246	4,124	607			
	5	12	147	21	1,279	38	10	129	37	242	10	1,771	368			
	6	4	468	3	1,398	30	18	55	7	91	73	611	275			
10	1	7	1,326	1	994	136	3	56	4	42	8	407	298			
	2	4	951	5	1,131	21	0	27	21	14	3	191	236			
	3	12	199	0	368	0	0	3	2	0	20	98	69			
	4	0	35	0	6	9	0	0	0	5	3	59	12			
	5	0	24	0	2	4	0	7	0	6	2	-	5			
	6	5	2	0	9	2	0	3	0	8	0	-	3			
合計		115,091	12,099	34,848	12,950	1,386	17,710	3,606	10,806	7,300	9,891	41,715	15,269			

(ウ) ツヤアオカメムシの誘殺状況

(合志市・フェロモントラップ)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数										H22~R1 平年値	
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22		
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0
	3	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	8	0	3	0	0	2	2	0	0	0	2	1	0
	5	2	0	2	1	0	1	0	1	0	0	2	1	0
	6	2	0	3	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0
6	1	4	0	0	1	0	2	3	0	0	0	2	1	0
	2	8	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	1	0
	3	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0
	3	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	0	1	0
	4	1	0	1	1	0	2	1	1	0	0	0	1	0
	5	4	2	1	1	0	5	2	2	0	0	1	1	0
	6	9	5	2	8	1	4	1	2	0	0	0	2	0
10	1	10	4	4	37	2	1	4	7	4	2	7	7	0
	2	4	4	2	28	1	1	4	4	1	2	0	5	0
	3	4	6	1	10	4	0	2	4	0	2	1	3	0
	4	0	1	0	0	14	0	0	1	0	1	0	2	0
	5	0	25	0	5	1	0	3	5	0	2	1	4	0
	6	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		109	49	25	92	24	25	30	30	5	10	23	31	0

(天草市・フェロモントラップ)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数										H22~R1 平年値	
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22		
4	1	0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	2	0	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
	3	0	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	4	0	-	0	0	-	-	-	12	-	-	0	0	3
	5	0	1	58	0	-	0	-	1	7	0	0	0	8
	6	1	0	23	0	12	55	5	10	8	4	0	0	12
5	1	88	0	5	4	5	59	14	0	10	2	32	13	0
	2	81	0	55	0	1	14	6	23	63	23	46	23	0
	3	23	0	184	1	0	160	12	22	7	4	4	39	0
	4	194	0	98	1	1	192	14	17	1	43	14	38	0
	5	112	1	189	10	0	36	9	33	8	31	24	34	0
	6	68	1	270	3	0	73	1	5	20	27	3	40	0
6	1	166	0	47	1	0	55	0	2	3	22	0	13	0
	2	232	0	63	0	0	22	0	11	3	29	0	13	0
	3	21	0	0	0	0	13	0	4	0	7	0	2	0
	4	8	1	0	0	0	1	0	6	0	0	0	1	0
	5	11	0	10	10	0	1	3	2	0	4	0	3	0
	6	20	0	15	3	0	4	0	0	0	2	0	2	0
7	1	8	0	23	1	0	1	0	3	0	1	0	3	0
	2	10	0	17	0	0	11	0	1	1	3	0	3	0
	3	51	0	57	0	0	5	0	47	0	1	0	11	0
	4	104	0	76	0	0	8	0	36	0	0	0	12	0
	5	60	0	45	0	0	27	0	18	0	0	0	9	0
	6	50	0	32	0	1	412	0	12	0	0	0	46	0
8	1	90	0	9	0	0	42	0	5	1	0	0	6	0
	2	31	0	1	0	0	10	0	4	0	0	0	2	0
	3	14	0	0	0	0	3	0	2	0	0	0	1	0
	4	4	0	2	0	0	7	0	2	0	0	0	1	0
	5	3	0	0	0	0	6	0	1	0	0	1	1	0
	6	4	0	0	0	0	13	0	4	0	2	1	2	0
9	1	0	0	1	0	0	21	0	1	0	0	6	3	0
	2	3	0	0	1	0	5	0	1	0	1	12	2	0
	3	2	0	0	3	1	4	0	0	0	18	26	5	0
	4	0	0	1	3	12	15	0	0	0	19	88	14	0
	5	0	0	0	3	21	17	2	1	3	13	12	7	0
	6	2	2	0	9	5	3	8	0	1	75	5	11	0
10	1	3	4	2	0	18	0	45	0	4	30	2	11	0
	2	0	0	2	0	16	1	25	0	6	69	0	12	0
	3	0	1	0	1	5	0	0	0	3	89	3	10	0
	4	1	1	0	0	12	0	3	0	3	11	0	3	0
	5	1	21	0	1	7	0	6	0	1	6	-	5	0
	6	0	3	0	9	4	0	7	0	1	4	-	3	0
合計		1,466	36	1,300	64	121	1,296	160	286	154	540	279	440	0

ツヤアオカメムシ
(合志市・予察灯)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数											H22~R1	
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値		
4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
5	1	15	3	0	5	1	8	1	0	0	0	0	26	4	
	2	33	0	4	0	8	3	9	0	0	0	67	9		
	3	27	22	12	4	7	35	30	2	1	1	5	12		
	4	92	54	117	2	3	23	39	5	0	1	66	31		
	5	46	5	16	2	1	3	59	8	1	0	25	12		
	6	20	4	80	6	3	14	27	7	0	0	31	17		
6	1	54	36	25	12	4	26	22	14	9	2	36	19		
	2	93	32	71	0	16	22	42	6	5	2	104	30		
	3	28	2	21	10	7	23	10	27	25	0	146	27		
	4	9	3	33	11	0	10	15	5	2	2	120	20		
	5	17	3	10	7	1	8	7	0	0	8	34	8		
	6	35	2	6	16	1	8	6	2	0	1	45	9		
7	1	17	0	30	20	2	1	8	1	0	1	7	7		
	2	16	0	25	4	2	24	26	1	1	1	11	10		
	3	18	1	33	1	1	-	7	2	0	0	4	5		
	4	27	1	30	4	2	29	4	0	2	0	3	8		
	5	36	1	27	1	0	12	9	1	0	1	12	6		
	6	35	24	17	13	2	36	84	21	8	2	52	26		
8	1	21	47	116	102	3	14	191	18	50	13	133	69		
	2	25	102	39	35	3	60	28	34	30	22	131	48		
	3	28	163	32	41	10	15	41	12	20	4	130	47		
	4	7	23	32	30	3	30	42	23	14	13	146	36		
	5	6	8	17	16	10	14	39	55	19	2	89	27		
	6	8	13	14	15	7	13	21	19	6	9	60	18		
9	1	7	35	31	16	8	60	42	5	10	0	122	33		
	2	3	107	3	34	7	61	15	17	16	5	118	38		
	3	1	53	69	57	3	71	40	37	9	6	91	44		
	4	2	21	41	176	1	72	14	32	4	4	174	54		
	5	46	21	12	134	62	105	78	191	11	6	50	67		
	6	8	358	10	197	123	35	41	52	4	17	31	87		
10	1	14	251	13	95	68	3	23	66	19	1	74	61		
	2	10	137	68	124	80	6	43	131	17	2	16	62		
	3	7	49	3	32	33	1	4	28	5	3	36	19		
	4	1	66	9	10	36	3	11	9	13	4	18	18		
	5	4	63	1	6	10	2	5	5	0	3	18	11		
	6	0	9	0	1	12	0	0	0	0	0	0	1	2	
合計		817	1,723	1,067	1,240	540	853	1,083	836	301	136	2,233	1,002		

(天草市・予察灯)

月	半旬	R2	トラップの誘殺数											H22~R1
			R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値	
4	1	0	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	2	0	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
	3	0	-	20	-	-	-	-	-	-	-	0	0	7
	4	22	-	1	0	-	-	-	-	72	11	0	23	18
	5	3	109	204	0	-	0	-	0	25	0	7	43	
	6	2	41	14	0	19	250	47	42	35	6	1	46	
5	1	849	1	234	144	2	139	33	0	48	3	44	65	
	2	671	1	286	8	6	173	21	185	58	381	83	120	
	3	620	32	728	49	5	1,074	14	236	25	110	5	228	
	4	2,668	122	972	10	1	628	145	281	16	69	178	242	
	5	778	12	1,043	55	6	102	29	194	35	50	123	165	
	6	590	32	926	84	0	296	23	295	75	17	14	176	
6	1	1,279	51	355	207	1	109	43	167	57	24	14	103	
	2	1,230	11	1,221	21	1	124	41	93	58	50	39	166	
	3	873	6	166	47	14	154	15	774	34	19	42	127	
	4	200	4	314	8	2	57	12	690	42	21	58	121	
	5	312	11	326	41	5	107	11	111	27	133	23	80	
	6	544	6	725	73	1	73	8	131	23	33	44	112	
7	1	443	3	892	160	4	19	6	162	21	14	53	133	
	2	469	2	1,132	61	1	254	4	251	7	25	20	176	
	3	537	1	814	8	2	147	4	220	6	5	6	121	
	4	348	4	321	10	0	343	3	179	6	4	6	88	
	5	73	9	357	9	2	312	12	103	17	5	17	84	
	6	83	21	127	14	7	232	42	104	16	17	180	76	
8	1	36	14	100	25	9	39	267	39	61	29	404	99	
	2	46	11	66	104	12	27	152	36	93	156	244	90	
	3	30	15	95	75	12	19	272	49	104	61	1,296	200	
	4	13	55	185	107	14	11	238	29	68	99	696	150	
	5	10	97	48	191	27	12	174	152	94	94	348	124	
	6	16	94	104	182	27	19	240	190	80	118	474	153	
9	1	8	126	33	154	42	34	104	95	116	19	541	126	
	2	9	315	14	712	61	35	150	140	308	82	722	254	
	3	19	312	59	936	62	25	165	105	318	111	532	263	
	4	6	70	53	2,253	24	69	162	10	82	128	802	365	
	5	16	571	30	2,167	119	43	465	39	162	12	343	395	
	6	3	1,576	5	2,372	51	5	251	39	88	113	253	475	
10	1	3	947	9	2,311	72	3	436	52	72	28	242	417	
	2	10	712	24	2,178	51	2	221	69	93	18	212	358	
	3	4	199	2	1,008	10	0	22	1	48	23	159	147	
	4	3	233	2	48	25	0	15	1	58	13	134	53	
	5	0	111	0	9	4	0	120	4	53	11	-	35	
	6	1	41	0	86	2	1	56	0	50	7	-	27	
合計		12,827	5,978	12,022	15,927	703	4,937	4,023	5,340	2,590	2,108	8,382	6,241	

(エ) 茶害虫のトラップ調査による誘殺状況

チャノホソガフェロモントラップ誘殺数

(農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数										H22～R1	
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
4	1	28	0	1	1	114	35	2	1	3	3	23	18.3
	2	3	1	0	9	22	23	0	0	1	1	9	6.6
	3	1	0	0	0	4	4	1	0	1	1	4	1.5
	4	2	0	0	0	0	0	1	1	0	3	0	0.5
	5	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0.3
	6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0.2
5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.1	
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	3	0	0	0	0	87	50	0	0	0	0	13.7	
	4	8	0	7	2	358	421	0	0	5	0	79.3	
	5	81	5	6	19	984	270	2	40	8	0	44	137.8
	6	299	34	7	135	705	462	107	11	13	35	260	176.9
6	1	306	16	10	40	80	77	24	16	5	45	116	42.9
	2	49	14	3	19	21	10	12	18	4	63	27	19.1
	3	10	15	41	11	42	12	5	8	6	15	9	16.4
	4	3	15	34	9	196	20	2	5	1	6	6	29.4
	5	22	12	43	17	398	49	14	15	12	6	9	57.5
	6	32	35	20	48	327	417	38	37	21	10	146	109.9
7	1	42	126	25	197	152	249	159	31	24	25	282	127.0
	2	65	54	10	233	79	363	133	23	23	8	80	100.6
	3	69	23	7	153	150	44	111	15	18	46	31	59.8
	4	34	110	37	37	349	86	36	16	13	11	4	69.9
	5	64	35	22	22	284	173	52	13	53	20	68	74.2
	6	188	11	17	41	141	334	76	2	106	10	851	158.9
8	1	106	3	4	38	15	211	123	1	32	12	264	70.3
	2	66	0	5	13	40	55	74	3	17	13		24.5
	3	64	1	0	3	27	49	66	1	18	9	19	19.3
	4	32	3	3	1	53	63	56	3	2	5	13	20.2
	5	32	12	0	3	21	26	342	1	3	3	8	41.9
	6	74	6	1	4	3	315	899	0	5	10	9	125.2
9	1	30	3	0	8	4	348	582	0	13	0	2	96.0
	2	14	4	0	6	4	124	521	5	22	1	18	70.5
	3	32	8	11	22	10	61	68	2	19	16	31	24.8
	4	7	18	10	2	12	97	99	1	9	15	5	26.8
	5	13	3	4	5	5	53	53	4	16	8	6	15.7
	6	16	34	4	7	11	181	88	10	28	105	8	47.6
10	1	40	17	3	10	6	554	59	25	18	28	13	73.3
	2	16	54	8	25	35	506	302	15	4	14	7	97.0
	3	55	9	11	28	52	289	213	12	7	17	58	69.6
	4	51	5	5	44	91	529	583	17	9	12	19	131.4
	5	42	59	7	16	90	352	450	8	8	9	52	105.1
	6	34	64	11	15	119	445	343	3	10	16	24	105.0
合計		2,030	809	378	1,243	5,092	7,357	5,698	363	558	602	2,525	2,462.5

チャハマキフェロモントラップ誘殺数

(農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数										H22～R1	
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
4	1	9	0	1	3	5	7	5	7	1	0	3	3.2
	2	8	0	0	20	13	18	0	5	4	0	4	6.4
	3	2	0	0	4	14	7	6	1	12	3	12	5.9
	4	11	0	0	5	11	16	9	9	31	9	2	9.2
	5	0	0	0	7	17	9	4	4	9	0	0	5.0
	6	8	0	0	10	6	7	5	6	0	15	1	5.0
5	1	16	0	0	15	0	7	7	2	35	13	0	7.9
	2	9	0	0	7	25	2	6	4	5	30	4	8.3
	3	4	0	0	2	8	6	6	3	2	4	0	3.1
	4	2	0	0	2	6	1	1	7	1	3	0	2.1
	5	1	0	0	0	2	1	1	1	1	4	1	1.1
	6	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.2
6	1	1	0	0	4	1	0	0	1	2	1	0	0.9
	2	8	1	0	5	4	7	0	0	2	1	1	2.1
	3	12	0	0	4	9	9	0	1	4	0	1	2.8
	4	5	0	0	8	9	15	0	0	2	1	0	3.5
	5	0	0	0	4	5	18	0	2	3	6	0	3.8
	6	2	0	0	5	0	9	0	0	5	7	1	2.7
7	1	7	0	0	26	6	0	1	1	6	12	1	5.3
	2	1	4	1	12	6	7	0	2	9	6	8	5.5
	3	0	0	0	5	0	4	0	0	4	20	8	4.1
	4	0	0	0	1	2	0	3	0	4	2	0	1.2
	5	0	3	0	1	1	1	1	0	0	2	0	0.9
	6	1	0	0	3	2	0	1	0	0	1	0	0.7
8	1	2	0	0	13	3	0	2	0	5	7	9	3.9
	2	4	0	0	10	1	1	1	3	2	8	1	2.7
	3	1	1	0	6	1	0	2	0	1	2	1	1.4
	4	0	0	0	5	0	0	1	0	0	1	0	0.7
	5	0	0	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0.5
	6	0	0	0	0	1	2	2	0	0	0	1	0.6
9	1	3	0	0	3	3	9	1	0	0	9	2	2.7
	2	14	0	0	2	6	4	3	2	2	7	1	2.7
	3	3	0	0	19	11	8	0	1	4	0	1	4.4
	4	4	0	0	2	19	4	2	18	4	5	0	5.4
	5	2	0	0	16	2	1	1	2	1	0	1	2.4
	6	1	0	0	31	22	0	1	3	5	4	1	6.7
10	1	5	1	1	63	22	13	8	13	4	24	4	15.3
	2	8	3	0	27	17	13	15	14	7	31	3	13.0
	3	7	0	0	22	12	14	11	23	9	57	8	15.6
	4	18	0	8	86	16	12	0	20	8	33	13	19.6
	5	10	2	3	29	12	12	5	15	1	24	17	12.0
	6	4	0	4	30	28	17	0	1	3	25	11	11.9
合計		197	15	18	521	328	261	112	172	199	377	121	212.4

チャノココクモンハマキフェロモントラップ誘殺数 (農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数											H22~R1
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
4	1	7	0	0	3	19	51	0	0	0	0	8	8
	2	2	0	0	13	34	40	6	0	0	0	3	10
	3	9	0	8	3	41	65	23	0	0	1	31	17
	4	24	0	3	19	49	172	21	5	4	4	35	31
	5	18	2	1	30	39	25	10	8	0	1	12	13
	6	48	0	1	14	29	29	26	3	1	6	11	12
5	1	44	0	2	19	8	20	21	3	8	6	0	9
	2	13	1	0	7	22	11	11	6	6	18	11	9
	3	4	1	0	4	1	7	2	2	1	2	0	2
	4	1	0	0	4	4	6	4	1	0	4	0	2
	5	0	0	0	6	9	14	0	0	1	0	0	3
	6	6	0	1	4	12	12	0	0	1	0	0	3
6	1	8	0	1	8	16	105	0	2	1	2	0	14
	2	63	1	1	4	16	181	9	3	1	1	1	22
	3	65	1	0	3	37	99	15	10	1	5	18	19
	4	29	2	0	3	33	116	9	8	3	3	1	18
	5	24	1	0	3	7	210	20	7	6	5	6	27
	6	3	1	0	3	6	83	6	4	4	1	1	11
7	1	4	0	0	15	15	18	11	6	2	3	0	7
	2	2	0	0	7	17	33	1	3	2	2	0	7
	3	11	0	1	10	32	67	3	0	1	3	1	12
	4	271	0	0	24	172	199	11	1	0	1	8	42
	5	189	0	0	24	351	72	19	3	2	3	6	48
	6	81	1	0	43	51	90	15	7	10	3	1	22
8	1	35	0	0	20	4	45	34	7	5	7	4	13
	2	19	1	0	0	4	38	9	4	3	1	7	7
	3	9	0	0	2	9	14	10	4	5	2	2	5
	4	16	0	0	7	23	32	19	3	2	1	8	10
	5	57	0	0	9	13	32	23	1	1	3	2	8
	6	69	0	0	28	12	510	23	10	4	0	3	59
9	1	56	0	0	12	0	299	57	7	9	2	1	39
	2	1,328	0	0	28	5	254	55	28	10	3	2	39
	3	236	0	1	67	10	427	35	27	3	1	5	58
	4	41	1	3	4	8	360	135	23	2	7	1	54
	5	16	0	4	41	2	78	27	10	2	1	11	18
	6	7	1	0	54	16	85	14	13	17	11	10	22
10	1	108	0	3	72	37	27	14	19	8	6	11	20
	2	148	3	3	39	80	18	21	12	9	7	16	21
	3	182	3	1	31	72	49	20	12	12	32	15	25
	4	486	9	5	33	106	26	11	13	14	3	10	23
	5	252	13	6	5	25	55	30	20	9	7	16	19
	6	946	3	1	94	6	114	5	7	20	5	15	27
合計		4,936	44	46	819	1,452	4,188	785	302	190	173	293	829

チャノキイロアザミウマ黄色板誘殺数 (農大ほ場)

月	半旬	トラップ誘殺数											H22~R1
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
4	1	0	3	1	1	34	1	2	1	14	8	2	6.7
	2	0	2	0	27	17	1	0	0	20	3	1	7.1
	3	0	0	0	0	5	0	0	0	19	9	2	3.5
	4	0	1	0	10	0	0	0	0	20	7	0	3.8
	5	0	1	0	2	1	0	0	0	8	1	0	1.3
	6	0	0	1	1	1	3	0	1	2	0	0	0.9
5	1	2	0	18	0	0	11	0	2	13	8	0	5.2
	2	2	4	11	1	157	7	12	3	59	4	0	25.8
	3	1	2	1	8	16	6	45	21	25	1	1	12.6
	4	1	15	0	15	12	1	30	38	14	25	23	17.3
	5	1	9	1	18	40	4	26	67	33	75	62	33.5
	6	0	12	0	36	90	36	7	29	211	238	43	70.2
6	1	0	5	1	21	38	86	3	27	54	133	8	37.6
	2	2	6	3	60	52	93	60	68	462	20	27	85.1
	3	15	0	5	62	25	123	56	142	462	32	134	104.1
	4	1	2	3	60	24	127	27	90	96	180	46	65.5
	5	1	18	3	102	6	159	44	46	50	17	18	46.3
	6	16	25	4	179	29	370	47	63	9	105	0	83.1
7	1	15	144	7	140	33	49	71	28	11	23	0	50.6
	2	10	41	3	63	26	86	53	4	14	3	1	29.4
	3	1	11	0	83	34	41	2	4	8	10	0	19.3
	4	2	59	4	57	16	16	7	3	8	1	0	17.1
	5	0	17	5	19	6	4	6	0	16	0	0	7.3
	6	0	10	15	7	8	5	8	1	41	6	0	10.1
8	1	0	10	8	0	1	4	10	0	6	2	1	4.2
	2	0	2	26	0	2	6	4	0	21	0	0	6.1
	3	1	1	11	0	4	2	4	0	14	0	0	3.6
	4	2	8	21	7	6	17	12	0	58	0	0	12.9
	5	0	17	0	7	4	16	8	1	62	0	1	11.6
	6	0	57	38	11	6	74	12	0	37	0	17	25.2
9	1	1	48	54	5	4	11	9	1	166	0	21	31.9
	2	2	5	12	7	2	12	4	0	344	0	101	48.7
	3	5	21	43	9	5	4	1	0	96	1	39	21.9
	4	4	53	60	26	4	6	4	0	11	1	29	19.4
	5	7	10	31	13	6	5	2	0	6	0	149	22.2
	6	0	10	9	12	4	5	2	0	1	6	2	5.1
10	1	4	1	5	5	10	7	1	10	2	4	13	5.8
	2	1	11	10	1	5	11	6	16	0	5	4	6.9
	3	3	5	2	0	8	8	5	6	0	3	17	5.4
	4	0	5	0	2	3	20	4	5	0	0	5	4.4
	5	1	5	1	0	1	25	3	5	0	1	3	4.4
	6	0	1	2	1	1	10	2	0	1	0	1	1.9
合計		100	657	419	1,078	746	1,472	599	682	2,494	932	771	985.0

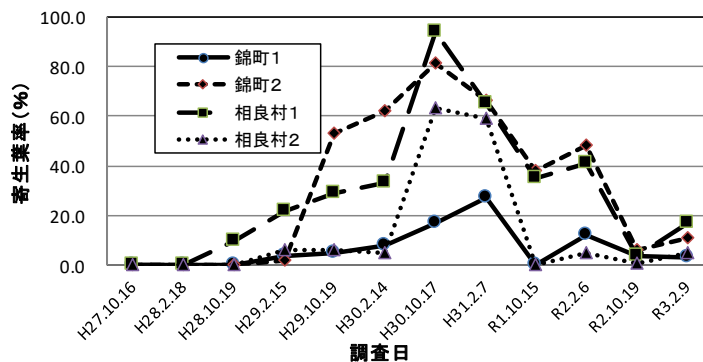
(オ) チャトゲコナジラミ発生状況結果

平成27年10月～令和3年2月

調査茶園	調査日	調査葉数	寄生葉数	寄生葉率 (%)	寄生頭数	10葉当たり寄生頭数 (頭)
錦町1	H27.10.16	100	0	0.0	0.0	0.0
	H28.2.18	100	0	0.0	0.0	0.0
	H28.10.19	100	0	0.0	0.0	0.0
	H29.2.15	100	4	4.0	12.0	1.2
	H29.10.19	100	5	5.0	5.0	0.5
	H30.2.14	100	8	8.0	14.0	1.4
	H30.10.17	100	17	17.0	34.0	3.4
	H31.2.7	100	27	27.0	77.0	7.7
	R1.10.15	100	0	0.0	0.0	0.0
	R2.2.6	100	12	12.0	26.0	2.6
	R2.10.19	100	4	4.0	4.0	0.4
	R3.2.9	100	3	3.0	7.0	0.7
	錦町2	H27.10.16	100	0	0.0	0.0
H28.2.18		100	0	0.0	0.0	0.0
H28.10.19		100	0	0.0	0.0	0.0
H29.2.15		100	2	2.0	7.0	0.7
H29.10.19		100	53	53.0	128.0	12.8
H30.2.14		100	62	62.0	151.0	15.1
H30.10.17		100	81	81.0	235.0	23.5
H31.2.7		100	66	66.0	224.0	22.4
R1.10.15		100	38	38.0	72.0	7.2
R2.2.6		100	48	48.0	112.0	11.2
R2.10.19		100	6	6.0	14.0	1.4
R3.2.9		100	11	11.0	15.0	1.5
相良村1		H27.10.16	100	0	0.0	0.0
	H28.2.18	100	0	0.0	0.0	0.0
	H28.10.19	100	10	10.0	15.0	1.5
	H29.2.15	100	22	22.0	53.0	5.3
	H29.10.19	100	29	29.0	75.0	7.5
	H30.2.14	100	33	33.0	90.0	9.0
	H30.10.17	100	94	94.0	352.0	35.2
	H31.2.7	100	65	65.0	288.0	28.8
	R1.10.15	100	35	35.0	89.0	8.9
	R2.2.6	100	41	41.0	99.0	9.9
	R2.10.19	100	4	4.0	8.0	0.8
	R3.2.9	100	17	17.0	26.0	2.6
	相良村2	H27.10.16	100	0	0.0	0.0
H28.2.18		100	0	0.0	0.0	0.0
H28.10.19		100	0	0.0	0.0	0.0
H29.2.15		100	6	6.0	17.0	1.7
H29.10.19		100	6	6.0	8.0	0.8
H30.2.14		100	5	5.0	13.0	1.3
H30.10.17		100	63	63.0	243.0	24.3
H31.2.7		100	59	59.0	364.0	36.4
R1.10.15		100	0	0.0	0.0	0.0
R2.2.6		100	5	5.0	11.0	1.1
R2.10.19		100	1	1.0	1.0	0.1
R3.2.9		100	5	5.0	11.0	1.1

※1は場当たり中位の50葉を2ヶ所調査

チャトゲコナジラミ寄生葉率の推移



イ 県予察ほ場における調査
 (ア) カンキツ病害虫

1 目的

果樹病害虫の発生予察は、昭和35年から実験事業が開始され、昭和40年から植物防疫法の適用をうけて実施している。果樹病害虫の発生予察情報の作成、予察方法の改善、並びに、新しい予察法作成に必要な資料を得るため調査を行う。

2 方法

病害虫の発生推移を調査して、初発日、発病最盛期、発生終期を明らかにし、発生量を把握した。

対象病害虫：カンキツそうか病、カンキツ黒点病、カンキツかいよう病

ミカンハダニ、カメムシ類、ナシヒメシクイ

そうか病および黒点病は所内無防除「興津早生」、かいよう病は所内無防除「川野夏だいたい」を調査した。

3 調査結果

(1) カンキツ病害の初発日

	そうか病		黒点病	かいよう病	
	春葉	果実	果実	春葉	果実
R2	4/14	5/12	6/8	4/28	6/8
平年	4/19	5/17	6/2	5/18	6/13

※平年：H22～R1(10ヶ年)の平均日

(2) そうか病

1) 春葉におけるそうか病の発生病消長(早生温州)

調査月日	4/15	4/21	4/24	4/28	5/3	5/7	5/12	5/19	5/22	5/27	6/1	
調査葉数	160	200	196	207	184	262	273	276	276	276	276	
葉発 数病	C(無)	157	193	177	193	165	228	228	226	211	199	195
	B(少)	3	6	19	13	15	29	35	30	39	46	50
	A(多)	0	1	0	1	4	5	10	20	26	31	31
発病葉率(%)	1.9	3.5	9.7	6.8	10.3	13.0	16.5	18.1	23.6	27.9	29.3	
発病度	0.4	1.1	1.9	1.7	3.8	4.1	6.2	9.4	12.3	14.6	14.9	

調査月日	6/8	6/12	6/16	6/19	6/26	7/1	7/6	7/10	7/15	7/21	7/29
調査葉数	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276
葉発 数病	C(無)	194	191	189	189	188	188	188	188	188	188
	B(少)	51	54	55	55	55	55	54	54	54	54
	A(多)	31	31	32	32	33	33	34	34	34	34
発病葉率(%)	29.7	30.8	31.5	31.5	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9	31.9
発病度	14.9	15.1	15.6	15.6	15.9	15.9	16.2	16.23	16.2	16.2	16.2

※平年：H22～R1年(10ヶ年)の平均日

2) 果実におけるそうか病の発消長 (早生温州)

調査月日	5/12	5/19	5/22	5/27	6/1	6/8	6/12	6/16	6/19	6/26	7/1	
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
果発 数病	C(無)	47	45	40	24	16	11	10	8	5	1	0
	B(少)	3	5	10	20	25	19	22	18	10	8	7
	A(多)	0	0	0	6	9	20	18	24	35	41	43
発病果率(%)	6.0	10.0	20.0	52.0	68.0	78.0	80.0	84.0	90.0	98.0	100.0	
発病度	1.2	2.0	4.0	20.0	28.0	47.6	44.8	55.2	74.0	85.2	88.8	

調査月日	7/6	7/10	7/15	7/21	7/29	8/3	8/7	8/12	8/20	8/24	8/27
調査葉数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
果発 数病	C(無)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	B(少)	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	A(多)	45	49	50	50	50	50	50	50	50	50
発病葉率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
発病度	92.0	98.4	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※平年:H22~R1年(10ヶ年)の平均日

(3) 黒点病

1) 果実におけるそうか病の発消長 (早生温州)

調査月日	6/2	6/8	6/12	6/16	6/19	6/26	7/1	7/6	7/10	7/15	7/21	7/29	
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発病 程度 葉別 数	無	50	48	46	44	37	16	4	2	1	1	0	0
	軽	0	2	4	6	13	33	41	39	39	32	30	27
	中	0	0	0	0	0	1	4	8	9	16	19	22
	甚	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
	激	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発病果率(%)	0.0	4.0	8.0	12.0	26.0	68.0	92.0	96.0	98.0	98.0	100.0	100.0	
発病度	0.0	0.6	1.1	1.7	3.7	10.3	16.6	19.4	20.3	24.3	26.3	28.0	

調査月日	8/3	8/7	8/12	8/20	8/24	8/27	9/3	9/8	9/14	9/18	9/25	10/1	
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発病 程度 葉別 数	無	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	軽	25	23	23	23	23	23	23	21	19	19	18	17
	中	24	26	25	24	24	24	24	26	28	28	27	28
	甚	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2	3	3
	激	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
発病果率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
発病度	29.7	30.9	31.4	32.0	32.0	32.0	32.0	33.1	34.3	34.3	36.6	37.1	

※平年:H22~R1年(10ヶ年)の平均日

(4) かいよう病

1) 春葉におけるかいよう病の発生病消長 (川野なつだいたい)

調査月日	5/7	5/12	5/19	5/22	5/27	6/1	6/8	6/12	6/16	6/19	6/26	7/1	7/6	7/10	7/15	
調査葉数	201	201	201	201	201	201	199	196	194	194	194	194	194	194	194	
発 病 程 度 別 葉 数	無	193	188	188	187	186	184	183	183	182	182	182	182	181	181	181
	軽	6	9	9	8	9	9	9	8	8	8	8	8	9	7	7
	中	0	1	1	3	2	4	4	3	2	2	2	2	2	4	4
	甚	0	0	0	0	1	1	2	2	2	2	2	2	2	1	1
	激	2	3	3	3	3	3	1	0	0	0	0	0	0	1	1
発病葉率(%)	4.0	6.5	6.5	7.0	7.5	8.5	8.0	6.6	6.2	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	6.7	6.7
発病度	1.4	2.4	2.4	2.7	2.9	3.3	2.7	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	2.3	2.3	

調査月日	7/21	7/29	8/3	8/7	8/12	8/20	8/24	8/27	9/3	9/8	9/14	9/18	9/25	10/1	
調査葉数	194	194	194	194	194	194	193	193	193	193	193	193	192	192	
発 病 程 度 別 葉 数	無	180	172	169	169	169	169	169	169	168	168	166	166	165	
	軽	7	15	18	18	18	18	17	17	17	18	17	19	18	19
	中	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	
	甚	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	激	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
発病葉率(%)	7.2	11.3	12.9	12.9	12.9	12.9	12.4	12.4	13.0	13.0	13.0	14.0	13.5	14.1	
発病度	2.5	3.1	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.5	3.6	3.3	3.4	

※ 平年: H22~R1年(10ヶ年)の平均日

2) 果実におけるかいよう病の発生病消長 (川野なつだいたい)

調査月日	6/2	6/8	6/12	6/16	6/19	6/26	7/1	7/6	7/10	7/15	7/21	7/29	
調査果数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発 病 程 度 別 葉 数	無	50	49	49	48	45	36	33	33	31	30	30	29
	軽	0	1	1	1	1	6	9	7	8	8	8	9
	中	0	0	0	1	2	2	0	1	1	2	1	1
	甚	0	0	0	0	1	1	2	3	2	2	2	2
	激	0	0	0	0	1	5	6	6	8	8	9	9
発病果率(%)	0.0	2.0	2.0	4.0	10.0	28.0	34.0	34.0	38.0	40.0	40.0	42.0	
発病度	0.0	0.3	0.3	1.1	5.4	14.9	17.4	19.1	22.0	22.9	24.0	24.3	

調査月日	8/3	8/7	8/12	8/20	8/24	8/27	9/3	9/8	9/14	9/18	9/25	10/1	
調査葉数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	
発 病 程 度 別 葉 数	無	28	28	27	27	27	27	27	27	26	26	26	
	軽	9	9	10	10	9	9	9	8	6	6	6	
	中	2	2	1	1	2	2	2	2	3	2	2	
	甚	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	3	2
	激	9	9	9	9	9	9	9	9	11	13	13	14
発病葉率(%)	44.0	44.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	46.0	48.0	48.0	48.0	
発病度	25.2	25.1	26.0	26.0	26.6	26.6	26.6	26.6	28.9	33.1	33.7	34.3	

※ 平年: H22~R1年(10ヶ年)の平均日

(5) ミカンハダニ

所内発生予察ほ場におけるミカンハダニ発生状況

100葉当たり虫数				H22-R1				寄生葉率				H22-R1			
	R2 (甘夏)	R2	R1	平年 (過去10年の平均)		R2 (甘夏)	R2	R1	平年 (過去10年の平均)		R2 (甘夏)	R2	R1	平年 (過去10年の平均)	
4-5	87	59	44	15.3	4-5	29	24	28	10.9						
4-6	47	44	69	17.0	4-6	26	26	42	12.3						
5-1	32	56	78	17.3	5-1	16	26	44	11.3						
5-2	21	71	83	15.1	5-2	12	39	40	8.6						
5-3	18	49	54	9.8	5-3	13	35	34	7.1						
5-4	7	35	49	8.5	5-4	6	24	31	6.5						
5-5	3	14	29	6.7	5-5	3	13	18	4.9						
5-6	2	18	28	4.9	5-6	1	12	18	3.7						
6-1	15	42	27	6.5	6-1	8	29	19	5.4						
6-2	13	35	17	8.0	6-2	9	19	15	7.2						
6-3	33	58	11	11.6	6-3	17	25	8	8.6						
6-4	24	14	11	14.4	6-4	15	12	10	9.7						
6-5	14	9	11	20.3	6-5	10	9	10	11.0						
6-6	15	3	6	15.1	6-6	12	3	4	7.6						
7-1	4	0	5	14.4	7-1	4	0	5	8.2						
7-2	2	3	18	7.4	7-2	2	3	14	4.7						
7-3	5	0	6	5.7	7-3	5	0	6	4.5						
7-4	1	2	2	14.4	7-4	1	2	2	4.5						
7-5	3	1	6	13.8	7-5	3	1	5	4.8						
7-6	2	1	5	18.6	7-6	2	1	4	6.2						
8-1	3	10	4	47.1	8-1	3	9	4	8.0						
8-2	5	6	1	38.3	8-2	5	5	1	9.1						
8-3	6	14	3	38.0	8-3	6	10	3	8.0						
8-4	6	13	1	40.1	8-4	4	8	1	9.2						
8-5	4	15	0	22.3	8-5	4	10	0	7.4						
8-6	6	26	1	25.5	8-6	5	10	1	8.0						
9-1	10	9	0	31.0	9-1	10	6	0	9.1						
9-2	3	5	1	26.5	9-2	3	4	1	9.9						
9-3	4	6	5	33.8	9-3	4	5	5	12.7						
9-4	1	3	2	17.1	9-4	1	3	2	9.9						
9-5	1	4	5	15.3	9-5	1	4	5	9.6						
9-6	2	3	6	18.5	9-6	2	2	5	11.4						
10-1	6	0	9	14.6	10-1	6	0	9	10.2						
10-2	3	3	13	12.4	10-2	3	3	12	7.9						
10-3	4	2	8	11.9	10-3	4	2	7	7.9						
10-4	0	3	7	6.6	10-4	0	3	7	4.8						
10-5	6	5	0	3.0	10-5	5	3	0	2.1						
10-6	3	2	1	2.7	10-6	3	2	1	2.2						

(6) カメムシ類

所内予察灯およびフェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシの誘殺消長
 チャバネアオカメムシ (宇城・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
3	1												0
	2												0
	3	0											0
	4	0											0
	5	0											0
	6	0											0
4	1	0		7						0			4
	2	0		9					0	0			3
	3	0	0	0	0			0	0	0			0
	4	1	2	2	48	4		0	0	17	4		10
	5	1	11	94	0	3	0	7	1	9	1		14
	6	0	12	22	10	15	12	1	0	9	0		9
5	1	143	0	8	0	8	9	3	9	2	3	0	4
	2	107	10	6	36	9	59	17	18	2	139	189	49
	3	317	53	49	2	4	93	77	84	2	63	1	43
	4	657	43	360	155	15	196		279	23	31	60	129
	5	634	15	212	34	9	34	36	48	34	361	40	82
	6	262	6	452	28	7	92	71	93	85	35	7	88
6	1	452	21	296	11	0	84	51	39	41	20	5	57
	2	412	29	148	11	3	9	53	34	40	262	63	65
	3	556	41	410	18	10	47	32	30	27	131	120	87
	4	1,316	32	62	18	8	0	19	199	29	13	33	41
	5	417	58	884	55	19	42	25	56	7	165	56	137
	6	1,806	39	407	45	8	111	28	61	9	231	41	98
7	1	392	21	1,094	143	12	24	22	74	14	268	5	168
	2	814	6	856	15	10	68	22	8	16	218	48	127
	3	3,271	0	708	39	4	359		38	6	131	11	144
	4	883	2	935	12	0	167	7	51	3	147	5	133
	5	9,308	0	464	2	0	242	8	35	2	37	4	79
	6	8,671	2	394	10	3	178	6	15	7		17	70
8	1	14,055	3	40	14	1	228	8	2	5	35	12	35
	2	1,529	0	197	3	1	326	9	11	7	63	56	67
	3	1,313	5	160	35	2	249	6	12	13	34	52	57
	4	1,131	3	53	14	1	161	6	3	5	10	165	42
	5	322	1	14	58	2	147	5	21	4	51	147	45
	6	25	14	4	135	1	32	20	18	4	21	45	29
9	1	28	16	4	3	1	15	15	32	10	19	72	19
	2	7	19	1	23	1	48	35	15	57	6	68	27
	3	14	85	3	70	2	5	0	10	59	6	31	27
	4	6	17	6	16	12	1	6	12	9	7	11	10
	5	2	5	23	20	2	0	6	2	3	8	26	10
	6	1	8	21	34	6	1	3	4	0	1	5	8
10	1	0	137	2	157	38	5	0	28	9	4	9	39
	2	2	76	12	6	13	4	2	2	34	2	0	15
	3	1	228	2	274	10	0	0	0	2	2	11	53
	4	0	15	0	42	6	0	4	1	1	2	1	7
	5	0	13	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2
	6	0	1	1	0	15	0		0	2	0	2	2
	合計	48,856	1,049	8,423	1,596	267	3,048	610	1,345	610	2,531	1,418	2,133

ツヤアオカメムシ(宇城・フェロモントラップ)

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年	
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値	
3	1													0
	2													0
	3	0												0
	4	0												0
	5	0												0
	6	1												0
4	1	0		3						0	0			1
	2	0		35					0	0	0			9
	3	1	0	0	0			0	0	0	0			0
	4	0	0	6	7	1		0	0	0	0			2
	5	3	0	65	0	2	0	1	1	0	0			8
	6	1	2	14	2	2	2	0	1	0	0			3
5	1	101	0	9	0	0	7	0	6	1	0	0		2
	2	132	10	12	25	9	71	22	5	2	4	45		21
	3	121	44	236	1	12	80	76	45	2	5	6		51
	4	517	37	468	272	15	516		186	11	19	55		175
	5	379	4	142	51	3	134	306	128	22	76	45		91
	6	121	11	352	50	0	205	383	125	33	8	35		120
6	1	209	3	75	48	0	129	197	80	32	14	4		58
	2	139	1	57	11	0	4	96	106	23	44	20		36
	3	17	5	25	2	0	5	26	11	2	21	11		11
	4	11	2	5	6	0	0	14	7	0	2	0		4
	5	1	0	4	0	0	1	1	7	0	0	1		1
	6	12	0	1	0	0	0	4	1	0	0	1		1
7	1	1	0	1	2	0	0	2	0	0	0	0		1
	2	10	0	2	0	0	2	6	0	0	0	2		1
	3	15	0	0	1	0	7		1	0	1	0		1
	4	10	0	7	2	0	2	0	2	0	2	0		2
	5	23	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	6	13	0	3	0	0	0	0	1	0		0		0
8	1	30	0	0	0	0	4	0	0	1	0	0		1
	2	15	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0		1
	3	14	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0		1
	4	10	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2		1
	5	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0		0
	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
9	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1		1
	2	1	0	1	3	0	32	2	0	1	0	9		5
	3	6	4	0	9	0	8	0	0	3	0	16		4
	4	1	4	0	18	3	6	1	1	0	0	6		4
	5	2	8	2	17	11	26	17	6	3	0	13		10
	6	0	19	9	22	4	11	1	26	16	0	71		18
10	1	10	105	9	148	26	25	10	0	53	1	91		47
	2	31	167	5	9	21	0	1	0	213	10	0		43
	3	1	296	1	476	23	5	0	0	95	14	44		95
	4	1	169	1	51	554	3	0	10	48	19	3		86
	5	0	79	1	0	123	0	13	2	12	0	1		23
	6	0	38	2	0	72	1		12	45	0	103		30
	合計	1,964	1,008	1,555	1,233	881	1,315	1,179	770	618	240	585		966

チャバネアオカメムシ(宇城・予察灯)
雷で停電し、2日間欠測

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年	
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値	
3	1													0
	2													0
	3	0												0
	4	0												0
	5	0												0
	6	0												0
4	1	0		0						0	0			0
	2	0		0					0	0	0			0
	3	0	0	0	0	1		0	0	0	0			0
	4	0	0	2	0	1		0	0	0	0			0
	5	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0			0
	6	1	0	0	0	2	1		0	0	0			0
5	1	75	2	0	28	7	4			18	欠測	4		9
	2	124	6	0	3	2	12			4	131	1		20
	3	58	6	欠測	4	17	66			4	505	0		86
	4	527	44	301	4	3	38		1	3	19	5		46
	5	344	7	52	11	24	10		10	10	100	3		25
	6	109	2	121	3	5	73	3	7	4	5	0		22
6	1	142	12	33	4	4	26	0	43	8	40	0		17
	2	114	10	370	3	2	3	7	10	6	73	2		49
	3	146	0	11	9	8	23	1	20	6	15	2		10
	4	92	15	53	7	2	17	1	25	15	7	10		15
	5	191	12	98	33	9	46	0	124	6	206	10		54
	6	162	7	220	75	8	62	2	34	19	119	15		56
7	1	229	14	253	36	9	16	0	16	22	55	7		43
	2	431	5	134	15	2	337	4	22	1	76	2		60
	3	47	4	106	13	2	237	0	20	8	32	2		42
	4	1,260	13	47	9	3	221	5	16	15	27	0		36
	5	1,214	18	107	8	3	159	6	14	9	21	1		35
	6	2,085	14	197	29	3	429	3	44	17	31	0		77
8	1	964	26	359	36	8	271	31	40	59	45	14		89
	2	781	85	122	181	11	218	21		178	158	24		111
	3	476	207	198	525	21	122	156		325	98	287		215
	4	170	1,940	216	845	85	277	350		947	201	152		557
	5	105	1,530	288	2,689	204	130	547		1,474	414	89		818
	6	148	4,433	197	4,602	156	182	241		929	216	116		1,230
9	1	138	3,864	118	565	848	93	199	22	646	212	106		667
	2	68	2,330	41	1,272	309	69	111	99	857	81	276		545
	3	194	2,263	406	922	203	15	238	55	500	80	84		477
	4	35	628	300	853	47	79	116	17	280	185	108		261
	5	104	1,757	104	1,799	245	160	629	81	355	25	65		522
	6	25	4,468	30	1,822	152	14	425	19	144	46	29		715
10	1	32	2,330	66	533	272	9	166	24	5	5	161		357
	2	10	804	79	2,852	35	9	56	11	5	3	7		386
	3	16	131	1	707	13	8	1	1	1	8	3		87
	4	2	70	0	10	48	5	7	0	1	4	12		16
	5	2	43	0	2	2	0	4	0	0	0	0		5
	6	0	1	0	7	6	0		0	0	1	0		2
	合計	10,621	27,102	4,632	20,516	2,783	3,441	3,330	775	6,881	3,244	1,599		7,764

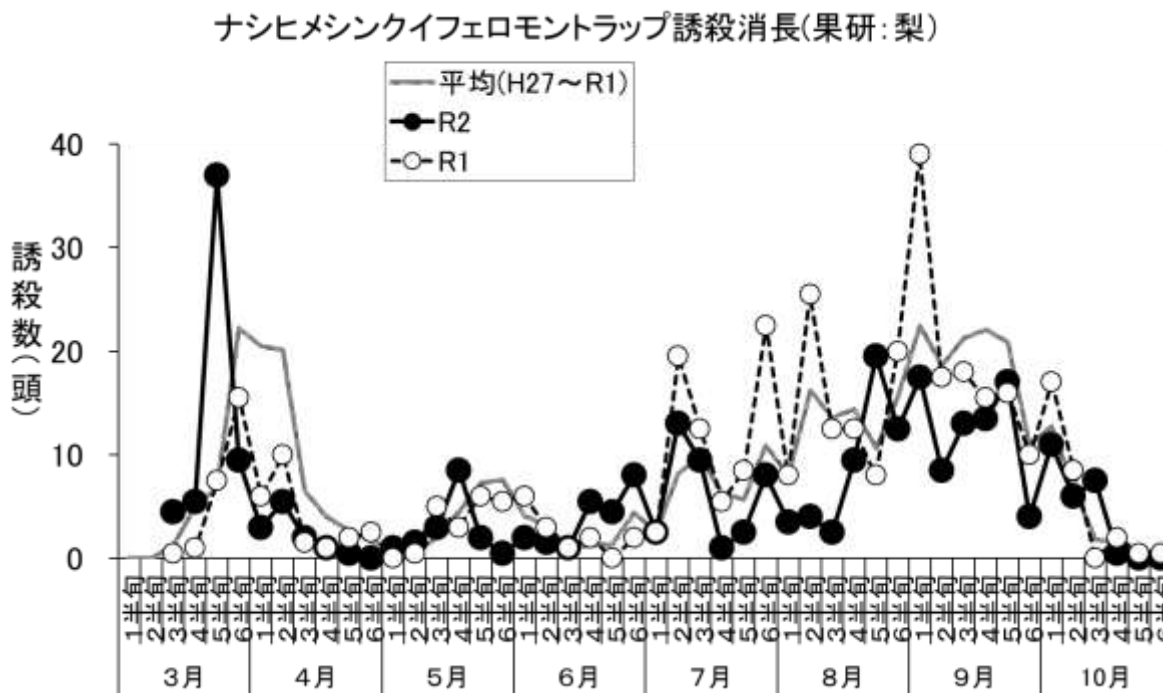
ツヤアオカメムシ(宇城・予察灯)
雷で停電し、2日間欠測

月	半旬	トラップの誘殺数											過去 10年
		R2	R1	H30	H29	H28	H27	H26	H25	H24	H23	H22	平年値
3	1												0
	2												0
	3	0											0
	4	0											0
	5	0											0
	6	0											0
4	1	0		0						0	0		0
	2	0		0					0	0	0		0
	3	0	0	0	0	1		0	0	0	0		0
	4	0	2	0	5	1		0	0	0	0		1
	5	1	25	0	5	1	0	1	0	0	0		4
	6	0	3	0	1	6	1		0	2	0		2
5	1	385	28	0	92	7	5			9	欠測	7	21
	2	357	33	0	43	51	9			26	70	6	30
	3	278	257	欠測	66	29	192			22	77	0	92
	4	1,851	514	867	15	2	216			19	14	27	209
	5	500	57	185	147	9	104		82	18	72	7	76
	6	219	71	185	44	8	317	47	246	69	18	6	101
6	1	298	283	179	178	3	215	134	297	53	45	5	139
	2	407	61	894	56	22	131	93	123	105	38	16	154
	3	122	40	71	142	31	111	10	345	61	11	5	83
	4	96	39	134	91	2	106	25	153	67	22	8	65
	5	178	5	64	117	4	153	14	299	29	125	4	81
	6	394	48	123	91	6	95	8	62	18	24	3	48
7	1	143	30	169	69	5	46	6	40	33	17	2	42
	2	179	12	56	42	2	444	9	59	8	22	3	66
	3	15	7	42	12	3	477	3	49	13	6	1	61
	4	242	12	58	12	1	475	0	25	9	3	0	60
	5	164	9	59	11	2	141	6	10	9	2	0	25
	6	205	29	68	70	5	345	11	53	36	11	0	63
8	1	42	47	102	58	6	215	48	71	52	9	41	65
	2	133	207	53	200	24	278	25		266	32	15	122
	3	93	169	29	337	19	99	37		322	38	79	125
	4	42	400	31	233	17	175	144		117	21	66	134
	5	22	170	37	319	23	55	145		94	13	12	96
	6	41	263	31	378	10	171	33		110	1	11	112
9	1	15	653	33	126	15	185	34	4	228	5	19	130
	2	9	1,073	18	626	11	191	34	29	844	2	98	293
	3	27	547	342	637	30	136	332	34	444	19	31	255
	4	21	174	166	937	30	263	181	5	128	50	30	196
	5	69	600	53	1,325	248	403	699	46	199	8	10	359
	6	58	2,222	88	2,424	311	88	245	43	247	43	25	574
10	1	56	2,256	114	682	735	57	493	116	69	15	54	459
	2	11	1,074	69	1,728	163	0	150	166	85	28	8	347
	3	21	301	9	600	58	16	2	13	14	22	4	104
	4	1	256	6	291	306	0	34	7	20	2	1	92
	5	1	418	10	54	73	0	34	10	31	2	2	63
	6	1	47	1	79	14	0		2	16	4	0	18
	合計	6,697	12,442	4,346	12,343	2,294	5,915	3,037	2,389	3,892	891	606	4,966

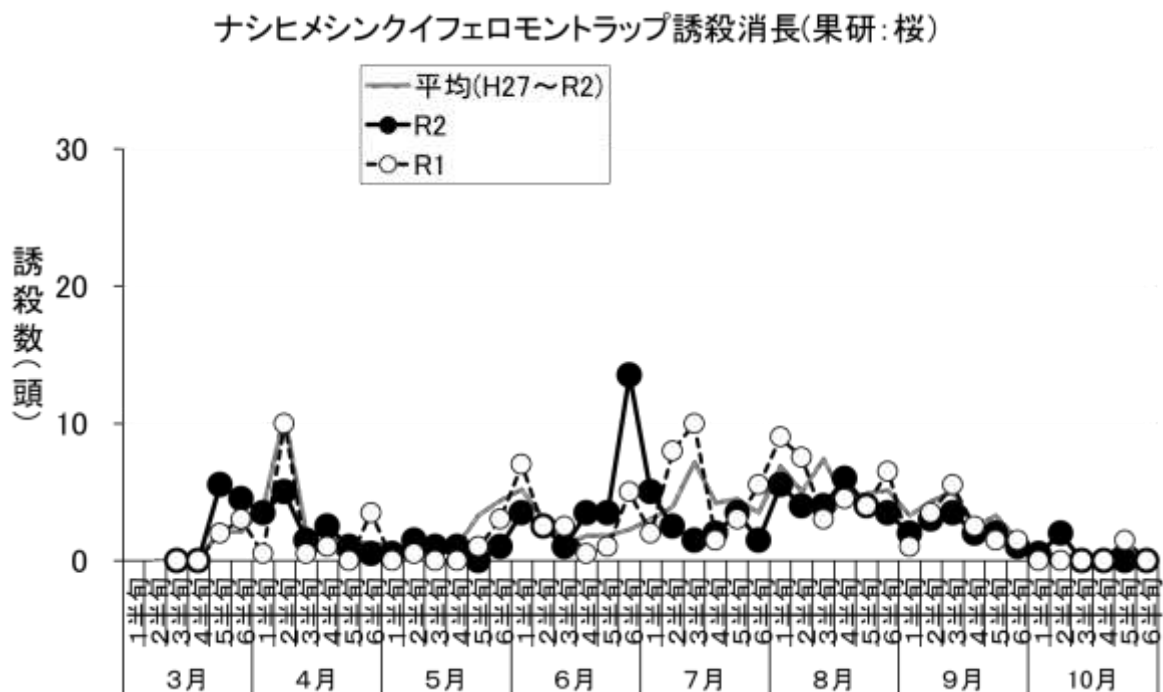
(7) ナシヒメシンクイ

所内ナシ園及びサクラでのフェロモントラップにおけるナシヒメシンクイの発生状況

1) 所内ナシ園におけるナシヒメシンクイの季節的消長



2) 所内サクラにおけるナシヒメシンクイの季節的消長



(イ) 茶害虫

1 目的

植物防疫法の規定に基づき茶病虫害の発生予察情報調査を行い、適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 試験方法

- ア 調査場所 茶業研究所内ほ場 ‘やぶきた’
- イ 調査期間 3月～11月
- ウ 調査方法 性フェロモントラップ、100葉調査、たたき落とし
- エ 調査対象害虫 チャノコカクモンハマキ、チャハマキ、チャノホソガ、チャノミドリヒメヨコバイ、チャノキイロアザミウマ、カンザワハダニ

3 試験成績

ア チャノコカクモンハマキ

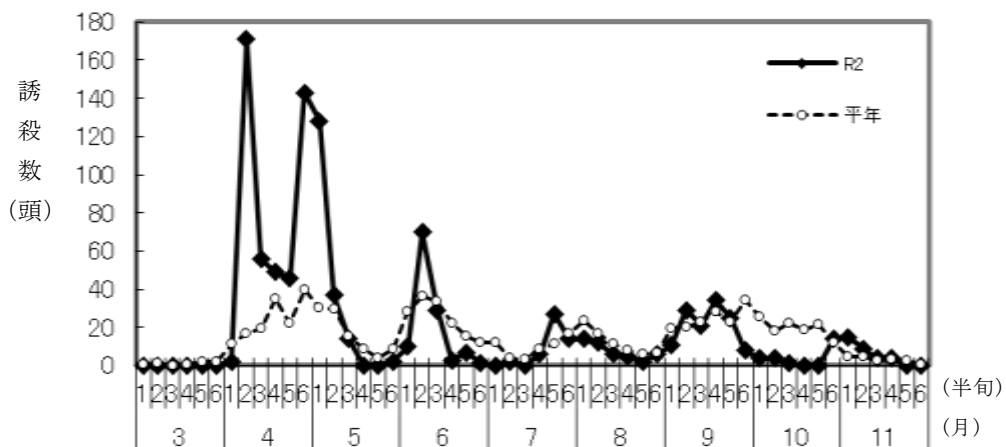


図1 チャノコカクモンハマキ誘殺数（フェロモントラップ）

注）平年値は平成21年から令和1年の平均である。以下同様。

イ チャハマキ

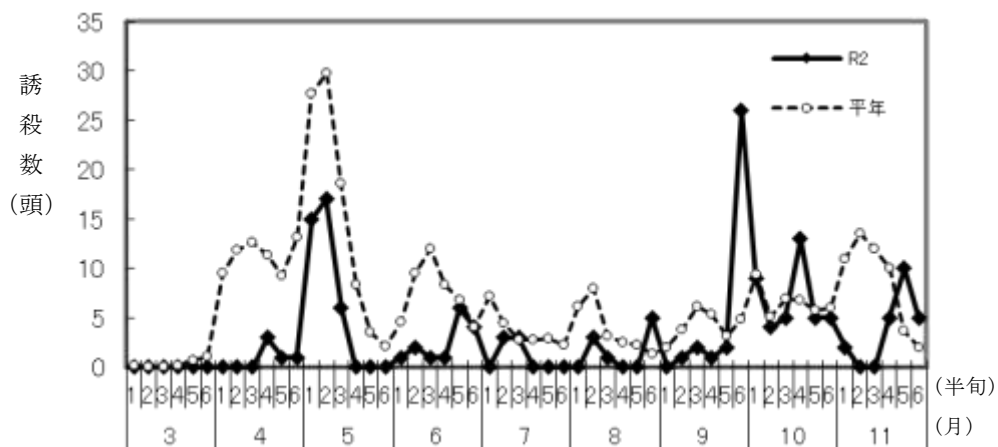


図2 チャハマキ誘殺数（フェロモントラップ）

ウ チャノホソガ

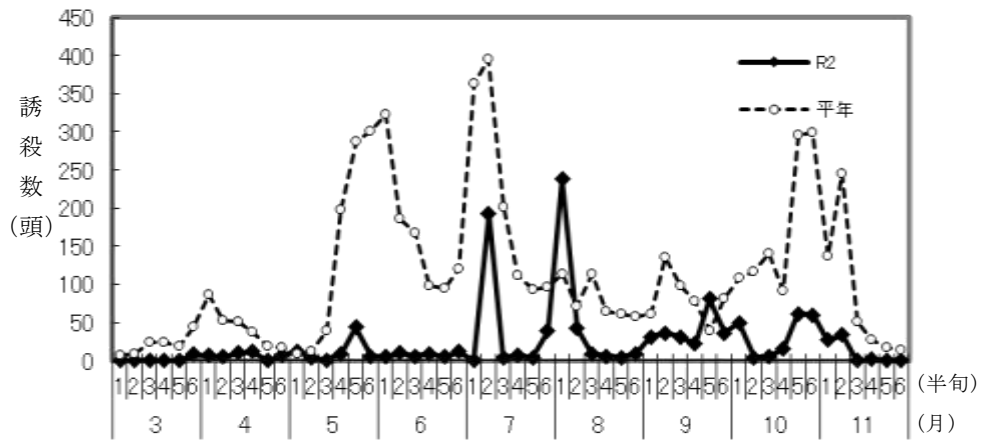


図3 チャノホソガ誘殺数 (フェロモントラップ)

エ チャノミドリヒメヨコバイ

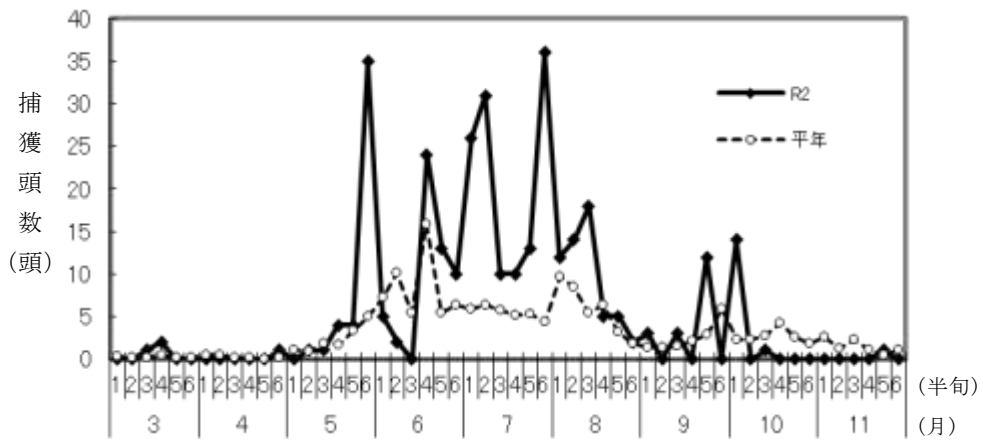


図4 チャノミドリヒメヨコバイ捕獲数 (たたき落とし)

オ チャノキイロアザミウマ

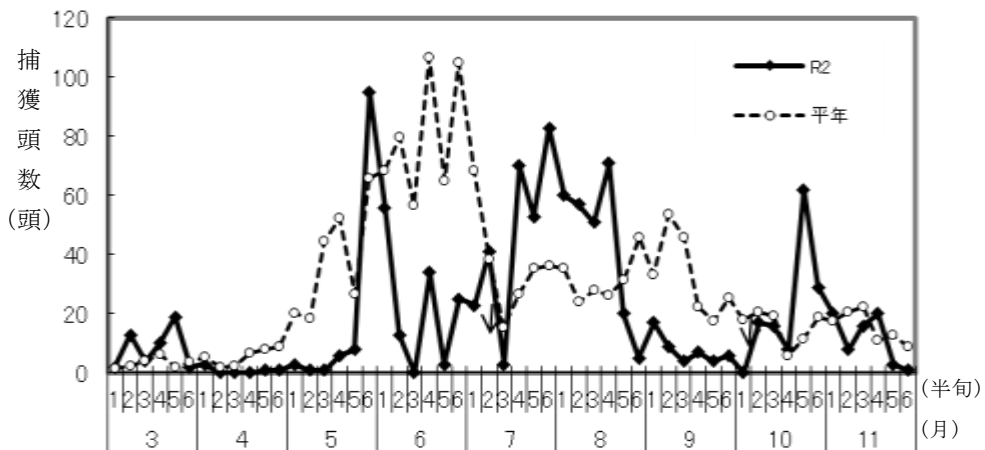


図5 チャノキイロアザミウマ捕獲数 (たたき落とし)

カ カンザワハダニ

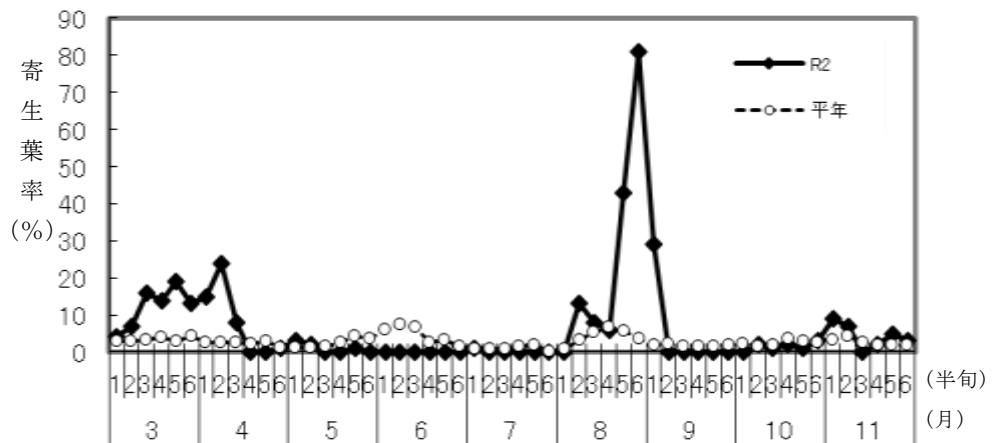


図6 カンザワハダニ寄生葉率 (100 葉)

(5) 野菜・花き病害虫発生予察事業

ア 病害虫防除所における調査

(ア) 巡回調査

作物名「冬春トマト」

調査月	調査対象 病害虫	疫 病		灰色かび病		葉かび病		輪紋病	
		発病 株 率	発病 度	発病 株 率	発病 度	発病 株 率	発病 度	発病 株 率	発病 度
4	平均値	0.00	0.00	19.43	5.21	8.57	2.14	0.00	0.00
	平年値	0.40	0.10	10.91	2.73	1.37	0.34	0.00	0.00
9	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
10	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.06	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.17	0.04	0.06	0.01	0.00	0.00
12	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.23	0.06	2.00	0.50	2.11	0.53	0.00	0.00
1	平均値	0.00	0.00	1.71	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	3.71	0.93	2.46	0.61	0.00	0.00
2	平均値	0.00	0.00	6.57	1.64	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.31	0.33	5.43	1.36	3.37	0.84	0.00	0.00
3	平均値	0.00	0.00	14.29	3.57	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.40	0.10	8.63	2.16	4.69	4.69	0.00	0.00

調査月	調査対象 病害虫	コナジラミ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	
		寄 生 葉 率	頭/ 10株	寄 生 葉 率	頭/ 10株	寄 生 株 率	頭/ 10株
4	平均値	2.86	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.57	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00
9	平均値	2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.13	0.11	0.00	0.00	0.13	0.35
10	平均値	1.00	0.10	0.00	0.00	0.86	0.09
	平年値	0.73	0.08	0.00	0.00	0.07	0.02
11	平均値	1.43	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.91	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
12	平均値	0.86	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.17	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00
2	平均値	0.71	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.14	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
3	平均値	1.14	0.11	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.14	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00

作物名「夏秋トマト」

調査月	調査対象病害虫	疫 病		灰色かび病		葉かび病		輪紋病	
	調査項目	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
6	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.25	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.47	0.12	0.00	0.00	0.00	0.00
7	平均値	0.00	0.00	4.00	1.00	4.00	1.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	11.85	2.96	2.48	0.62	0.93	0.23
8	平均値	0.00	0.00	10.00	2.50	14.33	4.92	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	23.32	6.41	5.96	1.52	0.87	0.22
9	平均値	0.00	0.00	27.67	8.83	16.00	10.67	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	28.71	7.18	15.00	6.29	2.20	0.85

調査月	調査対象病害虫	コナジラミ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	寄生葉率	頭/10株	寄生葉率	頭/10株	寄生株率	頭/10株
6	平均値	2.00	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	1.63	0.21	0.00	0.00	0.00	0.00
7	平均値	15.33	2.30	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	8.53	1.63	0.00	0.00	0.00	0.00
8	平均値	5.83	1.13	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	20.16	5.26	0.00	0.07	0.00	0.00
9	平均値	9.50	9.50	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	17.23	17.23	0.00	0.00	0.87	0.21

作物名「冬春ナス」

調査月	調査対象病害虫	うどんこ病		すすかび病		灰色かび病	
	調査項目	発病葉率	発病度	発病株率	発病度	発病株率	発病度
4	平均値	7.20	1.90	50.40	12.60	1.20	0.30
	平年値	1.87	0.50	40.25	12.06	0.63	0.16
10	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.39	0.10	0.00	0.00
11	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	2.72	0.78	0.55	0.14	0.08	0.02
12	平均値	6.00	1.50	9.60	2.40	0.00	0.00
	平年値	3.40	0.91	3.68	0.92	0.16	0.04
1	平均値	0.80	0.20	14.80	4.30	0.00	0.00
	平年値	0.61	0.15	25.41	6.39	0.07	0.02
2	平均値	1.20	0.30	29.60	8.20	2.80	0.70
	平年値	0.28	0.07	31.15	9.09	0.08	0.02
3	平均値	6.00	1.50	40.00	10.00	0.80	0.20
	平年値	1.17	0.29	41.45	11.69	0.43	0.11

調査月	調査対象 病害虫	ハダニ類		アザミウマ類		コナジラミ類		アブラムシ類		オオタバコガ	
	調査項目	寄生 葉率	頭/ 10葉	寄生 葉率	頭/ 10葉	寄生 葉率	頭/ 10葉	寄生 葉率	頭/ 10葉	寄生 株率	頭/ 10株
4	平均値	0.00	0.00	1.60	0.28	5.60	0.64	0.40	0.04	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	2.60	0.41	4.76	0.71	0.00	0.00	0.00	0.00
10	平均値	0.40	0.04	2.00	1.08	48.00	10.60	0.40	0.04	0.00	0.00
	平年値	0.43	0.06	12.37	3.11	37.19	8.80	0.33	0.03	0.00	0.00
11	平均値	0.00	0.00	3.60	0.48	16.40	2.60	1.20	0.12	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	7.03	2.20	21.08	4.93	0.08	0.02	0.00	0.00
12	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	19.20	4.28	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	4.31	0.67	13.36	2.95	0.00	0.00	0.00	0.00
1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	13.60	2.16	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.47	0.05	9.76	1.61	0.00	0.00	0.00	0.00
2	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	10.00	1.28	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.68	0.12	4.31	0.57	0.00	0.00	0.00	0.00
3	平均値	0.00	0.00	0.40	0.04	8.40	1.12	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.35	0.03	4.15	0.59	0.47	0.10	0.00	0.00

作物名「冬春キュウリ」

調査月	調査対象	うどんこ病		灰色かび病		べと病		斑点細菌病	
	調査項目	発病 葉率	発病 度	発病 株率	発病 度	発病 葉率	発病 度	発病 葉率	発病 度
4	本年値	32.80	8.20	2.80	0.70	16.00	4.00	0.00	0.00
	平年値	20.88	5.58	0.37	0.09	9.39	3.06	0.27	0.07
5	本年値	31.33	9.00	0.00	0.00	30.00	8.00	0.00	0.00
	平年値	38.40	10.57	4.07	1.07	15.47	3.92	0.00	0.00
6	本年値	26.00	6.50	1.00	0.25	5.00	1.25	0.00	0.00
	平年値	25.50	7.00	0.00	0.00	11.67	2.92	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.08	0.00	0.00
	平年値	4.90	1.23	0.20	0.05	9.90	2.48	0.00	0.00
12	本年値	5.67	1.42	0.00	0.00	4.00	1.00	0.00	0.00
	平年値	5.32	1.35	0.17	0.04	8.31	2.08	0.40	0.10
1	本年値	20.33	5.42	0.00	0.00	4.33	1.08	0.00	0.00
	平年値	6.75	1.77	0.13	0.03	5.16	1.32	0.40	0.10
2	本年値	10.80	2.90	0.00	0.00	6.80	1.70	0.00	0.00
	平年値	12.27	3.14	0.16	0.04	3.79	1.17	0.00	0.00
3	本年値	15.33	3.83	0.00	0.00	22.67	5.75	0.00	0.00
	平年値	13.72	3.74	0.45	0.11	3.96	0.99	0.00	0.00

調査月	調査対象 調査項目	菌核病		炭疽病		褐斑病		アブラムシ類	
		発病株率	発病度	発病葉率	発病度	発病葉率	発病度	寄生葉率	頭/10葉
4	本年値	0.40	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.04
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.67	0.40
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.17	0.04	0.00	0.00
11	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
12	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.67
	平年値	0.10	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
3	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10	0.01

調査月	調査対象 調査項目	コナジラミ類		アザミウマ類		黄化 えそ病	退緑 黄化病
		寄生葉率	頭/10葉	寄生葉率	頭/10葉	発病株率	発病株率
4	本年値	2.80	0.36	0.00	0.00	0.20	10.00
	平年値	0.32	0.06	0.87	0.09	0.00	3.17
5	本年値	20.67	6.27	0.00	0.00	0.00	27.00
	平年値	1.07	0.11	1.33	0.15	0.07	4.40
6	本年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	24.50
	平年値	8.33	1.83	1.00	0.19	0.08	7.17
11	本年値	5.67	0.57	0.00	0.00	0.17	7.83
	平年値	4.04	0.47	0.88	0.11	0.14	10.02
12	本年値	3.33	0.43	0.00	0.00	0.00	15.00
	平年値	3.23	0.54	0.18	0.02	0.60	7.88
1	本年値	6.67	0.93	0.00	0.00	0.00	22.17
	平年値	1.03	0.18	0.13	0.02	3.00	7.01
2	本年値	8.80	1.52	0.00	0.00	0.00	34.80
	平年値	0.72	0.12	1.52	0.19	3.57	7.15
3	本年値	0.67	0.07	0.67	0.13	0.00	6.83
	平年値	0.79	0.08	0.24	0.06	0.12	5.94

作物名「冬春イチゴ」

調査月	調査対象 病害虫	うどんこ 病(果実)	うどんこ 病(株)	炭疽病	灰色かび 病(果実)	灰色かび 病(株)
	調査項目	発病 果率	発病 株率	発病 株率	発病 果率	発病 株率
4	平均値	0.00	0.00	0.00	0.33	0.00
	平年値	0.07	4.93	0.00	0.00	0.00
10	平均値	-	0.00	0.00	-	-
	平年値	-	0.80	0.33	-	-
11	平均値	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00
	平年値	0.00	4.67	0.07	0.00	0.00
12	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.80	4.80	0.00	0.20	0.00
1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.33	3.00	0.00	0.07	0.20
2	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	2.73	0.00	0.07	0.20
3	平均値	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	1.33	0.00	0.00	0.13

調査月	調査対象 病害虫	ハダニ類		アザミウマ 類		オンシツコ ナジラミ		アブラムシ 類		ハスモンヨ トウ	
	調査項目	寄生 率	頭/ 10葉	寄生 率	頭/ 10葉	寄生 率	頭/ 10葉	寄生 率	頭/ 10葉	寄生 率	頭/ 10葉
4	平均値	21.00	20.93	28.33	7.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	41.47	109.31	5.07	0.80	0.00	0.00	0.33	0.05	0.00	0.00
10	平均値	10.67	6.00	-	-	0.00	0.00	1.33	0.37	2.67	0.37
	平年値	3.13	0.63	-	-	0.00	0.00	0.47	0.05	2.67	0.29
11	平均値	7.67	3.13	3.00	0.40	0.33	0.03	1.67	0.87	2.33	0.23
	平年値	3.13	0.83	1.27	0.14	0.00	0.00	0.60	0.11	1.40	0.15
12	平均値	10.67	6.27	15.33	3.40	0.00	0.00	1.67	0.17	0.00	0.00
	平年値	8.80	12.81	3.87	0.53	0.03	0.00	1.13	0.13	0.20	0.02
1	平均値	7.33	2.90	7.33	0.93	0.00	0.00	0.67	0.07	0.00	0.00
	平年値	16.80	56.71	6.60	0.93	0.03	0.00	0.40	0.05	0.13	0.01
2	平均値	18.33	8.40	16.33	3.10	0.00	0.00	1.33	0.20	0.00	0.00
	平年値	20.67	37.98	5.33	0.79	0.00	0.00	0.13	0.02	0.00	0.00
3	平均値	23.33	37.67	17.00	3.27	0.00	0.00	2.33	0.47	0.00	0.00
	平年値	26.47	44.54	9.67	2.28	0.00	0.00	0.87	0.21	0.00	0.00

作物名「冬春イチゴ（親株・育苗床）」

調査月	調査対象 病害虫	うどんこ病	炭疽病	ハダニ類		アブラムシ類		ハスモンヨトウ	
	調査項目	発病株率	発病株率	寄生率	頭／10葉	寄生率	頭／10葉	寄生率	頭／10葉
5	平均値	7.67	0.00	29.00	25.3	12.33	2.37	0.00	0.00
	平年値	6.87	0.00	7.73	1.91	4.73	0.94	0.00	0.00
6	平均値	1.67	0.00	1.67	2.13	1.67	0.20	0.00	0.00
	平年値	5.40	0.07	5.40	2.45	0.73	0.73	0.00	0.00
7	平均値	0.00	0.00	40.33	15.60	2.67	0.47	0.00	0.00
	平年値	3.40	0.00	12.07	4.18	0.67	0.09	0.07	0.01
8	平均値	0.00	0.00	10.00	2.27	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.07	11.53	3.07	2.40	0.65	0.20	0.02
9	平均値	0.00	0.00	2.67	0.37	1.67	0.17	1.00	0.10
	平年値	0.13	0.40	2.20	0.33	2.00	0.31	0.40	0.05

作物名「冬レタス」

調査月	調査対象 病害虫	萎黄病	菌核病	軟腐病	灰色かび病	斑点細菌病	腐敗病
	調査項目	発病株率	発病株率	発病株率	発病株率	発病株率	発病株率
1 1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
1 2	平均値	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00
1	平均値	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.67
	平年値	0.00	2.07	0.07	0.67	1.20	1.40

調査月	調査対象 病害虫	アブラムシ類		ヨトウムシ類		オオタバコガ		ネキリムシ類	
	調査項目	寄生率	頭／10株	寄生率	頭／10株	寄生率	頭／10株	寄生率	頭／10株
1 1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.27	0.03	0.53	0.09	0.00	0.00	0.00	0.00
1 2	平均値	0.00	0.00	0.33	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.00	0.00	0.07	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
1	平均値	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	平年値	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(イ) 野菜害虫のフェロモントラップによる誘殺状況

ハスモンヨトウの誘殺消長 (アグリシステム総合研究所野菜栽培研究室・八代市鏡町)

月	半旬	令和2年	平成(H22 ~R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	
4月	1		0.0											
	2		5.7											
	3		4.5											
	4		3.8											
	5		4.6	4.8										
	6		20.0	11.7	32.8	27.0	23.1	12.1	17.7	7.4	3.1		1.4	7.2
5月	1		41.4	34.2	41.0	150.3	21.6	45.6	15.0	13.6	6.8	30.0	5.1	13.1
	2		41.4	48.4	52.4	210.4	18.8	80.3	17.5	32.0	12.5	32.3	9.0	18.6
	3		51.7	55.5	61.0	170.0	37.1	96.1	29.5	60.7	25.0	38.1	22.1	15.3
	4		54.1	72.5	65.0	162.4	52.4	122.7	63.0	160.6	15.0	20.8	21.6	41.1
	5		36.4	56.7	63.4	55.0	32.9	62.1	68.1	67.0	18.7	21.3	20.9	157.1
	6		21.6	52.0	72.3	32.0	15.4	38.6	62.1	62.1	31.4	34.8	24.0	147.7
6月	1		34.4	49.2	57.5	38.5	31.4	49.9	81.6	53.7	32.9	31.3	38.3	77.2
	2		67.6	96.2	261.5	34.0	59.3	138.6	62.9	44.3	45.5	239.1	18.6	
	3		146.4	113.0	201.9	47.5	82.7	64.3	209.3	54.3	67.0	80.0	286.4	36.7
	4		195.0	124.7	155.4	69.5	102.1	105.7	130.9	75.6	65.7	180.0	282.1	79.9
	5		157.1	96.7	108.0	53.0	65.0	150.7	130.9	110.7	109.2	105.6	56.3	78.1
	6		82.1	95.7	140.0	50.3	48.6	165.4	110.7	58.6	121.8	102.2	99.8	59.3
7月	1		175.7	92.7	98.0	38.8	37.9	104.3	82.7	80.9	153.5	97.1	165.0	69.2
	2		133.3	122.9	69.1	81.5	77.1	155.1	69.4	76.6	196.3	174.3	195.0	134.3
	3		108.3	155.6	65.5	76.7	128.1	177.0	60.0	313.6	247.1	165.7	164.5	157.8
	4		121.4	165.4	109.5	67.3	181.4	190.7	124.3	166.4	277.4	163.4	187.7	186.3
	5		175.7	178.2	122.1	55.0	258.6	125.7	190.7	129.0	280.5	177.1	310.8	131.9
	6		159.0	197.6	124.5	144.5	183.1	149.3	214.0	220.0	306.0	201.9	289.7	143.1
8月	1		85.9	206.7	104.5	112.5	153.6	160.1	130.0	425.7	344.3	141.6	327.8	166.4
	2		126.4	213.0	177.3	130.3	181.7	152.9	264.3	145.8	289.2	122.1	374.2	292.1
	3		193.8	265.6	221.9	169.0	322.9	240.0	300.3	173.5	252.5	225.5	473.3	277.1
	4		215.7	334.2	156.9	243.0	174.3	264.9	331.4	260.8	442.5	225.5	958.1	284.5
	5		235.8	317.3	256.5	43.0	130.3	314.0		392.1	424.5	245.4	695.9	354.2
	6		268.3	356.6	244.2	163.2	151.0	533.1	401.3	290.6	481.4	512.6	363.0	426.0
9月	1		44.7	292.1	147.4	193.0	155.0	295.0	200.0	363.6	305.7	553.3	415.5	
	2		160.3	240.2	103.0	181.5	112.7	213.9	250.3	249.3	179.2	295.4	354.2	462.5
	3		320.7	274.2	174.5	103.5	85.3	209.0	162.9	222.1	650.5	326.2	335.2	472.5
	4		410.0	278.6	186.0	41.2	48.0	205.1	116.6	150.9	768.3	381.3	458.3	430.5
	5		386.3	316.0	253.1	279.5	82.1	130.7	125.0	216.0	595.8	525.0	464.3	488.6
	6		338.4	305.8	103.5	203.5	192.7	145.0	65.0	460.0	498.5	521.1	364.9	504.0
10月	1		288.6	306.6	106.3	281.4	238.9	213.6	217.1	543.4	285.2	497.1	300.0	382.9
	2		266.3	264.1	129.0	30.0	128.6	500.7	247.4	437.1	198.0	354.3	305.7	320.1
	3		247.0	338.7	162.0	409.5	260.0	394.9	252.2	246.4	352.9	395.7	604.0	309.5
	4		226.4	380.1	289.0	358.5	319.4	356.0	254.3	461.4	630.0	394.8	407.1	330.0
	5		322.1	438.6	479.0	338.7	359.3	482.9	233.8	460.1	956.1	351.9		285.4
	6		336.9	675.3	996.0	474.6	470.6	548.7	329.7	467.4	1,526.1	677.0		587.6
11月	1		208.0	584.4	963.0			448.3	337.3	250.0	923.6			
	2			686.5	990.5			361.6	423.6	424.3	1,232.7			
	3			556.9	719.6			25.0	615.6	273.9	1,150.6			
	4			393.6	488.5			302.0	525.9	138.9	512.9			
	5			344.7	286.6			409.8	638.6	249.3	139.3			
	6			151.9				69.2	156.7	321.9	60.0			

ハスモンヨトウの誘殺消長 (高原研究所・阿蘇市一の宮町)

月	半旬	令和2年	平成(H22 ~R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1		0.0										
	2		0.0										
	3		0.0										
	4		2.8										
	5		1.6										
	6		2.3	2.8									
5月	1		2.8	20.4	3.5	160.0							
	2		4.2	25.8	1.4	188.4							
	3		34.5	31.2	1.7	147.6							
	4		49.5	35.7	8.5	170.0							
	5		6.1	56.1	8.9	126.7							
	6		17.0	47.4	27.2	67.1							
6月	1		17.0	43.0	50.4	44.5	23.1	85.7	64.3				
	2		67.9	62.9	134.0	58.1	74.9	100.3	152.4				
	3		301.1	145.4	171.5	53.9	81.6	113.3	482.1				
	4		592.3	133.5	116.3	61.3	72.1	126.4	255.1				
	5		671.6	141.1	93.6	116.5	117.1	258.3	188.5				
	6		485.2	127.2	150.0	140.2	103.4	281.2	181.9				
7月	1		747.0	129.0	120.0	198.2	106.9	240.8	164.3				
	2		407.0	138.2	102.6	261.5	157.1	257.1	91.9				
	3		318.0	103.3	106.5	133.5	100.6	194.1	48.1				
	4		127.2	108.8	156.1	97.2	133.3	141.0	66.4				
	5		177.6	137.5	206.3	78.4	203.6	96.4	112.1				
	6		235.4	222.8	261.3	120.0	240.0	176.4	217.3				
8月	1		214.1	194.6	149.0	115.0	169.3	226.4	244.1				
	2		121.0	167.6	80.5	134.8	155.1	272.5	266.4				
	3		305.2	192.5	85.4	160.7	173.7	245.6	293.9				
	4		378.8	278.4	135.9	211.5	265.6	219.4	188.4				
	5		235.0	284.1	259.5	178.7	343.7	271.8	133.9				
	6		311.0	375.1	240.6	268.8	401.2	491.3	258.0				
9月	1		250.6	331.8	136.2	310.5	200.2	416.7	307.0				
	2		339.4	273.8	132.8	360.0	154.3	416.5	272.0				
	3		486.0	231.8	212.0	184.0	242.9	381.9	185.0				
	4		375.6	238.7	189.8	251.2	172.8	330.0	148.9				
	5		232.8	208.4	167.0	520.0	109.2	398.0	162.3				
	6		100.5	187.6	135.0	139.5	169.8	409.3	204.1				
10月	1		155.1	182.3	144.5	223.8	158.0	424.7	156.3				
	2		30.0	171.3	116.5	280.0	149.4	520.0	104.0				
	3		118.0	132.3	74.5	150.0	197.2	309.0	58.6				
	4		153.0	107.1	109.0	111.6	192.5	195.6	42.9				
	5		112.9	131.4	145.0	87.8	158.3	236.4	63.6				
	6		189.7	119.6	184.6	67.6	78.9	297.0	38.8				
11月	1		52.7	89.3	63.5			202.0	52.8				
	2			51.6				26.3	76.9				
	3			51.4				51.4					
	4												
	5												
	6												

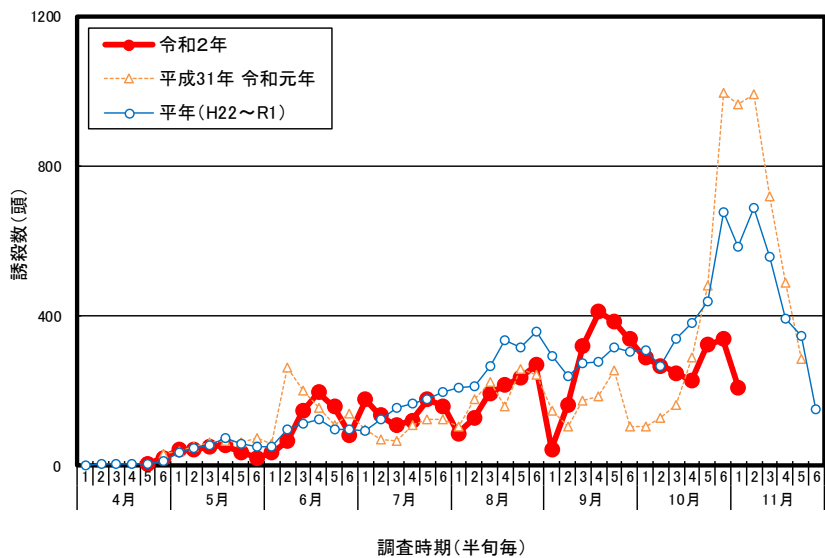
ハスモンヨトウの誘殺消長（山都町鶴底）

月	半旬	令和2年	平年（H22～R1）	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1												
	2												
	3		0.0						0.0				
	4	0.0	0.0						0.0				
	5	0.0	0.0		0.0				0.0				
	6	0.0	0.5		0.0				0.0	0.0	2.8		0.0
5月	1	1.3	3.3		13.2	5.3		0.0	0.0	0.0	4.6		0.0
	2	2.1	4.3	0.0	19.6	6.7	8.0	2.0	1.7	0.5	4.6	0.0	0.0
	3	3.7	6.5	4.5	27.4	5.6	8.0	4.9	8.6	1.2	2.9	1.7	0.5
	4	5.0	6.2	4.5	9.0	5.4	7.6	7.1	22.3	1.2	1.0	3.0	1.3
	5	2.0	7.6	2.1	9.0	5.0	7.3	4.4	18.3	1.4	0.6	3.8	24.3
	6	3.0	7.6	4.6	10.8	6.0	9.7	7.1	7.6	1.8	2.9	2.0	23.7
6月	1	5.0	8.6	5.4	9.0	13.0	11.9	12.2	2.1	8.3	7.5	1.5	15.0
	2	6.4	9.2	7.0	9.0	12.0	14.1	19.3	4.4	3.5	6.5	11.8	4.3
	3	8.6	15.0	11.8	10.2	7.5	15.6	70.0	6.4	2.3	6.6	14.7	5.0
	4	29.4	18.1	15.0	11.0	12.0	7.5	64.3	8.6	13.5	13.1	16.2	19.6
	5	26.6	19.8	17.5	11.0	13.3	18.2	50.3	10.5	21.0	11.9	16.2	27.9
	6	15.0	18.2	17.0	13.0	14.2	34.3	28.3	10.5	20.8	9.3	12.5	22.5
7月	1	53.7	16.6	14.5	13.0	14.2	34.3	10.5	21.3	20.6	8.1	10.0	19.5
	2	54.4	18.3	4.5	13.9	14.8	46.3	10.5	15.1	21.0	8.1	32.5	15.8
	3	48.5	19.1	4.5	17.5	20.6	54.4	12.0	7.6	16.5	15.2	30.1	13.1
	4	29.6	22.3	9.3	19.5	29.0	21.3	33.1	14.4	16.5	22.4	26.4	31.3
	5	18.8	19.6	12.5	22.5	24.5	24.8	32.4	11.7	25.4	8.6	13.3	20.7
	6	22.7	25.7	16.3	41.4	21.3	36.0	36.0	9.0	46.5	16.4	23.3	11.1
8月	1	13.3	21.0	11.5	27.0	14.1	28.5	24.8	7.5	44.3	16.4	22.4	13.1
	2	11.7	19.8	11.5	20.1	13.2	28.2	31.9	5.0	41.0	15.3	18.6	13.1
	3	12.7	20.4	18.3	12.5	13.2	32.7	32.5	8.1	38.8	22.1	12.4	13.1
	4	17.0	27.3	20.0	12.5	21.7	35.8	32.9	23.1	38.8	32.9	40.8	14.7
	5	24.3	24.9	15.5	12.5	34.3	35.8	29.6	16.5	54.7	17.1	16.2	17.2
	6	27.7	43.3	18.0	24.9	41.1	69.8	19.6	15.7	94.4	26.4	31.1	91.8
9月	1	16.7	43.0	27.5	51.7	31.6	39.1	16.3	15.0	66.5	26.0	45.7	110.5
	2	12.8	31.8	33.0	10.5	30.9	39.1	16.7	7.7	48.3	15.0	21.1	95.6
	3	9.4	31.1	36.9	10.7	21.9	39.1	17.1	7.7	58.3	13.9	19.5	85.6
	4	7.7	27.3	39.5	11.5	15.9	43.6	15.0	13.9	40.6	13.4	26.3	53.3
	5	6.4	22.4	32.5	9.1	15.9	43.6	16.5	15.5	25.6	13.1	17.3	35.2
	6	10.0	20.8	12.5	10.3	21.1	49.2	17.5	13.5	30.7	11.8	12.4	29.1
10月	1	9.5	19.6	7.5	13.0	40.1	45.3	11.4	13.0	20.6	9.9	8.6	26.7
	2	8.5	16.1	7.5	13.0	32.5	23.8	11.4	7.0	20.9	8.6	13.1	22.7
	3	7.5	16.3	17.0	15.4	10.0	23.8	12.9	5.5	30.6	12.9	15.3	20.0
	4	10.6	15.2	11.8	15.4	6.9	18.8	18.6	6.2	25.0	10.0	18.6	20.7
	5	9.7	13.1	4.0	9.0	2.3	15.5	17.7	6.9	27.0	6.7	19.4	22.9
	6	9.1	10.7	4.8	1.8	2.8	7.1	21.0	9.0	22.0	3.8	19.8	14.6
11月	1	10.0	5.0	7.5			1.1				7.5	4.0	
	2		6.3	6.3									
	3		4.5	4.5									
	4		0.0	0.0									
	5		2.0	2.0									
	6												

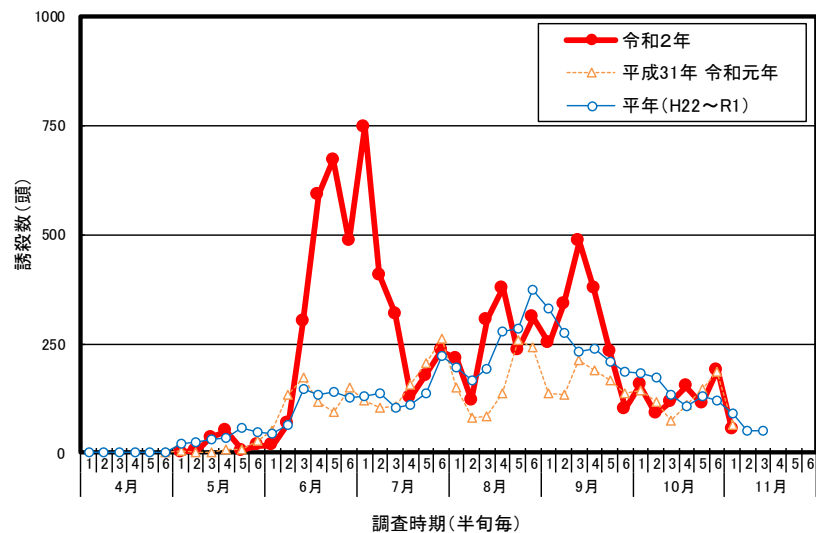
ハスモンヨトウの誘殺消長（阿蘇市波野）

月	半旬	令和2年	平年（H22～R1）	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1												
	2												
	3		0.0						0.0	0.0	0.0		
	4		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6		0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.0					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.1					0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0.0	0.3					1.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
	4	0.0	0.3					0.6	1.3	0.0	0.0	0.1	0.0
	5	0.0	5.3				0.4	0.3	2.9	2.1	1.7	0.0	0.7
	6	0.0	2.8				2.4	0.8	3.4	2.7	1.4	1.3	0.3
6月	1	1.1	2.2	2.0	8.0	3.8	0.7	4.7	0.4	0.3	0.7	0.4	1.0
	2	5.7	5.3	0.5	5.0	5.1	2.9	20.4	0.0	1.4	2.9	13.7	1.4
	3	37.1	17.1	6.5	3.0	7.1	5.9	76.4	2.1	2.6	1.1	65.7	0.0
	4	41.0	10.6	9.4	3.0	7.9	12.1	17.0	1.7	2.0	0.3	48.6	4.3
	5	35.0	15.0	5.0	32.6	13.0	39.0	8.4	1.6	0.7	1.4	39.7	8.7
	6	104.3	19.8	13.0	45.8	17.3	50.6	17.9	2.1	1.4	2.0	32.9	15.0
7月	1	81.6	25.6	11.0	54.5	20.7	57.9	40.0	2.1	20.3	3.3	30.7	15.0
	2	57.9	16.4	5.0	9.5	23.6	31.4	19.4	8.7	27.6	5.0	24.3	9.9
	3	23.6	12.6	6.5	11.0	27.2	31.0	5.3	18.6	6.4	0.7	17.3	2.1
	4	17.9	18.3	19.2	15.4	46.0	35.6	4.3	40.9	6.4	0.7	6.4	8.6
	5	13.9	20.9	25.3	17.0	17.9	24.3	11.6	28.6	16.1	1.0	46.4	21.0
	6	19.7	37.1	29.4	51.9	27.1	45.9	21.7	42.2	2.6	80.0	32.9	
8月	1	48.6	33.8	2.5	31.7	28.4	63.0	8.6	57.5	12.1	76.9	23.6	
	2	37.7	23.1	2.5	19.8	33.6	27.3	63.6	7.9	26.9	6.7	26.7	16.4
	3	31.3	37.2	5.4	17.0	68.6	33.6	77.3	21.1	42.4	6.5	76.2	23.7
	4	25.7	41.6	19.4	19.4	59.6	36.4	52.3	24.0	65.7	20.0	90.0	29.6
	5	27.1	48.4	25.0	22.8	53.0	55.1	24.6	51.4	107.9	18.9	92.1	33.6
	6	52.6	64.8	25.2	39.3	60.9	106.1	55.5	23.9	127.1	21.4	60.9	127.5
9月	1	59.0	54.8	18.4	61.5	34.3	120.0	68.1	7.4	69.3	16.9	89.6	62.2
	2	69.3	39.6	32.0	44.3	48.0	62.3	47.3	5.3	15.7	15.7	75.0	50.7
	3	60.7	36.1	32.8	30.6	49.4	49.0	7.9	8.1	56.4	24.9	38.6	63.6
	4	44.9	30.1	24.4	16.5	18.6	50.7	10.0	5.1	48.7	17.1	47.9	61.9
	5	25.0	35.8	11.5	133.0	12.9	47.9	22.9	8.6	40.7	2.1	28.1	50.6
	6	2.9	26.8	10.5	59.5	12.3	61.1	31.1	15.0	29.3	1.4	13.9	34.3
10月	1	11.4	24.1	15.3	19.4	16.3	83.7	36.0	10.9	32.5	2.7	9.3	15.0
	2	8.4	23.3	12.6	44.5	41.4	68.6	9.4	4.4	24.2	2.9	12.1	13.3
	3	0.7	12.8	3.0	10.9	21.4	41.1	3.1	2.0	18.1	0.0	16.0	12.1
	4	7.9	9.6	3.0	3.8	8.1	35.1	1.4	1.4	9.3	0.6	20.7	12.1
	5	5.7	10.0	4.0	9.0	3.3	36.4	2.9	2.6	15.7	1.0	11.4	13.3
	6	5.4	12.7	5.5	15.6	2.8	41.1	3.4	3.9	21.4	1.4	18.3	13.3
11月	1	5.0	8.1	0.0			10.3	10.0	3.6	13.6	0.0	19.1	
	2		13.5	0.6			3.1	20.7	3.6	30.7		22.1	
	3		5.3	0.6			1.4	11.4	0.7	12.7		5.0	
	4		3.1	0.0			10.0		0.6			2.0	
	5												
	6												

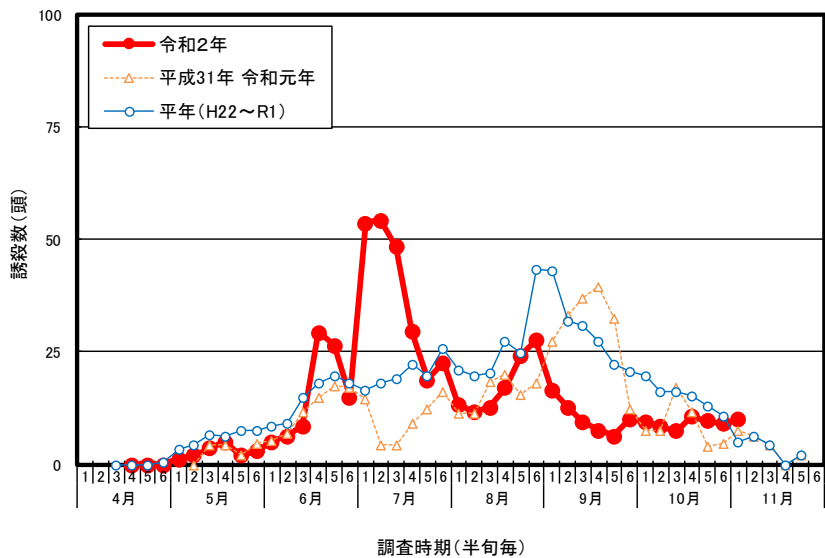
ハスモンヨトウの誘殺状況(フェロモントラップ)八代市鏡町



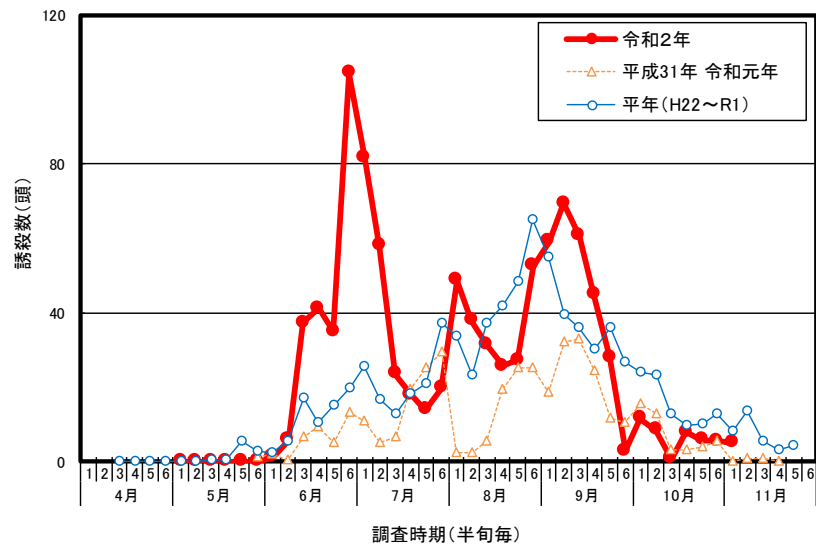
ハスモンヨトウ誘殺状況(フェロモントラップ)阿蘇市一の宮町



ハスモンヨトウの誘殺状況(フェロモントラップ)山都町鶴底



ハスモンヨトウ誘殺状況(フェロモントラップ)阿蘇市波野



オオタバコガの誘殺消長（アグリシステム総合研究所野菜栽培研究室・八代市鏡町）

月	半月	令和2年	平成(H22 ～R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1		0.0										
	2		0.2					2.2					
	3		0.3					3.1					
	4		0.5					1.4	2.3	1.5			
	5	4.0	0.5					0.6	2.3	1.6		0.0	0.0
	6	3.1	0.8	1.6	1.8	0.1		0.0	1.4	0.6	2.0	1.3	0.5
5月	1	0.4	1.4	2.0	5.4	0.0	0.0	3.6	0.7	0.3	0.0	1.1	1.3
	2	0.4	1.5	1.7	5.9	0.0	0.8	1.4	1.1	0.0	0.3	1.9	1.6
	3	1.9	1.3	1.5	1.5	0.0	0.2	0.0	1.9	0.0	0.6	6.4	1.1
	4	2.4	0.7	0.3	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	1.9	0.6	
	5	0.7	0.5	0.0	0.6	0.6	0.0	0.0	0.7	0.9	0.0	1.9	0.0
	6	0.1	1.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.4	1.7	0.0	4.5	1.9
6月	1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.4	0.0	0.8	1.1	
	2	0.0	0.4	0.0	1.1	0.0	1.1	0.0	0.7	0.7	0.0	0.2	0.0
	3	0.0	0.7	0.4	1.1	0.0	2.9	0.7	0.1	1.1	0.0	0.0	0.8
	4	0.6	0.5	0.3	0.5	0.0	1.4	0.3	1.4	1.1	0.0	0.0	0.2
	5	0.4	0.7	0.0	0.0	0.6	1.0	0.0	3.6	1.7	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	1.7	6.5	4.8	0.7	1.0	0.0	2.1	1.5	0.0	0.9	0.0
7月	1	2.1	1.9	2.9	6.4	0.7	2.1	1.1	2.1	1.4	0.0	2.1	0.0
	2	1.3	1.0	0.4	1.5	1.4	1.0	0.9	1.7	1.4	0.0	0.8	1.0
	3	1.1	1.7	0.0	0.7	0.6	0.4	0.0	12.9	0.0	0.0	1.2	1.1
	4	2.9	0.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	1.0	0.6
	5	2.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6	5.0	0.0	0.0	0.7
	6	1.7	2.1	0.0	2.0	0.0	0.0	1.1	1.4	15.0	0.0	0.0	1.1
8月	1	0.6	2.1	0.5	0.4	0.0	0.0	0.0	14.3	2.1	0.0	1.8	1.4
	2	0.0	0.9	0.1	0.0	0.0	0.0	1.4	3.5	0.9	1.0	2.1	0.0
	3	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.6	1.3	0.0	0.0	1.7	0.0
	4	0.3	0.4	0.0	1.2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.2
	5	1.7	1.2	5.5	0.6	0.0	0.3		1.4	1.0	0.3	1.3	0.8
	6	0.9	2.7	3.8	2.6	0.0	1.7	3.6	6.3	1.6	1.7	0.0	5.3
9月	1	0.1	3.9	1.8	3.5	0.0		3.1	6.0	1.4	0.0	13.3	5.8
	2	0.3	3.8	1.5	1.5	0.0	10.0	3.3	4.3	7.5	0.0	6.2	4.0
	3	0.7	2.8	0.0	0.6	0.0	9.7	5.0	0.0	7.7	0.2	4.5	0.0
	4	5.0	2.8	0.3	0.1	0.0	5.7	2.0	5.6	7.8	0.7	5.0	0.7
	5	5.3	3.1	1.0	0.5	5.7	4.0	1.0	8.0	5.8	0.7	2.9	1.2
	6	5.2	5.4	3.0	9.7	10.0	7.6	0.0	2.9	5.8	0.7	5.9	8.1
10月	1	2.9	13.6	5.0	21.8	11.7	13.6	5.0	9.1	24.2	0.7	10.0	35.0
	2	14.9	15.4	4.7	3.7	7.1	27.9	8.0	9.9	44.6	0.0	18.6	29.5
	3	15.0	19.4	3.5	17.0	7.1	16.7	8.9	8.6	77.1	5.5	22.6	26.9
	4	10.7	17.8	4.5	8.9	6.9	8.3	7.1	18.6	81.1	6.0	14.1	22.1
	5	20.7	18.3	6.3	5.7	6.4	4.3	3.8	13.4	72.7	1.3		50.7
	6	12.3	18.9	9.8	17.4	3.4	3.0	4.8	13.4	67.3	3.6		47.5
11月	1	4.0	15.2	6.5				4.7	7.6	13.6	43.6		
	2		15.9	2.0				6.6	20.7	13.6	36.7		
	3		14.2	2.9				7.1	27.0	8.4	25.3		
	4		11.5					11.2	20.1	4.0	10.7		
	5		9.2					14.0	15.0	6.4	1.4		
	6		2.9					5.0	0.8	5.3	0.6		

オオタバコガの誘殺消長（高原研究所・阿蘇市一の宮町）

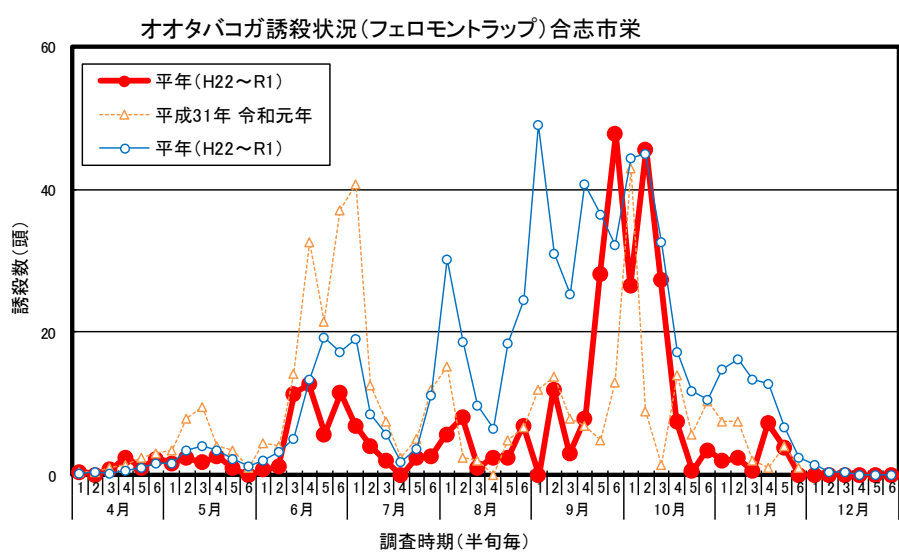
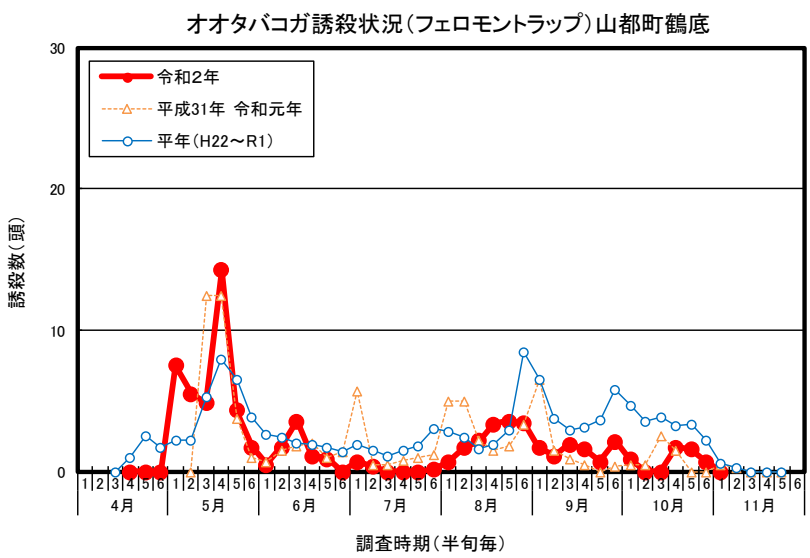
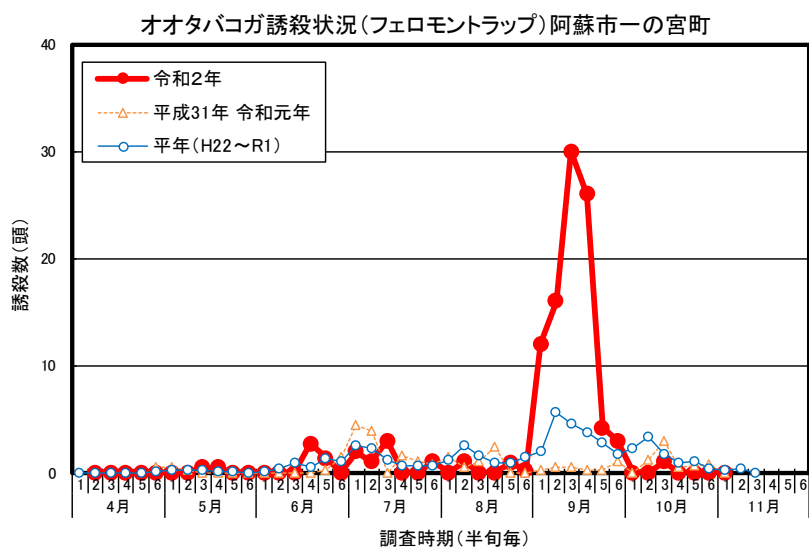
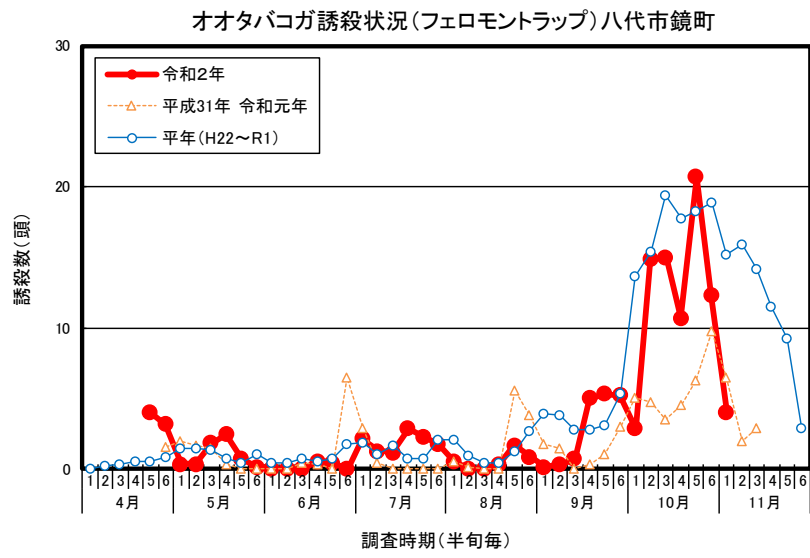
月	半月	令和2年	平成(H22 ～R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1		0.0										
	2		0.0	0.0							0.0		
	3		0.0	0.0							0.0		0.0
	4		0.0	0.0							0.0		0.0
	5		0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	6		0.0	0.1	0.5		0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
5月	1	0.0	0.2	0.5	0.4	0.0	0.8	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2	0.0	0.2	0.2	0.4	0.1	1.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	3	0.5	0.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.5	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6月	1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	2	0.0	0.3	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.8	0.0	0.0
	3	0.0	1.0	0.0	2.7	0.0	0.1	0.0	0.8	0.0	6.0	0.0	0.0
	4	2.7	0.6	0.0	4.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.5	0.0	0.0
	5	1.4	1.3	0.3	4.0	3.6	2.1	0.0	0.5	0.0	2.5	0.0	0.0
	6	0.0	1.1	1.5	3.1	2.7	2.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.8	0.0
7月	1	2.0	2.6	4.5	2.9	1.7	0.0	0.0	10.9	0.0	4.3	1.5	0.0
	2	1.0	2.3	3.9	3.5	0.0	1.4	0.0	10.7	1.5	1.3	0.8	0.0
	3	3.0	1.2	0.0	0.5	0.0	0.6	0.3	6.4	3.0	0.8	0.0	0.0
	4	0.0	0.6	1.6	1.4	0.9	0.0	1.4	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.6	1.1	1.6	2.1	0.0	0.9	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0
	6	1.0	0.7	0.8	0.0	1.7	0.0	1.3	1.4	0.0	0.7	0.7	0.0
8月	1	0.0	1.2	1.5	1.5	1.6	0.8	1.4	3.6	0.0	1.3	0.3	0.0
	2	1.0	2.6	0.5	0.9	2.0	1.3	1.4	17.1	0.0	2.7	0.3	0.0
	3	0.0	1.6	1.0	1.3	1.7	0.0	2.6	7.7	0.0	1.0	0.7	0.0
	4	0.0	0.9	2.4	4.5	0.0	0.0	1.1	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.9	0.9	0.0	3.3	1.7	0.5	0.0	0.7	0.0	2.3	0.8	0.0
	6	0.3	1.5	0.0	3.9	2.3	1.5	0.0	1.0	0.0	2.7	3.3	0.0
9月	1	12.0	2.1	0.3	10.9	0.4		3.3	4.6	0.7	0.0	0.3	0.0
	2	16.0	5.7	0.5	22.0	2.1	23.0	6.0	1.8	0.0	0.7	0.5	0.0
	3	30.0	4.6	0.5	8.0	1.4	19.2	6.4	6.4	0.0	2.0	2.0	0.0
	4	26.0	3.8	0.2	8.4	8.0	6.3	2.8	4.0	0.0	7.8	0.5	0.0
	5	4.2	2.9	0.2	10.0	5.0	3.0	2.6	3.2	0.0	3.8	0.8	0.0
	6	3.0	1.7	1.0	5.5	1.9	1.3	1.7	3.1	0.0	1.5	1.2	0.0
10月	1	0.0	2.3	0.0	9.4	1.9	2.6	0.6	3.6	0.0	5.0	0.0	0.0
	2	0.0	3.4	1.2	12.0	1.9	13.1	0.8	4.1	0.0	0.7	0.0	0.0
	3	1.0	1.7	3.0	1.0	1.7	5.3	0.5	4.4	0.0	1.3	0.0	0.0
	4	0.0	0.9	0.5	0.2	6.2	0.3	0.0	0.8	0.0	1.0	0.0	0.0
	5	0.0	1.1	0.7	0.0	7.4	0.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.4	0.8	0.0	0.0	0.6	0.7	0.0	0.0	1.0		
11月	1	0.0	0.2	0.0				0.6	0.3				
	2							0.8	0.0				
	3							0.0					
	4												
	5												
	6												

オオタバコガの誘殺消長(山都町鶴底)

月	半旬	令和2年	平年(H22～R1)	平成31年令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1												
	2												
	3		0.0						0.0				
	4	0.0	1.0					0.0	2.0				
	5	0.0	2.5					4.0	5.0		0.0		
	6	0.0	1.7			1.0							2.4
5月	1	7.5	2.2		1.7	0.9		5.6	4.3	0.0	0.0		3.0
	2	5.5	2.2	0.0	1.4	1.1	1.7	5.7	6.0	2.9	0.0	0.0	2.9
	3	4.9	5.2	12.5	1.6	0.6	1.7	5.2	1.4	7.3	2.7	13.7	5.7
	4	14.3	8.0	12.5	4.0	0.6	2.1	4.3	12.3	7.3	5.6	21.2	10.0
	5	4.4	6.5	3.7	4.0	0.8	2.3	4.4	11.0	2.1	6.1	14.4	16.0
	6	1.7	3.8	1.0	4.5	0.9	2.4	4.6	5.3	0.9	2.1	7.7	8.6
6月	1	0.5	2.6	0.7	2.5	1.9	0.6	4.0	1.4	2.5	1.9	6.0	4.1
	2	1.7	2.4	1.5	2.5	2.0	0.6	5.0	5.4	0.5	2.5	3.2	0.7
	3	3.6	2.0	1.8	1.6	1.9	0.6	3.1	4.4	0.0	2.8	3.0	0.7
	4	1.1	1.9	2.0	1.0	1.4	1.3	2.5	1.4	0.6	0.6	5.0	3.3
	5	0.9	1.7	1.0	1.0	1.3	1.0	1.3	0.5	1.0	0.3	5.0	4.3
	6	0.0	1.4	1.4	4.5	1.7	0.7	0.0	0.5	1.5	0.4	2.4	1.3
7月	1	0.7	1.9	5.7	4.5	1.7	0.7	1.5	1.3	1.9	0.6	0.6	1.0
	2	0.3	1.5	0.5	3.9	3.8	1.3	1.5	0.8	0.0	0.6	1.9	1.0
	3	0.0	1.0	0.5	1.5	2.8	1.9	0.0	0.2	0.0	1.3	1.4	0.9
	4	0.0	1.5	0.8	6.5	0.5	1.3	0.6	1.1	0.0	2.4	0.7	0.8
	5	0.0	1.8	1.0	6.9	0.7	3.0	0.9	0.7	0.8	2.1	1.7	0.5
	6	0.1	3.0	1.2	10.2	1.3	6.7	2.0	0.0	2.3	3.2	3.3	0.3
8月	1	0.7	2.8	5.0	10.6	1.4	2.2	2.5	0.0	0.0	3.2	3.1	0.3
	2	1.6	2.4	5.0	10.5	1.5	1.4	0.6	0.5	0.0	2.4	2.1	0.3
	3	2.2	1.6	2.2	4.5	1.5	2.2	0.8	0.6	0.6	1.6	1.8	0.3
	4	3.3	1.9	1.5	4.5	2.9	2.7	0.8	0.6	0.9	0.7	4.1	0.6
	5	3.6	2.9	1.8	4.5	5.0	2.7	1.1	0.3	6.2	1.4	4.7	1.1
	6	3.4	8.4	3.3	9.3	6.0	34.5	2.8	0.3	16.9	3.3	1.1	6.8
9月	1	1.7	6.5	6.5	19.8	3.2	7.5	2.3	0.7	11.6	3.3	2.1	8.2
	2	1.1	3.7	1.5	3.0	2.7	7.5	2.0	0.9	7.8	1.4	5.0	5.5
	3	1.9	3.0	0.9	2.8	2.3	7.5	1.4	0.9	4.3	0.9	4.9	3.8
	4	1.6	3.1	0.5	2.0	2.1	8.2	1.4	8.6	2.1	1.9	3.8	0.8
	5	0.7	3.7	0.0	0.8	2.1	8.2	3.9	10.5	5.8	3.8	0.8	1.3
	6	2.1	5.8	0.4	1.5	2.8	18.6	5.6	3.7	19.3	4.8	0.0	1.5
10月	1	0.9	4.7	0.5	3.0	6.0	17.8	1.4	2.0	10.4	4.3	0.0	1.7
	2	0.0	3.5	0.5	3.0	5.8	4.2	1.4	1.2	10.7	2.8	4.4	1.4
	3	0.0	3.9	2.5	2.1	0.6	4.2	1.1	1.0	20.9	0.7	4.1	1.3
	4	1.7	3.3	1.5	1.4	0.4	3.5	0.0	0.2	20.7	0.7	3.6	0.7
	5	1.6	3.3	0.0	1.0	0.0	3.0	1.0	0.0	7.1	0.4	16.3	4.6
	6	0.7	2.2	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	0.0	3.0	0.0	11.8	4.3
11月	1	0.0	0.5	0.5				0.0			0.0	1.8	
	2		0.3	0.3									
	3		0.0	0.0									
	4		0.0	0.0									
	5		0.0	0.0									
	6		0.0	0.0									

オオタバコガの誘殺消長(農業研究センター・合志市栄)

月	半旬	令和2年	平年(H22～R1)	平成31年令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1	0.5	0.3	0.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0
	2	0.2	0.6	0.5	0.0	3.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.5
	3	0.8	0.4	1.0	2.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	2.5	0.7	1.5	1.5	0.5	0.0	0.5	1.0	0.5	0.5	0.0	0.5
	5	1.0	1.2	2.5	2.0	0.0	2.5	1.5	1.5	0.0	1.0	0.0	0.5
	6	2.4	1.6	3.0	2.0	2.0	2.5	3.0	2.0	0.0	0.5	0.0	1.0
5月	1	1.8	1.6	3.5	0.0	1.0	0.5	4.0	1.5	0.0	4.0	1.5	0.0
	2	2.4	3.5	8.0	1.5	2.0	7.0	4.5	3.5	0.5	4.0	3.5	0.5
	3	1.8	4.2	9.5	2.0	2.5	2.0	4.5	10.0	2.0	4.0	4.0	1.5
	4	2.6	3.4	4.0	1.5	2.0	0.5	2.5	10.5	1.5	9.5	1.5	0.5
	5	1.0	2.2	3.5	2.0	0.0	2.0	0.5	2.5	0.5	8.5	1.0	1.5
	6	0.0	1.2	1.0	1.0	0.0	1.0	2.5	1.0	0.5	1.5	2.0	1.5
6月	1	0.9	2.0	4.5	0.0	0.5	0.0	2.0	5.0	1.5	4.0	1.0	1.5
	2	1.2	3.3	4.0	8.5	1.0	1.5	6.0	3.0	3.0	2.0	0.0	4.0
	3	11.5	5.1	14.2	9.0	0.0	3.5	9.5	4.0	1.0	4.5	2.5	3.0
	4	12.8	13.5	32.6	25.5	0.0	35.5	11.5	9.0	12.5	5.5	2.0	0.5
	5	5.8	19.4	21.5	34.5	20.5	18.5	18.5	20.5	32.0	24.5	0.0	3.0
	6	11.6	17.3	37.0	1.5	26.5	7.5	33.5	7.5	16.0	31.5	11.0	1.0
7月	1	7.0	19.2	40.8	5.5	15.0	2.0	17.0	17.5	16.5	32.5	24.0	21.0
	2	4.0	8.6	12.7	3.0	9.0	3.0	7.0	18.0	4.0	14.0	7.0	7.0
	3	2.0	5.8	7.5	1.5	4.5	4.0	4.5	4.0	1.0	9.0	5.5	15.5
	4	0.0	2.0	2.5	4.0	0.0	3.5	1.5	1.0	1.0	1.0	3.0	2.0
	5	2.4	3.7	5.2	5.5	3.5	7.0	5.0	0.5	4.0	4.0	1.5	1.0
	6	2.8	11.3	12.0	4.5	24.5	9.0	11.5	17.5	14.5	9.0	2.5	7.5
8月	1	5.8	30.2	15.3	9.0	13.5	10.5	30.5	98.0	30.0	34.0	17.5	43.5
	2	8.1	18.7	2.5	4.0	13.5	2.5	19.5	42.0	12.5	46.5	22.5	21.5
	3	1.0	9.8	2.1	5.0	4.5	3.5	17.5	5.5	13.0	9.5	14.0	23.0
	4	2.5	6.5	0.0	4.0	1.0	2.5	4.5	3.5	21.0	7.0	18.5	3.0
	5	2.5	18.4	5.0	10.4	7.5	4.0		3.5	59.0	29.5	10.5	36.0
	6	7.0	24.6	6.7	12.2	16.5	20.0		16.5	42.0	41.0	25.5	41.5
9月	1	0.0	49.0	11.9	35.0	26.0		51.5	63.5	76.5	37.0	95.0	45.0
	2	12.0	30.9	13.8	14.0	22.5	19.0	48.5	45.0	23.5	17.0	56.5	49.5
	3	3.1	25.3	7.9	25.5	10.0	17.0	36.5	10.0	40.0	15.0	56.5	35.0
	4	8.0	40.8	7.0	74.5	25.0	47.5	14.5	7.5	146.0	34.0	39.5	12.0
	5	28.2	36.5	5.0	123.5	30.9	49.0	39.0	2.5	88.0	30.9	38.0	22.0
	6	47.8	32.3	13.0	18.5	17.5	34.0	20.5	2.0	99.0	31.0	20.0	67.5
10月	1	26.5	44.4	43.0	47.5	20.5	46.0	18.5	15.0	91.0	65.0	30.5	67.5
	2	45.7	44.9	9.0	41.5	20.5	63.5	11.5	9.0	139.0	64.5	28.0	63.0
	3	27.4	32.6	1.5	20.5	14.5	10.5	11.0	9.0	65.5	52.0	68.5	72.5
	4	7.5	17.3	14.0	5.5	20.0	4.0	3.5	8.5	31.5	30.5	35.5	19.5
	5	0.6	11.8	5.7	7.5	8.5	3.0	4.5	8.0	16.5	17.0	36.5	10.5
	6	3.5	10.6	10.3	2.5	3.5	6.0	6.0	13.5	17.0	19.5	18.0	9.5
11月	1	2.0	14.8	7.5	4.0	1.5	6.5	7.0	12.5	46.0	2.5	57.0	3.5
	2	2.4	16.3	7.5	13.5	1.0	6.5	28.5	7.5	51.5	8.5	26.5	12.0
	3	0.6	13.5	2.0	13.5	3.5	12.0	45.5	3.0	27.0	4.0	16.0	8.5
	4	7.3	12.8	1.0	10.5	0.0	38.0	44.5	1.0	3.5	0.5	27.5	1.0
	5	3.9	6.8	4.0	3.0	0.0	27.5	14.5	6.5	7.5	2.0	2.0	1.0
	6	0.0	2.5	1.0			2.0	0.0	12.0	0.0	0.0	6.5	0.0
12月	1	0.0	1.5					0.0	0.0	0.5	0.0	3.5	5.0
	2	0.0	0.4					2.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	3	0.0	0.4					0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	4	0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



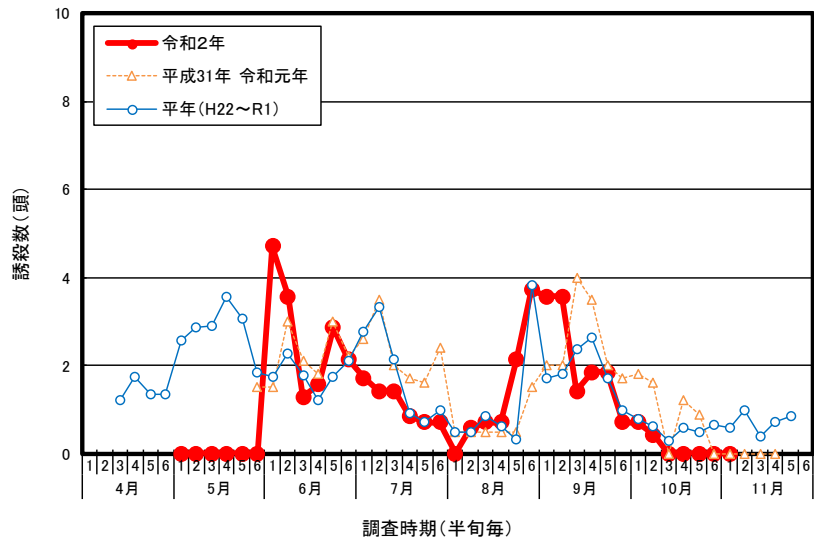
コナガの誘殺消長（阿蘇市波野）

月	半旬	令和2年	平年 (H22～ R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1												
	2												
	3		1.2					1.1	2.5	0.0			
	4		1.7					5.7	1.2	0.0	0.0	3.6	0.0
	5		1.3					2.3	1.2	0.0	0.0	4.1	0.4
	6		1.4					3.1	1.4	0.0	0.0	3.1	0.6
5月	1	0.0	2.6					5.7	1.7	0.0	6.9	1.3	0.0
	2	0.0	2.9					2.1	3.2	0.0	8.6	2.3	1.1
	3	0.0	2.9			0.0		2.1	3.1	0.0	8.6	5.3	1.1
	4	0.0	3.6			1.7		2.0	1.4	0.0	12.1	6.9	0.7
	5	0.0	3.1		0.1	1.3		1.4	3.6	0.0	11.7	5.7	0.7
	6	0.0	1.9	1.5	0.5	0.0	0.0	1.4	2.4	0.0	9.4	1.4	1.9
6月	1	4.7	1.7	1.5	1.5	1.9	0.0	1.9	2.1	0.0	6.4	0.6	1.6
	2	3.6	2.3	3.0	3.6	1.7	0.9	2.1	2.1	0.0	7.9	0.7	0.7
	3	1.3	1.8	2.1	4.4	1.4	1.1	2.1	0.0	0.0	3.1	3.6	0.0
	4	1.6	1.2	1.8	2.0	2.1	0.0	1.0	2.1	0.0	0.7	1.9	0.4
	5	2.9	1.7	3.0	2.0	2.1	0.0	0.7	3.3	0.0	3.6	1.7	1.0
	6	2.1	2.1	2.2	3.2	2.1	0.0	0.7	2.1	2.1	4.1	2.1	2.1
7月	1	1.7	2.8	2.6	5.0	2.1	0.0	0.7	1.0	3.9	6.6	3.6	2.1
	2	1.4	3.3	3.5	3.5	4.9	0.0	1.1	0.4	4.1	10.0	4.4	1.3
	3	1.4	2.2	2.0	1.4	4.7	0.0	1.1	0.0	0.7	7.1	4.4	0.0
	4	0.9	0.9	1.7	0.1	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	2.1	0.7
	5	0.7	0.7	1.6	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.6	1.3	1.0	0.7
	6	0.7	1.0	2.4	3.1	0.6	0.0	0.0	0.3	1.4	0.7	0.7	0.7
8月	1	0.0	0.5	0.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.6	0.7
	2	0.6	0.5	0.5	2.0	0.0	0.1	0.0	0.7	0.0	0.0	1.7	0.0
	3	0.7	0.8	0.5	2.0	0.7	0.7	1.7	0.7	0.6	0.0	1.5	0.0
	4	0.7	0.6	0.5	0.4	0.3	0.7	1.3	0.6	1.4	0.0	0.9	0.0
	5	2.1	0.3	0.5	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0
	6	3.7	3.8	1.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	35.8
9月	1	3.6	1.7	2.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.0	0.0	13.7
	2	3.6	1.8	2.0	1.7	0.0	2.9	0.3	0.8	1.4	0.0	0.0	8.9
	3	1.4	2.4	4.0	1.8	0.0	4.4	0.7	0.6	0.0	0.0	0.0	12.1
	4	1.9	2.6	3.5	1.5	0.0	5.7	0.0	0.1	0.4	0.3	1.4	13.3
	5	1.9	1.7	2.0	2.0	0.0	2.1	0.0	0.3	1.1	0.7	0.6	8.1
	6	0.7	1.0	1.7	1.7	0.0	2.6	0.0	0.7	2.9	0.0	0.1	0.0
10月	1	0.7	0.8	1.8	1.3	0.0	2.7	0.0	0.1	1.2	0.0	0.7	0.0
	2	0.4	0.6	1.6	0.5	0.0	2.1	1.1	0.4	0.3	0.0	0.1	0.0
	3	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	1.3	0.9	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
	4	0.0	0.6	1.2	0.0	0.0	1.1	0.0	1.4	2.1	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.5	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	0.9	1.7	0.0	0.7	0.0
	6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.4	2.0	0.0	0.7	0.0
11月	1	0.0	0.6	0.0			1.0	0.6	0.0	2.1	0.0	0.4	
	2		1.0	0.0			1.0	2.9	0.0	2.1		0.0	
	3		0.4	0.0			1.4	0.0	0.0	0.9		0.0	
	4		0.7	0.0			2.1			0.0			
	5		0.9				0.9						
	6												

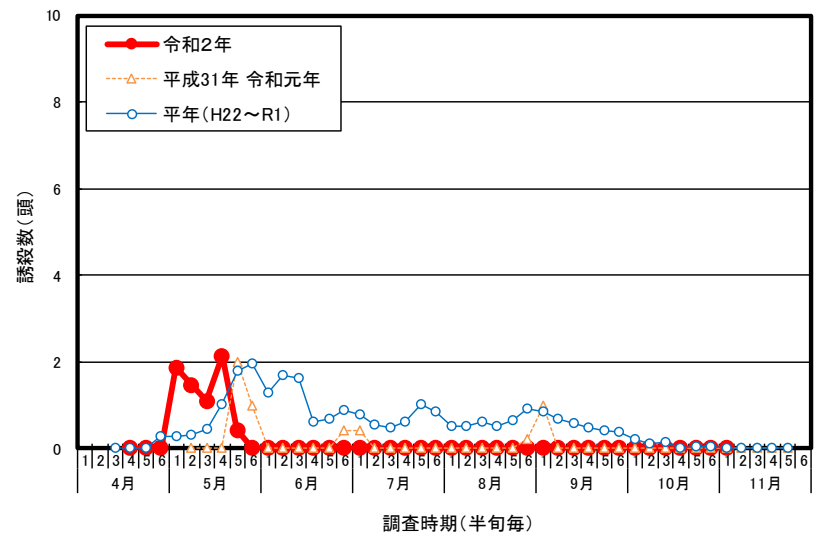
コナガの誘殺消長（山都町鶴底）

月	半旬	令和2年	平年 (H22～ R1)	平成31年 令和元年	平成30年	平成29年	平成28年	平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年
4月	1												
	2												
	3			0.0						0.0			
	4	0.0	0.0						0.0	0.0			
	5	0.0	0.0		0.0				0.0			0.0	
	6	0.0	0.3		0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	1.6
5月	1	1.9	0.3		0.0	0.0			0.0	0.0	0.0	0.0	2.0
	2	1.5	0.3	0.0	0.0	0.0			1.0	0.0	0.6	0.0	1.5
	3	1.1	0.5	0.0	0.0	0.0			1.9	0.0	1.5	0.0	1.1
	4	2.1	1.0	0.0	0.0	0.0			2.1	0.0	1.5	5.6	0.3
	5	0.4	1.8	2.0	0.0	0.0			1.3	0.0	2.2	9.7	1.3
	6	0.0	2.0	1.0	0.0	0.0			1.3	0.0	2.8	11.4	1.9
6月	1	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0			1.1	0.0	3.3	5.0	2.0
	2	0.0	1.7	0.0	0.0	0.3			1.4	0.6	2.8	6.0	4.4
	3	0.0	1.6	0.0	0.0	0.6			0.0	0.4	2.7	6.0	4.3
	4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.1			0.0	0.0	2.0	0.0	1.5
	5	0.0	0.7	0.0	0.0	1.0			0.0	0.5	1.5	0.0	1.5
	6	0.0	0.9	0.4	0.0	4.1			0.0	0.5	1.4	0.2	1.7
7月	1	0.0	0.8	0.4	0.0	3.0			0.0	0.6	1.3	0.3	1.9
	2	0.0	0.6	0.0	0.0	0.7			0.0	0.4	0.0	0.3	3.8
	3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.1			0.0	0.1	0.4	0.9	2.3
	4	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0			0.6	1.9	0.6	0.4	1.9
	5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0			0.7	1.4	0.3	1.7	2.9
	6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0			0.7	0.7	0.0	4.5	1.4
8月	1	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0			0.1	0.1	0.0	2.1	1.4
	2	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0			0.0	0.6	0.5	1.2	0.8
	3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0			0.7	0.3	0.5	0.6	0.7
	4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0			1.2	0.0	0.0	0.6	0.7
	5	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0			1.2	0.1	0.0	1.1	2.1
	6	0.0	0.9	0.2	0.4	0.0			2.1	0.8	0.0	2.2	1.4
9月	1	0.0	0.9	1.0	1.6	0.0			0.3	0.7	0.0	1.5	1.4
	2	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0			0.3	0.7	0.0	1.1	2.1
	3	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0			0.3	0.7	0.0	1.6	0.4
	4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0			0.9	0.0	0.4	1.2	0.3
	5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0			0.9	0.0	0.5	0.9	0.6
	6	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0			0.7	0.0	0.5	1.4	0.1
10月	1	0.0	0.2	0.0	0.0				0.6	0.0	0.5	0.3	0.0
	2	0.0	0.1	0.0	0.0				0.4	0.0	0.1	0.2	0.0
	3	0.0	0.1	0.0	0.0				0.4	0.0	0.0	0.8	0.0
	4	0.0	0.0	0.0	0.0				0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
	5	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	6	0.0	0.0	0.0	0.0				0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
11月	1	0	0.0	0.0					0.0	0.0		0.0	
	2		0.0	0.0									
	3		0.0	0.0									
	4		0.0	0.0									
	5		0.0	0.0									
	6												

コナガ誘殺状況(フェロモントラップ)阿蘇市波野



コナガ誘殺状況(フェロモントラップ)山都町鶴底



(ウ) 野外におけるコナジラミ類の捕獲状況

表 黄色粘着板による捕獲数 (八代市)

(頭/日/トラップ)

	9月			10月			11月			12月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
本年	0.34	0.04		0.36	0.43	0.47	0.36	0.40	0.49	0.05	0.00	
前年	0.11	0.37		0.37	0.47	0.90	0.40	0.23	0.06	0.03	0.03	0.05
平年	0.49	0.47		0.40	0.41	0.50	0.20	0.14	0.15	0.07	0.02	0.02

※黄色粘着板 (10×10cm) は、1地点あたり約5m間隔で3枚設置し、約2週間間隔で調査

※平年値は、H27～R01の5カ年の平均

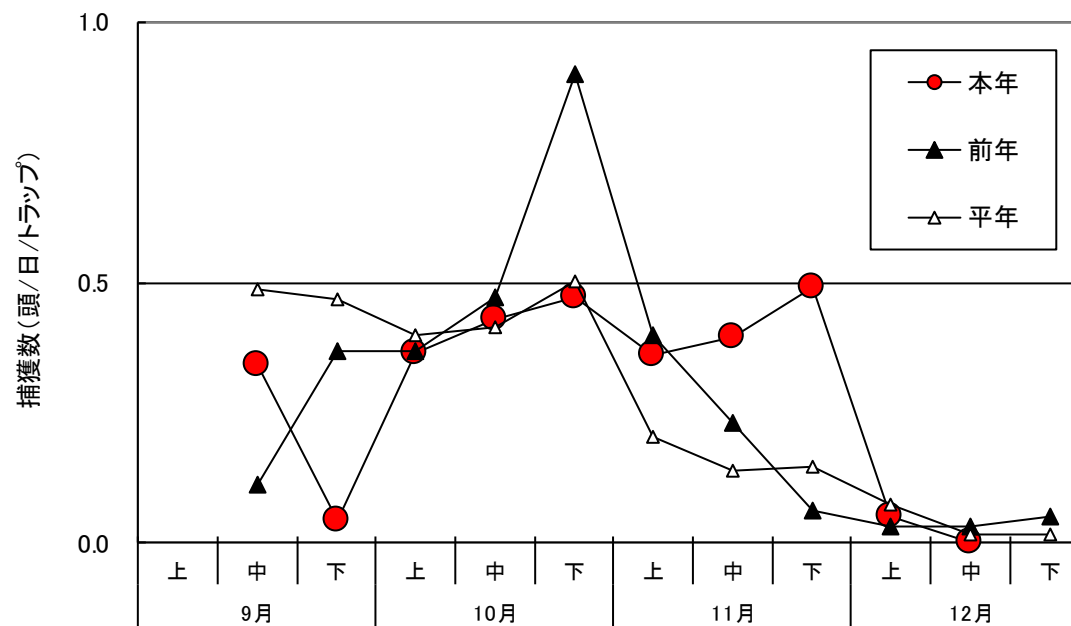


図 黄色粘着板による捕獲数 (八代市)

(エ) トマト黄化葉巻ウイルス保毒状況調査

表1 屋外コナジラミ類の捕獲頭数

地域	設置場所	日あたり捕獲頭数(頭/日/枚)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	0.20	0.30	2.96	0.49	0.67	0.17	0.92
玉名市	横島集荷センター	3.27	1.62	2.43	0.76	8.09	0.43	2.67
八代市	中央営農センター	0.73	0.43	0.27	0.07	1.73	0.00	0.50
平均値		1.40	0.78	1.89	0.44	3.50	0.20	1.36

注) 捕獲時期は、本年のみ台風の影響により9月9日～13日過去5か年については9月5日～9日。
黄色粘着板(10cm×10cm)を1地点あたり3～10枚設置。
平年値は、2015年から2019年の5カ年平均。
玉名市の設置場所は2019年からJAたまな横島イチゴ集荷所に変更。
(2014年から2018年旧しあわせ農協に設置)

表2 屋外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	設置場所	保毒率(%)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	3.3(60)	6.7(60)	5.0(60)	15.0(60)	6.7(60)	-	8.4
玉名市	横島集荷センター	0.0(60)	1.7(60)	6.7(60)	3.3(60)	6.7(60)	4.2(48)	4.5
八代市	中央営農センター	5.0(60)	6.7(45)	3.3(60)	1.8(56)	5.0(20)	-	4.2
平均値		2.8	5.0	5.0	6.7	6.1	4.2	5.7

注) 採集時期は、9月上旬。
()内の数値は、検定数。
平年値は、2015年から2019年の5カ年平均(熊本市と八代市は4カ年平均)。
玉名市の設置場所は2019年からJAたまな横島イチゴ集荷所に変更。
(2015年から2018年旧しあわせ農協に設置)

表3 屋外保毒虫数の試算

地域	設置場所	日あたり保毒虫数(頭/日/枚)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	0.01	0.02	0.15	0.07	0.04	-	0.07
玉名市	横島集荷センター	0.00	0.03	0.16	0.03	0.54	0.02	0.16
八代市	中央営農センター	0.04	0.03	0.01	0.00	0.09	-	0.03
平均値		0.01	0.03	0.11	0.03	0.22	0.02	0.09

注) 保毒虫数=捕獲頭数×保毒率
捕獲頭:表1のとおり
保毒率:表2のとおり
平年値は、2015年から2019年の5カ年平均(熊本市と八代市は4カ年平均)。
玉名市の設置場所は2019年からJAたまな横島イチゴ集荷所に変更。
(2015年から2018年旧しあわせ農協に設置)

イ 県予察ほにおける調査（試験研究機関における調査成績）

（ア）野菜害虫

1 目的

農業生産の安定を図るために、植物防疫法の規定に基づき、病虫害の発生予察調査を行い、迅速適切な情報の提供によって適期防除を推進する。

2 方法

（1）調査場所：県予察圃場（生産環境研究所圃場）

（2）トラップの種類と対象害虫

黄色水盤（直径 20cm、地上 10cm 設置）：アブラムシ類

フェロモントラップ：ハスモンヨトウ（乾式、地上 130cm 設置）

オオタバコガ（粘着式 SE トラップ（白色）、地上 120cm 設置）

タバコガ（粘着式 SE トラップ（白色）、地上 120cm 設置）

（3）調査方法：4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日まで、1～5 日毎に誘殺数を調査した。なお、フェロモントラップのフェロモンおよび粘着板は、約 1 ヶ月毎に交換した。

3 結果および考察

（1）アブラムシ類

黄色水盤でのアブラムシ類の誘殺数は、5 月 3 半旬、5 月 6 半旬にピークが認められたものの、春季において平年よりもやや少なかった。9～11 月の誘殺数は、10 月 3 半旬、11 月 4 半旬にピークが認められ、平年の 2.1 倍多かった。

（2）ハスモンヨトウ

フェロモントラップにおける誘殺数は、9 月 5 半旬、10 月 2 半旬に平年より高いピークが認められたものの、全期間では平年並で推移した。

（3）オオタバコガ

フェロモントラップにおける誘殺数は、9 月 6 半旬～10 月 2 半旬にピークが認められたものの、全期間では平年の約 1/2 と少なかった。

（4）タバコガ

フェロモントラップにおける誘殺数は、平年に比べてやや少なく推移し、特に 8 月が少なかった。

試験成績

第1表 アブラムシ類の誘殺消長

月	半 旬	R2 年度	平年*)	月	半 旬	R2 年度	平年*)
4	1	6	28.3	10	1	27	8.4
	2	3	22.4		2	31	8.0
	3	7	12.0		3	38	3.6
	4	16	17.1		4	24	3.8
	5	5	23.1		5	19	5.4
	6	8	17.3		6	16	6.4
5	1	15	22.5	11	1	11	5.0
	2	15	33.8		2	5	7.3
	3	39	24.6		3	19	6.3
	4	20	18.7		4	37	6.0
	5	38	16.3		5	14	8.3
	6	40	15.8		6	10	7.9
6	1	13	8.0	12	1	4	6.6
	2	2	10.1		2	6	2.3
	3	2	7.9		3	7	1.4
	4	0	7.6		4	1	2.1
	5	1	7.1		5	2	2.7
	6	0	4.1		6	3	1.4
7	1	0	3.0	1	1	0	0.6
	2	2	2.3		2	0	1.2
	3	1	1.1		3	3	0.4
	4	0	0.4		4	0	0.5
	5	1	0.8		5	8	0.1
	6	1	1.0		6	2	0.9
8	1	0	0.6	2	1	1	0.3
	2	0	2.1		2	0	0.4
	3	1	1.3		3	1	1.2
	4	0	2.3		4	0	0.3
	5	0	3.2		5	2	1.0
	6	3	6.0		6	0	0.9
9	1	欠測	8.8	3	1	9	0.6
	2	3	8.0		2	5	0.9
	3	27	14.9		3	15	2.8
	4	11	14.9		4	19	6.6
	5	22	10.6		5	8	2.6
	6	13	18.2		6	6	13.7

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値

第2表 ハスモンヨトウの誘殺消長

月	半 旬	R2 年度	平年*)	月	半 旬	R2 年度	平年*)
4	1	0	7.8	10	1	303	387.3
	2	2	7.4		2	850	401.1
	3	1	7.7		3	335	363.4
	4	6	12.6		4	349	445.5
	5	7	7.8		5	198	394.4
	6	6	11.7		6	374	583.8
5	1	13	12.6	11	1	119	401.3
	2	20	21.7		2	177	480.6
	3	38	34.2		3	154	425.2
	4	23	40.7		4	264	289.8
	5	17	47.2		5	170	190.0
	6	15	46.1		6	151	80.7
6	1	9	54.1	12	1	14	34.3
	2	37	68.1		2	4	12.1
	3	149	92.7		3	1	10.9
	4	93	74.7		4	0	1.4
	5	116	56.7		5	0	1.0
	6	228	67.0		6	0	1.2
7	1	279	79.7	1	1	0	0.1
	2	221	83.7		2	0	0.4
	3	148	106.4		3	0	0.0
	4	16	118.1		4	0	0.0
	5	72	91.8		5	1	0.1
	6	54	112.3		6	0	0.2
8	1	50	143.6	2	1	0	0.3
	2	83	163.7		2	0	0.0
	3	83	174.6		3	2	0.0
	4	162	229.2		4	2	0.1
	5	233	235.9		5	2	0.0
	6	265	336.1		6	0	0.2
9	1	欠測	328.1	3	1	3	0.2
	2	328	278.2		2	3	0.3
	3	459	412.9		3	1	0.1
	4	742	539.8		4	4	0.7
	5	786	453.2		5	1	0.7
	6	644	307.6		6	4	2.8

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値

第3表 オオタバコガの誘殺消長

月	半旬	R2年度	平年*)	月	半旬	R2年度	平年*)
4	1	0.5	0.3	10	1	26.5	50.8
	2	0.5	0.6		2	40	52.2
	3	0.5	0.4		3	28	37.8
	4	2.5	0.7		4	7.5	17.5
	5	1.5	1.1		5	0.5	11.6
	6	1.5	1.7		6	3.5	10.6
5	1	2.5	1.6	11	1	2	14.8
	2	2	3.6		2	2.5	16.9
	3	1.5	3.8		3	0.5	13.0
	4	3	3.4		4	6	12.8
	5	1	2.1		5	6	6.8
	6	0	1.5		6	1	3.0
6	1	0.5	2.0	12	1	0	3.5
	2	1.5	3.3		2	0	0.3
	3	11.5	5.4		3	0	0.3
	4	13	13.2		4	0	0.2
	5	5.5	19.4		5	0	0.2
	6	11.5	17.8		6	0	0.1
7	1	7	19.1	1	1	0	0.0
	2	3.5	7.7		2	0	0.0
	3	3.5	6.0		3	0	0.0
	4	0	2.1		4	0	0.1
	5	2.5	3.2		5	0	0.0
	6	2	11.3		6	0	0.0
8	1	6.5	30.2	2	1	0	0.1
	2	8	18.8		2	0	0.0
	3	1	10.6		3	0	0.0
	4	2.5	6.5		4	0	0.0
	5	2.5	19.6		5	0	0.1
	6	7	24.8		6	0	0.1
9	1	欠測	48.8	3	1	0	0.0
	2	12	32.8		2	0	0.0
	3	3	26.9		3	0	0.0
	4	7.5	43.5		4	0	0.1
	5	31	39.4		5	0	0.3
	6	47.5	37.2		6	0	0.1

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値
 数値は2トラップの平均値

第4表 タバコガの誘殺消長

月	半旬	R2年度	平年*)	月	半旬	R2年度	平年*)
4	1	0	0.0	10	1	10	33.0
	2	0	0.0		2	36	28.7
	3	0	0.0		3	17	22.0
	4	0	0.0		4	3	22.7
	5	0	0.2		5	9	17.2
	6	0	0.6		6	11	11.7
5	1	1	0.7	11	1	4	9.1
	2	2	1.8		2	7	8.4
	3	0	2.5		3	1	6.6
	4	4	3.7		4	4	5.3
	5	0	5.1		5	2	2.2
	6	1	5.6		6	1	0.3
6	1	18	5.9	12	1	0	0.2
	2	5	7.3		2	0	0.0
	3	9	9.1		3	0	0.0
	4	6	5.7		4	0	0.0
	5	7	5.0		5	0	0.0
	6	9	5.3		6	0	0.0
7	1	8	11.2	1	1	0	0.0
	2	12	16.4		2	0	0.0
	3	3	11.8		3	0	0.0
	4	3	8.9		4	0	0.0
	5	5	7.8		5	0	0.0
	6	8	12.8		6	0	0.0
8	1	23	29.6	2	1	0	0.0
	2	14	30.8		2	0	0.0
	3	8	28.6		3	0	0.0
	4	14	25.0		4	0	0.0
	5	20	29.1		5	0	0.0
	6	18	29.5		6	0	0.0
9	1	欠測	31.9	3	1	0	0.0
	2	20	23.6		2	0	0.0
	3	33	27.1		3	0	0.0
	4	17	29.7		4	0	0.0
	5	24	27.2		5	0	0.0
	6	38	34.3		6	0	0.0

*) 平年値は平成22年～令和1年の平均値

2 発生予察情報の提供

(1) 警報、注意報、特殊報、技術情報

ア 警報

第1号 令和2年8月17日 [トビイロウンカ（早植え水稲、普通期水稲）](#)

イ 注意報

第1号 令和2年5月26日 [果樹カメムシ類（カンキツ、ナシ、カキ、モモ、スモモ、ウメ等果樹全般）](#)

第2号 令和2年7月10日 [トビイロウンカ（水稲全般）](#)

第3号 令和2年7月10日 [コブノメイガ（水稲全般）](#)

第4号 令和2年8月3日 [果樹カメムシ類（カンキツ、ナシ、カキ等果樹全般）](#)

第5号 令和3年3月18日 [アザミウマ類（イチゴ）](#)

ウ 特殊報

第1号 令和2年6月25日 [トマト黒点根腐病（ミニトマト）](#)

第2号 令和2年6月25日 [トルコギキョウ茎腐病（トルコギキョウ）](#)

第3号 令和2年10月23日 [クリバネアザミウマ（ダリア）](#)

第4号 令和2年10月30日 [サツマイモ基腐病（カンショ）](#)

第5号 令和2年12月11日 [フタテンミドリヒメヨコバイ（オクラ）](#)

エ 技術情報

第1号 令和2年5月11日 [トビイロウンカ飛来状況について](#)

第2号 令和2年5月13日 [果樹カメムシ類の発生状況について](#)

第3号 令和2年5月15日 [麦類赤かび病の発生状況について](#)

第4号 令和2年5月22日 [ツマジロクサヨトウの発生状況について](#)

第5号 令和2年6月3日 [イチゴ育苗床におけるハダニ類の防除対策について](#)

第6号 令和2年6月26日 [水稲海外飛来性害虫の飛来状況について](#)

第7号 令和2年7月27日 [普通期水稲における水稲海外飛来性害虫の発生状況](#)

第8号 令和2年9月9日 [タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策](#)

第9号 令和2年9月8日 [トビイロウンカの発生状況について](#)

第10号 令和2年9月16日 [ツマジロクサヨトウの発生状況について](#)

第11号 令和2年9月23日 [ナシ黒星病の秋期防除等の対策について](#)

第12号 令和2年11月5日 [タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況](#)

第13号 令和3年1月15日 [ヒメトビウンカのイネ縮葉枯ウイルス保毒状況](#)

第14号 令和3年2月9日 [チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量](#)

第15号 令和3年2月26日 [カンキツにおけるミカンハダニの発生状況について](#)

第16号 令和3年3月5日 [イチゴにおける微小害虫（ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類）の発生状況と防除対策について](#)

第17号 令和3年3月10日 [タバココナジラミバイオタイプQ成虫の薬剤感受性検定の結果について](#)

第18号 令和3年3月29日 [イグサシムシガの越冬調査結果について](#)

第19号 令和3年3月30日 [麦赤かび病の防除対策について](#)

各関係機関長 様

熊本県農林水産部長

病害虫発生予察警報について（送付）

このことについて、令和2年度（2020年度）病害虫発生予察警報第1号を公表しましたので、送付します。

警 報

令和2年度（2020年度）病害虫発生予察警報第1号

農作物名 水稲
病害虫名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月中旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 警報発表の根拠

（1）令和2年（2020年）7月10日付けの注意報以降も多数の飛来があり、合志市に設置した予察灯への6～7月の累積誘殺数は782頭（平年48.5頭、昨年98頭）と、坪枯れが多発した昨年度に比べ非常に多かった（図1）。

（2）8月6、7日に早植え水稲（5月～6月上旬移植）25地点及び普通期水稲（6月中～下旬移植）30地点で調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は早植え水稲で60.5頭（平年10.8頭、昨年74.8頭）と昨年並みだった（表1、図2）。

（3）7月中旬～8月上旬に行った巡回調査及び特別調査での発生ほ場率は、早植え水稲、普通期水稲とも、昨年を上回っている（図3）。

（4）合志市に設置した無防除田（6月中～下旬移植）における発生は、7月中旬以降、昨年より多く推移している（図4）。

（5）福岡管区气象台が8月13日に発表した九州北部地方1か月予報によると、今後1か月の気温は平年より高い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件である。

5 防除対策

（1）8月6、7日に行った払い落とし調査結果から、現在発生しているトビイロウンカの生育ステージは、早植え水稲で成虫及び老齢幼虫が主体、普通期水稲で成虫主体だった（表1）。トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する（要防除水準：成・幼虫数 7月中旬～8月上旬（2頭/10株）、8月中～下旬（10頭/10株）、収穫30日前（30頭/10株））。

（2）飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注

意する。

(3) 現在までの飛来状況より、早植え水稻は6月18～21日飛来、7月2～5日飛来及び7月9～13日飛来、普通期水稻は7月2～5日飛来、7月9～13日飛来及び7月25～27日飛来が定着していると思われる。各地域の予想される防除適期(表2)を参考に、ほ場での発生状況を確認し防除を行う。

(4) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生しているため、粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。

(5) 天候不順により粉剤または液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4～5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

(6) WCSでの防除の際は、特に収穫前使用日数を注意する。防除が実施できない場合は、早刈りして被害を回避する。

(7) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

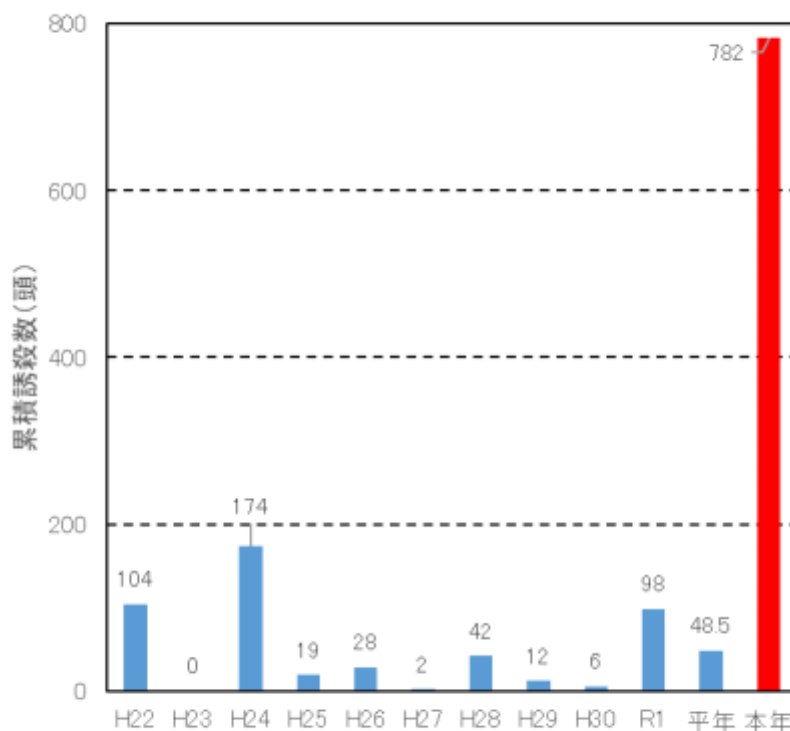


図1 予察灯におけるトビイロウンカ累積誘殺数(合志市、6～7月)

表1 トビイロウンカの発生状況（10株あたり頭数）

(1) 早植え水稻

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
山鹿市鹿北1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3
山鹿市鹿北2	0.3	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	4.3
山鹿市菊鹿1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.7
山鹿市菊鹿2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
阿蘇市狩尾1	1.0	0.0	4.0	3.3	8.3	2.3	1.7	20.7
阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	1.0	0.3	2.7	4.7	4.0	12.7
阿蘇市的石1	1.7	0.3	2.3	1.0	10.3	9.0	1.3	26.0
阿蘇市的石2	1.3	0.3	4.3	1.0	4.3	6.7	5.3	23.3
南小国町赤馬場1	2.3	0.0	0.3	1.7	1.3	1.3	1.0	8.0
南小国町赤馬場2	0.3	0.0	2.0	6.7	62.3	39.3	1.0	111.7
南阿蘇村久木野1	0.3	0.7	2.0	3.3	13.7	4.3	0.0	24.3
南阿蘇村久木野2	0.3	0.0	1.0	3.0	9.3	5.7	0.3	19.7
山都町入佐1	8.0	2.7	13.0	12.0	5.3	4.0	4.7	49.7
山都町入佐2	0.3	0.3	9.7	25.7	106.7	46.3	1.0	190.0
甲佐町寒野1	0.0	0.3	0.0	0.3	0.3	0.0	0.0	1.0
甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八代市二見町1	11.3	2.3	25.0	34.3	21.3	7.7	14.3	116.3
八代市二見町2	36.7	29.0	25.7	66.3	33.0	14.3	30.3	235.3
芦北町宮浦1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3
芦北町宮浦2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
芦北町天月1	0.7	0.7	3.0	4.3	2.0	0.7	1.0	12.3
芦北町天月2	56.7	46.0	39.0	82.7	126.0	19.7	0.7	370.7
あさぎり町上1	0.3	0.0	3.3	1.0	0.3	1.0	0.3	6.3
あさぎり町上2	1.3	0.0	2.3	5.3	0.3	0.3	2.3	12.0
錦町一武1	16.3	5.7	71.3	81.0	48.3	25.0	19.0	266.7
平均(25ほ場)	5.6	3.5	8.4	13.4	18.3	7.7	3.6	
	成虫 計			30.9	幼虫 計		29.6	
計(成虫・幼虫)	60.5							
発生ほ場率	92.0%							

注1) 調査は8月6、7日に、1ほ場あたり30株払い落としを行った。

注2) 早植え水稻は5～6月上旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

(2) 普通期水稲

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
熊本市画図1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市富合町木原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宇城市松橋町1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7
宇城市松橋町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
玉名市両迫間1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市両迫間2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7
玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市鹿央町1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山鹿市鹿本1	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
山鹿市鹿本2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	1.0
菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
菊池市赤星2	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
大津町陣内1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
大津町陣内2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
嘉島町上六嘉1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
嘉島町上六嘉2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
益城町福原2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	1.3
八代市高田1	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7
八代市高田2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
八代市鏡町1	1.7	0.0	2.7	3.0	0.3	1.0	0.3	9.0
八代市鏡町2	1.0	0.0	2.0	3.3	0.7	0.3	0.3	7.7
氷川町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
氷川町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均(30ほ場)	0.2	0.0	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	
	成虫 計				0.6	幼虫 計		
計(成虫・幼虫)	0.8							
発生ほ場率	53.3%							

注1) 調査は8月6、7日に、1ほ場あたり30株払い落としを行った。

注2) 普通期水稲は6月中～下旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

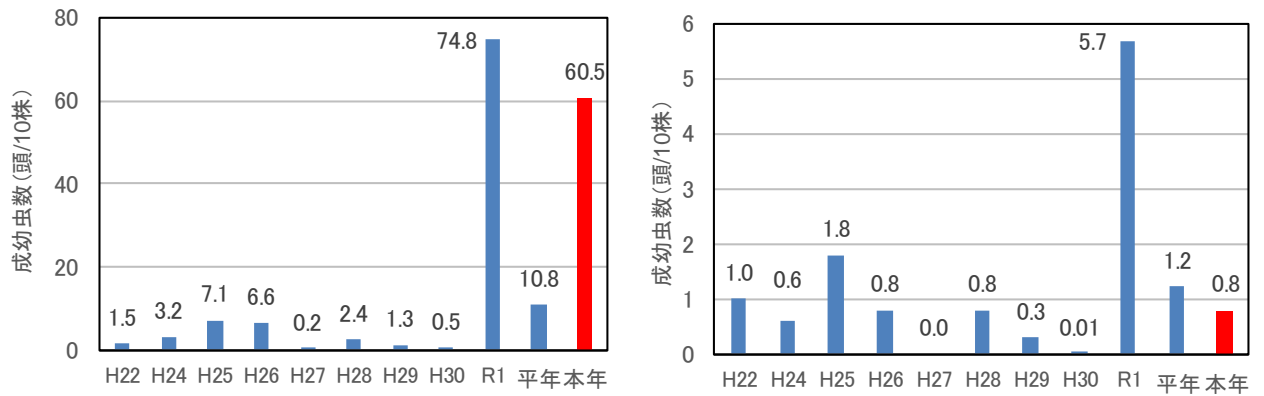


図2 水稲ほ場における8月上旬のトビイロウンカ発生数の比較
 (左：早植え水稲 右：普通期水稲)
 注) 平年は過去10年平均 (平成23年：データ欠測を除く)

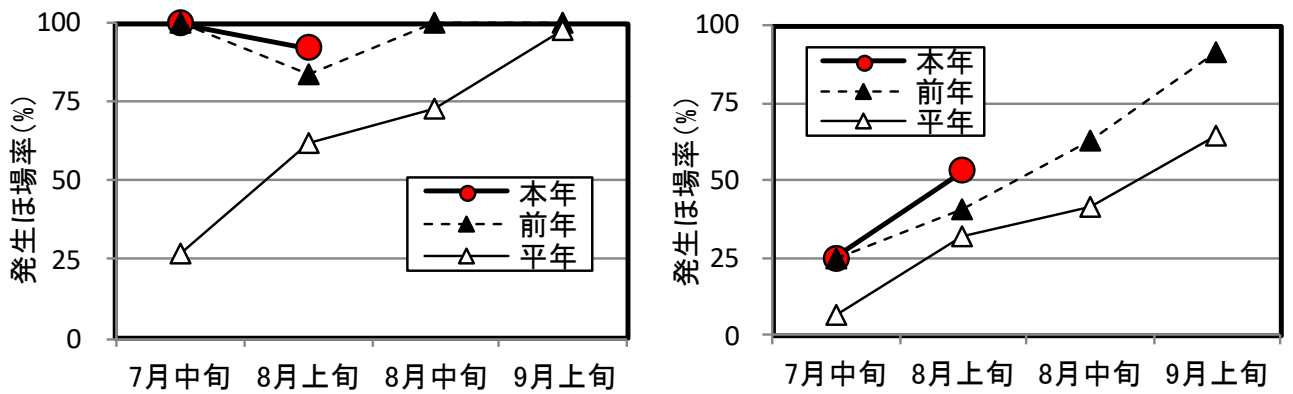


図3 早植え水稲及び普通期水稲におけるおけるトビイロウンカの発生ほ場率推移
 (左：早植え水稲 右：普通期水稲)
 注) 平年は過去10年平均 (平成23年：データ欠測を除く)

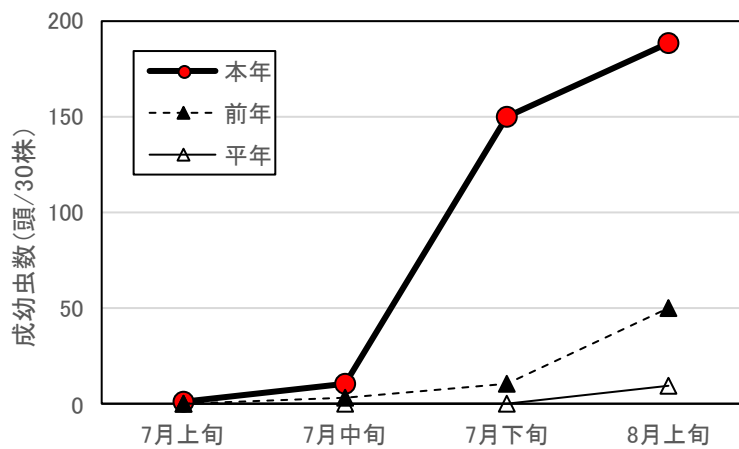


図4 無防除田におけるトビイロウンカ発生推移 (合志市、6月中～下旬移植)

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期（8月11日試算）

※気温によって変動するため、最新の情報を入手し更新する。

＜6月18～21日飛来＞（対象：早植え水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期
阿蘇乙姫	8月20日 ～ 8月30日

＜7月2～5日飛来＞（対象：早植え水稻，普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期	第3世代幼虫 防除適期
熊本	8月19日 ～ 8月28日	9月19日 ～ 9月28日
三角	8月21日 ～ 8月29日	9月21日 ～ 9月29日
岱明	8月20日 ～ 8月28日	9月20日 ～ 9月29日
鹿北	8月24日 ～ 9月2日	10月2日 ～ 10月11日
菊池	8月22日 ～ 8月31日	9月26日 ～ 10月5日
阿蘇乙姫	8月31日 ～ 9月10日	-
甲佐	8月21日 ～ 8月31日	9月24日 ～ 10月5日
八代	8月20日 ～ 8月30日	9月20日 ～ 10月1日
水俣	8月21日 ～ 8月31日	9月23日 ～ 10月4日
人吉	8月23日 ～ 9月2日	9月27日 ～ 10月7日
本渡	8月22日 ～ 8月31日	9月25日 ～ 10月5日

＜7月9～13日飛来＞（対象：早植え水稻，普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期	第3世代幼虫 防除適期
熊本	8月25日 ～ 9月3日	9月26日 ～ 10月5日
三角	8月27日 ～ 9月6日	10月1日 ～ 10月11日
岱明	8月26日 ～ 9月5日	9月30日 ～ 10月10日
鹿北	8月31日 ～ 9月10日	10月13日 ～ 10月30日
菊池	8月28日 ～ 9月7日	10月5日 ～ 10月17日
阿蘇乙姫	9月8日 ～ 9月18日	-
甲佐	8月28日 ～ 9月7日	10月3日 ～ 10月15日
八代	8月26日 ～ 9月6日	9月30日 ～ 10月12日
水俣	8月27日 ～ 9月6日	10月1日 ～ 10月12日
人吉	8月29日 ～ 9月8日	10月5日 ～ 10月19日
本渡	8月28日 ～ 9月7日	10月2日 ～ 10月14日

＜7月25～27日飛来＞（対象：普通期水稻）

地点名	第2世代幼虫 防除適期
熊本	9月9日 ～ 9月17日
三角	9月9日 ～ 9月19日
岱明	9月9日 ～ 9月17日
鹿北	9月16日 ～ 9月24日
菊池	9月11日 ～ 9月20日
甲佐	9月11日 ～ 9月20日
八代	9月9日 ～ 9月18日
水俣	9月11日 ～ 9月20日
人吉	9月13日 ～ 9月22日
本渡	9月13日 ～ 9月21日

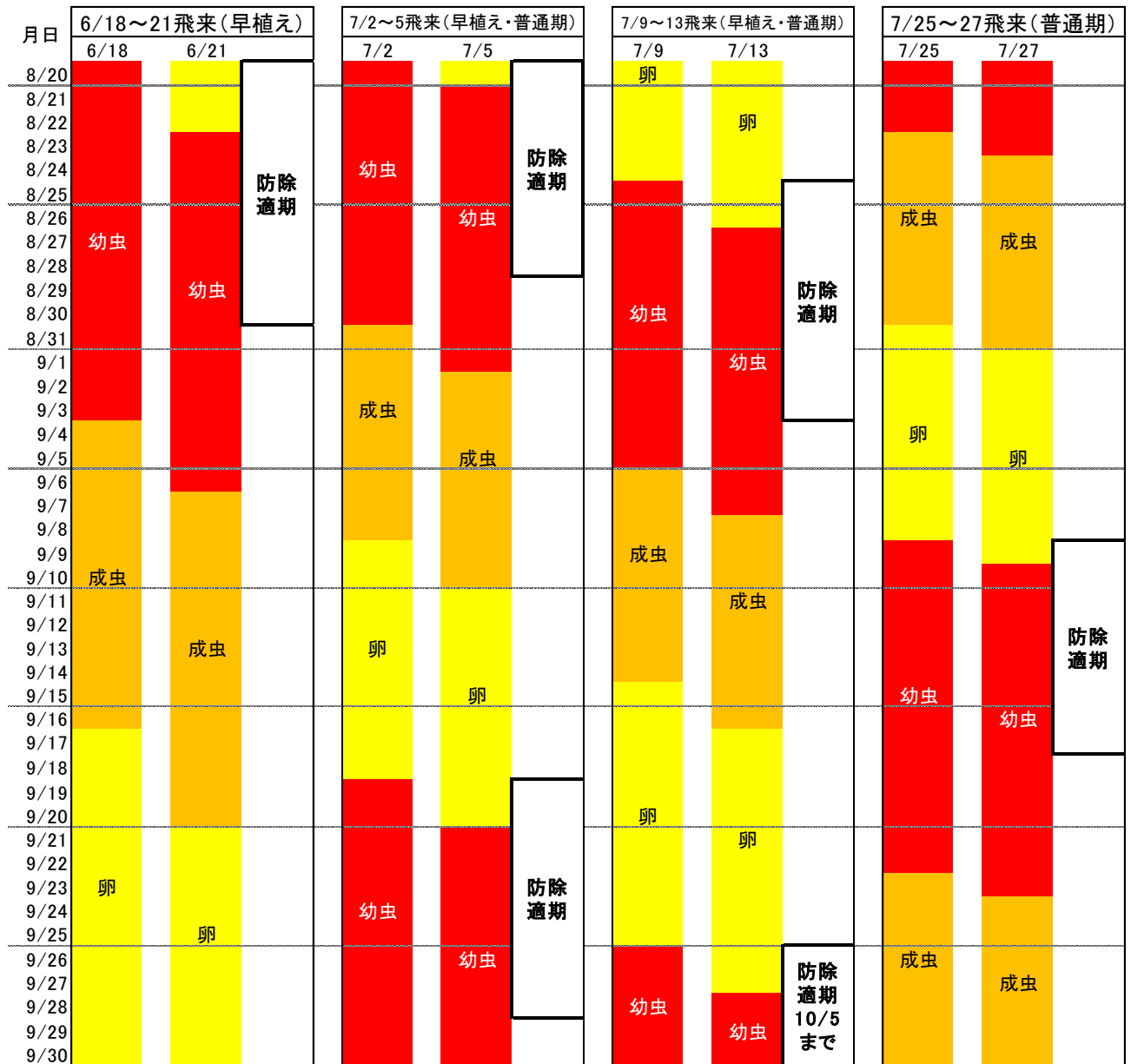
注)各地点のアメダスデータ平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育0点 (℃)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

＜参考＞

予想されるトビイロウンカの生育ステージ

< 8月11日試算、アメダス地点：熊本（6/18～21飛来のみ阿蘇乙姫） >



○熊本県農林水産部生産経営局
 農業技術課植物防疫・農薬監視班
 担当：児玉・田嶋 TEL：096-333-2381
 ○熊本県病害虫防除所
 （熊本県農業研究センター生産環境研究所
 病害虫研究室予察指導係）
 担当：西本・作本 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和2年度(2020年度)病虫害発生予察注意報第1号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度(2020年度)病虫害発生予察注意報第1号

農作物名 カンキツ、ナシ、カキ、モモ、スモモ、ウメ等果樹全般
病虫害名 果樹カメムシ類
(主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ及びクサギカメムシ)

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 5月～7月
- 3 発生程度 平年比 多
- 4 注意報発表の根拠

(1) 合志市、宇城市、天草市に設置している予察灯及びフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は、5月第1半旬から急増し、5月第4半旬までにかけてさらに増加している(図1、2、3)。

(2) 現在までに玉名市、氷川町、芦北町、錦町、天草市における果樹園で果樹カメムシ類の飛来を確認している。

(3) 令和2年1～2月のチャバネアオカメムシの越冬成虫数は、県下16地点で合計130頭(前年1頭、平年8.2頭)と過去10年で最も多かった(図4)ことから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年に比べて非常に多いと予想される(令和2年(2020年)3月3日付病防第144号「令和元年度(2019年度)病虫害発生予察注意報第4号」を参照)。

(4) 福岡管区气象台が5月21日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、果樹カメムシ類の活動がさらに活発になることが予想される。

5 防除対策

(1) 果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。

(2) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ

(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や防除適期の参考にする。

(3) 果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

(4) ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。

(5) 薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

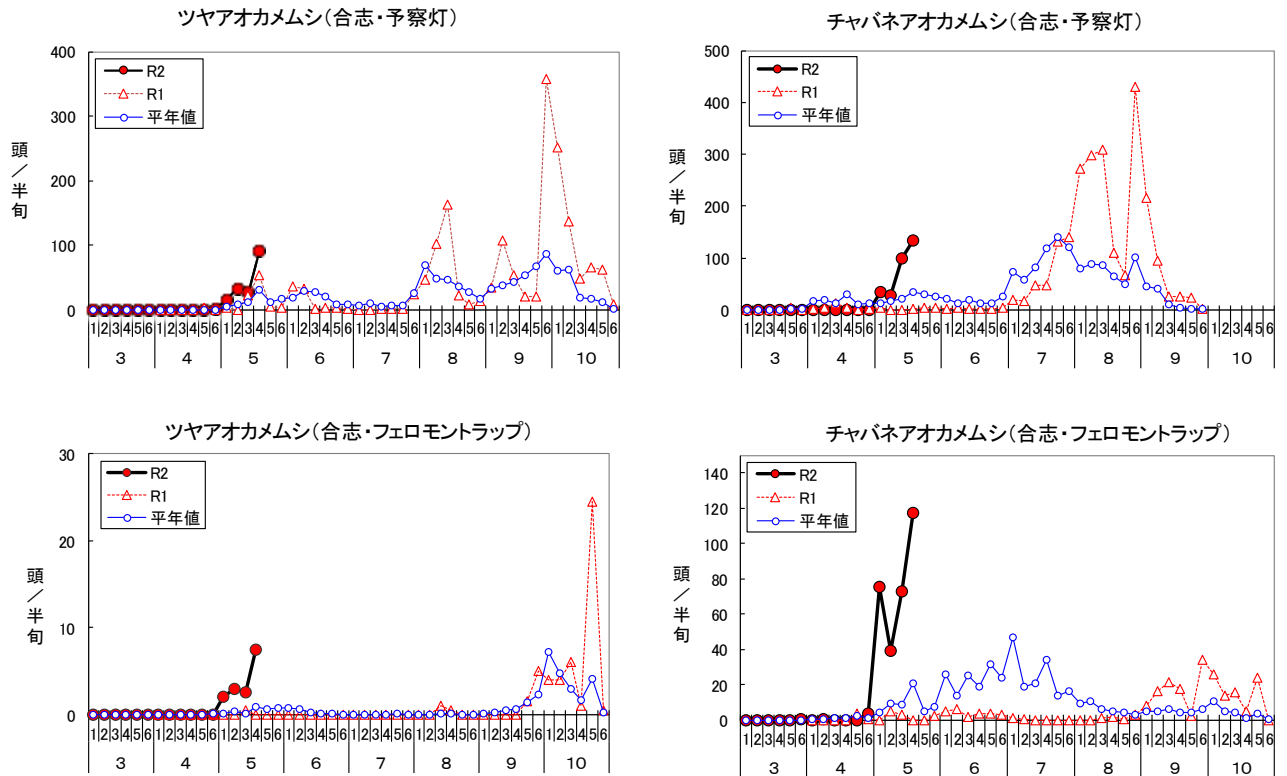


図1 合志市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

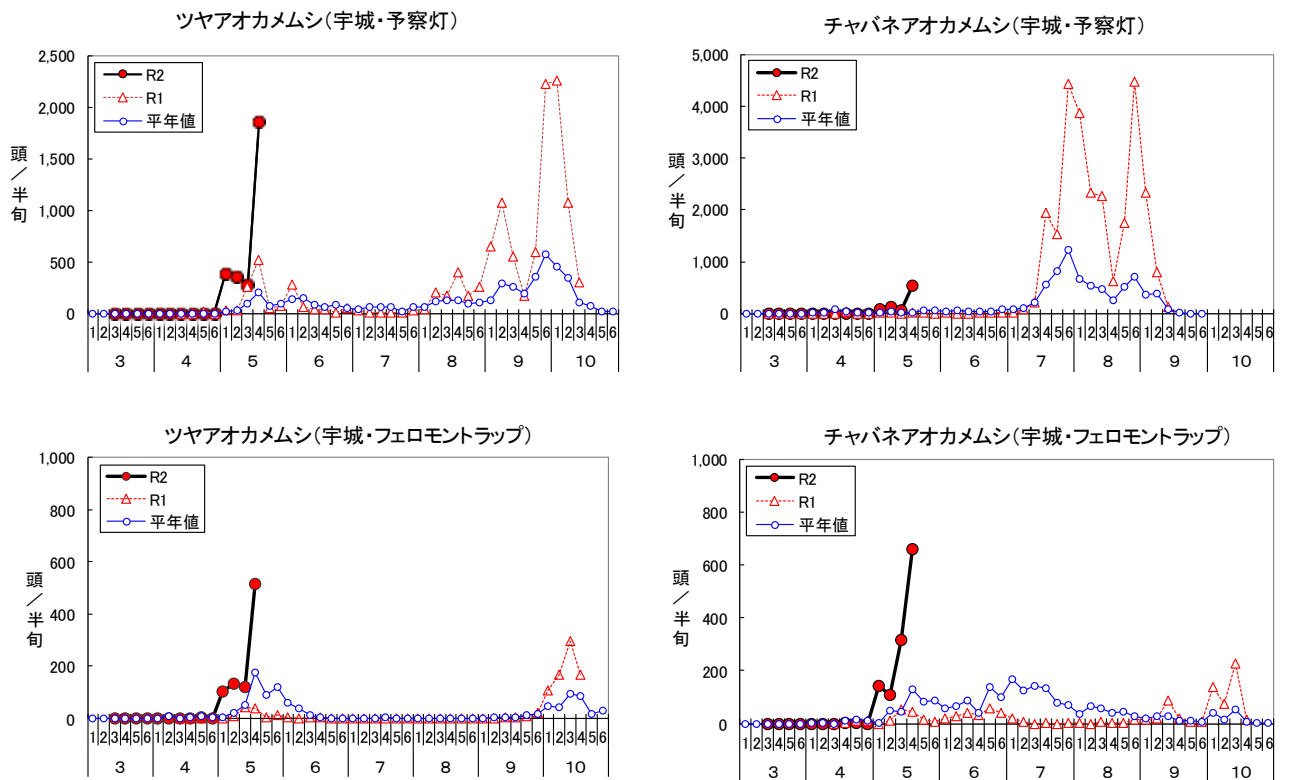


図2 宇城市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：米樹研究所）

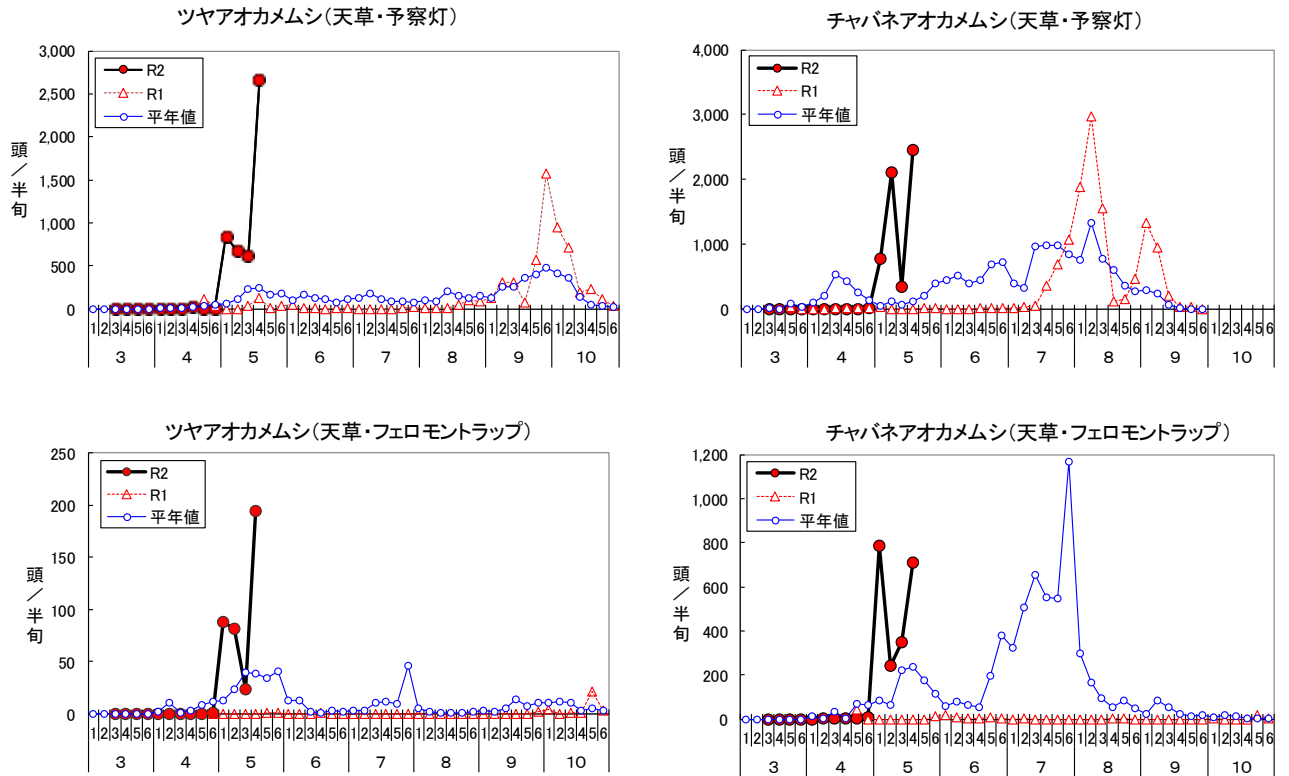


図3 天草市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：天草農業研究所）

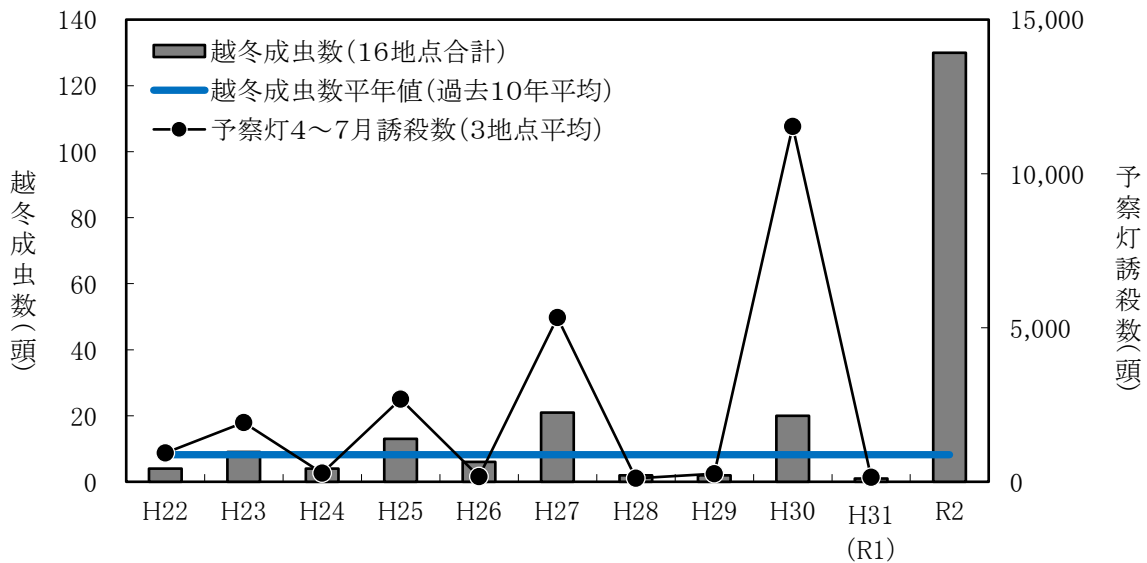


図4 チャバネアオカメムシの越冬成虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬成虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。
- 3 チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係（病害虫防除所）
 担当：中村、丹 TEL：096-248-6490

令和2年(2020年)7月10日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和2年度(2020年度)病虫害発生予察注意報第2号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度(2020年度)病虫害発生予察注意報第2号

農作物名 水稻全般
病虫害名 トビイロウンカ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 7月中旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

(1) 合志市に設置した予察灯において、7月第1、2半旬にトビイロウンカのまとまった飛来が認められた。6月第1半旬～7月第1半旬における予察灯へのトビイロウンカの累積誘殺数は235頭(平年6.8頭、前年29頭)で平年及び多発した前年より多い(表1、図1)。また7月9日は予察灯で293頭誘殺され、今後も梅雨明けまでは多数飛来する恐れがある。

(2) 7月2日に県内の5月～6月上旬移植の水稻24地点で払い落とし調査を行った結果、発生ほ場率は58.3%と平年(過去10年中、最大値と最小値を除いた8年平均、以下平年とする)18.8%に比べて高く、10株当たり成幼虫数は、0.56頭と平年0.24頭に比べてやや多かった(表2)。

(3) 福岡管区气象台が6月24日に発表した九州北部地方3か月予報によると、7～9月の気温は平年より高い予想であり、トビイロウンカの増殖に好適な条件となる。

5 防除対策

(1) 7月2日の払落とし調査結果(表2)から、現在発生しているトビイロウンカの生育ステージはほぼ成虫だった。雌成虫腹部の発達程度から大半は飛来直後で、一部に産卵中または産卵直前と思われる個体が見られた。現在までのトビイロウンカ誘殺状況(表1)より、ほ場での発生主体は6月18～21日飛来、7月2～5日飛来及び7月9日飛来になると予想される。各地域の予想される防除適期(表3)を参考に、ほ場での発生状況を確認し防除を行う。

また、現在も飛来は継続しており、今後の飛来状況や気象条件によっては防除適期がずれる可能性があるため、最新の情報については防除所のホームページ(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)で確認する。

(2) トビイロウンカは増殖率が高いため、現在は低密度のほ場でも8月下旬以降には高密度となり、坪枯れ被害を引き起こす恐れがある。定期的に発生量を確認し、要防除水準を超えた場合は、ただちに防除する(要防除水準：成・幼虫数 7月中旬～8月上旬(2頭/10株)、8月中～下旬(10頭/10株)、収穫30日前(30頭/10株))。

(3) トビイロウンカは、水稻の株元近くに寄生しているため、粉剤及び液剤は、株元に付着するように散布する。

(4) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。

(5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

表1 本年の予察灯・ネットトラップにおけるトビイロウンカ誘殺状況

月日	予察灯	ネットトラップ	月日	予察灯	ネットトラップ	月日	予察灯	ネットトラップ
5/1	0	0	6/1	0	0	7/1	4	
5/2	0		6/2	0	0	7/2	35	1
5/3	1		6/3	0	0	7/3	35	0
5/4	0		6/4	0	0	7/4	4	
5/5	0		6/5	0	0	7/5	148	
5/6	0		6/6	0		7/6	5	0
5/7	0	0	6/7	1		7/7	1	5
5/8	0	0	6/8	6	0	7/8	34	5
5/9	0		6/9	0	0	7/9	293	0
5/10	1		6/10	0	0	現在計	559	11
5/11	0	0	6/11	0	0			
5/12	0	0	6/12	0	0			
5/13	0	0	6/13	0				
5/14	0	0	6/14	0				
5/15	0	0	6/15	0	0			
5/16	0		6/16	0	0			
5/17	0		6/17	0	0			
5/18	0	0	6/18	0	0			
5/19	0	0	6/19	0	0			
5/20	0	0	6/20	0				
5/21	0	0	6/21	0				
5/22	0	0	6/22	0	0			
5/23	0		6/23	0	0			
5/24	0		6/24	0	0			
5/25	0	0	6/25	0	0			
5/26	0	0	6/26	0	0			
5/27	0	0	6/27	1				
5/28	0	0	6/28	1				
5/29	0	0	6/29	0	0			
5/30	0		6/30	0	2			
5/31	0	0	月計	9	2			
月計	2	0						

注) 予察灯、ネットトラップは合志市(農業研究センター内)に設置。数日間まとめて調査を行った場合は調査日にデータを記載した。

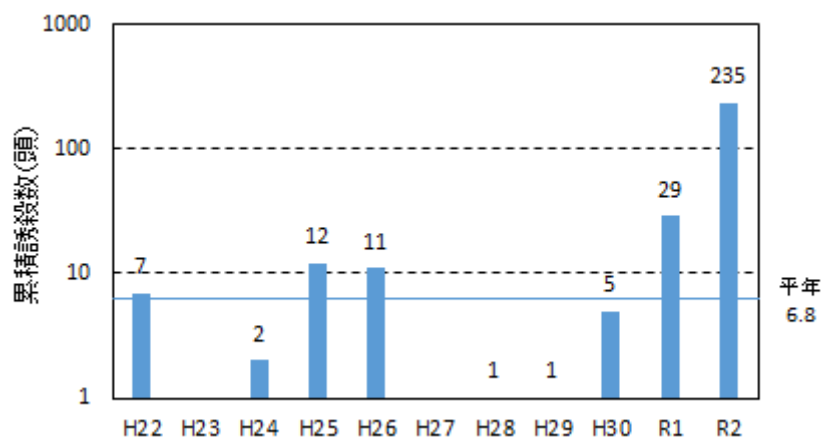


図1 予察灯におけるトビイロウンカの累積誘殺数 (6月第1半旬～7月第1半旬)

表2 5月～6月上旬移植水稻におけるトビイロウンカの発生状況 (7月2日調査)
(頭/10株)

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢	
山鹿市鹿北1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
山鹿市鹿北2	3.6	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4
山鹿市菊鹿1	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
山鹿市菊鹿2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿蘇市狩尾1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿蘇市狩尾2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
阿蘇市的石1	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8
阿蘇市的石2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
南小国町赤馬場1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
南小国町赤馬場2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
南阿蘇村久木野1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
南阿蘇村久木野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山都町入佐1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山都町入佐2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
甲佐町寒野1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
八代市二見町1	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.0
八代市二見町2	1.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0
芦北町天月1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
芦北町天月2	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4
あさぎり町上1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
あさぎり町上2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
あさぎり町免田1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
あさぎり町免田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平均(24ほ場)	0.30	0.24	0.0	0.0	0.0	0.01	0.01	
	成虫 計				0.54	幼虫 計		
計(成虫・幼虫)	0.56							
平年	0.24							
発生ほ場率	58.3%							
平年の発生ほ場率	18.8%							

注1) 1ほ場につき、50株調査

注2) 平年値は過去10年中、最大値と最小値を除いた8年の7月中旬調査における平均

表3 予想されるトビイロウンカの防除適期

<6月18～21日飛来>

地点名	第2世代幼虫 防除適期
熊本	8月6日 ～ 8月15日
三角	8月7日 ～ 8月16日
岱明	8月6日 ～ 8月15日
鹿北	8月11日 ～ 8月20日
菊池	8月8日 ～ 8月18日
阿蘇乙姫	8月18日 ～ 8月28日
甲佐	8月9日 ～ 8月18日
八代	8月6日 ～ 8月15日
水俣	8月9日 ～ 8月17日
人吉	8月10日 ～ 8月20日
本渡	8月9日 ～ 8月18日

<7月2～5日飛来>

地点名	第1世代幼虫 防除適期	第2世代幼虫 防除適期
熊本	7月21日 ～ 7月30日	8月18日 ～ 8月27日
三角	7月21日 ～ 7月30日	8月18日 ～ 8月27日
岱明	7月21日 ～ 7月30日	8月18日 ～ 8月27日
鹿北	7月23日 ～ 7月31日	8月23日 ～ 8月31日
菊池	7月21日 ～ 7月31日	8月19日 ～ 8月29日
阿蘇乙姫	7月25日 ～ 8月3日	8月29日 ～ 9月7日
甲佐	7月21日 ～ 7月30日	8月19日 ～ 8月28日
八代	7月21日 ～ 7月30日	8月18日 ～ 8月27日
水俣	7月21日 ～ 7月30日	8月19日 ～ 8月28日
人吉	7月21日 ～ 7月31日	8月20日 ～ 8月30日
本渡	7月21日 ～ 7月30日	8月19日 ～ 8月28日

<7月9日飛来>

地点名	第1世代幼虫 防除適期	第2世代幼虫 防除適期
熊本	7月26日 ～ 8月2日	8月23日 ～ 8月30日
三角	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日
岱明	7月27日 ～ 8月3日	8月24日 ～ 8月31日
鹿北	7月27日 ～ 8月3日	8月28日 ～ 9月4日
菊池	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日
阿蘇乙姫	7月31日 ～ 8月7日	9月6日 ～ 9月13日
甲佐	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日
八代	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日
水俣	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日
人吉	7月27日 ～ 8月3日	8月26日 ～ 9月2日
本渡	7月27日 ～ 8月3日	8月25日 ～ 9月1日

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育0点 (°C)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

注) 各地点のアメダスデータ平均気温(7月8日までは今年の日データ、以降は平年値)をもとに、有効積算で今後の発育ステージを予測した。

・有効積算は左記の条件で行った。

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当: 西本、作本 TEL 096-248-6490

令和2年(2020年)7月10日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察注意報について(送付)

このことについて、令和2年度(2020年度)病害虫発生予察注意報第3号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度(2020年度)病害虫発生予察注意報第3号

農作物名 水稻全般
病害虫名 コブノメイガ

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 7月中旬以降
- 3 発生程度 多
- 4 注意報発表の根拠

(1) 6月第2半旬に合志市のフェロモントラップにおいてコブノメイガの初誘殺を確認後、6月第3半旬以降は7月第1半旬現在まで断続的な飛来が続いており、6月第1半旬～7月第1半旬におけるフェロモントラップへのコブノメイガ累積誘殺数は524頭で平年(過去5年平均)25.8頭より多い(表1、図1)。

(2) 7月2日に県内の5月～6月上旬移植の水稻24地点で調査を行った結果、被害株率14.3%(過去6年平均1.4%)、発生ほ場率58.3%(過去6年平均20.2%)といずれも高く、要防除水準(第1世代幼虫による被害株率20%以上)に達しているほ場も見られた(表2)。

(3) 福岡管区气象台が6月24日に発表した九州北部地方3か月予報によると、7月～9月の気温は平年より高い予想であり、コブノメイガの生育に好適な条件となる。

5 防除対策

(1) 7月2日の発生状況調査では、白変した巻葉から体長約5～20mm程度の幼虫が見られた。6月7～8日、13～16日、21～25日、7月2～5日を飛来の起点とした場合の防除適期(表3)を参考に、ほ場での発生状況を確認し、防除を行う。

また、現在も飛来は継続しており、今後の飛来状況や気象条件によっては防除適期がずれる可能性があるため、最新の情報は防除所のホームページ(<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>)で確認する。

(2) コブノメイガの要防除水準は第1世代幼虫による被害株率20%である。防除は、粒剤は発蛾最盛期、粉剤及び液剤は若齢幼虫期(発蛾最盛期から1週間後)に行う。

(3) 飼料用米等の多肥栽培や過繁茂のほ場では、多発する傾向があるので注意する。

(4) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類

など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

表1 フェロモントラップ（合志市）におけるコブノメイガの誘殺状況

月	半旬	H27	H28	H29	H30	R1	平均値 (H27~R1)	R2
6	1	0	0	0	0	0	0.0	0
	2	0	0	0	0	6	1.2	1
	3	0	0	0	0	16	3.2	6
	4	0	0	0	0	7	1.4	51
	5	4	0	0	0	2	1.2	383
	6	26	20	5	1	0	10.4	47
7	1	23	3	8	3	5	8.4	36
	2	37	8	9	0	7	12.2	
	3	9	6	3	2	5	5	
	4	15	0	4	1	19	7.8	
	5	35	4	3	2	1	9	
	6	14	13	6	0	7	8	

表2 5月～6月上旬移植水稻におけるコブノメイガの発生状況（7月2日調査）

作型	地点	被害株率	被害度	発生ほ場率	作型	地点	被害株率	被害度	発生ほ場率																																
5月～6月上旬移植	山鹿市菊鹿1	0.0%	2.0		早期 (参考)	上天草市松島1	98.0%	68.7																																	
	山鹿市菊鹿2	0.0%	0.0			上天草市松島2	100.0%	75.3																																	
	山鹿市鹿北1	0.0%	0.0			天草市本渡1	98.0%	64.7																																	
	山鹿市鹿北2	6.0%	0.0			天草市本渡2	98.0%	69.3																																	
	阿蘇市狩尾1	0.0%	0.0			天草市河浦1	4.0%	1.3																																	
	阿蘇市狩尾2	2.0%	0.7			天草市河浦2	68.0%	29.3																																	
	阿蘇市的石1	0.0%	0.0			早期平均	77.7%	51.4		100.0%																															
	阿蘇市的石2	0.0%	0.0			注) 5月～6月上旬移植水稻は7月2日に、早期水稻は7月6日に調査を行った。																																			
	南小国町赤馬場1	6.0%	2.0		5月～6月上旬移植水稻におけるコブノメイガ発生状況調査(7月中～下旬)																																				
	南小国町赤馬場2	0.0%	0.0		<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>被害株率</th> <th>被害度</th> <th>発生ほ場率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>0.4%</td> <td>0.2</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>0.3%</td> <td>0.2</td> <td>7.7%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3.3%</td> <td>1.5</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.1%</td> <td>0.0</td> <td>4.2%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0.0%</td> <td>0.0</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>4.2%</td> <td>1.6</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>14.3%</td> <td>5.8</td> <td>58.3%</td> </tr> <tr> <td>平均(H26～R1)</td> <td>1.4%</td> <td>0.6</td> <td>20.2%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	被害株率	被害度	発生ほ場率	H26	0.4%	0.2	9.1%	H27	0.3%	0.2	7.7%	H28	3.3%	1.5	50.0%	H29	0.1%	0.0	4.2%	H30	0.0%	0.0	0.0%	R1	4.2%	1.6	50.0%	R2	14.3%	5.8	58.3%	平均(H26～R1)	1.4%	0.6	20.2%
	年度	被害株率	被害度			発生ほ場率																																			
	H26	0.4%	0.2			9.1%																																			
	H27	0.3%	0.2			7.7%																																			
	H28	3.3%	1.5			50.0%																																			
	H29	0.1%	0.0			4.2%																																			
	H30	0.0%	0.0			0.0%																																			
	R1	4.2%	1.6			50.0%																																			
	R2	14.3%	5.8			58.3%																																			
	平均(H26～R1)	1.4%	0.6			20.2%																																			
	南阿蘇村久木野1	4.0%	1.3																																						
	南阿蘇村久木野2	2.0%	0.7																																						
	甲佐町西寒野1	0.0%	0.0																																						
	甲佐町西寒野2	6.0%	2.0																																						
山都町入佐1	0.0%	0.0																																							
山都町入佐2	0.0%	0.0																																							
八代市二見町1	68.0%	27.3																																							
八代市二見町2	42.0%	18.7																																							
芦北町天月1	68.0%	26.0																																							
芦北町天月2	8.0%	4.0																																							
あさぎり町上西1	56.0%	22.7																																							
あさぎり町上西2	56.0%	23.3																																							
あさぎり町免田1	10.0%	5.3																																							
あさぎり町免田2	8.0%	2.7																																							
5月～6月上旬移植平均	14.3%	5.8	58.3%																																						

表3 予想されるコブノメイガの防除適期

発蛾最盛期：粒剤の防除適期 発蛾最盛期から1週間後：粉剤、液剤の防除適期

<6月7～8日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	7月14日 ～ 7月18日	8月14日 ～ 8月18日
三角	7月17日 ～ 7月20日	8月17日 ～ 8月20日
岱明	7月15日 ～ 7月19日	8月15日 ～ 8月19日
鹿北	7月18日 ～ 7月22日	8月21日 ～ 8月25日
菊池	7月16日 ～ 7月20日	8月17日 ～ 8月21日
阿蘇乙姫	7月24日 ～ 7月29日	9月3日 ～ 9月9日
甲佐	7月16日 ～ 7月20日	8月17日 ～ 8月21日
八代	7月15日 ～ 7月19日	8月15日 ～ 8月19日
水俣	7月16日 ～ 7月20日	8月17日 ～ 8月21日
人吉	7月18日 ～ 7月21日	8月19日 ～ 8月22日
本渡	7月18日 ～ 7月21日	8月19日 ～ 8月22日

<6月13～16日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	7月19日 ～ 7月25日	8月19日 ～ 8月25日
三角	7月21日 ～ 7月26日	8月21日 ～ 8月26日
岱明	7月20日 ～ 7月25日	8月20日 ～ 8月25日
鹿北	7月23日 ～ 7月30日	8月26日 ～ 9月2日
菊池	7月21日 ～ 7月26日	8月22日 ～ 8月27日
阿蘇乙姫	7月30日 ～ 8月4日	9月11日 ～ 9月18日
甲佐	7月21日 ～ 7月26日	8月22日 ～ 8月27日
八代	7月20日 ～ 7月25日	8月20日 ～ 8月25日
水俣	7月21日 ～ 7月26日	8月22日 ～ 8月27日
人吉	7月23日 ～ 7月28日	8月25日 ～ 8月30日
本渡	7月22日 ～ 7月27日	8月22日 ～ 8月27日

<6月21～25日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	7月26日 ～ 7月31日	8月26日 ～ 8月31日
三角	7月27日 ～ 8月1日	8月27日 ～ 9月1日
岱明	7月26日 ～ 8月1日	8月26日 ～ 9月1日
鹿北	7月29日 ～ 8月4日	9月1日 ～ 9月8日
菊池	7月27日 ～ 8月1日	8月28日 ～ 9月3日
阿蘇乙姫	8月4日 ～ 8月12日	10月以降
甲佐	7月27日 ～ 8月1日	8月28日 ～ 9月2日
八代	7月26日 ～ 8月1日	8月26日 ～ 9月1日
水俣	7月27日 ～ 8月1日	8月28日 ～ 9月2日
人吉	7月28日 ～ 8月3日	8月30日 ～ 9月5日
本渡	7月27日 ～ 8月2日	8月28日 ～ 9月3日

<7月2～5日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	8月3日 ～ 8月8日	9月3日 ～ 9月8日
三角	8月4日 ～ 8月9日	9月4日 ～ 9月11日
岱明	8月4日 ～ 8月9日	9月4日 ～ 9月10日
鹿北	8月6日 ～ 8月11日	9月11日 ～ 9月17日
菊池	8月4日 ～ 8月10日	9月6日 ～ 9月13日
阿蘇乙姫	8月12日 ～ 8月18日	10月以降
甲佐	8月4日 ～ 8月9日	9月6日 ～ 9月12日
八代	8月4日 ～ 8月9日	9月5日 ～ 9月11日
水俣	8月4日 ～ 8月9日	9月6日 ～ 9月11日
人吉	8月5日 ～ 8月11日	9月8日 ～ 9月15日
本渡	8月4日 ～ 8月10日	9月6日 ～ 9月13日

注) 各地点のアメダスデータ平均気温
 (7月6日までは今年の日データ、7月7
 日以降は平年値) をもとに、有効積算で
 今後の発育ステージを予測した。
 ・有効積算は左記の条件で行った。

ステージ	有効積算温度(日 度)	発育0点(°C)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
さなぎ	90	14.2

熊本県病虫害防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病虫害研究室 予察指導係)
 担当: 西本、作本 TEL 096-248-6490

令和2年（2020年）8月3日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和2年度（2020年度）病虫害発生予察注意報第4号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度（2020年度）病虫害発生予察注意報第4号

農作物名 カンキツ、ナシ、カキ等果樹全般

病虫害名 果樹カメムシ類

（主にチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ及びクサギカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 8月以降
- 3 発生程度 平年比 多
- 4 注意報発表の根拠

（1）合志市に設置しているフェロモントラップ、宇城市及び天草市に設置している予察灯及びフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は、7月4半旬～第5半旬から急増している（図1、2、3）。

（2）現在までに熊本市、荒尾市、氷川町、芦北町、錦町、天草市における果樹園で果樹カメムシ類の飛来が認められ、局地的ではあるが大量の飛来があり被害が発生している果樹園も確認されている。

（3）福岡管区气象台が7月30日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水も少ないため、果樹カメムシ類の活動が活発になると予想される。

5 防除対策

（1）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。

（2）チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ

（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や防除適期の参考にする。

（3）果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

（4）ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。

（5）薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

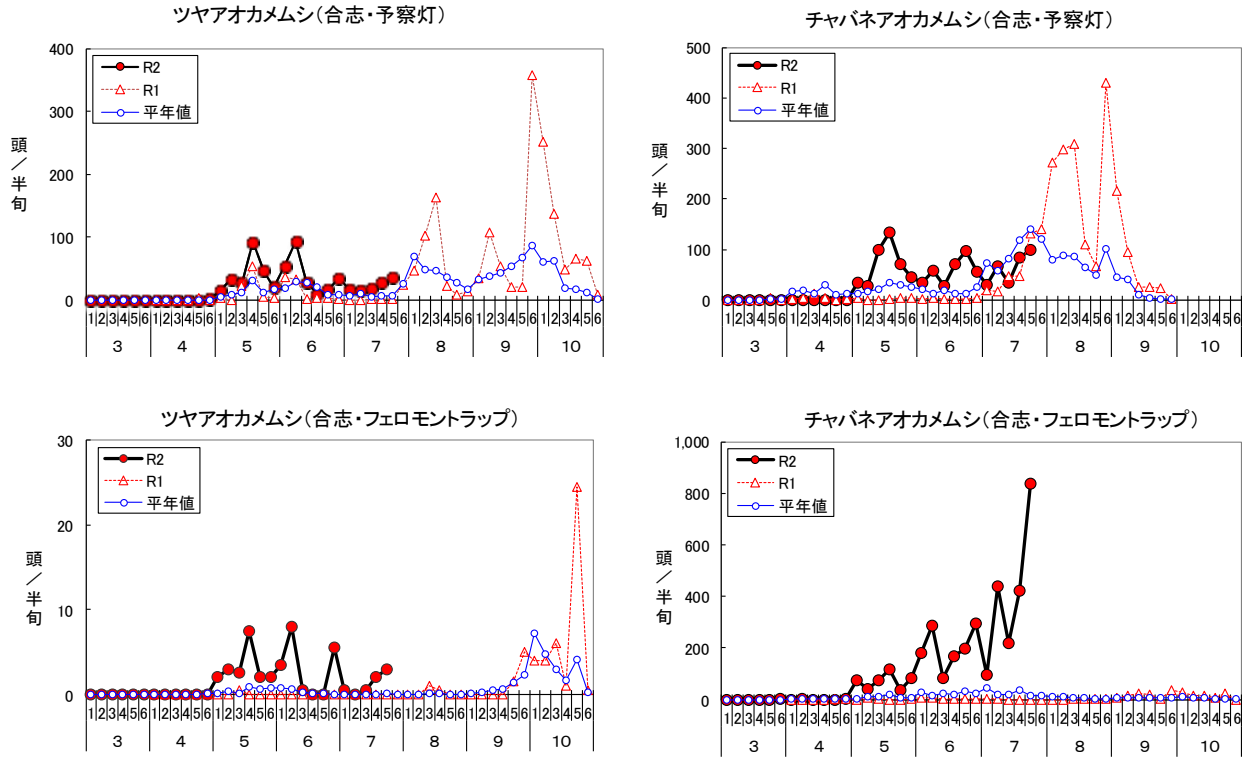


図1 合志市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：農業研究センター）

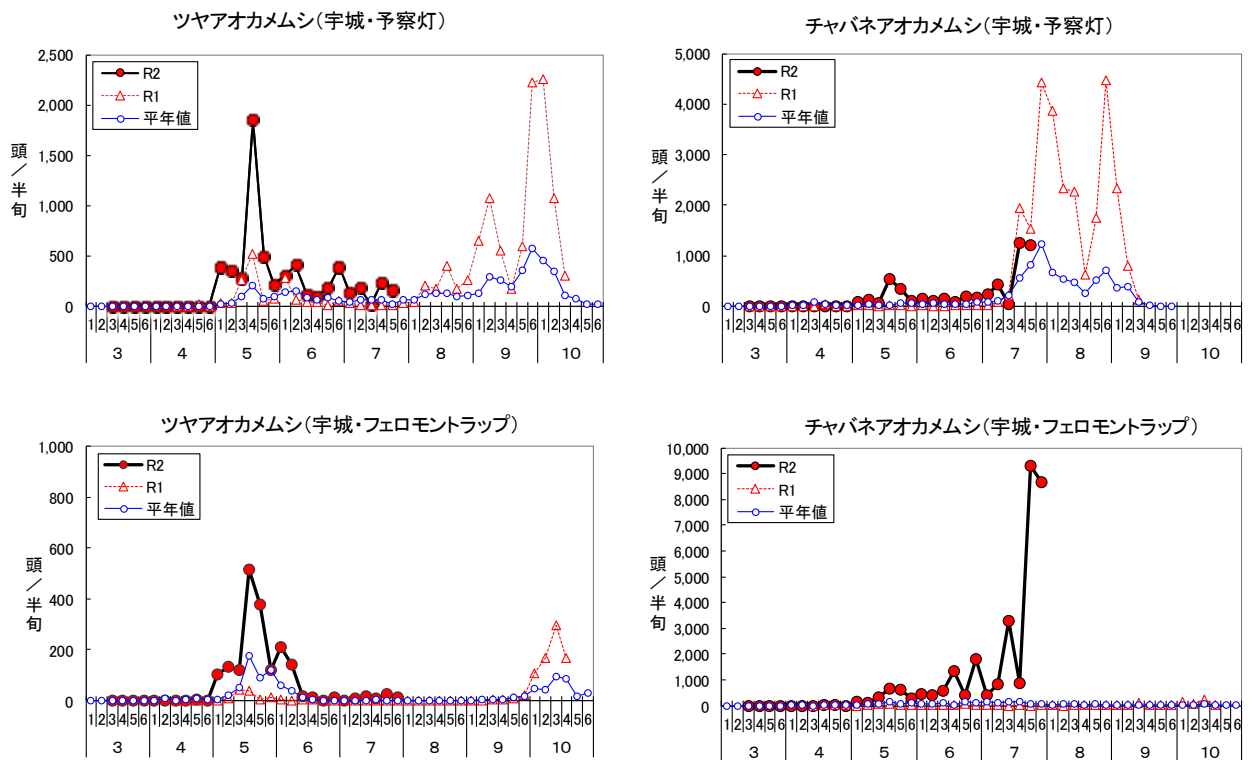


図2 宇城市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移（設置場所：果樹研究所）

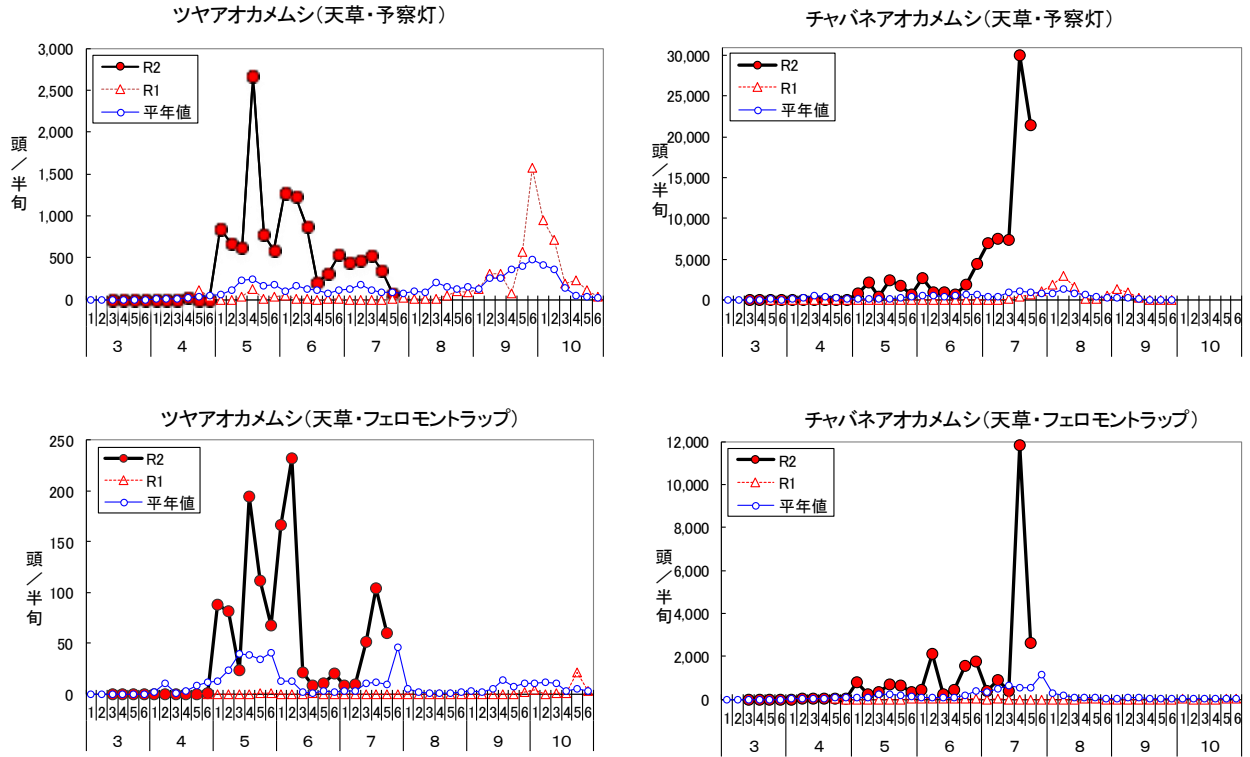


図3 天草市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移 (設置場所：天草農業研究所)

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所)
 担当：中村、丹 TEL：096-248-6490

病防第113号
令和3年（2021年）3月18日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察注意報について（送付）

このことについて、令和2年度（2020年度）病虫害発生予察注意報第5号を発表しましたので、送付します。

注 意 報

令和2年度（2020年度）病虫害発生予察注意報第5号

農作物名 イチゴ
病虫害名 アザミウマ類

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生時期 3月下旬以降
- 3 発生程度 平年比 多
- 4 注意報発表の根拠

（1）本年2月からアザミウマ類（主にヒラズハナアザミウマ及びミカンキイロアザミウマ）の発生が多い傾向にある。3月上旬に行った巡回調査においても、寄生株率は17.0%（平年9.7%、前年9.3%）、10株当たりの寄生頭数は3.3頭（平年2.3頭、前年1.3頭）であり、寄生株率・10株当たりの寄生頭数ともに平年及び前年と比較して多かった（図1、2）。

（2）福岡管区气象台が3月11日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高い予想であり、多発生することが予想される。

5 防除対策

本害虫は、果実の表面を加害し、外観等の果実品質を低下させる（写真1）。今後、気温の上昇に伴い、施設内での発生が増加するとともに施設外からの飛び込みも多くなり、3月下旬以降の発生が多くなると予想されるため、以下の防除対策を実施する。

（1）耕種的・物理的防除

ア 施設内および周辺の雑草は、重要な発生源となるので、開花する前に除草する。

また、施設内の観賞用の花き類も撤去する。

イ 施設内に青色粘着板トラップを設置し、アザミウマ類の密度を低下させる。

（2）薬剤による防除

ア 成虫に効果の高い薬剤を中心に使用する。

イ 多発生した場合は、薬剤の散布間隔を短くし（約5日）、異なる薬剤をローテーションで複数回散布する。

ウ ハダニ類対策で天敵（カブリダニ類）を放飼している場合は、天敵に影響の少ない薬剤を選択する。ただし、成虫の発生が多い場合は、アザミウマ類の防除を優先し、アザミウマ類成虫に効果の高い薬剤を選択する。その場合、天敵にも大きく影響するため、散布後のハダニ類の増加に注意する。

エ 薬剤防除にあたっては、訪花昆虫（ミツバチ等）への影響を考慮し、薬剤を選定する。また、散布日は巣箱を移動させるなどして、危害が出ないように注意する。

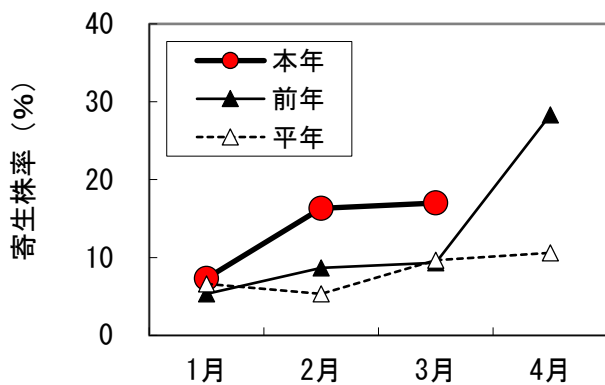


図1 アザミウマ類の寄生株率の推移

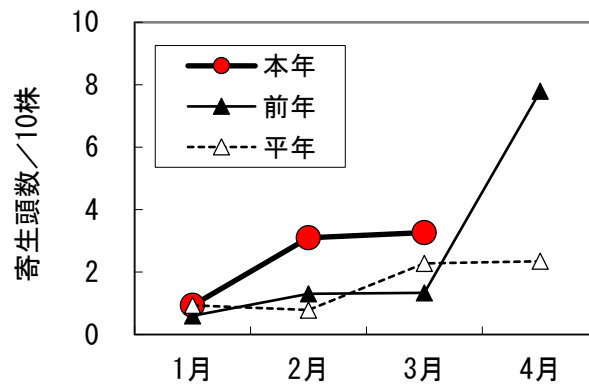


図2 アザミウマ類の寄生頭数の推移



写真1 アザミウマ類の加害による被害果

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病虫害研究室 予察指導係 (病虫害防除所)
 担当：丹、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）

このことについて、発生予察特殊報第1号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第1号

令和2年（2020年）6月25日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 トマト黒点根腐病
- 2 病原菌 *Colletotrichum coccodes* コレトトリカム ココデス
- 3 発生作物 ミニトマト（ナス科）

4 発生確認の経過

令和元年（2019年）12月、県内の施設栽培のミニトマトで、下葉が黄化し、やがて全体が萎凋して枯死する株が確認された。現場ほ場から検体を採取、菌分離し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、本病であることが判明した。

5 国内の発生状況

本病害は大分県、神奈川県、岡山県、群馬県等で発生が確認されている。また、本病害の病原菌はトマトの他、ナス、トウガラシ等ナス科作物に病原性を有し、それぞれの作物においても黒点根腐病として国内で発生している。

6 病徴

下葉から黄化し始め、発病の進展に伴い順次上位葉にまで進み、下葉から落葉する。日中地上部が萎凋することもある。発病株は生育が遅れ、発病が進むと生育が著しく劣るようになる。発病が激しくなると着果不良となり、収量が減少する。発病株の根は灰褐色に変色腐敗し、細根は脱落する。変色腐敗した根の表面には多数の小黒点を形成する（図1）。

7 防除対策

- 1) 発病株は伝染源となるので、罹病した根等の残渣を土壌中へ残さないように丁寧に除去し、ほ場外へ持ち出すとともに適切に処分する。
- 2) 発生ほ場では、必ず土壌消毒を行う。



図1 根に形成された小黑点



図2 小黑点上に形成された剛毛



図3 PDA培地上の菌核



図4 分生子

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所

〔 農業研究センター 生産環境研究所 〕
病害虫研究室 予察指導係

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）

このことについて、発生予察特殊報第2号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第2号

令和2年（2020年）6月25日

熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 トルコギキョウ茎腐病
- 2 病原菌 *Fusarium avenaceum* フザリウム アベナセウム
- 3 発生物 トルコギキョウ（リンドウ科）
- 4 発生確認の経過

令和元年（2019年）12月、県内の施設栽培のトルコギキョウで、萎凋症状（図1）を呈し、葉や茎が淡褐色に変色する株が確認された。現場ほ場から検体を採取、菌分離し、農林水産省門司植物防疫所に同定依頼した結果、本病であることが判明した。

5 国内の発生状況

本病害は昭和61年（1986年）頃に北海道においてトルコギキョウで初めて確認された。

6 病徴

茎でははじめ表面から褐変し、髓部に腐敗を生じる。その後、茎の一部が縦方向に淡褐変を生じ、上位へと進展する。発病が進むと地際部に亀裂が表れ、白綿毛状の気中菌糸（図2）や、橙色の分生子塊（図3）が形成されることが多い。さらに、根は褐色に変色し腐敗する。

7 防除対策

1) 本病に対する登録農薬はないため、発病株は見つけ次第ほ場外に持ち出し、適切に処分する。

2) 発生ほ場では、必ず太陽熱消毒を徹底する。

なお、罹病残渣は伝染源になるため、消毒を行う前に、根等の残渣を土壌中へ残さないように丁寧に除去する。

3) ほ場の排水を良好にする。



図1 茎葉の萎凋症状
左：発病株 右：健全株



図2 地際部の白綿毛状の気中菌糸



図3 菌糸と橙色の分生子塊



図4 大型分生子

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所

〔 農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係 〕

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490

令和2年（2020年）10月23日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察特殊報について（送付）

このことについて、発生予察特殊報第3号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第3号

令和2年（2020年）10月23日

熊本県病虫害防除所長

- 1 病虫害名 クリバネアザミウマ（アミメアザミウマ亜科）
- 2 学 名 *Hercinothrips femoralis* (Reuter)
- 3 発生作物 ダリア（キク科）
- 4 発生確認の経過

令和2年（2020年）7月、県内の施設栽培のダリアで、葉にかすり状の食害痕が発生し、当該被害葉上に黒褐色のアザミウマの寄生が確認された（図1、図2）。当該ほ場から虫体を採集し、農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼した結果、県内での発生が未確認であったクリバネアザミウマであることが判明した。

5 国内の発生状況

国内では平成4年頃から施設内での発生が報告されており、ディフェンバキア（静岡県：平成13年）、ピーマン・シシトウ（高知県：平成15年）、クワイ・アガパンサス（神奈川県：平成15年）、ナス（岡山県：平成16年）、ポトス・モンステラ（香川県：平成17年）、ミョウガ（埼玉県：平成18年）における発生が特殊報により報告されている。

6 形態及び生態等の特徴

（1）形態

雌成虫の体長は1.2～1.5mm。体の表面に細かい網目模様を有し、触角の末端2節は細長い尖節を形づくる（図3、図4）。体色は暗褐色であるが、頭部では複眼と単眼の間は黄色から茶色を呈す。前翅は褐色で基部と先端が淡色である。

（2）生態

本種は熱帯から温帯に分布しており、24℃での発育期間は24日とされている。国内では雄成虫は発見されておらず、雌成虫のみで単為生殖する。

（3）被害

葉を舐めるように吸汁加害し、葉に退緑斑点や排泄物によるスス状の汚れを発生させる。また、吸汁加害が進むと葉にかすり症状やえそ斑が生じる。

(4) 寄主植物

本種の寄主範囲は広く、海外ではアカザ科、アナナス科、イネ科、イラクサ科、ウコギ科、オオバコ科、カヤツリグサ科、キク科、キョウチクトウ科、コショウ科、サクラソウ科、サトイモ科、サボテン科、シソ科、ツユクサ科、ナス科、バショウ科、バラ科、ヒガンバナ科、ユリ科、ラン科で報告がある。

7 防除対策

(1) 本種は各種殺虫剤に対する感受性が高いと考えられるため、アザミウマ類に登録のある薬剤により防除を行う。

(2) 雑草等で繁殖する可能性があるため、ほ場内外の除草を行う。



図1 クリバネアザミウマ成虫



図2 ダリアの被害葉
(退緑斑点・かすり症状)



図3 頭部の網目模様



図4 触角末端の尖節

問い合わせ先

熊本県病虫害防除所

(農業研究センター 生産環境研究所)
病虫害研究室 予察指導係

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第4号を公表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第4号
令和2年（2020年）10月30日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 サツマイモ基腐病
- 2 学 名 *Diaporthe destruens* (Harter) Hirooka, Minosh. & Rossman
(syn. *Phomopsis destruens* (Harter) Boerema, Loerakker & Hamers)
- 3 発生作物 カンショ（ヒルガオ科）
- 4 発生確認の経過

令和2年（2020年）9月、県内のカンショ栽培ほ場で、地際部の茎及び塊根の茎に近い部分が黒色～暗褐色に変色した株が確認された（図1）。被害株の変色部表層には微小な黒点粒状の分生子殻の形成が認められ、分生子殻から漏出した分生子の形状及びPDA培地上の培養性状から*D.destruens*と同定した（図2、3、4）。

5 国内の発生状況

国内最初の発生は、平成30年（2018年）11月に沖縄県より特殊報で報告された。その後、鹿児島県、宮崎県と続いて発生が確認されている。

6 病徴

はじめ、地際部の茎が黒色～暗褐色に変色し腐敗する。その後、茎の被害部が拡大し、やがて地上部の茎葉が萎凋、枯死する。発病が地下茎、しょ梗を経て塊根まで拡大すると、なり首側から塊根が腐敗する。

7 防除対策

（1）発病した株（つるや塊根）は速やかに抜取り、り病残さをほ場内や周辺に残さないよう処分する。

（2）発病株の除去前後に、周辺株への感染予防のため、銅剤（Zボルドーまたはジーファイン水和剤）を複数回散布する。

（3）収穫後は、ほ場からカンショの残さを速やかに除去し、耕耘などを行ってほ場内に残った残さの分解を促進する。

（4）本病が発生したほ場で使った資材や機材を別ほ場で使う際は消毒や洗浄を十分に行う。

- (5) 本病が発生したほ場では、次作のカンショ栽培を控えて極力輪作を行う。
- (6) 本病が発生したほ場からは種芋を取らない。
- (7) 種芋には腐敗や病害、傷のない健全な芋を使用する。また、種芋の消毒を行う。
- (8) 苗床の土壌消毒を行う。
- (9) 苗は地際部から5cm以上切り上げて採苗し、採苗当日に苗を消毒する。
- (10) 植付前には、ほ場の排水対策や土壌消毒を十分に行う。
- (11) 農研機構のホームページに本病害の防除対策等に関する情報が掲載されているので、防除の参考にする。

(http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/Stem_blight_and_storage_tuber_rot_of_sweetpotato2.pdf)



図1 地際部の茎の被害症状



図2 被害茎に形成された分生子殻

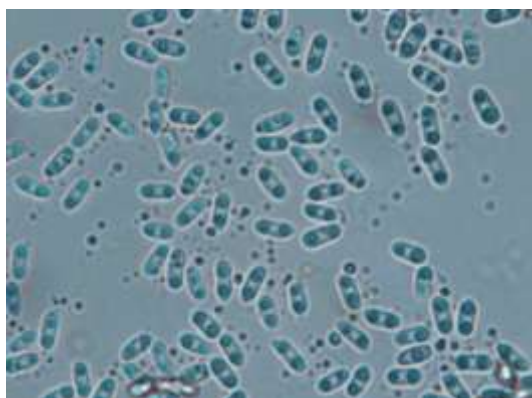


図3 *D. destruens* の分生子



図4 PDA培地上に形成された菌叢

問い合わせ先

熊本県病害虫防除所
 (農業研究センター 生産環境研究所)
 病害虫研究室 予察指導係
 担当：中村、西本 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察特殊報について（送付）
このことについて、発生予察特殊報第5号を発表しましたので送付します。

特 殊 報

令和2年度（2020年度）発生予察特殊報第5号

令和2年（2020年）12月11日
熊本県病害虫防除所長

- 1 病害虫名 フタテンミドリヒメヨコバイ（ヨコバイ科）
- 2 学 名 *Amrasca biguttula* (Ishida, 1913)
- 3 発生作物 オクラ（アオイ科）
- 4 発生確認の経過

令和2年（2020年）9月、県内のオクラほ場で葉が黄化・萎縮する症状が確認され、被害葉上にて翅末端に一对の黒点があるヨコバイが確認された。ほ場から虫体を採集し農林水産省門司植物防疫所に同定を依頼した結果、県内での発生が未確認であったフタテンミドリヒメヨコバイであることが判明した。

5 国内の発生状況

沖縄県のオクラで発生が確認されているほか、平成17年（2005年）に東京都のハイビスカス、オクラ、ナスでの発生が報告されている。

6 形態及び生態の特徴

（1）形態

ア 成虫は体長2.7～3.2mm。複眼は白色、頭胸部は黄緑色、上翅は半透明白色で翅の末端に一对の黒点がある（図1）。

イ 終齢幼虫は体長2.4～3.2mm。全身がほぼ黄緑色で複眼は白色。第5腹節から翅の原基が出ている。翅の原基にも一对の黒点がある（図2）。

（2）生態

雌成虫は黄白色の卵を葉脈に一度に15卵ほど産卵する。卵は孵化直前には灰色がかった黄色になる。卵は4～11日で孵化し、幼虫期間は7～21日、成虫の寿命は35～50日である。

（3）被害

幼虫・成虫とも新葉や茎から吸汁する。葉の黄化・萎縮・奇形を呈し、成長が抑制される（図3）。

7 防除対策

- （1）定期的に葉裏を観察し早期発見に努め、発見したら登録薬剤を散布する。

(2) 収穫残渣は発生源となるため、収穫後は早期に片付ける。



図1 フタテンミドリヒメヨコバイの成虫



図2 フタテンミドリヒメヨコバイの終齢幼虫



図3 黄化・萎縮したオクラの被害葉

問い合わせ先
熊本県病害虫防除所
農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係 担当：丹、中村

TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカ飛来状況（技術情報第1号）について（送付）
このことについて、トビイロウンカ飛来状況を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考にご活用ください。

記

合志市に設置した予察灯で、トビイロウンカが5月3日に1頭誘殺されました。今年度の初飛来日は過去10年中最も早く、平年より1か月以上早くなっています（平年6月23日）。今後の病虫害防除所の飛来情報を随時確認するとともに、本田での発生に注意してください。

1 海外飛来性害虫（ウンカ類）飛来状況

（1）トビイロウンカ

合志市に設置した予察灯で、5月3日に1頭誘殺し、その後5月10日にも1頭誘殺された。

（2）セジロウンカ

5月11日現在、合志市に設置した予察灯及びネットトラップとも誘殺は確認されていない。

2 トビイロウンカ防除対策について

（1）今後も梅雨明けまではトビイロウンカが断続的に飛来すると考えられるため、飛来情報を随時確認し、本田移植後に飛来があった場合はほ場で定着していないか注意深く観察する。

（2）トビイロウンカは一部の薬剤に対し感受性の低下が認められている（令和2年3月4日付け、技術情報第14号参照）。育苗箱施薬剤を使用していてもトビイロウンカ幼虫の発生が見られるなど防除効果が不十分な場合は、直ちに本田防除を実施する。

※今後の発生状況、防除適期や対策については防除所のホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載します。

熊本県病虫害防除所（生産環境研究所）
西本・作本 tel 096-248-6490

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ	
	セジロウカ	トビイロウカ	セジロウカ	トビイロウカ		セジロウカ	トビイロウカ	セジロウカ	トビイロウカ
4/1	0	0	0	0	5/1	0	0	0	0
4/2	0	0	0	0	5/2	0	0		
4/3	0	0	0	0	5/3	0	1		
4/4	0	0			5/4	0	0	0	0
4/5	0	0	0	0	5/5	0	0		
4/6	0	0			5/6	0	0		
4/7	0	0	0	0	5/7	0	0		
4/8	0	0	0	0	5/8	0	0	0	0
4/9	0	0	0	0	5/9	0	0		
4/10	0	0	0	0	5/10	0	1	0	0
4/11	0	0			5/11	0	0		
4/12	0	0	0	0	5/12				
4/13	0	0			5/13				
4/14	0	0	0	0	5/14				
4/15	0	0	0	0	5/15				
4/16	0	0	0	0	5/16				
4/17	0	0	0	0	5/17				
4/18	0	0			5/18				
4/19	0	0	0	0	5/19				
4/20	0	0			5/20				
4/21	0	0	0	0	5/21				
4/22	0	0	0	0	5/22				
4/23	0	0	0	0	5/23				
4/24	0	0	0	0	5/24				
4/25	0	0			5/25				
4/26	0	0	0	0	5/26				
4/27	0	0			5/27				
4/28	0	0	0	0	5/28				
4/29	0	0			5/29				
4/30	0	0	0	0	5/30				
月計	0	0	0	0	5/31				
					月計	0	2	0	0

図1 合志市に設置した予察灯・ネットトラップにおけるトビイロウカとセジロウカの誘殺状況（4/1～5/11まで）

場 所	種 類	本年	過去10年で 最も早い	過去10年で 最も遅い	平年 (過去10年)
生産環境研究所 (合志市)	トビイロウカ	5月3日	5月22日 (H27)	8月14日 (H23)	6月23日
	セジロウカ	現時点で 未確認	4月5日 (H27)	6月22日 (H26)	5月19日

図2 過去のトビイロウカ・セジロウカ初飛来日との比較（5/11現在）

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

果樹カメムシ類の発生状況（技術情報第2号）について（送付）

果樹カメムシ類の発生状況および防除について下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

5月第1半旬より各地の予察灯及びフェロモントラップの誘殺数が急増しています。本年は、チャバネアオカメムシの越冬量が過去10年で最も多かったことから、果樹カメムシ類の活動が本格化すると例年より多くの個体が果樹園に飛来して被害を発生させる恐れがあるので、園内見回りによる早期発見と発生初期の防除を徹底しましょう。

1 発生状況

（1）合志市、宇城市、天草市に設置している予察灯及びフェロモントラップにおける果樹カメムシ類の誘殺数は5月第1半旬に急増しており（図1、2、3）、昨年及び平年より早く果樹カメムシ類の活動が始まったと考えられる。

（2）令和2年1～2月のチャバネアオカメムシの越冬成虫数は、県下16地点で合計130頭（前年1頭、平年8.2頭）と過去10年で最も多く（図4）、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年に比べて多いと予想される（令和2年（2020年）3月3日付病防第144号「令和元年度（2019年度）病虫害発生予察注意報第4号」を参照）。

（3）福岡管区气象台が5月7日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、果樹カメムシ類の活動がさらに活発になることが予想される。

2 防除対策

（1）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。特に、山間部や山沿いの園地は被害を受けやすいので注意する。

（2）チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ

（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載しているので、最新の誘殺状況を確認し、防除要否や防除適期の参考にする。

（3）果樹カメムシ類は日没直後に果樹園に飛来し、翌朝飛び去るため、夕方や早朝の防除が有効である。

（4）ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きく、ハダニ類の発生を助長するので、最小限の使用にとどめる。

（5）薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

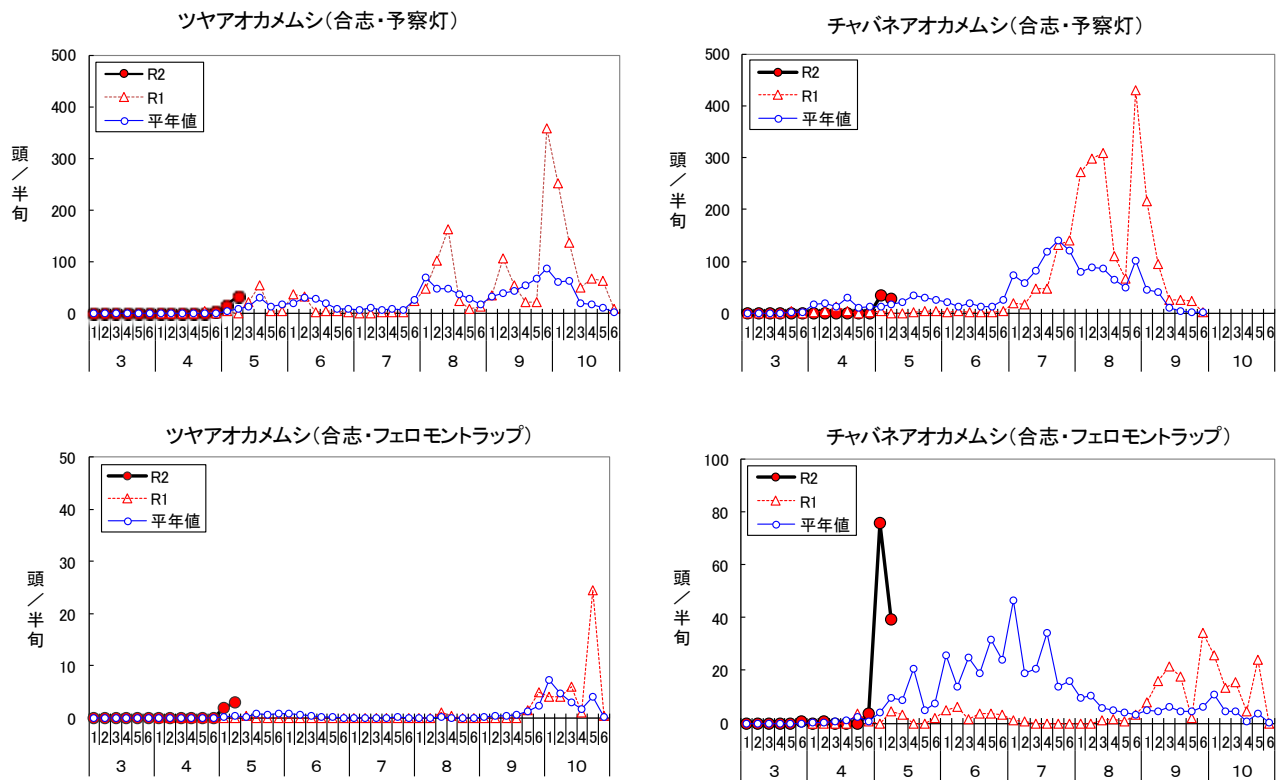


図1 合志市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移 (設置場所：農業研究センター)

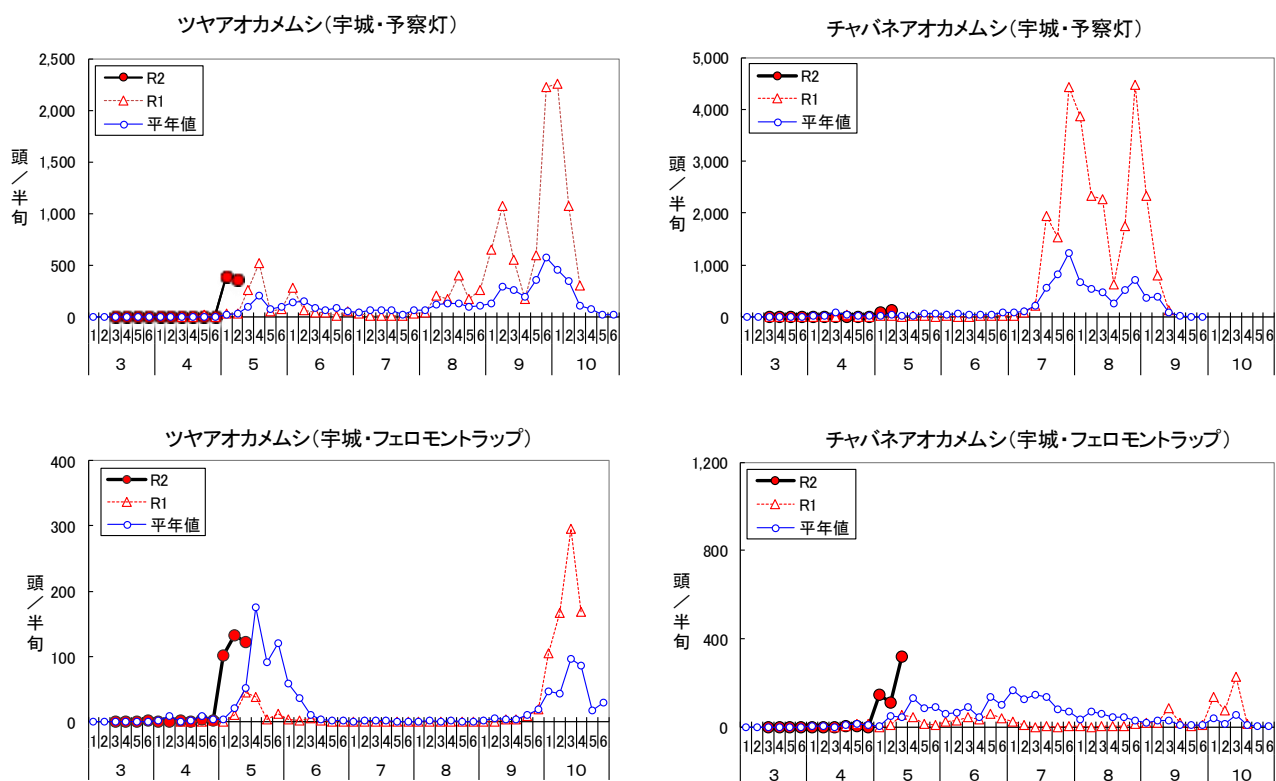


図2 宇城市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移 (設置場所：果樹研究所)

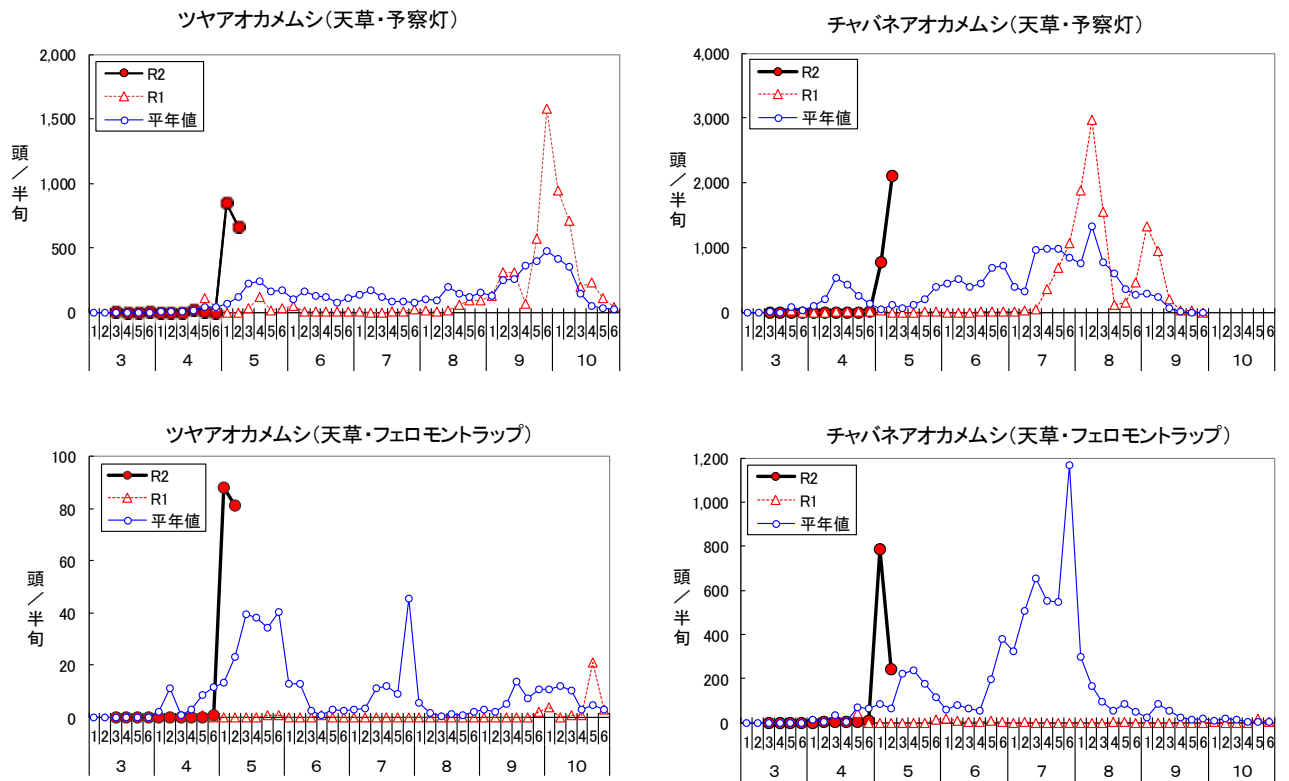


図3 天草市における果樹カメムシ類の誘殺数の推移 (設置場所：天草農業研究所)

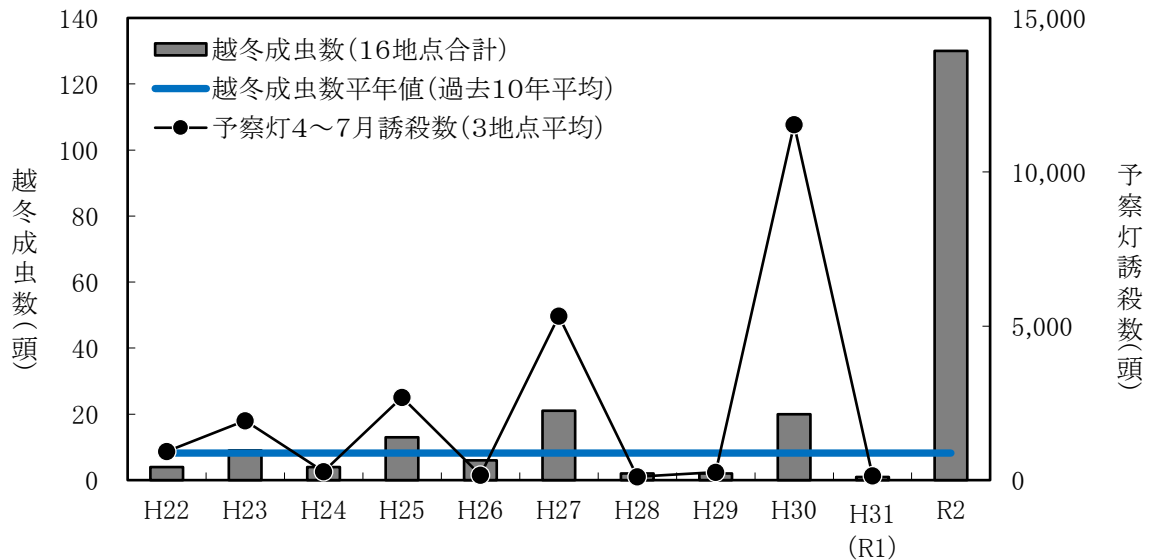


図4 チャバネアオカメムシの越冬成虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

- 1 「越冬成虫数」は、各3m²調査した16地点の合計頭数を示す(左縦軸)。
- 2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す(右縦軸)。
- 3 チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所)
 担当：中村、丹 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

麦類赤かび病の発生状況(技術情報第3号)について(送付)
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

現在、麦類の赤かび病は、小麦は平年並、大麦は平年比やや少の発生状況である。発病が確認されたほ場の発病程度は、小麦、大麦ともに少程度である。

記

1 麦類赤かび病の発生状況の調査概要(別紙)

- (1) 5月7日、8日及び14日に、県内の麦類赤かび病の発生状況調査を、小麦26ほ場、大麦12ほ場で行った。
- (2) 小麦では、発病穂率1.0%(平年1.2%)、発生ほ場率30.8%(平年34.6%)、発病度0.44(平年0.21)で、平年並の発生であった。発病が確認されたほ場の発病程度は少であった。
- (3) 大麦では、発病穂率0.5%(平年0.6%)、発生ほ場率8.3%(平年19.0%)、発病度0.08(平年0.10)で、平年比やや少の発生であった。発病した穂の被害粒は1~2粒程度と軽微で発病程度は少であった。

2 今後の留意点

赤かび病の発生は平年並からやや少で発病程度は少であるが、多発したほ場がある場合は下記の対策を徹底する。

- (1) 刈り遅れると、赤かび病菌が産生するかび毒(DON)の含有濃度が高くなる傾向があるため、適期に収穫する。
- (2) 収穫時にはほ場を確認し、赤かび病発生の多いほ場や発生ほ場で倒伏がみられた場合は、かび毒汚染の可能性が高くなるため、可能な限り、他の麦とは分けて収穫する。
- (3) 共同乾燥施設においては、荷受時に赤かび病被害粒のチェックを行い、赤かび病被害粒がみられた場合は、必要に応じてその他の麦とは別に乾燥するなどの仕分けを行う。

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係)

担当：作本 TEL 096-248-6490

令和2年(2020年) 麦類赤かび病の調査結果

調査日: 令和2年5月7日・8日・14日

小麦

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	熊本市富合町新1	0	100	0	0	0	0.00
2	" " 新2	0	100	0	0	0	0.00
3	熊本市城南町碓1	0	100	0	0	0	0.00
4	" " 碓2	0	100	0	0	0	0.00
5	玉名市北牟田1	2	98	1	0	1	1.17
6	" 北牟田2	4	96	1	1	2	2.67
7	玉名市野口1	4	96	1	0	3	3.17
8	" 野口2	4	96	3	1	0	1.00
9	山鹿市南島1	0	100	0	0	0	0.00
10	" 南島2	0	100	0	0	0	0.00
11	山鹿市鹿本町来民1.	5	95	4	1	0	1.17
12	" 来民2	3	97	2	1	0	0.83
13	菊池市七城町砂田1	0	100	0	0	0	0.00
14	" 砂田2	3	97	2	1	0	0.83
15	菊池市今1	0	100	0	0	0	0.00
16	" 今2	2	98	1	1	0	0.67
17	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
18	" 新2	0	100	0	0	0	0.00
19	御船町小坂1	0	100	0	0	0	0.00
20	" 小坂2	0	100	0	0	0	0.00
21	甲佐町糸田1	0	100	0	0	0	0.00
22	" 糸田2	0	100	0	0	0	0.00
23	嘉島町上六嘉1	0	100	0	0	0	0.00
24	" 上六嘉2	0	100	0	0	0	0.00
25	氷川町若洲1	0	100	0	0	0	0.00
26	" 若洲2	0	100	0	0	0	0.00
	平均値	1.0	発生ほ場率 30.8%				0.44
	平年値(過去10年)	1.2	" 34.6%				0.21

大麦

ほ場	地点名	発病穂率 (%)	発病程度別の穂数				発病度
			0(無)	①(軽)	②(中)	③(甚)	
1	山鹿市鹿央1	0	100	0	0	0	0.00
2	" 鹿央2	0	100	0	0	0	0.00
3	菊池市七城町砂田1	0	100	0	0	0	0.00
4	" 砂田2	0	100	0	0	0	0.00
5	菊池市今1	0	100	0	0	0	0.00
6	" 今2	0	100	0	0	0	0.00
7	大津町新1	0	100	0	0	0	0.00
8	" 新2	0	100	0	0	0	0.00
9	あさぎり町免田1	0	100	0	0	0	0.00
10	" 免田2	6	94	6	0	0	1.00
11	多良木町多良木1	0	100	0	0	0	0.00
12	" 多良木2	0	100	0	0	0	0.00
	平均値	0.5	発生ほ場率 8.3%				0.08
	平年値(過去10年)	0.6	" 19.0%				0.10

※1 1ほ場において100穂調査

※2 発病程度 0:発病無し ①:穂の1/3以下が発病 ②:穂の1/3~2/3が発病 ③:穂の2/3以上が発病

※3 発病度 = $\{6③+3②+①\} / (6 \times \text{調査穂数}) \times 100$

参考

過去の麦類赤かび病の調査結果

小麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	2.2	0.36	74.1	5/7調査
H17年	1.5	0.25	68.0	5/10・11調査
H18年	2.8	0.41	66.7	5/11調査
H19年	1.6	0.28	58.3	5/7・8調査
H20年	0.6	0.15	28.0	5/7・8調査
H21年	0.0	0.01	3.3	5/7・8調査
H22年	1.0	0.19	26.7	5/6・7調査
H23年	0.4	0.07	23.1	5/10・16調査
H24年	2.6	0.45	61.5	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.7	5/8・14調査
H26年	0.2	0.04	19.2	5/14・16調査
H28年	3.0	0.51	65.4	5/11・18調査
H30年	2.8	0.47	61.5	5/10・18調査
R1年	1.1	0.19	50.0	5/8・9調査
平年値(10年間)	1.2	0.21	34.6	H20～R1
5年平均	1.4	0.24	40.8	H25～R1
R2年	1.0	0.44	30.8	5/7・8・14調査

※H27年、H29年は調査なし

大麦

調査年	発病穂率	発病度	発生圃場率(%)	備考
H16年	1.1	0.18	28.6	5/7調査
H17年	0.6	0.11	36.4	5/10・11調査
H18年	1.3	0.21	50.0	5/11調査
H19年	0.4	0.07	35.7	5/7・8調査
H20年	0.1	0.01	7.1	5/7・8調査
H21年	0.0	0.00	0.0	5/7・8調査
H22年	0.0	0.00	0.0	5/6・7調査
H23年	0.2	0.04	14.3	5/10・16調査
H24年	0.9	0.14	28.6	5/16・18調査
H25年	0.1	0.01	7.1	5/16・18調査
H26年	0.0	0.00	0.0	5/14・16調査
H28年	1.3	0.21	50.0	5/11・18調査
H30年	2.6	0.43	50.0	5/10・18調査
R1年	1.0	0.17	33.3	5/8・9調査
平年値(10年間)	0.6	0.10	19.0	H20～R1
5年平均	1.0	0.16	28.1	H25～R1
R2年	0.5	0.08	8.3	5/7・8調査

※H27年、H29年は調査なし

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ツマジロクサヨトウの発生状況（技術情報第4号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

令和2年（2020年）5月19日及び5月20日に県内の飼料用トウモロコシほ場においてツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認されました。前年（7月8日）に比べて幼虫の発生時期が早く、今後、特に生育初期の農作物への被害が大きくなることが想定されます。生産ほ場を定期的に見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

1 発生状況

令和2年（2020年）5月19日及び5月20日に県内の飼料用トウモロコシほ場においてツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認された。県内での幼虫の初確認は、令和元年度（2019年）が7月8日であり、前年より50日早い確認である。本種は、南西諸島等の温暖な地域を除き、九州本土等では越冬は困難とされているが、令和2年（2020年）1月、4月及び5月に合志市に設置したフェロモントラップにおいて誘殺されている。今後、気温が高まり発育及び飛翔に適した気温となるため、農作物への被害が大きくなることが想定される。

2 防除対策等

本種によって被害を受ける恐れのある農作物（飼料用トウモロコシ、飼料用ソルガム、スイートコーン、サトウキビ等）の生産ほ場では、定期的な見回りによる早期発見、発生が確認された際の早期防除に努める。

（1）早期発見

本種の幼虫は、寄主植物の軟らかい葉を好んで食害する傾向にある。特に生育・定植まもない時期は、農作物への被害が大きくなることが想定されるため、ほ場全体を定期的に見回り、葉の食害痕等により幼虫の早期発見に努める（図1、2）。

なお、ツマジロクサヨトウの幼虫を判断し難い場合は、病虫害防除所に相談する。

（2）防除対策

ア 現在、本種に登録のある農薬がないことから、本種の防除に必要な農薬の適用が行われるまでの間、別添の農薬リスト（5月1日現在）を参考に、植物防疫法第29条第1項に基づく防除を実施する。

イ 農薬散布に当たっては、新葉の葉鞘基部に潜り込んでいる幼虫に届くよう、株の上部までしっかりと散布する。また、老齢幼虫や作物の内部に潜り込んでいる幼虫には農薬の効果が低くなるので、本種の活動が活発になる早朝に、若齢幼虫や葉の表面にいる幼虫に対して、農薬を散布する。

ウ 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで注意事項等を確認し、ミツバチや魚介類

など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底する。



図1 飼料用トウモロコシの被害株



図2 ツマジロクサヨトウ幼虫

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当：中村、作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イチゴ育苗床におけるハダニ類の防除対策(技術情報第5号)について(送付)
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、防除指導の参考としてご活用下さい。

記

今作は、平年に比べハダニ類の発生が多くなっていますので、育苗床を確認し、発生が見られる場合は早期に防除を行いましょう。

1 発生状況

5月に県下のイチゴ育苗床の親株で実施した巡回調査では、ハダニ類の寄生株率が29.0%(平年7.7%)で平年比多の発生であった(図1)。福岡管区气象台が5月28日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想でありイチゴ育苗床における本虫発生に好適な条件が続くと考えられるため注意が必要である。

2 防除対策

(1) 薬剤防除

1) 早期発見、初期防除を徹底する。

また、本ぼでの発生は主に寄生苗の持ち込みによって起こるので、育苗期の防除を徹底する。

2) 有効な殺ダニ剤を本ぼ期に温存するため、育苗期には気門封鎖剤を積極的に使用する。また、同一系統の薬剤を連用すると、薬剤感受性が低下するので、系統の異なった薬剤を組み合わせ、ローテーション散布を実施する。

(2) 耕種的防除

1) 育苗床周辺の雑草は発生源となるので、除草を徹底する。

2) 発生初期の下葉の除去はハダニ防除に有効である。

また、除いた下葉はポリ袋などに詰め育苗床外に持ち出して処分する。

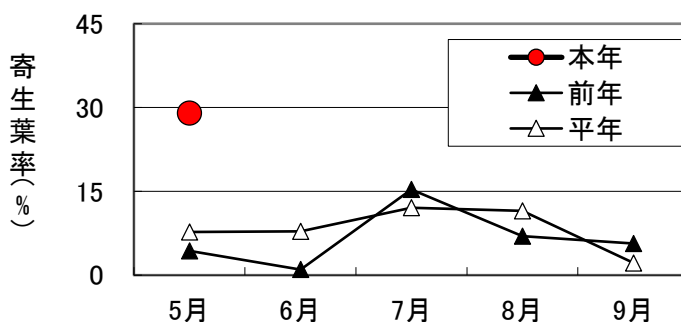


図1 ハダニ類寄生葉率の推移
(イチゴ 5月:親株、6月~:育苗ほ)

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当: 丹、中村 TEL 096-248-6490

令和2年(2020年)6月26日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

水稻海外飛来性害虫の飛来状況(技術情報第6号)について(送付)

このことについて、水稻飛来性害虫(ウンカ類、コブノメイガ)の飛来状況をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ウンカ類、コブノメイガとも6月以降断続的に飛来しており、予察灯等への誘殺数は平年より多くなっています。特にコブノメイガは6月13日以降は継続して飛来しており、6月4～5半旬の誘殺数は平年より非常に多くなっています。特に、早期・早植え水稻では、コブノメイガの6月18～21日飛来による第1世代幼虫の被害も予想されますので、水田における発生状況を確認し、要防除水準に達している場合は適期に防除を行ってください。

1 飛来状況

(1) セジロウンカ

合志市に設置したネットトラップ及び予察灯で、5月12～13日に初誘殺され、6月12日以降は断続的な誘殺が続いている。6月1～5半旬の累積誘殺数は、ネットトラップでは60頭(平年36.9頭)で平年より多く、予察灯では42頭(平年38.8頭)で平年並である。

(2) トビイロウンカ

合志市に設置した予察灯で、5月3日と10日に各1頭誘殺後、6月7～8日に計7頭誘殺された。6月1～5半旬の累積誘殺数は7頭(平年1.7頭、昨年1.0頭)で、平年及び多発生した昨年より多い。

(3) コブノメイガ

合志市に設置したフェロモントラップで、6月6～8日に初誘殺を確認後、6月13日以降は6月25日現在まで継続して誘殺されている。特に6月19～22日、23日、24日は100頭を超える誘殺数となっており、調査を開始した平成24年以降で最も多い。6月1～5半旬の累積誘殺数は441頭(平年5.9頭)で平年より非常に多い。

2 防除対策について

現時点の飛来日を6月7～8日、12～14日、18～21日とした場合のトビイロウンカとコブノメイガの防除適期はそれぞれ表4、5のとおりである。今後も梅雨明けまでは海外飛来性害虫の飛来が継続すると予想されるので、定期的には場内の発生状況確認に努め、病害虫防除所が発表する飛来情報や防除適期情報を確認する。

(1) セジロウンカ

ア 基本的にはトビイロウンカとの同時防除で対応するが、育苗箱施薬剤を使用していない場合や移植後間もないほ場で要防除水準を超えているが高い場合は本田防除を行う（要防除水準：水稲移植後 10 日までは 2～5 頭/株、11 日以降は 6～10 頭/株）。

イ フィプロニルに対し感受性が低下しているため、本剤を育苗箱施薬剤に使用したほ場では本田での発生に注意する。

(2) トビイロウンカ

ア 防除適期は若齢幼虫期である。水田における発生状況を払落し調査などにより確認し、成幼虫数が要防除密度（本田初期：10 頭/100 株、7 月下旬～8 月上旬：20 頭/100 株）を超える場合は防除を行う。

イ イミダクロプリド、チアメトキサム（令和 2 年（2020 年）3 月 4 日付け、技術情報第 14 号参照）に対し感受性が低下しているため、これらの育苗箱施薬剤を使用したほ場は、特に発生状況に注意する。

ウ トビイロウンカは水稲の株元近くに生息しているため、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように散布する。

(3) コブノメイガ

ア 水田における発生状況を確認し、要防除水準（第 1 世代幼虫による被害株率 20%以上）を超える場合は防除を行う。

イ 防除適期は粒剤が発蛾最盛期（成虫羽化期）、粉剤・液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期から 1 週間後）である。本年は飛来が連続し、かつ多飛来であるため、ほ場での発生がダラダラと長期化する可能性がある。適期に防除しても、成虫が多数見られたり被害が拡大する場合は再度防除を行う。

※今後の飛来状況、防除適期や対策については防除所のホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載します。

表1 本年のネットトラップ・予察灯・フェロモントラップにおける水稻海外飛来性害虫の誘殺状況（合志市）

調査日	予察灯(60W 白熱灯)		ネットトラップ		コートラップ(フェロモン)
	セジロウンカ	トビイロウンカ	セジロウンカ	トビイロウンカ	コブノメイガ
5/1	0	0	0	0	-
5/2	0	0			-
5/3	0	1			-
5/4	0	0			-
5/5	0	0			-
5/6	0	0			-
5/7	0	0	0	0	-
5/8	0	0	0	0	-
5/9	0	0			-
5/10	0	1			-
5/11	0	0	0	0	-
5/12	0	0	0	0	-
5/13	0	0	1	0	-
5/14	0	0	1	0	-
5/15	0	0	0	0	-
5/16	0	0	0	0	-
~	~	~	~	~	-
5/31	0	0	0	0	-
月計	0	2	2	0	-
6/1	0	0	0	0	0
6/2	0	0	0	0	0
6/3	0	0	0	0	0
6/4	0	0	0	0	0
6/5	0	0	0	0	0
6/6	0	0			
6/7	0	1			
6/8	0	6	0	0	1
6/9	0	0	0	0	0
6/10	0	0			
6/11	0	0	0	0	0
6/12	1	0	6	0	0
6/13	1	0			
6/14	1	0			
6/15	0	0	15	0	6
6/16	2	0	3	0	27
6/17	2	0	0	0	13
6/18	5	0	1	0	6
6/19	0	0	25	0	5
6/20	0	0			
6/21	25	0			
6/22	0	0	10	0	133
6/23	5	0	0	0	113
6/24	0	0	0	0	113
6/25	0	0	0	0	24
6/26					
6/27					
6/28					
6/29				135	
6/30					
月計	42	7	60	0	441

※

次世代予測のための飛来の起点とした

月	半旬	セジロウンカ						トビイロウンカ					
		予察灯			ネットトラップ			予察灯			ネットトラップ		
		R2	R1	平年	R2	R1	平年	R2	R1	平年	R2	R1	平年
5	1	0	0	0.0	0	0	0.0	1	0	0.0	0	0	0.0
	2	0	0	0.0	0	0	0.2	1	0	0.0	0	0	0.0
	3	0	0	0.1	2	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	4	0	0	0.1	0	0	0.2	0	0	0.0	0	0	0.0
	5	0	0	0.0	0	0	0.6	0	0	0.1	0	0	0.0
	6	0	0	0.3	0	1	0.8	0	0	0.0	0	0	0.0
5月計		0	0	0.5	2	1	1.8	2	0	0.1	0	0	0.0
6	1	0	0	0.1	0	0	2.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	2	0	0	0.6	0	5	0.6	7	0	0.0	0	0	0.0
	3	3	0	1.9	21	0	3.4	0	1	0.1	0	0	0.0
	4	9	0	9.7	29	0	14.3	0	0	0.3	0	0	0.2
	5	30	0	26.5	10	0	16.6	0	0	1.3	0	0	0.1
	6		1	29.6		0	12.0		1	1.4		0	0.0
6月計		42	1	68.4	60	5	48.9	7	2	3.1	0	0	0.3

表3 コブノメイガ誘殺状況の過去との比較

月	半旬	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	平年値 (H24~R1)	R2
6	1				0	0	0	0	0	0.0	0
	2				0	0	0	0	6	1.2	1
	3	0			0	0	0	0	16	2.7	6
	4	0			0	0	0	0	7	1.2	51
	5	0	0		4	0	0	0	2	0.9	383
	6	1	0	0	26	20	5	1	0	6.6	
7	1	0	0	0	23	3	8	3	5	5.3	
	2	0	0	0	37	8	9	0	7	7.6	
	3	4	0	0	9	6	3	2	5	3.6	
	4	0	0	0	15	0	4	1	19	4.9	
	5	0	0	0	35	4	3	2	1	5.6	
	6	0	0	0	14	13	6	0	7	5.0	

表4 予想されるトビイロウンカの防除適期（6月24日現在試算）
＜6月7～8日に飛来した場合＞

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1 世代 幼虫	6/28 ～ 7/6	6/28 ～ 7/6	6/28 ～ 7/6	6/29 ～ 7/8	6/28 ～ 7/6	7/4 ～ 7/11	6/28 ～ 7/6	6/28 ～ 7/6	6/28 ～ 7/8	6/29 ～ 7/8	6/30 ～ 7/8
	7/27 ～ 8/4	7/29 ～ 8/6	7/28 ～ 8/5	7/31 ～ 8/9	7/30 ～ 8/7	8/8 ～ 8/15	7/29 ～ 8/6	7/29 ～ 8/5	7/29 ～ 8/6	7/31 ～ 8/8	7/31 ～ 8/8

< 6月12～14日に飛来した場合 >

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代	7/3	7/3	7/3	7/5	7/4	7/9	7/3	7/3	7/3	7/5	7/5
幼虫	7/12	7/12	7/12	7/14	7/12	7/17	7/12	7/12	7/12	7/13	7/13
第2世代	8/1	8/1	8/1	8/6	8/4	8/14	8/3	8/1	8/3	8/5	8/5
幼虫	8/10	8/10	8/10	8/14	8/12	8/22	8/12	8/10	8/12	8/13	8/12

< 6月18～21日に飛来した場合 >

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代	7/9	7/9	7/9	7/11	7/9	7/14	7/9	7/9	7/9	7/9	7/9
幼虫	7/17	7/19	7/18	7/19	7/19	7/23	7/18	7/18	7/19	7/19	7/19
第2世代	8/6	8/7	8/6	8/11	8/8	8/18	8/8	8/6	8/8	8/9	8/8
幼虫	8/14	8/16	8/15	8/19	8/18	8/27	8/17	8/15	8/18	8/19	8/18

注) 各地点のアメダスデータを平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度(日度)	発育0点(度)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

表5 予想されるコブノメイガの防除適期(6月24日現在試算)

< 6月7～8日に飛来した場合 >

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 発蛾	7/14	7/16	7/15	7/18	7/15	7/24	7/15	7/15	7/15	7/17	7/17
最盛期	7/17	7/20	7/19	7/21	7/19	7/29	7/19	7/19	7/20	7/21	7/20
第2世代 発蛾	8/14	8/16	8/15	8/21	8/16	9/3	8/16	8/15	8/16	8/18	8/18
最盛期	8/17	8/20	8/19	8/24	8/20	9/9	8/20	8/19	8/21	8/22	8/21

< 6月12～14日に飛来した場合 >

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 発蛾	7/18 ～	7/20 ～	7/19 ～	7/22 ～	7/20 ～	7/28 ～	7/20 ～	7/19 ～	7/18 ～	7/21 ～	7/20 ～
最盛期	7/23	7/24	7/23	7/27	7/24	8/3	7/24	7/23	7/24	7/26	7/25
第2世代 発蛾	8/18 ～	8/20 ～	8/19 ～	8/25 ～	8/21 ～	9/7 ～	8/21 ～	8/19 ～	8/19 ～	8/22 ～	8/20 ～
最盛期	8/23	8/24	8/23	8/30	8/25	9/16	8/25	8/23	8/25	8/26	8/25

< 6月18～21日に飛来した場合 >

	熊本	三角	岱明	鹿北	菊池	阿蘇 乙姫	甲佐	八代	水俣	人吉	本渡
第1世代 若齢 幼虫期	6/27 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	6/28 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	7/1 ～ 7/7	6/29 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4	6/29 ～ 7/4
第1世代 発蛾	7/22 ～	7/25 ～	7/24 ～	7/27 ～	7/25 ～	8/2 ～	7/25 ～	7/24 ～	7/25 ～	7/25 ～	7/25 ～
最盛期	7/29	7/29	7/29	8/1	7/30	8/8	7/29	7/29	7/29	7/30	7/29
第2世代 発蛾	8/22 ～	8/25 ～	8/24 ～	8/30 ～	8/26 ～	9/15 ～	8/26 ～	8/24 ～	8/26 ～	8/27 ～	8/26 ～
最盛期	8/29	8/29	8/29	9/5	8/31	9/24	8/30	8/29	8/30	9/1	8/30

注) 各地点のアメダスデータを平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育0点 (度)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
蛹	90	14.2

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係)
 担当: 西本・作本 TEL 096-248-6490

病防第48号
令和2年（2020年）7月27日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

普通期水稲における水稲海外飛来性害虫の発生状況（技術情報第7号）
について（送付）

このことについて、普通期水稲における水稲飛来性害虫（ウンカ類、コブノメイガ）の発生状況をまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ウンカ類、コブノメイガとも6月以降断続的に飛来しており、ほ場での発生は平年より多くなっています。梅雨明けまでは今後も飛来する恐れがありますので、飛来状況を随時確認するとともに水田における発生状況に注意し、要防除水準に達している場合は適期に防除を行ってください。

1 発生状況

（1）トビイロウンカ

7月15～16日に普通期水稲32地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は0.65頭で平年（過去10年中、最大値と最小値を除いた8年平均、以下平年とする）0.04頭及び昨年0.1頭より多かった。発生ほ場率は21.9%で平年5.6%より高く、多発した昨年並（25.0%）だった。

（2）コブノメイガ

7月15～16日に普通期水稲32地点で発生状況調査を行った結果、被害株率は3.9%で平年（平成26年～令和元年の平均、以下平年とする）10.9%よりやや低かったが、被害度（1.7、平年0.1）及び発生ほ場率（28.1%、平年5.6%）は平年より高かった。

2 防除対策について

（1）トビイロウンカ

ア 6月上～中旬移植のほ場では成虫～若齢幼虫が確認されたため、6月18～21日飛来、7月2～5日飛来、7月9～13日飛来などが定着していると考えられる。6月下旬移植のほ場では、大半の調査地点で発生は確認されなかったため、7月中旬以降の飛来が定着していく可能性が高いと考えられる。現時点の飛来日を6月18～21日、7月2～5日、7月9～13日とした場合のトビイロウンカの防除適期はそれぞれ表2のとおりである。今後も梅雨明けまでは海外飛来性害虫の飛来が継続すると予想されるので、定期的にはほ場内の発生状況確認に努め、病害虫防除所が発表する飛来情報や防除適期情報を確認する。

イ 防除適期は若齢幼虫期である。水田における発生状況を払落し調査などにより確認し、成幼虫数が要防除密度（本田初期：10頭/100株、7月下旬～8月上旬：20頭/100株）を超える場合は防除を行う。

ウ イミダクロプリド、チアメトキサム（令和2年（2020年）3月4日付け、技術情報第14号参照）に対し感受性が低下しているため、これらの育苗箱施薬剤を使用したほ場は、特に発生状況に注意する。

エ トビイロウンカは水稻の株元近くに生息しているので、液剤や粉剤で防除する場合は薬剤が株元に到達するように散布する。

（3）コブノメイガ

ア 本年は6月中旬以降断続的に多飛来しているため、移植時期が早い水稻や周辺より生育量大きい水田等では複数の飛来が定着している可能性がある。6月13～16日、6月21～25日、7月2～5日、7月13～15日を飛来の起点とした場合のコブノメイガの防除適期は表3のとおりである。水田における発生状況を確認し、要防除水準（第1世代幼虫による被害株率20%以上）を超える場合は防除を行う。

イ 防除適期は粒剤が発蛾最盛期（成虫羽化期）、粉剤・液剤は若齢幼虫期（発蛾最盛期から1週間後）である。本年は飛来が連続し、かつ多飛来であるため、ほ場での発生がダラダラと長期化する可能性がある。適期に防除しても、成虫が多数見られたり被害が拡大する場合は再度防除を行う。

※今後の飛来状況、防除適期や対策については防除所のホームページ（<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>）に掲載します。

表1 普通期水稻におけるトビイロウンカ、コブノメイガの発生状況

地点名	トビイロウンカ(10株当たり頭数)								コブノメイガ		
	成虫				幼虫			計	被害株率	被害度	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齢	中齢	若齢				
熊本市画図1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
熊本市画図2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0%	18.0	
熊本市中無田1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
熊本市中無田2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
熊本市富合町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
熊本市富合町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
宇城市松橋町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
宇城市松橋町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
玉名市両迫間1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	6.0%	2.0	
玉名市両迫間2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
玉名市横島1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
玉名市横島2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
山鹿市鹿央町1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
山鹿市鹿央町2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
山鹿市鹿本1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0%	2.0	
山鹿市鹿本2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0%	2.0	
菊池市赤星1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0%	1.3	
菊池市赤星2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0%	7.3	
大津町陣内1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
大津町陣内2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
嘉島町上六嘉1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
嘉島町上六嘉2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
益城町福原1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
八代市高田1	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	1.4	2.0%	0.0	
八代市高田2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	15.6	16.3	0.0%	0.0	
八代市鏡町1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	1.0	0.0%	0.0	
八代市鏡町2	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.8	0.0%	0.0	
氷川町網道1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
氷川町網道2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0	
芦北町宮浦1	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	28.0%	11.3	
芦北町宮浦2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	30.0%	10.7	
平均	種別・計	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.65	3.9%	1.7
		成虫 計				0.09	幼虫 計				
	平年 ^{注3)}	0.04								10.9%	0.1
	昨年(R1)	0.10								0.1%	0.1
	発生ほ場率	21.9%								28.1%	
	平年の発生ほ場率 ^{注3)}	5.6%								0.3%	
	昨年(R1)の発生ほ場率	25.0%								3.1%	

注1) 調査は7月15～16日に1ほ場あたり50株行った。

注2) 計はラウンドの関係で一致しない

注3) トビイロウンカの平年値は過去10年中、最大値と最小値を除いた8年の平均値
コブノメイガの平年値はH26～R1の平均値

表2 予想されるトビイロウンカの防除適期（7月21日現在試算）

＜6月18～21日飛来＞

地点名	第2世代幼虫 防除適期
熊本	8月8日 ～ 8月17日
三角	8月9日 ～ 8月17日
岱明	8月8日 ～ 8月17日
鹿北	8月12日 ～ 8月22日
菊池	8月9日 ～ 8月18日
阿蘇乙姫	8月19日 ～ 8月29日
甲佐	8月10日 ～ 8月18日
八代	8月8日 ～ 8月16日
水俣	8月10日 ～ 8月19日
人吉	8月11日 ～ 8月21日
本渡	8月11日 ～ 8月20日

＜7月2～5日飛来＞

地点名	第1世代幼虫 防除適期	第2世代幼虫 防除適期
熊本	7月22日 ～ 7月31日	8月19日 ～ 8月28日
三角	7月23日 ～ 8月1日	8月20日 ～ 8月29日
岱明	7月22日 ～ 7月31日	8月19日 ～ 8月28日
鹿北	7月24日 ～ 8月2日	8月24日 ～ 9月2日
菊池	7月23日 ～ 8月1日	8月21日 ～ 8月30日
阿蘇乙姫	7月27日 ～ 8月5日	8月31日 ～ 9月9日
甲佐	7月22日 ～ 8月1日	8月20日 ～ 8月30日
八代	7月22日 ～ 8月1日	8月19日 ～ 8月30日
水俣	7月22日 ～ 8月1日	8月20日 ～ 8月30日
人吉	7月24日 ～ 8月1日	8月23日 ～ 8月31日
本渡	7月23日 ～ 8月1日	8月21日 ～ 8月30日

＜7月9～13日飛来＞

地点名	第1世代幼虫 防除適期	第2世代幼虫 防除適期
熊本	7月27日 ～ 8月6日	8月24日 ～ 9月3日
三角	7月29日 ～ 8月7日	8月27日 ～ 9月5日
岱明	7月27日 ～ 8月7日	8月24日 ～ 9月5日
鹿北	7月29日 ～ 8月8日	8月30日 ～ 9月9日
菊池	7月29日 ～ 8月8日	8月27日 ～ 9月6日
阿蘇乙姫	8月2日 ～ 8月12日	9月8日 ～ 9月18日
甲佐	7月29日 ～ 8月8日	8月27日 ～ 9月6日
八代	7月28日 ～ 8月7日	8月26日 ～ 9月5日
水俣	7月29日 ～ 8月8日	8月27日 ～ 9月6日
人吉	7月29日 ～ 8月8日	8月28日 ～ 9月7日
本渡	7月29日 ～ 8月8日	8月27日 ～ 9月6日

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育0点 (度)
成虫	125	12
卵	135	11.4
幼虫	250	6.5

注) 各地点のアメダスデータを平均気温（本年値及び平年値）をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

表3 予想されるコブノメイガの防除適期（7月21日現在試算）

<6月13～16日飛来>

地点名	第2世代発蛾最盛期	
熊本	8月21日	～ 8月27日
三角	8月23日	～ 8月28日
岱明	8月21日	～ 8月27日
鹿北	8月28日	～ 9月5日
菊池	8月24日	～ 8月29日
阿蘇乙姫	9月12日	～ 9月21日
甲佐	8月24日	～ 8月29日
八代	8月23日	～ 8月27日
水俣	8月24日	～ 8月29日
人吉	8月27日	～ 9月1日
本渡	8月24日	～ 8月31日

<6月21～25日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	7月28日 ～ 8月3日	8月28日 ～ 9月3日
三角	7月29日 ～ 8月3日	8月29日 ～ 9月3日
岱明	7月28日 ～ 8月3日	8月28日 ～ 9月3日
鹿北	7月31日 ～ 8月6日	9月3日 ～ 9月10日
菊池	7月29日 ～ 8月3日	8月31日 ～ 9月5日
阿蘇乙姫	8月6日 ～ 8月13日	10月以降
甲佐	7月29日 ～ 8月3日	8月30日 ～ 9月5日
八代	7月28日 ～ 8月2日	8月28日 ～ 9月2日
水俣	7月29日 ～ 8月3日	8月30日 ～ 9月4日
人吉	7月30日 ～ 8月5日	9月1日 ～ 9月8日
本渡	7月30日 ～ 8月4日	8月31日 ～ 9月6日

<7月2～5日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	8月6日 ～ 8月10日	9月6日 ～ 9月10日
三角	8月6日 ～ 8月11日	9月8日 ～ 9月13日
岱明	8月6日 ～ 8月11日	9月7日 ～ 9月13日
鹿北	8月8日 ～ 8月13日	9月13日 ～ 9月19日
菊池	8月6日 ～ 8月12日	9月8日 ～ 9月16日
阿蘇乙姫	8月14日 ～ 8月20日	10月以降
甲佐	8月6日 ～ 8月12日	9月8日 ～ 9月16日
八代	8月5日 ～ 8月11日	9月7日 ～ 9月13日
水俣	8月7日 ～ 8月11日	9月9日 ～ 9月14日
人吉	8月7日 ～ 8月13日	9月10日 ～ 9月18日
本渡	8月7日 ～ 8月12日	9月9日 ～ 9月15日

<7月13～15日飛来>

地点名	第1世代発蛾最盛期	第2世代発蛾最盛期
熊本	8月14日 ～ 8月19日	9月16日 ～ 9月22日
三角	8月14日 ～ 8月19日	9月16日 ～ 9月24日
岱明	8月14日 ～ 8月19日	9月16日 ～ 9月24日
鹿北	8月17日 ～ 8月22日	10月以降
菊池	8月15日 ～ 8月20日	9月19日 ～ 9月28日
阿蘇乙姫	8月23日 ～ 8月29日	10月以降
甲佐	8月15日 ～ 8月20日	9月19日 ～ 9月28日
八代	8月14日 ～ 8月19日	9月16日 ～ 9月24日
水俣	8月15日 ～ 8月20日	9月19日 ～ 9月25日
人吉	8月16日 ～ 8月20日	9月22日 ～ 9月28日
本渡	8月15日 ～ 8月20日	9月19日 ～ 9月25日

ステージ	有効積算温度 (日度)	発育0点 (度)
成虫	50	13
卵	50	13
幼虫	250	12.5
蛹	90	14.2

注) 各地点のアメダスデータを平均気温(本年値及び平年値)をもとに、有効積算温度により発育ステージを予測した。

熊本県病害虫防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係)
担当: 西本・作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス保毒状況と防除対策
(技術情報第8号) について (送付)

タバココナジラミのウリ類退緑黄化ウイルス（以下、CCYVとする）保毒状況とウリ科野菜の退緑黄化病に対する防除対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

タバココナジラミのCCYV保毒虫率が平年に比べてやや高い状況です。タバココナジラミの発生量が増加すると退緑黄化病の被害の拡大が懸念されるため、防除対策を徹底しましょう。

ウリ科野菜栽培主要3地域（熊本、鹿本、菊池）で、夏秋期から栽培を開始するウリ科野菜の退緑黄化病の発生リスクを判断するため、タバココナジラミの誘殺数およびCCYVの保毒虫率を調査した。

1 調査結果

(1) 8月上旬～中旬にかけて黄色粘着板（10×10cm）に誘殺されたタバココナジラミは、1.5頭/日/枚（平年2.0頭/日/枚）で、平年に比べてやや少なかった（表1、図1）。

(2) 8月上旬～9月上旬にかけて黄色粘着板に誘殺されたタバココナジラミのCCYV保毒虫率は41.3%（平年値30.9%）で、平年に比べてやや高かった（表1、図2）。

(3) 退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は0.7頭/日/枚（平年0.6頭/日/枚）で、平年並であった（表1、図3）。

(4) 福岡管区气象台が9月3日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高く推移すると予想されており、タバココナジラミの活動に好適な条件が続くと考えられる。

2 防除対策

退緑黄化病の発生リスクの指標となる保毒虫数は平年並であるが、タバココナジラミのCCYV保毒虫率は平年に比べてやや高い。今後、タバココナジラミの活動に好適な条件が続き、野外のタバココナジラミが増殖することで、ハウス内へのタバココナジラミの飛び込み頻度が高まり、退緑黄化病の感染機会が増加することが懸念されるため、以下の対策を徹底する。

栽培前のほ場

(1) これから定植するほ場では、タバココナジラミを栽培ほ場に「入れない」対策を徹底する。施設のサイド開口部に目合い0.4mm防虫ネット、谷換気部に目合い1mm以下の防虫ネットを被覆する。すでに被覆しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し、必要に応じて補修する。

(2) 育苗期後半に使用できる薬剤を定植2～3日前に処理する。また、定植前に処理した薬剤の効果が低下する定植20～30日後に成虫に対して効果の高い薬剤を散布する。

(3) 育苗ハウスから苗を運ぶ際には、移動中にタバココナジラミが寄生しないよう、運搬車等の荷台を防虫ネットや幌等で覆う。

栽培中のほ場

(1) タバココナジラミを施設内で「増やさない」対策を徹底する。現在栽培中のほ場では、栽培終了まで、タバココナジラミの防除を継続して行う。

(2) タバココナジラミを施設外に「出さない」対策を徹底する。栽培終了後は直ちに密閉処理を行い、ほ場内のタバココナジラミを死滅させる。露地栽培などの密閉できないほ場では、成虫に効果の高い薬剤で防除したうえで植物残さを早急に片付ける。

共通

(1) 施設内の発病株や周辺の野良生えは、重要な伝染源となるので除去する。

(2) ウリ科野菜の周年栽培地帯におけるメロン退緑黄化病発生リスクは、5月から12月まで高い水準で推移する ([農業研究成果情報 No.597\(平成25年5月\)ウリ類周年栽培地帯でのメロン退緑黄化病発生リスクの季節変動](#))ので、今後も防除を徹底する。

表1 各調査年におけるタバココナジラミの誘殺数、保毒虫率、保毒虫数

調査年	R2	R1	H30	H29	H28	H27	平年
誘殺数	1.5	1.0	3.9	3.0	0.7	1.0	1.9
保毒虫率	41.3%	30.3%	30.7%	25.3%	37.5%	32.2%	31.2%
保毒虫数	0.7	0.3	1.6	0.8	0.3	0.4	0.7

※平年値は過去5か年の平均

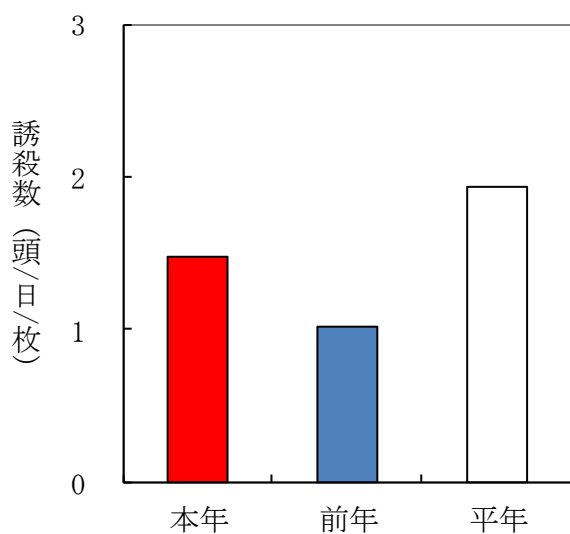


図1 ウリ科栽培地帯に設置した黄色粘着板

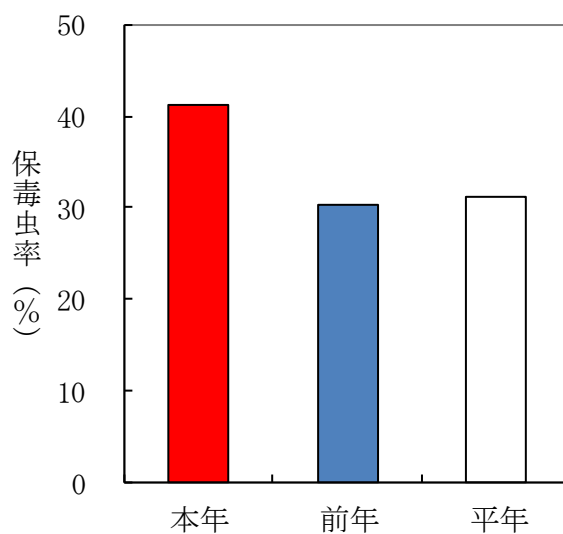


図2 粘着板に誘殺されたタバココナジラミ成虫のウリ類退緑黄化ウイルス保毒虫率

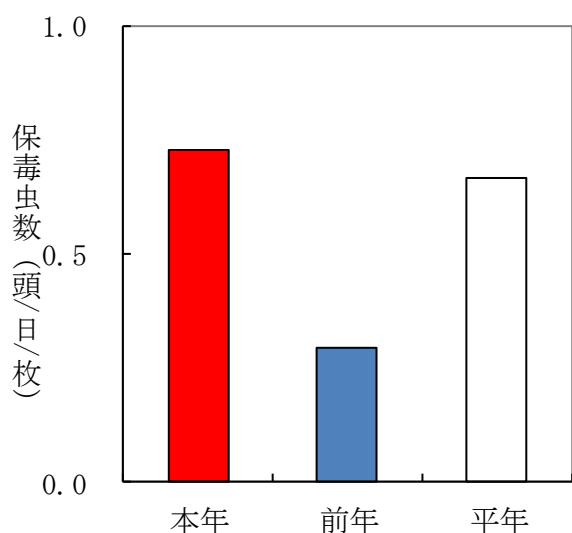


図3 ウリ科栽培地帯のタバココナジラミ成虫の保毒虫数

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所)
 担当：中村、西本 TEL：096-248-6490

令和2年(2020年)9月8日

各関係機関長様

熊本県病虫害防除所長

トビイロウンカの発生状況(技術情報第9号)について(送付)

このことについて、早植え水稲及び普通期水稲におけるトビイロウンカの発生状況をまとめましたので、業務に御活用ください。

記

早植え水稲ではトビイロウンカの密度が高まっており、今後坪枯れが発生する恐れがあります。普通期水稲でもトビイロウンカの発生ほ場率が高く、注意が必要です。要防除水準に達している場合は、収穫前使用日数に留意し、直ちに防除を行ってください。

1 発生状況

(1) 早植え水稲(5～6月上旬までの移植)

9月2日に15地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は1161.4頭で過去4年平均(2012～14、2019年、以下平年とする)203.7頭及び昨年341.8頭に比べ多かった。発生ほ場率は100%で平年並(97.5%)であった。

(2) 普通期水稲(6月中～下旬移植)

9月2、3日に28地点で払い落とし調査を行った結果、10株当たり成幼虫数は6.5頭で平年(過去10年平均、データ欠測の2011年を除く)10.4頭に比べやや少なかったが、発生ほ場率は平年よりやや高く、昨年並であった(96.4%、平年64.1%、昨年91.2%)。

2 防除対策について

(1) 発生状況を確認し、要防除水準(収穫30日前:30頭/10株)を超える場合は、直ちに防除を行う。なお、トビイロウンカは水稲の株元近くに生息しているため、粉剤及び液剤は株元に付着するように散布する。

(2) 坪枯れが発生し始めたら、可能な限り収穫を早め、坪枯れに伴う減収の拡大を防ぐ。収穫までに期間がある場合は直ちに防除する。

(3) 防除に当たっては、薬剤の収穫前使用日数に注意する。

(4) 天候不順により粉剤及び液剤の散布が困難な場合は、粒剤による防除を行う。粒剤を使用する場合は、粒剤が水面に到達するように散布し、4～5日間湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。

(5) 飼料用米等の多肥栽培や栽培期間の長い品種では、多発する傾向があるので注意する。

(6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況（10株当たり成幼虫数）

（1）早植え水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡		
早 植 え 注2)	山鹿市鹿北1	2.0	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	8.0
	山鹿市鹿北2	3.0	2.0	0.0	4.0	6.0	7.0	3.0	25.0
	山鹿市菊鹿1	0.0	1.0	0.0	0.0	3.0	1.0	0.0	5.0
	山鹿市菊鹿2	2.0	1.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	6.0
	山都町入佐1	32.0	18.0	0.0	4.0	650.0	3152.0	453.0	4309.0
	山都町入佐2	64.0	40.0	12.0	4.0	1592.0	7584.0	836.0	10132.0
	甲佐町寒野1	0.0	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	3.0
	甲佐町寒野2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	芦北町宮浦1	1.0	2.0	0.3	0.7	0.3	0.7	0.3	5.3
	芦北町宮浦2	2.0	3.3	0.3	0.3	0.7	0.3	0.0	7.0
	芦北町天月1	11.0	2.0	0.0	0.0	0.0	2.0	1.0	16.0
	芦北町天月2	41.0	50.0	7.0	25.0	71.0	34.0	0.0	228.0
	あさぎり町上1	71.0	69.0	5.0	7.0	59.0	11.0	9.0	231.0
	あさぎり町上2	129.0	128.0	0.0	3.0	82.0	17.0	8.0	367.0
	錦町一武1	27.0	27.0	4.0	1.0	1068.0	940.0	10.0	2077.0
	平均（15ほ場）	25.7	23.2	2.0	3.3	235.7	783.5	88.1	
		成虫 計			54.1	幼虫 計		1107.3	
計（成虫・幼虫）	1161.4								
平年 注4)	203.7								
発生ほ場率	100.0%								
平年の発生ほ場率 注4)	97.5%								

注1) 1ほ場につき、早植え水稻は10株調査を行った。

注2) 早植え水稻は5～6月上旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

注4) 早植え水稻の平年値は4か年の平均(2012～14、2019)。

(2) 普通期水稻

地点名	成虫				幼虫			計	
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡		
熊本市画図1	0.3	0.0	0.0	0.0	6.0	3.7	3.0	13.0	
熊本市画図2	1.0	0.0	0.7	0.3	2.3	0.3	0.3	5.0	
熊本市川口町1	0.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	
熊本市川口町2	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	
熊本市富合町木原	0.3	1.0	0.0	0.3	0.3	2.0	0.7	4.7	
熊本市富合町平原	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.3	
宇城市松橋町1	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3	0.0	2.3	
宇城市松橋町2	0.7	0.7	1.3	1.7	2.0	4.0	4.3	14.7	
玉名市両迫間1	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	2.7	3.3	
玉名市両迫間2	1.3	0.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.3	3.7	
玉名市横島1	0.7	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	1.7	
玉名市横島2	1.0	0.7	0.0	0.0	0.3	0.7	0.0	2.7	
山鹿市鹿央町1	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	3.7	
山鹿市鹿央町2	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	0.7	1.0	3.7	
山鹿市鹿本1	1.0	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.0	2.0	
山鹿市鹿本2	0.3	1.0	0.0	0.0	1.0	0.0	1.0	3.3	
菊池市赤星1	2.7	4.0	0.0	1.3	0.3	0.7	0.0	9.0	
菊池市赤星2	1.0	2.0	0.0	0.7	0.3	0.3	1.7	6.0	
大津町陣内1	0.7	0.7	0.0	0.3	15.0	8.7	0.7	26.0	
大津町陣内2	1.7	3.3	2.7	0.7	2.3	3.0	1.3	15.0	
嘉島町上六嘉1	1.0	2.3	1.0	1.0	0.3	2.3	10.7	18.7	
嘉島町上六嘉2	0.3	1.0	0.7	1.0	0.7	1.0	16.0	20.7	
益城町福原1	0.7	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	2.0	
益城町福原2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
八代市高田1	1.0	1.7	0.3	1.0	0.3	1.3	3.7	9.3	
八代市高田2	0.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	2.3	
氷川町網道1	1.0	3.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	2.6	
氷川町網道2	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.6	
普通期 注2)	平均(28ほ場)	0.7	1.1	0.3	0.3	1.2	1.1	1.8	
		成虫 計			2.4	幼虫 計		4.1	
	計(成虫・幼虫)	6.5							
	平年 注4)	10.4							
	発生ほ場率	96.4%							
	平年の発生ほ場率 注4)	64.1%							

注1) 1ほ場につき、普通期水稻は30株調査を行った。

注2) 普通期水稻は6月中下旬移植とした。

注3) 計はラウンドの関係で一致しない。

注4) 普通期水稻の平年値は過去10年平均(データ欠測の2011年を除く)。

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター生産環境研究所
病害虫研究室予察指導係)

担当：西本、作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

ツマジロクサヨトウの発生状況（技術情報第10号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

令和2年（2020年）9月9日に県内のスイートコーン生産ほ場において、ツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認されました。今後、スイートコーンや飼料用トウモロコシ等の農作物で、特に生育初期に被害が発生することが予想されますので、生産ほ場を定期的に見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。

1 発生状況

- （1）令和2年（2020年）9月9日に県内のスイートコーン生産ほ場においてツマジロクサヨトウ幼虫の発生が確認された。なお、スイートコーンでの発生は県内初記録である。
- （2）合志市におけるフェロモントラップの誘殺数は、9月第1半旬より急増している（図1）。
- （3）今後、スイートコーンや飼料用トウモロコシ等の農作物で、特に生育初期に被害が発生することが予想される。

2 防除対策等

- （1）本種は主に飼料用トウモロコシ、スイートコーンやソルガムなどを食害する（図2、図3）。特に生育初期に食害されると、被害が大きくなり減収につながるため、定期的な見回りによる早期発見に努め、発生が確認された場合には速やかに農薬等を用いて防除を行う。なお、ツマジロクサヨトウと判断しがたい場合には、病害虫防除所に相談する。
- （2）現在、本種に登録がある農薬は無いが、本種の防除に必要な農薬の適用が行われるまでの間は、植物防疫法第29条第1項の規定に基づき、県の指導により防除を行う場合に限り、別添の農薬リスト（令和2年8月3日時点）に記載された農薬を使用して防除を行うことが可能である。
- （3）農薬の散布に当たっては、新葉の葉鞘基部に潜り込んでいる幼虫に届くように株の上部までしっかりと散布する。また、本種の活動が活発になる早朝に、若齢幼虫や葉の表面にいる幼虫に対して農薬を散布する（老齢幼虫や作物の内部に潜り込んでいる幼虫には農薬の効果が低くなる）。
- （4）粒剤については、防除効果が現れるまで時間を要することが多いため、粒剤を使用したほ場で本種の発生が続く場合には、速効性のある農薬を追加散布する。
- （5）農林水産省のホームページにツマジロクサヨトウの防除対策等に関する情報が掲載されているので、防除の参考にする。
https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/tumajiro.html

(6) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで注意事項等を確認し、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底する。

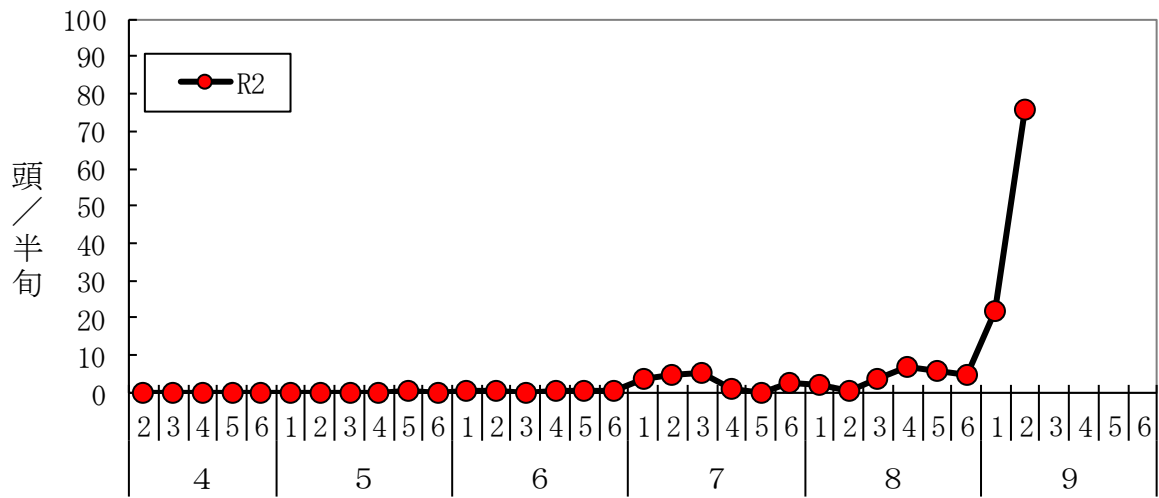


図1 合志市におけるツマジロクサヨトウ成虫のフェロモントラップ誘殺数の推移
 ※農業研究センター内に設置したトラップ6台の誘殺数の平均



図2 飼料用トウモロコシの被害株



図3 ツマジロクサヨトウ幼虫

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係)
 担当：中村、作本 TEL 096-248-6490

令和2年（2020年）9月23日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ナシ黒星病の秋期防除等の対策（技術情報第11号）について（送付）

来春の黒星病の発生を予防するため、秋期防除等の対策について取りまとめましたので、業務に御活用下さい。

記

来春のナシ黒星病の発生を予防するために、秋期防除や落葉処理を徹底し、第一次伝染源を取り除きましょう。

1 発生状況

（1）本年の巡回調査では、6～8月の発生量は平年に比べて多かった（図1）。また、一部の園で継続して発病が認められた。

（2）福岡管区气象台が9月17日に発表した九州北部地方1か月予報によると、降水量は平年に比べて多いと予想されており、黒星病の感染に適した状況となることが考えられる。

2 防除対策

黒星病は秋期の降雨によって葉やりん片（芽基部）に感染する。葉では、葉の裏面や葉柄に薄いスス状の秋型病斑（図2）が生じ、黒星病菌は罹病した落葉の内部で越冬する。また、りん片に感染した場合は、そのままりん片組織内で越冬する。感染したりん片や落葉が来春の第一次伝染源となり、葉や果実に感染する。

りん片への感染を予防する秋期防除と罹病した落葉の適切な処理は、来春の本病感染を防ぐ重要な対策である。特に、発病が認められた園では来春の第一次伝染源が園内に形成される可能性が高いため、以下の対策を徹底する。

（1）葉およびりん片への感染を防ぐため、収穫後から落葉期（11月中旬）に2～3回、薬剤散布による秋期防除を行う（例：早生品種では9月中旬～下旬、10月中旬、11月中旬）。

（防除の詳細は、[平成23年5月付け農業研究成果情報 No.515](#)を参照する。）

（2）薬剤は、散布ムラがないように園地の隅々まで丁寧に散布する。

（3）DMI剤に対する薬剤感受性の低下を防ぐため、秋期防除では保護殺菌剤を使用し、DMI剤は使用しない。また、薬剤の使用にあたっては、使用回数、濃度、使用量、使用時期を遵守するとともに、周辺作物への農薬飛散（ドリフト）に注意する。

（4）園内の落葉は放置せず、鋤き込んで埋却する、もしくは園外へ持ち出し処分する等、適切な落葉処理を行う。

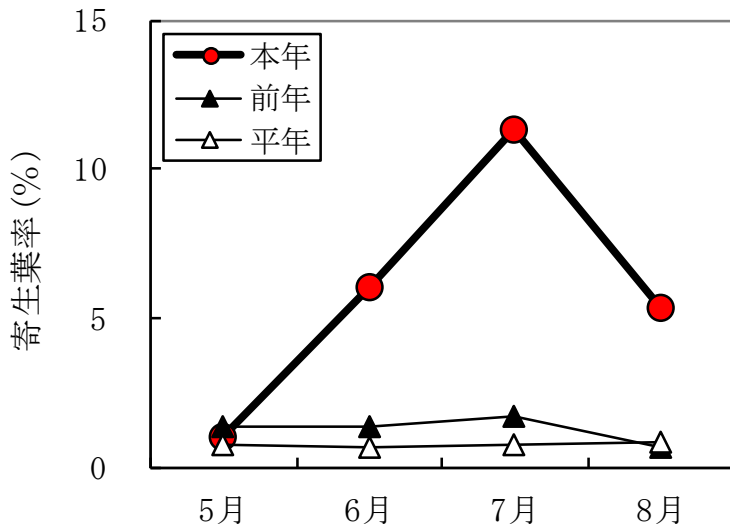


図1 黒星病発病葉率の推移

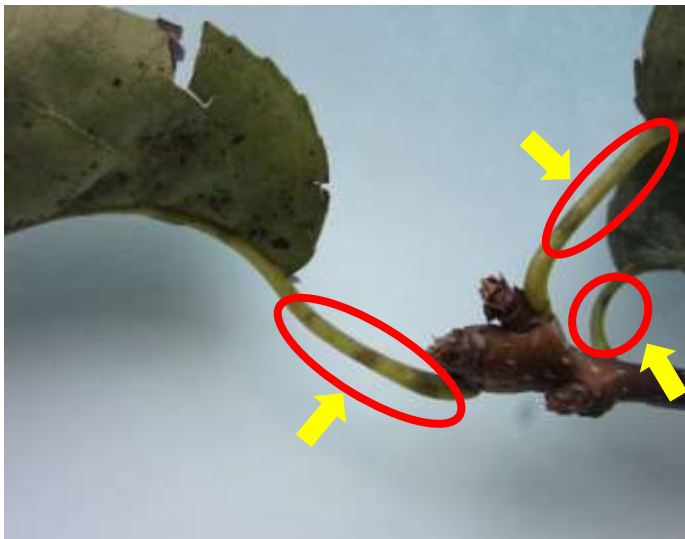


図2 葉の裏面や葉柄に形成された秋型病斑

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係 (病害虫防除所) 担当
 : 中村、丹 TEL : 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況(技術情報第12号)
について(送付)

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考としてご活用ください。
記

1 調査結果

1) 9月9～13日の5日間熊本市、玉名市、八代市の冬春トマト栽培地域屋外に設置した黄色粘着板(ITシート)に誘殺されたタバココナジラミの捕獲頭数は熊本市0.20頭/日/枚(同年0.92頭/日/枚)で同年比少、玉名市3.27頭/日/枚(同年2.67頭/日/枚)で同年比やや多、八代市0.73頭/日/枚(同年0.50頭/日/枚)で同年比やや多であった(表1)。

2) 9月9～16日の8日間熊本市、玉名市、八代市の冬春トマト栽培地域の屋外に設置した黄色粘着トラップ(ホリバーシート)で誘殺したタバココナジラミ60頭のTYLCV保毒虫率は、熊本市3.3%(同年8.4%)で同年比少、玉名市は確認されず(同年4.5%)同年比少、八代市5.0%(同年4.2%)で同年並であった(表2)。

3) 感染リスクの指標である屋外保毒虫数(表1の捕獲頭数に表2のTYLCV保毒虫率を乗じて計算)は、熊本市0.01頭/日/枚(同年0.07頭/日/枚)で同年比少、玉名市0.00頭/日/枚(同年0.16頭/日/枚)で同年比少、八代市0.04頭/日/枚(同年0.03頭/日/枚)で同年並であった(表3)。

4) 福岡管区气象台が10月29日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は同年より高い予想であり、タバココナジラミの増殖に好適な条件となり、野外から施設内への飛び込みも多くなることが考えられる。

2 防除対策

1) ハウスの開口部(サイド、谷部など)には目合い0.4mm以下の防虫ネットを設置する。

すでに設置しているハウスについては、被覆ビニルや防虫ネットに破損や隙間が無い点検し、必要に応じて補修する。

2) ハウス内に黄色粘着トラップを設置し、タバココナジラミの早期発見に努める。

3) 野外から飛び込んだタバココナジラミを施設内で定着させないため、成虫を対象とした薬剤防除を行う。

農薬の使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。

4) ハウス内の発病株は感染源となる。見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し適正に処分する。

5) 抵抗性品種であっても感染源と成り得るため、感受性品種と同様に防除を行う。

6) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。

7) 野良生えトマトは、重要な伝染源となるので抜き取り土中に埋める等適正に処分する。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係(病害虫防除所)
担当:丹、中村 TEL:096-248-6490

表1 屋外で採集したタバココナジラミの捕獲頭数

地域	設置場所	日あたり捕獲頭数 (頭/日/枚)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	0.20	0.30	2.96	0.49	0.67	0.17	0.92
玉名市	J Aたまな横島イチゴ集荷所	3.27	1.62	2.43	0.76	8.09	0.43	2.67
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.73	0.43	0.27	0.07	1.73	0.00	0.50
平均値		1.40	0.78	1.89	0.44	3.50	0.20	1.36

注) 捕獲時期は、本年のみ台風の影響により9月9日～13日の5日間、過去5か年については9月5日～9日の5日間。
 黄色粘着板(ITシート10cm×10cm)を1地点あたり3～10枚設置。
 平年値は、2015年から2019年の5カ年平均。
 玉名市の設置場所は2019年からJAたまな横島イチゴ集荷所に変更(2014年から2018年は旧しあわせ農協に設置)。

表2 屋外で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況

地域	設置場所	保毒率 (%)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	3.3 (60)	6.7 (60)	5.0 (60)	15.0(6 0)	6.7 (60)	-	8.4
玉名市	J Aたまな横島イチゴ集荷所	0.0 (60)	1.7 (60)	6.7 (60)	3.3 (60)	6.7 (60)	4.2 (48)	4.5
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	5.0 (60)	6.7 (45)	3.3 (60)	1.8 (56)	5.0 (20)	-	4.2
平均値		2.8	5.0	5.0	6.7	6.1	4.2	5.7

注) 採集時期は、9月9日～16日の8日間、過去5か年については9月5日～12日の8日間。
 ()内の数値は、検定数。
 黄色粘着トラップ(ホリバーシート)を1地点あたり5枚設置し捕獲。
 平年値は、2015年から2019年の5カ年平均(熊本市と八代市は4カ年平均)。
 玉名市の設置場所は2019年からJAたまな横島イチゴ集荷所に変更(2015年から2018年は旧しあわせ農協に設置)。

表3 屋外タバココナジラミの保毒虫数の試算

地域	設置場所	日あたり保毒虫数 (頭/日/枚)						
		本年	2019	2018	2017	2016	2015	平年値
熊本市	学料公民館	0.01	0.02	0.15	0.07	0.04	-	0.07
玉名市	J Aたまな横島イチゴ集荷所	0.00	0.03	0.16	0.03	0.54	0.02	0.16
八代市	J Aやつしろ中央営農センター	0.04	0.03	0.01	0.00	0.09	-	0.03
平均値		0.01	0.03	0.11	0.03	0.22	0.02	0.09

注) 保毒虫数=捕獲頭数×保毒率
 捕獲頭数:表1のとおり
 保毒率:表2のとおり
 平年値は、2015年から2019年の5カ年平均(熊本市と八代市は4カ年平均)。

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒状況(技術情報第13号)について
(送付)

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は平年より低い状態が継続しており、イネ縞葉枯病の発生は少ないと予想される。

1 調査結果の概要

5月中旬に県下11地点(植生:麦類、イタリアンライグラス、雑草)からヒメトビウンカ(成虫および幼虫)を採集し、簡易ELISA法を用いてイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定を実施した。結果は以下のとおりであった。

- (1) 保毒虫は3地点で確認された。保毒虫率の平均値は0.6%で平年より低く(平年2.3%)、前年並(前年0.4%)であった(表1、図1)。
- (2) 近年、県内の保毒虫率は低い状態が続いている(図1)。

2 今後の留意点

ヒメトビウンカは収穫後の稲株や水田・畦畔のイネ科雑草、麦類、イタリアンライグラス等で越冬し、翌春水稻が移植されると飛来してウイルスを媒介する。現在、ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒率は平年より低いですが、イネ縞葉枯病の発生が多かったほ場では以下の対策を行う。

- (1) 水田を耕起し、収穫後の稲株やイネ科雑草を鋤き込む。
- (2) 冬作(麦類、イタリアンライグラス等)を栽培している場合は、冬作収穫前に畦畔や周辺雑草を除草し、水稻へ移出する前の飛来源にならないようにする。
- (3) イネ縞葉枯病が問題となる水田では、イミダクロプリド、フィプロニルに対しヒメトビウンカの感受性が低下しているため、箱施薬剤の選定に注意する(平成31年4月19日付技術情報第1号参照

<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H31/yosatu/190419gijyutu.pdf>)。

表1 ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定結果(令和2年5月)

No.	地点名	検定数 (頭)	保毒虫数 (頭)	保毒虫率 (%)
1	玉名市小島	100	0	0.0
2	山鹿市鹿央町	100	0	0.0
3	菊池市赤星	100	0	0.0
4	大津町陣内	55	0	0.0
5	嘉島町上六嘉	100	0	0.0
6	甲佐町下横田	100	2	2.0
7	氷川町若洲	100	0	0.0
8	錦町木上	22	0	0.0
9	あさぎり町上	15	2	13.3
10	多良木町久米	8	0	0.0
11	農業研究センター	100	1	1.0
合 計		800	5	0.6
昨年値				0.4
平年値(過去10年の平均)				2.3

※本年は簡易ELISA法、平年値は簡易ELISA法(H27~R1)と高比重ラテックス凝集反応法(H22~H26)による検定結果をもとに算定

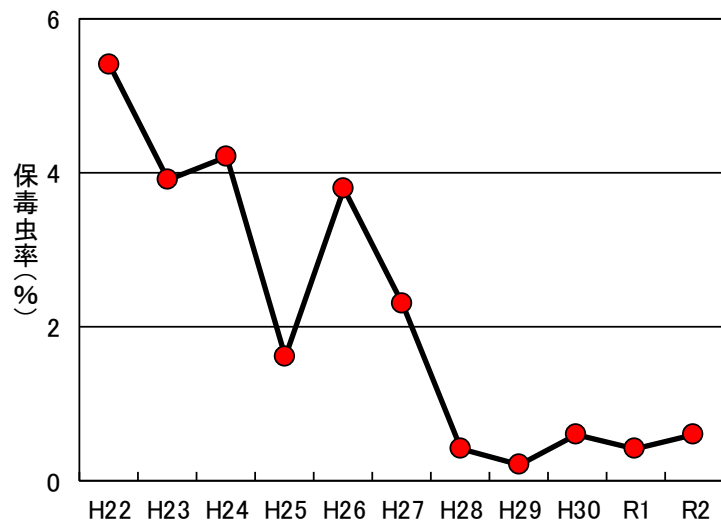


図1 イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率の推移

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係)
 担当：西本、作本 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

チャバネアオカメムシの越冬量及び本年7月頃までの発生量（技術情報第14号）について（送付）

このことについて、下記のとおりとりまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年のチャバネアオカメムシの越冬量は平年より少なく、本年7月頃までの発生量は、平年より少ないと予想される。

1 目的

チャバネアオカメムシの越冬量は、その年の7月頃までの発生量の指標となる4～7月の予察灯誘殺数と正の相関が認められる（図1）。そこで、県内各地のチャバネアオカメムシの越冬量から本年7月頃までの発生量を予想し、防除対策の基礎資料とする。

2 調査方法

- （1）調査時期 令和3年（2021年）1月
- （2）調査地点 県内16か所の定点（表1）
- （3）調査方法 各地点3m²（1m²×3カ所）分の落葉を採取し、落葉中のチャバネアオカメムシの越冬虫数を計数した。

3 結果

チャバネアオカメムシの越冬虫数について、県内16地点の合計は4頭（前年130頭、平年8.2頭）で平年比少であった。また、捕獲地点数は、16地点中3地点（前年12地点、平年5.2地点）であり平年比やや少であった（表1）。

4 今後の発生量予想等

- （1）本年のチャバネアオカメムシの越冬虫数は平年比少、捕獲地点数は平年比やや少であることから、本年7月までのチャバネアオカメムシの発生量は平年より少ないと予想される。
- （2）果樹カメムシ類は、局地的に飛来し、被害をもたらすことがあるので、定期的に園を見回り、早期発見と薬剤による初期防除を徹底する。
- （3）ここで示したデータには、近年発生量は被害が増加傾向にあるツヤアオカメムシの越冬量は含まれていないが、チャバネアオカメムシと同様の対策を行う。

(4) チャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシの予察灯及びフェロモントラップの誘殺数データを病虫害防除所のホームページ (<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto/>) に4月以降随時掲載する。これらの情報を参考に防除要否や防除適期を判断する。

表1 チャバネアオカメムシの越冬量調査結果（越冬成虫数（頭/3㎡）及び捕獲地点数）

調査年 調査地点	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1 (H31)	R2	R3	平年*
熊本市河内町①	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	9	2	
熊本市河内町②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	
熊本市植木町	0	1	1	3	1	2	0	0	0	0	18	1	
宇城市三角町①	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
宇城市三角町②	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
宇城市不知火町	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	
宇城市松橋町	1	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	
宇城市豊野町	0	1	0	1	1	1	0	0	3	0	1	0	
玉名市天水町	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	9	0	
山鹿市蒲生	1	2	0	2	1	5	1	1	3	1	22	0	
菊池市玉祥寺	1	0	0	2	0	2	0	0	2	0	1	1	
甲佐町西寒野	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
氷川町大野	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0	
芦北町田浦	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	9	0	
天草市本渡町	0	1	1	1	0	5	0	0	4	0	17	0	
苓北町内田	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	27	0	
越冬成虫数合計	4	9	4	13	6	21	2	2	20	1	130	4	8.2
捕獲地点数	4	8	4	8	6	9	2	2	8	1	12	3	5.2

1 調査時期 令和3年（2021年）1月

2 調査地点 上記県内16か所の定点

3 調査方法 1地点3㎡（1㎡を3か所）分の落葉を採取し、落葉中の越冬成虫数を計数した。

※平年値はH22～R1（H31）までの10年平均（R2の越冬量は平年に比べて非常に多く、平年値を算出するデータとして適さないため除外した）

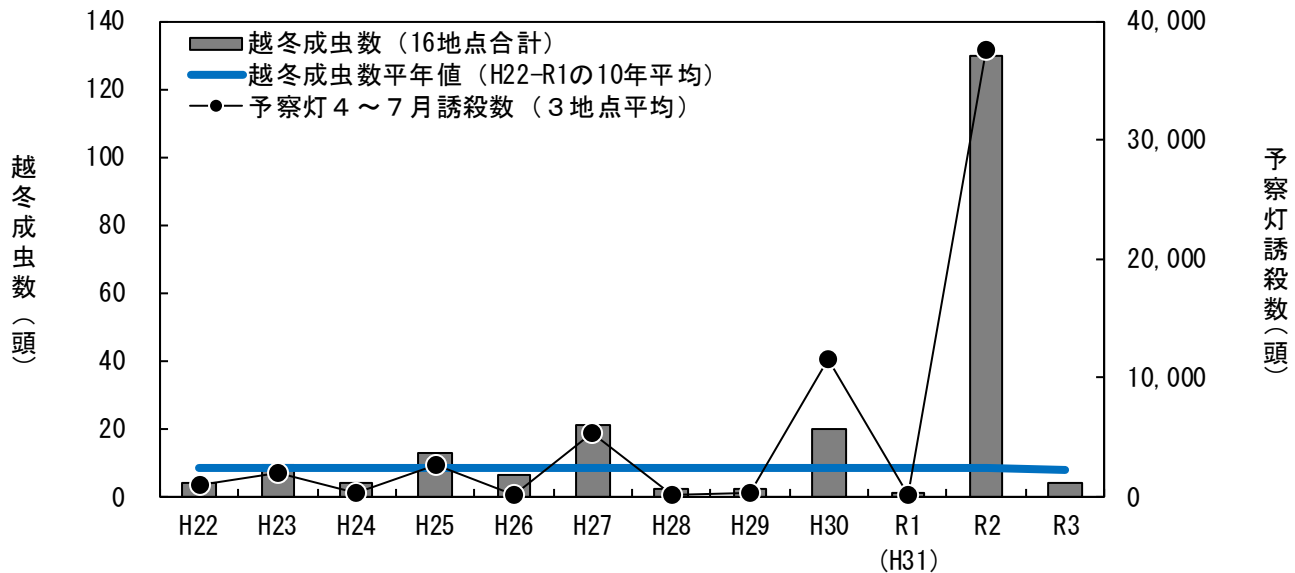


図1 チャバネアオカメムシの越冬虫数と予察灯4～7月誘殺数の推移

1 「越冬成虫数」は、各3㎡調査した16地点の合計頭数を示す（左縦軸）。

2 「予察灯4月～7月誘殺数」は、合志市栄、宇城市松橋、天草市本渡に設置した3台の予察灯の4月から7月までの誘殺数累計の平均値を示す（右縦軸）。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係（病虫害防除所）
担当：中村、丹 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

カンキツにおけるミカンハダニの発生状況（技術情報第15号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

2月のミカンハダニの発生量が平年に比べて多い状況です。今後の気温上昇に伴い、春期に多発生する恐れがありますので、発芽前のマシン油乳剤散布を徹底し、ミカンハダニの初期密度を抑制しましょう。

1 発生状況等

（1）県内各地のカンキツ園で2月上旬から中旬に実施した巡回調査において、ミカンハダニ雌成虫の寄生葉率は13.3%（平年2.4%、前年13.7%）、10葉当たりの寄生頭数は3.7頭（平年0.7頭、前年5.2頭）であり、寄生葉率・10葉当たりの寄生頭数ともに、過去10年のうち、注意報を発出した令和2年に次いで多かった（図1、2）。

（2）本年度において、1月中旬から2月中旬にかけて気温が平年より高く、また、12月から1月にかけて降水量が平年より少なかったことは、本害虫の増殖にとって平年に比べて好適な気象条件であった（図3、4）。また、福岡管区气象台が2月25日に発表した九州北部地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は平年より多いもしくは平年並の予想であり、今後も増殖が助長される気象条件が継続することから、多発生することが予想される。

2 防除対策等

本害虫の春期の多発生は、新葉の加害による光合成機能の低下を引き起こす。今後の気温上昇により本害虫の増殖が促進し、春期の発生が多くなると予想されることから、以下の防除対策を行う。

（1）発芽前のマシン油乳剤散布により初期密度を抑制する。散布の際は、樹全体にムラなくかかるよう丁寧に散布する。なお、樹勢が弱い樹では旧葉の落葉が助長される場合があるため、樹勢に考慮して使用する。

（2）本年は1月中旬以降平年より気温が高い傾向にあることから、カンキツの発芽期が早まる可能性がある。発芽後にマシン油乳剤を高濃度で散布すると薬害を生じる恐れがあるので、生育状況に注意し、発芽前に散布を行う。

（3）マシン油乳剤は商品によって使用時期や希釈倍数などが異なる場合があるため、ラベルをよく確認し、農薬登録内容を遵守して使用する。

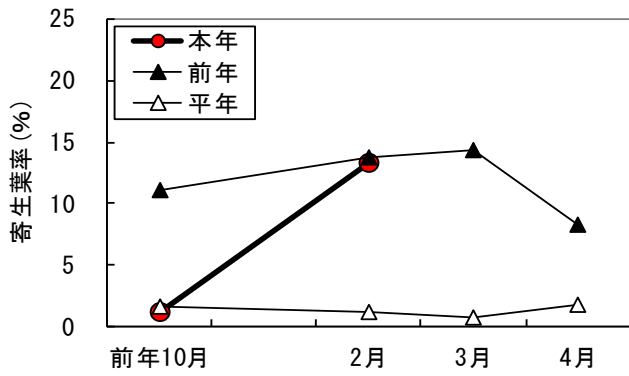


図1 ミカンハダニの寄生葉率の推移

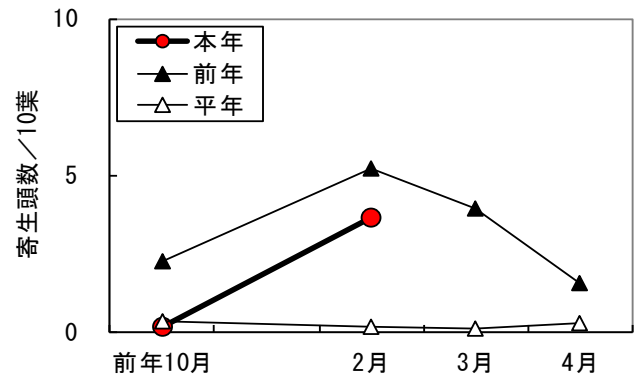


図2 ミカンハダニの寄生頭数の推移

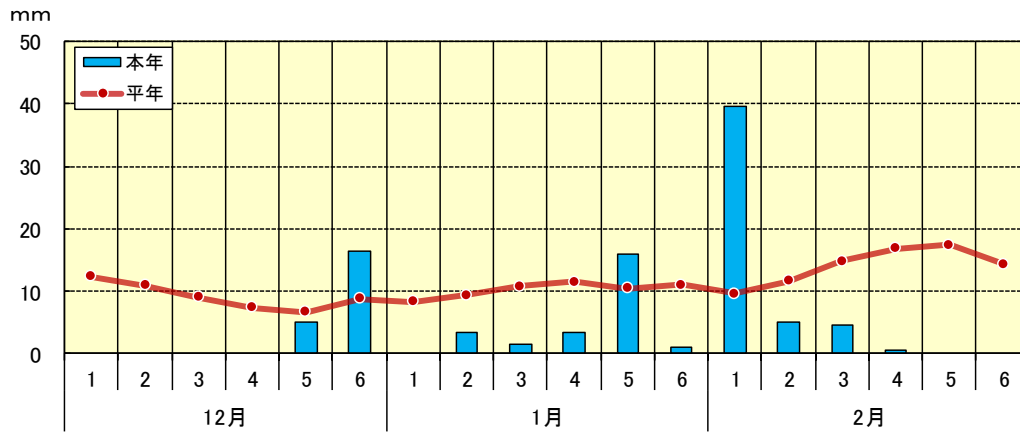
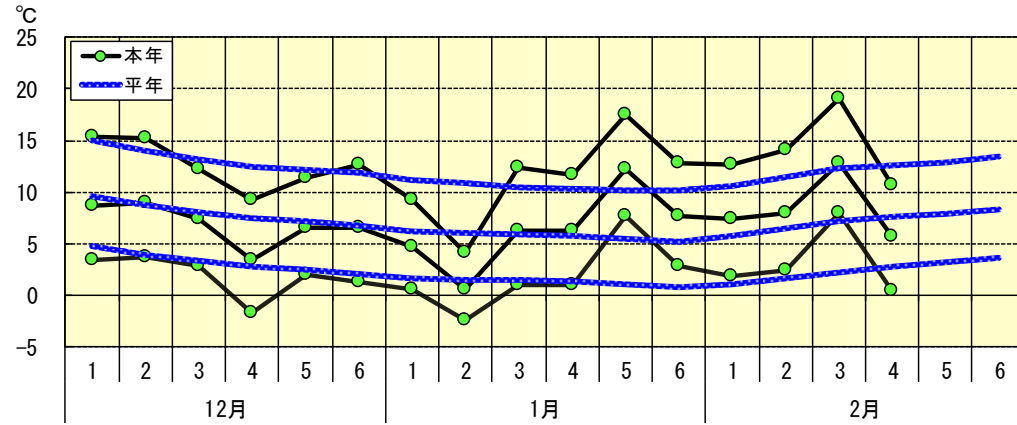


図4 降水量

熊本県病害虫防除所
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所
 病害虫研究室 予察指導係)
 担当：中村、丹 TEL 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

イチゴにおける微小害虫(ハダニ類、アザミウマ類、アブラムシ類)の発生状況と防除対策(技術情報第16号)について(送付)

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので業務の参考としてご活用ください。

記

2月の巡回調査においてハダニ類、アザミウマ類及びアブラムシ類の発生が前年・平年に比べ早い時期から増加しています。
今後気温の上昇に伴い、さらに増加することが予想されますので、注意が必要です。

1 発生状況

(1) 2月の巡回調査におけるハダニ類の発生は、寄生葉率が18.3%(平年20.7%)で平年並の発生であったが、1月から2月間で平年より大きく上昇している(図1)。また一部において発生の多いほ場がみられる。

(2) 2月の巡回調査におけるアザミウマ類の発生は、寄生株率が16.3%(平年5.3%)で平年比やや多の発生であった(図2)。

(3) 2月の巡回調査におけるアブラムシ類の発生は、寄生株率が1.3%(平年0.1%)で平年比やや多の発生であった(図3)。

(4) 福岡管区气象台が3月4日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想であり、イチゴにおける本虫発生に好適な条件が続くと考えられる。

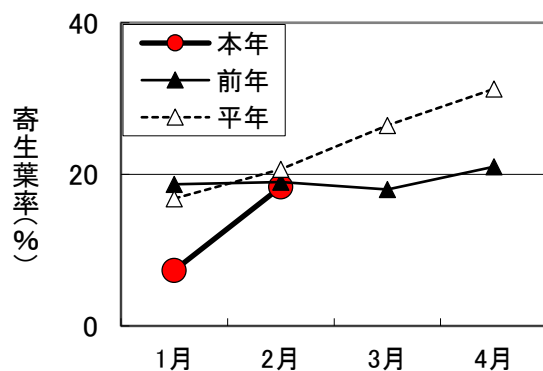


図1 ハダニ類の寄生葉率の推移

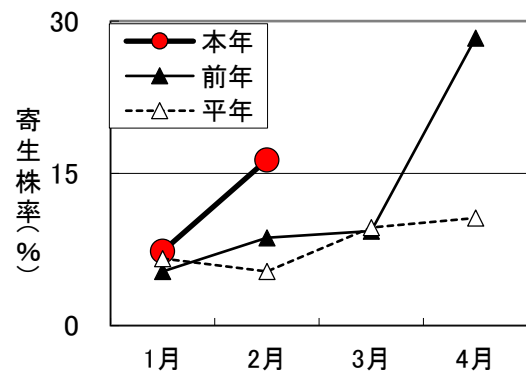


図2 アザミウマ類の寄生株率の推移

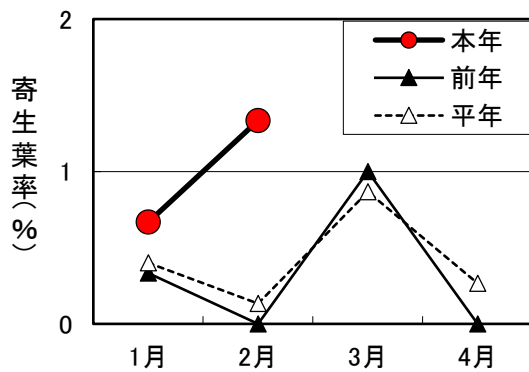


図3 アブラムシ類寄生葉率の推移

2 防除対策

(1) 微小害虫共通

ア 薬剤防除の際は、効果を高めるために事前に下葉かぎを行う。除去した葉は、ポリ袋に詰めるなどして速やかにほ場外へ持ち出し、適切に処分する。

イ 薬剤防除は、十分な液量で薬液が葉裏にも十分かかるように丁寧に散布し、散布むらをなくす。

ウ 未発生ほ場への持ち込みを防ぐため、微小害虫が発生しているほ場の管理作業は最後に行う。

なお、親株ほ（育苗ほ）については微小害虫を持ち込まないために、管理作業は最初に行う。

エ 薬剤の中にはミツバチの活動に影響を及ぼすものもあるので、影響の小さい薬剤を選択し、散布日は巣箱を移動させるなどして危害が出ないように使用する。

オ 農薬は、ラベルなどで使用方法を確認し、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守して農薬の安全使用に努める。

カ 施設内および周辺の雑草は、発生源となるので除草し、施設内の観賞用の花き類も撤去する。

(2) ハダニ類

ア 使用できる殺ダニ剤が少ない場合には、気門封鎖剤を活用する。

気門封鎖剤は、ハダニ類に直接付着しないと効果がないため、特に丁寧に散布する。

また、卵への効果や残効性が無いため、7日程度の間隔で複数回散布する。

なお、薬害を生じやすい剤もあるため、ラベルなどで使用上の注意事項を確認した上で使用する。

イ カブリダニ類を放飼したほ場では、天敵に影響の少ない薬剤を使用し、ハダニ類の密度を抑える。

ただし、ハダニ類の発生が多く天敵で抑えきれない場合は、殺ダニ剤を中心とした薬剤防除に切り替える。

(3) アザミウマ類

ア 早期発見のため、施設内に青色粘着トラップを設置し、成虫の発生を確認する。

また、開花中の花を白紙上で軽く叩くか、軽く息を吹きかけ、成幼虫の寄生を確認する。

イ アザミウマ類成虫の発生が多い場合は、アザミウマ類の防除を優先し、アザミウマ類成虫に効果の高い薬剤を選択する。その場合、ハダニ類の天敵（カブリダニ）にも大きく影響する可能性があるため散布後、ハダニ類の増加に注意する。

ウ 天敵を利用していないほ場の場合、発生初期は、幼虫に効果のある剤（昆虫成長制御剤等）を使用する。

エ 多発生した場合は、薬剤の散布間隔を短くし（約5日）、系統の異なる薬剤をローテーションで複数回散布する。

（４）アブラムシ類

ア ワタアブラムシは吸汁によるウイルスの媒介や排出物による葉や果実のべとつき、汚れをもたらすため、発生に注意し、発生初期の防除を徹底する。

イ ワタアブラムシについては薬剤感受性の低下した個体群も見られるので、薬剤防除にあたっては、同一系統薬剤の連用を避け、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所

病害虫研究室 予察指導係

（病害虫防除所）

担当：丹、中村 TEL：096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミバイオタイプQ成虫の薬剤感受性検定の結果（技術情報第17号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

2020年に県内の冬春果菜類の栽培地域から採集したタバココナジラミバイオタイプQ成虫は、アグリメック、アニキ乳剤、ディアナSCに対して高い感受性を示した。また、ベストガード水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、トランスフォームフロアブル、コルト顆粒水和剤及びベネビアODは感受性低下の傾向が認められた。

1 目的

タバココナジラミバイオタイプQは効果の高い薬剤が少ないことに加え、近年、一部の薬剤に対する感受性の低下が報告されている。そこで、県内各地の冬春果菜類の施設栽培ほ場で採集したタバココナジラミバイオタイプQ成虫に対して薬剤感受性検定を行い、その結果を防除対策の基礎資料とする。

2 材料及び方法

(1) 供試个体群

ア 採集地等について表1に示した。

イ 採集したタバココナジラミはキャベツ等を与えて25℃、16L-8Dの条件で累代飼育し、検定に供試した。

ウ 各个体群につき30个体を遺伝子診断した結果、すべてバイオタイプQであった。

エ 2004年に採集した合志个体群を薬剤感受性系統とし、2020年に採集した5个体群の各供試薬剤への感受性低下の程度を評価した。

表1 供試したタバココナジラミの採集地等

个体群名	採集年月	採集場所	採集植物
玉名	2020年6月	玉名市	トマト
八代①	2020年6月	八代市	トマト
八代②	2020年6月	八代市	メロン
宇城	2020年6月	宇城市	メロン
山鹿	2020年6月	山鹿市	スイカ
(感受性系統)			
合志	2004年11月	合志市	メロン

(2) 供試薬剤

供試薬剤を表2に示した。各薬剤のトマトにおけるタバココナジラミに対する登録濃度のうち最高濃度を常用濃度と設定し、常用濃度とその1/4濃度を供試した。また、供試した薬液には、展着剤としてポリアルキレングリコールアルキルエーテル剤（商品名：マイリノー）5,000倍を加用した。なお、無処理区は展着剤のみを加えた水道水を用いた。

(3) 検定方法

所定濃度の各薬液中にキャベツ葉を10秒間浸漬し、風乾後1区当たり約20頭の成虫を放飼した。120時間後に成虫の生死を調査し、得られた死虫率からAbbottの補正式を用いて補正死虫率を求めた。試験は1区当たり3反復で行った。

Abbottの補正式

$$(\text{補正死虫率}(\%)) = \{(\text{無処理生存虫率} - \text{処理生存虫率}) / \text{無処理生存虫率}\} \times 100$$

表2 供試薬剤一覧

薬剤名	有効成分名・含量	IRACコード サブグループ	供試濃度
ベストガード水溶剤	ニテンピラム 10%	4A	常用濃度 1,000倍 1/4濃度 4,000倍
スタークル顆粒水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤	ジノテフラン 20%	4A	常用濃度 2,000倍 1/4濃度 8,000倍
トランスフォームフロアブル	スルホキサフロル 9.5%	4C	常用濃度 1,000倍 1/4濃度 4,000倍
ディアナSC	スピネトラム 11.7%	5	常用濃度 2,500倍 1/4濃度 10,000倍
アグリメック	アバメクチン 1.8%	6	常用濃度 500倍 1/4濃度 2,000倍
アニキ乳剤	レピメクチン 1%	6	常用濃度 1,000倍 1/4濃度 4,000倍
コルト顆粒水和剤	ピリフルキナゾン 20%	9B	常用濃度 4,000倍 1/4濃度 16,000倍
ベネビアOD	シアントラニリプロール 10.3%	28	常用濃度 2,000倍 1/4濃度 8,000倍
ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール 18.2%	28	常用濃度 2,500倍 1/4濃度 10,000倍
グレーシア乳剤	フルキサメタミド 10%	30	常用濃度 2,000倍 1/4濃度 8,000倍

3 結果及び考察

(1) 各供試薬剤の補正死虫率は表3に示した。

(2) アグリメックの補正死虫率は、常用濃度及び1/4濃度ともにすべての個体群で高かった。

(3) アニキ乳剤の補正死虫率は、常用濃度ではすべての個体群で高かったが、1/4 濃度ではすべての個体群でやや低い傾向であった。

(4) ディアナSCの補正死虫率は、常用濃度及び 1/4 濃度ともにすべての個体群で概ね高かった。

(5) グレーシア乳剤の補正死虫率は、常用濃度では八代②以外の個体群で高かったが、1/4 濃度ではすべての個体群で低かった。

(6) コルト顆粒水和剤の補正死虫率は、常用濃度及び 1/4 濃度ともに玉名、宇城及び合志個体群で高かったが、八代①、②及び山鹿個体群でやや低い傾向であった。

(7) ベストガード水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、トランスフォームフロアブル及びベネビアODは、常用濃度で合志個体群に高い補正死虫率を示したが、合志以外の個体群で補正死虫率は低かった。

(8) ヨーバルフロアブルの補正死虫率は、常用濃度及び 1/4 濃度ともにすべての個体群で低かった。

(9) 合志個体群と他の個体群の補正死虫率を比較し、感受性低下の程度を以下のとおり評価した。

ア コルト顆粒水和剤は、一部の個体群で感受性低下の傾向が認められた。

イ ベストガード水溶剤、スタークル顆粒水溶剤、トランスフォームフロアブル及びベネビアODは、すべての個体群で感受性低下の傾向が認められた。

表3 タバココナジラミバイオタイプQ成虫に対する各種薬剤の補正死虫率

供試薬剤	供試濃度	2004年		2020年			
		合志メロン	玉名市トマト	八代①トマト	八代②メロン	宇城メロン	山鹿スイカ
ベストガード水溶剤	1,000倍	97	60	50	70	61	31
	4,000倍	72	15	11	0	29	11
スタークル顆粒水溶剤	2,000倍	97	24	0	7	5	27
	8,000倍	56	10	0	2	1	4
トランスフォームフロアブル	1,000倍	96	59	58	12	52	33
	4,000倍	20	28	1	0	10	8
ディアナSC	2,500倍	99	88	71	91	92	98
	10,000倍	98	86	60	79	87	100
アグリメック	500倍	100	100	100	100	100	99
	2,000倍	100	99	100	98	100	99
アニキ乳剤	1,000倍	98	88	99	88	99	95
	4,000倍	31	44	73	41	64	57
コルト顆粒水和剤	4,000倍	100	87	48	53	95	73
	16,000倍	100	86	27	50	99	68
ベネビアOD	2,000倍	82	51	34	57	38	60
	8,000倍	32	4	32	58	26	12
ヨーバルフロアブル	2,500倍	17	0	6	0	0	8
	10,000倍	3	11	7	10	2	4
グレーシア乳剤	2,000倍	92	90	88	55	90	96
	8,000倍	22	12	0	0	23	7

※網掛けは補正死虫率 80%以上を示す

4 防除対策

本調査では、県内の個体群において、一部の薬剤に対する感受性の低下が確認された。

薬剤抵抗性の発達を回避するには、薬剤を用いた化学的防除法だけに頼らず、防虫ネット等の物理的防除法や天敵利用等の生物的防除法等を組み合わせた防除対策を行うことが重要である。

今後、気温の上昇に伴い、本害虫の活動が活発になり発生量が増えるため、以下の点に注意して防除を行う。

(1) 多発すると、防除が困難になるとともに、栽培終了後に野外へ飛び出す危険性が高まるため、発生量が少ないうちに、アセチル化グリセリド乳剤^{注1}（商品名：ベミデタッチ）や気門封鎖剤も活用して初期防除を徹底し、施設内での発生量を低い水準に抑える。

(2) 薬剤散布だけでなく、黄色粘着トラップや天敵利用等を組み合わせた防除を実施し、本害虫の密度低下を図る。なお、薬剤防除を実施する際は、薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

(3) 薬剤への感受性が低下した本害虫が、施設外へ飛び出し、地域内にまん延することを防止するため、栽培終了後のハウス密閉処理等、施設外へ「出さない」対策を徹底する。また、トマトやウリ科野菜については、別紙を参考にウイルス病対策も併せて行う。

注1) アセチル化グリセリド乳剤の防除効果については、[農業研究成果情報 No. 902 \(令和2年\(2020年\)6月\)「アセチル化グリセリド乳剤はタバココナジラミ低密度時から散布すると防除効果が高い」](#)を参照する。

5 留意点

本検定は成虫に対しての結果であり、卵、幼虫等における薬剤感受性及びトマト黄化葉巻ウイルス等の媒介抑制効果については不明である。

熊本県病虫害防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)

担当：中村、丹 096-248-6490

野菜のウイルス病まん延を防止しましょう

本県では「トマト黄化葉巻病」、「トマト黄化病」、「キュウリ・メロン黄化えそ病」、「キュウリ・メロン退緑黄化病」、「スイカ退緑えそ病」等のウイルス病が発生しています。これらの病気の原因となる各ウイルスは、コナジラミやアザミウマ等の微小害虫により媒介されます。

これら微小害虫は、気温が高くなると活動が活発になりますので、今後、ウイルスを持った虫（保毒虫）の施設外への拡散によるウイルス病の発生が懸念されます。

そこで、確実にウイルスの伝染環（つながり）を絶ち、地域におけるウイルス病の拡大を防ぐため、以下の2つの対策を必ず行いましょう。

1 保毒虫を「増やさない」対策

施設内で微小害虫を増やさないようにし、栽培終了後に保毒虫が野外へ飛び出す危険性を減らしましょう。

- (1) 発病株は重要な伝染源となるので、適正に処分する。
- (2) ハウス内に粘着トラップを設置し、害虫の密度を低下させる。
- (3) コナジラミ類の発生がみられるほ場では、継続した防除を行う。
- (4) トマト黄化葉巻病抵抗性品種であっても、トマト黄化葉巻ウイルス（TYLCV）に感染し伝染源となるため、コナジラミ類の防除を継続して行う。
- (5) ウリ類の連続栽培を行う場合は、保毒虫を次作に持ち越さないように防除を行う。

2 保毒虫を施設外に「出さない」対策

地域（野外）の保毒虫密度を高めないために、ハウス内から微小害虫を逃がさないようにしましょう。

- (1) 定期的に施設周辺を見回り、ハウスビニルや防虫ネットに破れが無い点検し、必要に応じて修繕を行う。
- (2) 成虫に効果の高い剤を主体とした薬剤防除を行う。
- (3) 微小害虫の施設外への飛び出しを防ぐため、栽培終了後は必ずハウスを密閉してから一斉に植物を枯らす。
- (4) 悪天候等で作物の枯死に時間がかかると予想される場合には、古株枯死に使用できる薬剤^注の併用も検討する。なお、使用にあたっては、必ずラベルなどで使用方法を確認し、遵守する。
- (5) 地域で取り決めた密閉処理期間を遵守し、微小害虫及びウイルスを完全に死滅させる。
- (6) 施設内の片付けは、密閉処理が終了してから行う。

注1) 令和3年（2021年）3月10日現在において、使用可能な薬剤は以下のとおり

- ・カーバムナトリウム塩液剤（商品名：キルパー）
- ・クロルピクリンくん蒸剤（商品名：クロピクフロー）

※クロルピクリンくん蒸剤のうち使用できるのはフロー剤のみ

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

イグサシンムシガの越冬調査結果(技術情報第18号)について(送付)
八代地域で3月25日に実施したイグサシンムシガ越冬調査の結果及び防除対策
を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

発蛾最盛日は4月3日と予測される(平年より14日早い)。
越冬世代(幼虫+蛹)の発生量は平年に比べて少ない。

1 調査結果の概要

- (1) 3月25日現在、越冬世代の蛹化率は同時期の平年より高く、越冬世代成虫の
発蛾最盛日は、平年(4月17日)に比べ14日早い4月3日と予測される(表1)。
(2) 幼虫及び蛹の密度は0.5頭/10㎡(平年3.7頭/10㎡)と平年比少であった(表
2、図1)。

2 防除対策

- (1) 「長イ」を加害する第2世代幼虫の発生密度を抑えるため、4月に第1世代
幼虫に対する防除を徹底する。
(2) 防除適期は粒剤が発蛾最盛日、液剤及び粉剤は発蛾最盛日7日後を目安にす
る。なお、気温の変動によっては羽化がばらつくので、発蛾最盛日から7日間で
2~3回の防除を行う。
(3) 発蛾最盛日が平年より早まることが予想されるため、防除のタイミングを逃
さないように早めに防除の準備を行う。
(4) 予測される発蛾最盛日は、ほ場によっては差が生じるので、ほ場内の発生状
況をよく観察するとともに、病虫害防除所から提供される予察灯での誘殺情報に注
意して防除時期を判断する。

※今後のイグサシンムシガに関する情報(発蛾最盛日予測、予察灯データ)に
ついては、病虫害防除所ホームページ(<http://www.jpnpn.ne.jp/kumamoto>)に随時
掲載します。

表1 越冬世代の蛹化率および発蛾最盛日

年次	調査日	蛹化率(%)	発蛾最盛日予測(実測日)
本年	3月25日	66.7	4月3日
前年	3月25日	54.2	4月9日(4月8日)
平年	3月26日	24.1	4月17日(4月15日)

注) 蛹化率: 調査区外の幼虫、蛹数も含めて算出

予測式: 調査日の蛹化率と過去10年間の「調査日の蛹化率係数(傾き)」と「調査日から発蛾
最盛日までの日数係数(切片)」を用いた予測式

発蛾最盛日 = 調査日の蛹化率(%) × (-0.269953107) + (26.28415628) + 調査日 - 31日

実測日: 予察灯(八代市)で4月に誘殺のピークが見られた日

表2 イグサシンムシガ越冬調査結果（調査日：令和3年3月25日）

No.	市町村名	地点名	調査株数	被害茎数	幼虫数	蛹数	合計	頭数/10m ² (幼虫+蛹)	茎数/株
1	氷川町	中島	100	2	0	1	1	2.8	89.0
2		鹿野	100	1	0	0	0	0.0	68.0
3		鹿島	100	0	0	0	0	0.0	105.0
4	八代市	両出	100	0	1	0	1	2.8	67.0
5		鏡村	100	1	0	0	0	0.0	76.0
6		北新地	100	1	0	0	0	0.0	119.0
7		古閑出	100	1	0	0	0	0.0	79.0
8		太牟田	100	0	0	0	0	0.0	67.0
9		吉王丸	100	0	0	0	0	0.0	100.0
10		松高	100	2	0	0	0	0.0	129.0
11		三江湖	100	4	0	0	0	0.0	69.0
12		日奈久	100	0	0	0	0	0.0	74.0
計			1,200	12	1	1	2	0.5	86.8
平年			2,070	62	20	7	27	3.7	

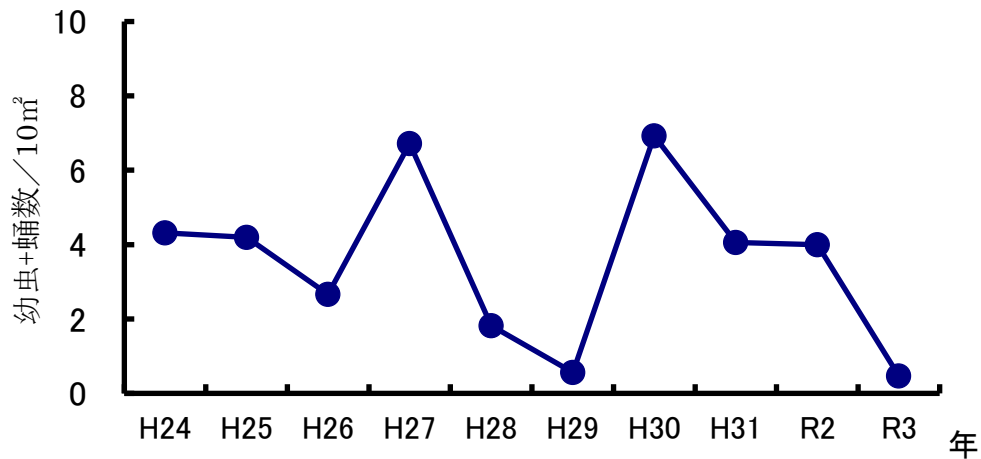


図1 イグサシンムシガの越冬世代幼虫・蛹密度の年次推移（八代地域）

問い合わせ先
 熊本県病害虫防除所
 （生産環境研究所 病害虫研究室）
 担当：作本
 TEL: 096-248-6490

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

麦赤かび病の防除対策（技術情報第19号）について（送付）

このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。

記

本年産の麦類の生育は平年に比べて早く、赤かび病の防除適期が例年より早まることが予想されます。ほ場をよく観察し、防除適期を逃さないよう散布スケジュールの調整を行ってください。

1 麦類の生育について

（1）農産園芸研究所作物研究室（合志市）の作況調査では、令和3年産麦（11月19日播種）の生育は平年に比べて早く、出穂期は、はるしずく（二条大麦）で13日程度、シロガネコムギ（小麦）で14日程度早い（表1）。なお、平年の出穂期は、はるしずく（二条大麦）が3月31日、シロガネコムギ（小麦）が4月4日である。

（2）福岡管区气象台が3月25日に発表した気象予報によると、向こう1ヶ月の気温は平年より高い予想のため、麦の生育は今後も早まることが予想される。

表1 令和2年度（令和3年産）麦の生育状況（播種日：11月19日）

品種		出穂期	開花期	成熟期
はるしずく	本年	3/18		
	前年	3/20	4/8	5/11
	平年	3/31	-	5/16
シロガネコムギ	本年	3/21		
	前年	3/21	4/2	5/17
	平年	4/4	-	5/24

農産園芸研究所作物研究室調査

2 防除対策について

(1) 赤かび病の薬剤散布時期は、小麦では開花を始めた時期から開花期（1穂につき数花開花をしているものが、全穂数の40～50％に達した日）までの間とその7～10日後、二条大麦では、穂揃い期（全茎の80～90％が出穂した日）の10日後頃とその7～10日後。

(2) 赤かび病の防除薬剤は予防効果が主体であるため、散布時期が遅れないよう適期に2回の防除を行う。

(3) 麦類の出穂期や開花期等は気温に左右されるため、今後の生育状況に注意する。

(4) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行なうなど、危害防止に努める。

※アメダス実測値を用いた赤かび病多発条件出現日の判定結果を病虫害防除所のホームページ (<http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>) に掲載し、随時更新します。

熊本県病虫害防除所
(熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病虫害研究室 予察指導係)
担当：作本 TEL 096-248-6490

(2) 発生予報

4月予報

病防第157号

令和2年(2020年)3月31日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第1号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病虫害発生予報第1号(4月予報)

I 気象予報：令和2年(2020年)3月26日福岡管区気象台発表(単位：%) ◎向こう1ヶ月の気象予報(単位：%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	40	40
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

◎向こう4週間(期間：3/28～4/24)の平均気温のモデル予測 (https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/probability/guidance/csv_k1.php)

予測地点	モデル予測値	平年値	昨年値	過去10年の 平均値
熊本県熊本	15.0℃	14.8℃	15.5℃	15.4℃

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生の概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
麦	赤かび病	やや多	やや多	—	—	気温並～高 (+) 降水多(+)	
茶	カンザワハダニ	やや多	やや多	やや多 (+)	並～やや少 (-)	気温並～高 (+) 降水多(-)	茶業研究所 平年比多 (+)

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	ミカンハダニ	多	多	多(+)	多～並(+)	気温並～高(+) 降水多(-)	
ナシ	黒星病	やや多	やや多	—	—	降水多(+)	
冬春 トマト	灰色かび病	やや多	多	茎葉多 果実多(+)	やや多～並(+)	降水多(+)	
	葉かび病	並	並	多(+)	やや多～並(±)	降水多(+)	
	すすかび病	並	並	やや少(-)	並(±)	降水多(+)	
	黄化葉巻病	並	並	黄化葉巻病 やや少(-) コナジラミ 並(±)	やや多～並(±)	(コナジラミ) 気温並～高(+)	
冬春 ナス	うどんこ病	並	やや多	多(+)	並～やや少(±)	降水多(+)	
	すすかび病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～やや少(±)	降水多(+)	
イチゴ	うどんこ病	少	並	並(±)	並(±)	降水多(+)	
	ハダニ類	並	やや多	やや少(-)	やや多～並(±)	気温並～高(+)	
	アザミウマ類	やや多	並	並(±)	やや多～並(+)	気温並～高(+)	
ウリ科 野菜	キュウリ・メロン 退緑黄化病 スイカ退緑えそ病	やや多	並	退緑黄化病 多(+) コナジラミ やや多(+)	キュウリやや多 メロン 並 スイカ 並(±)	(コナジラミ) 気温並～高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	並	並	キュウリ多 ナス・イチゴ並 (±)	キュウリ多 ナスやや多～や や少 イチゴ並 (±)	降水多(+)	
冬春 果菜類	タバコ コナジラミ	並	並	キュウリやや多 トマト・イチゴ並 ナスやや少 (±)	トマト・スィ やや多～並 キュウリ・メロン・ イチゴ並 ナス 並～やや少 (±)	気温並～高 (+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	キュウリ・ナス並 (±)	キュウリ・メロン・スィ カ並 ナス やや少 (±)	気温並～高 (+)	
野菜 全般	アブラムシ類	やや多	やや多	ナス・イチゴ・トマ ト・キュウリ並 (±)	キュウリ やや多 ナス・イチゴ・スィカ・ メロン やや多～並 トマト並 (±)	気温並～高 (+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カン キツ	そうか病	並	巡回調査では一部ほ場で発生がみられ平年比やや多(+)。防除効果が高い幼芽期(新芽が5mm以内)に防除する。
	かいよう病	並	巡回調査では一部ほ場で発生がみられ平年比やや多(+)。果実への感染を防止するため、春葉の防除を行う。
ナシ	赤星病	並	黒星病との同時防除を行う。
ブドウ	黒とう病	並	発芽後、頂芽の展葉2～3枚期頃の防除を徹底する。

キュウリ	うどんこ病	並	巡回調査は、平年比少（－）。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。
	べと病	並	巡回調査は、平年比少（－）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
メロン	べと病	並	防除員報告は、平年比やや多～並（±）。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告は、平年比やや多～並（±）。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告は、平年並（±）。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

5月予報

病防第12号
令和2年(2020年)5月1日

各関係機関長 様

熊本県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第2号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病虫害発生予報第2号(5月予報)

- I 気象予報: 令和2年(2020年)4月23日福岡管区気象台発表(単位: %)
◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	40	40
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

- ◎向こう4週間(期間: 4/25~5/24)の平均気温のモデル予測
(https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/probability/guidance/csv_k1.php)

予測地点	モデル予測値	平年値	昨年値	過去10年の 平均値
熊本県熊本	19.5℃	19.2℃	19.9℃	19.6℃

II 【今後、注意すべき病虫害】

1 発生概要

作物	病虫害名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期水稻	葉いもち	並	並	やや多(+)	やや少(-)	降水少(-)	
	イネミズゾウムシ	並	並	やや少(-)	やや少(-)	気温高~並(+)	
麦	赤かび病	やや少	並	-	やや多~少(±)	気温高~並(+) 降水少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イグサ	イグサ シンムシガ	並	並	八代予察灯 やや少 (-)	並～やや少 (-)	気温高～並 (+)	越冬調査 並(±)
チャ	カンザワハダニ	多	多	多(+)	並(±)	気温高～並 (+) 降水少(+)	茶業研究所 多(+)
	クワシロ カイガラムシ	やや多	並	やや多(+)	やや多～少 (±)	気温高～並 (+) 降水少(+)	平年は9年 間
カンキツ	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～少 (±)	気温高～並 (+) 降水少(+)	
ナシ	黒星病	並	並	並(+)	並(±)	降水少(-)	
冬春ナス	すすかび病	並	やや少	並(±)	並～やや少 (±)	降水少 (-)	
イチゴ (親株)	ハダニ類	並	並	やや少 (-)	やや多～並 (+)	気温高～並 (+)	
	アザミウマ類	多	やや多	多(+)	多～やや少 (+)	気温高～並 (+)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	やや多	多	多(+)	並(±)	降水少(-)	
	べと病	並	並	並(±)	並(±)	降水少(-)	
冬春 果菜類	タバコ コナジラミ	やや多	やや多	多:トト・キュウ リ 並:ナス・イチゴ (+)	やや多:スィ 並:トト・ナス・ キュウリ・メ ン(±)	気温高～並 (+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	並:ナス やや少:キュウ リ (±)	やや多:スィ 並:ナス・メ ン・キュウ リ(±)	気温高～並 (+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要

因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
チャ	チャノコカク モンハマキ	やや多	巡回調査及びフェロモントラップ [®] (合志市)では平年並(±)。 茶業研究所のフェロモントラップでは、平年比多(+) 発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫期に防除を行う。
	チャハマキ	並	巡回調査及びフェロモントラップ [®] (合志市)では平年並(±)。 発蛾最盛期から7～10日後の若齢幼虫期に防除を行う。
	チャノホソガ	並	巡回調査及びフェロモントラップ [®] (合志市)では平年並(±)。 防除は、三角葉巻をつくる前の若齢期や幼芽期(新芽が5mm 以内)に行う。
カンキツ	そうか病	並	巡回調査は平年並(±)。 果樹研究所の県予察ほでは、平年より5日発生が早く、発 病葉率は平年より高い(+)
	かいよう病	並	防除員報告は平年並～やや少(±)。 春葉の感染が多いと、果実への感染も多くなるため、春葉 の防除を徹底する。
	灰色かび病	並	降水量は平年比少の予想(-)。 花卉が離脱せずに付着したまま残ると多発するので、落弁 期を重点に防除する。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年並(±)。 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉 の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意す る。
ナシ	赤星病	並	巡回調査は平年並(±)。 黒星病と同時防除を行う。
	アブラムシ類	並	巡回調査は平年並(±)。 発生量や発生時期は年や場所によって差がみられる。新葉 の展開に伴い増加することがあるため、発生状況に注意す る。
冬春 トマト	葉かび病	並	巡回調査では、平年並(±)。 草勢が低下すると多発しやすいため、適切な肥培管理を行 う。
	すすかび病	少	巡回調査では、平年比少(-)。 多発後は防除が困難なので、発生初期の防除を徹底する。

イチゴ (親株)	うどんこ病	少	巡回調査では、平年比少(－)。 防除については、3防除のポイント等の「イチゴにおけるうどんこ病、ハダニ類の防除対策」を参照する。
作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
メロン	べと病	並	防除員報告では平年比やや多～並(±)。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告では平年比やや多～並(±)。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	菌核病	並	防除員報告では平年並(±)。 発生ほ場では、菌核を残さないよう処分する。
	つる枯病	並	防除員報告では平年並(±)。 灌水は直接株元に行わず、株元周辺を出来るだけ乾燥状態に保つ。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査ではイチゴ・トマト・ナス・キュウリで平年並(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

6月予報

病防第30号
令和2年(2020年)6月1日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第3号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第3号(6月予報)

I 気象予報: 令和2年(2020年)5月28日福岡管区気象台発表(単位: %)
◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期・ 早植水稻	葉いもち	並	並	並(±)	並~やや少 (-)	降水多~並 (+)	
イグサ	イグサ シンムシガ	やや少	やや少	-	やや少 (-)	気温高(+)	予察灯調査 八代市 やや少 (-)
チャ	炭疽病	並	やや多	並	並(±)	気温高(+) 降水多~並 (+)	
	カンザワハダニ	やや多	並	やや多 (+)	並(±)	気温高(+) 降水多~並 (-)	ほ場調査 御船町 並(±)
	チャノコカクモ ンハマキ	やや多	やや多	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水多~並 (-)	フェロモントラップ [®] 調査 御船町 多(+) 合志市 多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
カンキツ	黒点病	並	並	—	並(±)	降水多～並(+)	
	そうか病	並	並	並(±)	並～やや少(-)	降水多～並(+)	ほ場調査 宇城市 やや少(-)
	かいよう病	やや多	やや多	やや多	並～やや少(±)	降水多～並(+)	ほ場調査 宇城市 やや多(+)
	ミカンハダニ	やや多	やや多	並(±)	やや多～並(+)	気温高(+) 降水多～並(-)	ほ場調査 宇城市 やや多(+)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	—	並～少(±)	気温高(+) 降水多～並(-)	粘着トラップ 調査 熊本市 並(±)
ナシ	黒星病	並	やや少	並(±)	やや多～並(±)	降水多～並(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	多	多	—	多～並(+)	気温高(+) 降水多～並(-)	予察灯・フェロモン トラップ調査 合志市 多(+) 宇城市 多(+) 天草市 多(+)
イチゴ育苗床	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	
	ハダニ類	多	多	多(+)	やや多(+) ～並(±)	気温高(+)	
果菜類	タバコ コナジラミ	やや多	やや多	キュウリ多(+)	ナス、スィカ、 キュウリ並(±)	気温高(+)	
	アザミウマ類	並	並	キュウリやや少(-)	ナス、スィカ、 キュウリ並(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜類 全般	アブラムシ類	やや多	やや多	多(+)	やや多～並 (±)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早期・ 早植水稻	イネミズゾウムシ	並	巡回調査は平年並(±)。 間断かん水を行い、根の健全な生育を図る。
チャ	チャノキイロアザミウマ	やや少	巡回調査は平年比やや少(-)。 粘着トラップ調査 合志市：少(-) たたき落とし 御船町：少(-) 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	チャノミドリヒメヨコバイ	並	巡回調査は平年並(±)。 たたき落とし調査 御船町：平年並(±) 新芽が加害されるため、萌芽～1葉期に防除する。
	ツマグロアオカスミカメ	並	巡回調査は平年比多(+) 常多発茶園では、萌芽期を重点に防除する。
	クワシロカイガラムシ	やや多	巡回調査は平年並(±)。 ふ化状況をよく観察し、ふ化最盛期(卵塊全体の60～80%になった時期)に防除する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年比やや少(-)。 降水量は平年比多～並(+) 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除に努める。
ブドウ	べと病	並	防除員報告では平年比少(-)。 降水量は平年比多～並(+) 梅雨期は発病の好適条件であるため、昨年発生が多かった園では保護殺菌剤を定期的に散布し、初期感染を防ぐ。
イチゴ 育苗床	うどんこ病	並	巡回調査では、親株で平年比並(±)。 防除については、3防除のポイント等の「イチゴ育苗床での病害虫の発生を防止しましょう」を参照する。

夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 適正な肥培管理を行う。
	うどんこ病	並	防除員報告は平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
キャベツ	コナガ	やや多	県内1ヶ所に設置したフェロモントラップによる4月第4半旬から5月第3半旬までの誘殺数は、平年比多(+) 平年に比べピークが早まっているため、早期発見、早期防除に努める。
野菜類	ハスモン ヨトウ	やや少	県内4ヶ所に設置したフェロモントラップによる4月第4半旬から5月第3半旬までの誘殺数は、平年比並～少(-)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
全般	オオタバコガ	並	県内4ヶ所に設置したフェロモントラップによる4月第4半旬から5月第3半旬までの誘殺数は、平年比並～やや少(-)。 早期発見、早期防除に努め、施設栽培では、防虫ネットで侵入を防ぐ。
<p>【野菜病害虫の共通対策事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

7月予報

病防第41号
令和2年(2020年)7月1日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第4号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第4号(7月予報)

- I 気象予報: 令和2年(2020年)6月25日福岡管区気象台発表(単位: %)
◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	30	60
	降水量	30	30	40
	日照時間	40	30	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早期水稻	穂いもち	やや少	やや少	並(±)	並(±)	気温高(-) 降水多(+)	
早植え 水稻	葉いもち	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高(-) 降水多(+)	
	トビイロウンカ	やや多	並	並(±)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 多(+)
早期・早 植え水稻	コブノメイガ	多	多	並(±)	並~やや多 (+)	気温高(+) 降水多(-)	フェロモントラップ 調査 多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期 水稻	葉いもち	やや多	並	並(±)	多～少(±)	気温高(-) 降水多(+)	
	セジロウンカ	やや多	多	—	—	気温高(+)	ネットラップ 調査 多(+)
	トビイロウンカ	やや多	並	—	—	気温高(+)	予察灯調査 多(+)
	コブノメイガ	やや多	多	—	—	気温高(+) 降水多(-)	フェロントラップ 調査 多(+)
チャ	炭疽病	並	並	並(±)	並～少 (-)	気温高(+) 降水多(+)	
	カンザワハダニ	並	並	少(-)	やや多～少 (±)	気温高(+) 降水多(-)	御船町 少(-)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	やや多	やや多 (+)	並～少 (-)	気温高(+)	御船町 やや多(+)
	クワシロ カイガラムシ	やや多	やや多	やや多 (+)	やや多～少 (±)	気温高(+) 降水多(-)	
カンキツ	黒点病	並	並	並(±)	並～やや少 (±)	降水多(+)	ほ場調査 宇城市 やや少(-)
	かいよう病	やや多	やや少	並(±)	並～やや少 (±)	降水多(+)	ほ場調査 宇城市 やや多(+)
	ミカンハダニ	並	並	やや少(-)	多～並 (+)	気温高(+) 降水多(-)	ほ場調査 宇城市 並(±)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	並(±)	並～やや少 (±)	気温高(+) 降水多(-)	熊本市河内町 粘着板調査 やや少(-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
ナシ	黒星病	やや多	やや多	多(+)	並～少 (±)	降水多(+)	
果樹全般	果樹カメムシ類	多	多	—	カンキツ 多～並 ナシ 並 (+)	気温高(+) 降水多(-)	予察灯・フェロ ントラップ調査 合志市 多 宇城市 多 天草市 多 (+)
夏秋 トマト	灰色かび病	並	やや少	並(±)	やや多～並 (+)	降水多(+)	
	葉かび病	やや多	多	やや多(+)	並(±)	降水多(+)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並～やや少 (-)	降水多(+)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
	うどんこ病	並	やや多	やや少(-)	やや多～並 (+)	降水多(+)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多～並 (+)	気温高(+)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	並	並	—	並 (±)	降水多(+)	
ウリ科 野菜 (平坦地)	退緑黄化病	やや多	やや少	冬春キュウリ やや多(+)	—	(コナジラミ) 気温高(+)	
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	並	並	夏秋トマト 並(±)	夏秋トマト 並～やや少 (±) 夏秋キュウリ 並(±)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 果菜類 (平坦)	コナジラミ類	やや多	やや多	冬春キュウリ 少(-)	夏秋ナス やや多~並 (+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや多	やや多	冬春キュウリ やや少(-)	夏秋ナス やや多(+)	気温高(+)	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	やや多	多	夏秋トマト 並(±) 冬春イチゴ(育 苗ほ) 並(±)	夏秋トマト 並(±) 冬春イチゴ (育苗ほ) 並(±) 夏秋キャベツ 並(±)	気温高(+)	フェロモン トラップ調査 阿蘇市一の宮、 阿蘇市波野 多(+) 合志市栄、八代 市鏡、山都町鶴 底 並(±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え・ 普通期 水稻	ツマグロヨコ バイ	やや多	巡回調査は、平年並(±)。
	ヒメトビウンカ	やや多	巡回調査は、平年並(±)。
早期・ 早植え 水稻	紋枯病	並	巡回調査は、平年並(±)。 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 (要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%)
水稻全般	縞葉枯病	並	巡回調査では、ヒメトビウンカは平年並(±)。
チャ	チャノコカク モンハマキ	並	巡回調査は、平年比やや少(-)。 フェロモントラップ調査 合志市：やや多(+)、御船町： やや多(+)、あさぎり町：並(±)。 各茶期の摘採直後に若齢幼虫をねらい防除を行う。

	チャノホソガ	並	巡回調査は、平年比やや多(+) フェロモントラップ調査 合志市：多(+)、御船町：少(-)、あさぎり町：やや少(-) 防除効果が高い幼芽期(新芽が5mm以内)に防除を行う。
	チャノキイロ アザミウマ	やや少	巡回調査は、平年比やや少(-) 粘着トラップ調査 合志市：少(-) たたき落とし 御船町：やや少(-) 新芽を加害するため、萌芽～1葉期に防除する。
作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
チャ	ツマグロアオカ スミカメ	並	巡回調査は、平年比多(+) 常多発茶園では、萌芽期を重点に防除する。
カンキツ	そうか病	並	巡回調査では、平年比やや多(+) 防除員報告では、平年並～やや少(±) り病葉はできるだけ剪除する。園内の通風・採光を良くし、 雨や露などが早く乾くようにする。
	かいよう病	並	巡回調査では、平年並(±) 防除員報告では、平年並～やや少(±) 伝染源となる発病葉や枝、果実は除去する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は、平年比やや少(-) 降水量は、平年比多(+) 梅雨期は発生が多く、蔓延しやすい時期であり、予防防除 に努める。
ブドウ	べと病	並	防除員報告では、平年比少(-) 降水量は、平年比多(+) 梅雨期は発病の好適条件であるため、昨年発生が多かった 園では保護殺菌剤を定期的に散布し、初期感染を防ぐ。
夏秋 トマト	うどんこ病	並	巡回調査では、平年並(±) 発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。
	ハモグリバエ類	並	巡回調査では、平年比やや多(+) 食害痕が小さいうちに薬剤散布を行う。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告では、平年並(±) 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	並	防除員報告では、平年並(±) 発生を認めたら直ちに薬剤散布を行う。

夏秋 キャベツ	細菌性病害 (黒腐病、黒斑 細菌病、軟腐 病)	並	防除員報告では、平年並(±)。 ほ場の排水を良くし、風水害の対策を講じる。 また、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布 を行うとともに、降雨後も薬剤散布を行う。
	コナガ	並	防除員報告は、平年比並(±)。フェロモントラップによ る5月第5半旬から6月第4半旬の誘殺数は、阿蘇市波 野で平年比並(±)、山都町鶴底で平年比少(－)。 ジアミド系殺虫剤を使用したほ場で発生が認められた場 合は、他系統の薬剤で防除する。
野菜類 全般	オオタバコガ	並	巡回調査は夏秋トマトで発生を認めず平年並(±)。 フェロモントラップによる5月第5半旬から6月第4半 旬の誘殺数は、阿蘇市一の宮で平年比多(+)、合志市栄 で平年並(±)、山都町鶴底で平年比やや少(－)、八代市 鏡で平年比少(－)であった。 早期発見、早期防除に努める。
<p>【野菜病害虫の共通対策事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

8月予報

病防第52号
令和2年(2020年)8月3日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第5号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第5号(8月予報)

- I 気象予報: 令和2年(2020年)7月30日福岡管区気象台発表(単位: %)
◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	30	50
	降水量	40	30	30
	日照時間	30	30	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
早植え 水稻	穂いもち	並	並	並(±)	並(±)	気温高(-) 降水少(-)	
	トビイロウンカ	多	並	多(+)	並~多(+)	気温高(+)	
普通期 水稻	葉いもち	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(-) 降水少(-)	
	トビイロウンカ	多	並	やや多(+)	並~多(+)	気温高(+)	
水稻 全般	コブノメイガ	多	やや多	多(+)	並~多(+)	気温高(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	炭疽病	やや多	多	やや多(+)	並(±)	気温高(+) 降水少(-)	
	カンザワハダニ	並	並	並(±)	並~少(-)	気温高(+) 降水少(+)	御船町 やや少(-)
	チャノキイロ アザミウマ	並	並	やや少(-)	やや多~ やや少(±)	気温高(+)	合志市 少(-) 御船町 並(±)
	チャノミドリ ヒメヨコバイ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~ やや少(±)	気温高(+)	御船町 やや多(+)
	チャノホソガ	並	並	並(±)	並 (±)	気温高(+)	合志市 並(±) 御船町 少(-) あさぎり町 やや少(-)
	チャノコカク モンハマキ	やや少	少	少(-)	並(±)	気温高(+)	合志市 多(+) 御船町 やや少(-) あさぎり町 並 (±)
カン キツ	黒点病	やや多	並	並(±)	やや多~並 (+)	降水少(-)	宇城市 並(±)
	かいよう病	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	降水少(-)	宇城市 やや多(+)
	ミカンハダニ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並 (+)	気温高(+) 降水少(+)	宇城市 やや少(-)
果樹 全般	果樹 カメムシ類	多	多	—	カンキツ 多~並 カン 多~並 (+)	気温高(+) 降水少(+)	予察灯・フェロモン トラップ 調査 合志市 多(+) 宇城市 多(+) 天草市 多(+)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
夏秋 トマト	灰色かび病	やや多	並	少(-)	多(+)	気温高(+) 降水少(-)	
	葉かび病	やや多	並	やや多(+)	やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(-)	
	すすかび病	並	やや多	少(-)	やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(-)	
イチゴ 育苗ほ	炭疽病	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水少(-)	
	ハダニ類	多	多	多(+)	やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(+)	
	アブラムシ類	並	やや多	多(+)	並(±)	気温高(+) 降水少(+)	
夏秋果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト やや多(+)	キュウリ 並 トマト やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(+)	
夏秋果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	-	ナス やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(+)	
	アザミウマ類	並	並	-	ナス やや多~並(+)	気温高(+) 降水少(+)	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	トマト 並 イチゴ 並 (±)	トマト、ナス、イチゴ、 露地キク 並(±)	気温高(+) 降水少(+)	フェロモントラップ調査 合志市栄、阿蘇市一の宮、山都町鶴底、阿蘇市波野 多(+) 八代市鏡 並(±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
早植え 水稻	斑点米カメムシ 類	並	巡回調査は平年並(±)。
	紋枯病	やや多	巡回調査は、平年比やや多(+) 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 (要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%)
普通期 水稻	紋枯病	並	巡回調査は、平年並(±)。 穂ばらみ期から出穂期にかけて薬剤防除を行う。 (要防除水準：穂ばらみ期の発病株率20%)
カンキツ	チャノキイロア ザミウマ	並	巡回調査は平年比やや多(+) 防除員報告は平年並～やや少(-) 黄色粘着トラップ調査は平年比やや少(-) 果実(100果)を薄めた展着液または洗剤で洗い、捕獲された虫数が10頭を超えた場合は防除を行う。
ナシ	うどんこ病	並	巡回調査は平年並(±)。 晴天・乾燥が続くと多発する。 早期落葉により樹勢が低下するので予防防除を徹底する。
	ハダニ類	並	巡回調査は平年並(±)。 防除員報告は平年並(±)。 定期的に園を見回り、雌成虫の寄生葉率20%以上、1葉当たり1～2頭に達したら防除する。
夏秋ナス (平坦地)	灰色かび病	並	防除員報告は、平年比多から並(+) 発生が見られたほ場では8月の防除を徹底する。
	すすかび病	並	防除員報告は、平年並(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
イチゴ 育苗ほ	うどんこ病	少	巡回調査は、平年比少(-)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
夏秋キュ ウリ (高冷地)	べと病	並	防除員報告は、平年比やや多(+) 適正な肥培管理を行う。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
夏秋 キャベツ	細菌性病害 (黒腐病、黒斑 細菌病、軟腐 病)	並	防除員報告は、平年並(±)。 発生後の防除は困難なため、激しい風雨が予想される場合には事前に薬剤散布を行う。
露地キク	黒斑病	やや多	防除員報告は、平年比やや多(+)。 罹病葉が伝染源となって感染が拡大するので、罹病葉は早めに除去し、適切に処分する。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			
	うどんこ病	並	防除員報告は、平年並(±)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。

9月予報

病防第61号

令和2年(2020年)9月2日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第6号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第6号(9月予報)

I 気象予報: 令和2年(2020年)8月27日福岡管区気象台発表(単位: %)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	10	80
	降水量	30	30	40
	日照時間	30	40	30

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
普通期 水稻	穂いもち	並	並	やや少(-)	やや多~ やや少(±)	降水多(+)	巡回調査 (葉いもち)
	トビイロウンカ	多	並	やや多(+)	多~並 (+)	気温高(+)	
大豆	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並 (+)	気温高(+) 降水多(-)	フェロモントラップ調査 合志市 やや少 八代市 やや少 阿蘇市 並 (-)
	カメムシ類	並	やや少	並(±)	並(±)	気温高(+)	予察灯調査 シリアカメシ 並 アオカメシ やや 少 (-)

作物	病害虫名	発生予想		予 想 の 根 拠			備 考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	炭疽病	並	並	並(±)	並(±)	降水多(+)	
	カンザワハダニ	やや多	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(-)	御船町 やや多(+)
	クワシロ カイガラムシ	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(-)	
カンキツ	黒点病	やや多	並	やや多(+)	やや多~並 (+)	降水多(+)	宇城市 平年比やや少 (-)
	かいよう病	やや多	やや多	多(+)	やや多~並 (+)	降水多(+)	宇城市 平年比やや多 (+)
	ミカンハダニ	やや多	並	やや多(+)	やや多~並 (+)	気温高(+) 降水多(-)	宇城市 平年比やや少 (-)
ナシ	黒星病	やや多	やや多	多(+)	並~やや少 (-)	気温高(-) 降水多(+)	
	ハダニ類	やや少	少	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水多(-)	
果樹全般	果樹 カメムシ類	やや多	やや少	—	カンキツ やや多~並 ナシ やや多~並 カキ やや多 (+)	気温高(+) 降水多(-)	予察灯・ フェロモントラップ 調 査 合志市 多(+) 宇城市 多(+) 天草市 多(+)
夏秋 トマト	葉かび病	やや多	並	やや多(+)	やや多 ~やや少 (±)	気温高(+) 降水多(+)	
	すすかび病	並	やや多	並 (±)	やや多 ~やや少 (±)	気温高(+) 降水多(+)	

	灰色かび病	並	少	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
イチゴ	炭疽病	やや少	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水多(+)	
	ハダニ類	並	やや少	並(±)	やや多~並(+)	気温高(+)	
	アブラムシ類	並	やや少	やや少(-)	やや多~並(+)	気温高(+)	
夏秋 キュウリ (高冷地)	べと病	やや多	やや多	-	やや多(+)	気温高(-) 降水多(+)	
夏秋 果菜類 (平坦地)	コナジラミ類	並	並	-	ナス やや多~並 メロン やや多~少(+)	気温高(+)	黄色粘着板 トラップ調査 熊本市 やや多 山鹿市 やや少 菊池市 少 (-)
	アザミウマ類	並	並	-	ナス やや多~並 メロン やや多~少(+)	気温高(+)	
	ハスモンヨトウ	並	並	イチゴ 並 トマト 並 (±)	ナス やや多~並 イチゴ 並 トマト 並 (+)	気温高(+)	フェロモントラップ 調 査 合志市 やや少 八代市 やや少 山都町 やや少 阿蘇市 一の宮 並 波野 並 (-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
普通期 水稲	紋枯病	やや多	巡回調査は平年並(±)。 出穂期以降高温が続くと上位葉鞘に病斑が進展するため、発生が多い場合は防除を行う。
	斑点米 カメムシ類	やや多	巡回調査(早植え水稲)では平年並(±)。 常発地帯では2回目の防除を穂揃い期の7～10日後に行う。
カンキツ	チャノキイロ アザミウマ	やや多	巡回調査は平年並(±)。 防除員報告は平年比やや多～やや少(-)。 黄色粘着トラップ調査は平年比多(+) 果実(100果)を薄めた展着液または洗剤で洗い、捕獲された虫数が10頭を超えた場合は防除を行う。
ナシ	うどんこ病	並	巡回調査は平年並(±)。 晴天・乾燥が続くと多発する。 早期落葉により樹勢が低下するので、予防防除を徹底する。
カキ	炭疽病	並	防除員報告は平年比やや少(-)。 発病枝は園外で処分し、病原菌の密度を下げる。 発病後の防除では効果が低いので、予防散布を徹底する
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査では、平年並(±)。 防除については、3防除のポイント等の「イチゴ定植前のうどんこ病、炭疽病およびハダニ類の防除対策」を参照する。
夏秋 果菜類 (高冷地)	コナジラミ類	やや少	巡回調査では、トマトで平年比少(-)。 現在発生しているほ場では、早期に防除する。
夏秋ナス (平坦地)	すすかび病	並	防除員報告は、平年並(±)。 葉裏にも十分かかるよう薬剤散布を行う。
夏秋 キュウリ (高冷地)	うどんこ病	やや少	防除員報告は平年比やや少(-)。 初期発生を認めたら直ちに薬剤防除を行う。
露地キク	白さび病	並	防除員報告は、平年並(±)。 罹病葉が伝染源となって感染が拡大するので、罹病葉は早めに除去し、適切に処分する。
<p>【野菜病害虫の共通対策事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期発見と初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第7号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第7号(10月予報)

I 気象予報: 令和2年(2020年)9月24日福岡管区气象台発表(単位:%)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
大豆	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並(+)	気温並(±) 降水並~少(+)	フェロモントラップ調査 合志市 並(±) 阿蘇市一の宮 並(±)
	カメムシ類	並	並	並(±)	並(±)	気温並(±) 降水並~少(+)	予察灯調査 合志市 ミミアカムシ 並(±) アオカムシ 少(-)
チャ	カンザワハダニ	やや多	並	やや多(+)	やや多~並(+)	気温並(±) 降水並~少(+)	茶研予察ほ 御船町 多(+)
カンキツ	ミカンハダニ	やや少	少	少(-)	並(±)	気温並(±) 降水並~少(+)	果樹研予察ほ 宇城市 やや少(-)
	緑かび病 (貯蔵病害)	並	並	-	-	気温並(±) 降水並~少(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
果樹全般	果樹 カメムシ類	少	少	—	カンキツ 並 ～やや少 ナシ やや多 ～やや少 カキ やや多 (+)	気温並(±) 降水並～少 (+)	予察灯・フェロ モントラップ調 査 合志市 少 宇城市 少 天草市 少 (-)
夏秋 トマト	葉かび病	並	少	並(±)	並(±)	降水並～少 (-)	
	灰色かび病	並	少	並(±)	並(±)	降水並～少 (-)	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや多	コナジラミ やや多 黄化葉巻病 並(+)	—	(コナジラミ) 気温並(±)	
イチゴ	炭疽病	やや少	並	並(±)	やや多～ やや少(±)	気温並(±) 降水並～少 (-)	
	ハダニ類	並	並	並(±)	並(±)	気温並(±)	
ウリ科野 菜	退緑黄化病	やや多	やや多	—	キュウリ 並 メロン やや多～少 (±)	(コナジラミ) 気温並(±)	粘着トラップ調査 やや少(-) 保毒虫率調査 やや多(+)
冬春果菜 類	コナジラミ類	やや多	やや多	トマト やや多(+)	ナス やや多 ～並 キュウリ 並 ～少 メロン やや 多～やや少 (±)	気温並(±)	
	アザミウマ類	並	並	—	ナス 並 キュウリ 並 メロン やや 多～少 (±)	気温並(±)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
野菜類 全般	ハスモンヨトウ	並	並	夏秋トマト、冬春トマト、イチゴ並(±)	夏秋ナス やや多 イチゴ やや多 ～並 夏秋キュウリ、夏秋トマト、夏秋キャベツ 露地キク 並 (±)	気温並(±) 降水並～少 (+)	フェロモントラップ調査 合志市：並 八代市：並 阿蘇市一の宮：並 山都町：少 阿蘇市波野：並 (±)
	オオタバコガ	並	並	夏秋トマト、冬春トマト並(±)	夏秋ナス やや多～並 夏秋トマト、イチゴ、露地キク 並 (±)	気温並(±) 降水並～少 (+)	フェロモントラップ調査 合志市：少 八代市：やや少 阿蘇市一の宮：多 山都町：少 (±)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
イチゴ	うどんこ病	並	巡回調査は平年並（±）。 防除については、3 防除のポイント等の「 イチゴ定植後の炭疽病およびうどんこ病の防除対策 」を参照する。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年並～少（－）。 初期発生を認めたら直ちに薬剤散布を行い、薬液が葉裏によく付着するよう丁寧に行う。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査はイチゴで平年並、冬春トマトで発生がみられず平年並（±）。 黄色水盤の誘殺数は、平年比やや少（－）。 ウイルスを媒介するので、防虫ネット等では場内への侵入を防ぐ。
露地キク	白さび病	並	防除員報告は平年並（±）。 罹病葉が伝染源となって感染が拡大するので、罹病葉は早めに除去し、適切に処分する。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

11月予報

病防第81号
令和2年(2020年)11月2日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)
令和2年度(2020年度)発生予報第8号を下記のとおり発表しましたので送付
します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第8号(11月予報)

I 気象予報:令和2年(2020年)10月22日福岡管区气象台発表(単位:%)
◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	20	30	50
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
チャ	カンザワハダニ	並	並	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水並~少(+)	茶研予察ほ 御船町 並 (±)
カン キツ	ミカンハダニ	並	少	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並~少(+)	果樹研予察ほ 宇城市 並 (±)
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや多	黄化葉巻病 やや少 (-) コナジラミ 並(±)	並~やや少 (-)	(コナジラミ) 気温高(+)	
	すすかび病	やや少	やや少	少(-)	並(±)	気温高(+) 降水並~少 (-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	気温高(+) 降水並～少(-)	
ウリ科野菜	退緑黄化病	やや多	並	-	キュウリ 並 メロン やや 多～並 (+)	(コナジラミ) 気温高(+)	メロン特別調査 並(±)
イチゴ	うどんこ病	並	やや多	並(±)	やや多～並 (+)	降水並～少 (-)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	並(±)	気温高(+)	
冬春果菜類	コナジラミ類	やや多	並	トマト 並 ナス 並 (±)	キュウリ や やや多 ナス 並～や やや少 トマト 並 メロン やや 多～並 (±)	気温高(+)	メロン特別調査 並(±)
	アザミウマ類	並	並	ナス 少 (-)	キュウリ 並 ナス やや少 メロン やや 多～並 (±)	気温高(+)	
野菜類全般	ハスモンヨトウ	やや多	やや多	イチゴ 並 トマト や やや多 ナス 多 (+)	イチゴ やや 多 トマト 並 ナス 並 (+)	気温高(+)	フェロモントラップ [®] 調査 阿蘇市一の宮 並 合志市 並 山都町 少 阿蘇市波野 少 八代市 並 (-)

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	緑かび病 (貯蔵病害)	並	防除員報告では、平年並(±)。 収穫時には、果実表面に傷が付かないよう注意し、収穫当日は選果をしない。また、入庫前は必ず予措を行う。
冬春 トマト	葉かび病	並	巡回調査は、平年並(±)。 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
冬春トマ ト・ナス	灰色かび病	並	巡回調査は、トマト、ナスで平年並(±)。 除去した病葉や果実は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
秋メロン	べと病	並	防除員報告は平年比やや多～並(+) 除去した病葉は、直ちにほ場の外へ持ち出す。
野菜類 全般	アブラムシ類	やや多	巡回調査は、イチゴで平年比やや多、トマト、ナスで平年並(+) 黄色水盤の誘殺数は、平年比多(+) 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。
<p>【野菜病害虫の共通対策事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

12月予報

病防第87号

令和2年(2020年)12月1日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第9号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第9号(12月予報)

I 気象予報: 令和2年(2020年)11月26日福岡管区气象台発表(単位: %)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	30	40	30
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	30	50

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	灰色かび病	並	やや少	並(±)	並(±)	降水並~少 (-)	
	葉かび病	やや少	並	並(±)	並~やや少 (-)	降水並~少 (-)	
	すすかび病	並	やや少	やや少(-)	並(±)	降水並~少 (-)	
冬春 ナス	灰色かび病	並	並	並(±)	並(±)	降水並~少 (-)	
	すすかび病	並	並	並(±)	並(±)	降水並~少 (-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春キュウリ	うどんこ病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	降水並～少(-)	
イチゴ	うどんこ病	やや少	並	やや少(-)	並(±)	降水並～少(-)	
	ハダニ類	やや多	多	やや多(+)	やや多～並(+)	気温並(±)	
レタス	菌核病	並	並	並(±)	並(±)	降水並～少(-)	
冬春果菜類	コナジラミ類	やや多	並	キュウリやや多 ナスやや多 トマト並 ナスやや少 (±)	キュウリやや多 ナスやや多～やや少 トマト並～少 イチゴ並 (±)	気温並(±)	野外コナジラミ類 黄色粘着板調査 八代市やや多(+)
	アザミウマ類	並	並	イチゴ並 ナス, キュウリ やや少 (-)	イチゴ, キュウリ並 ナス並～やや少 (-)	気温並(±)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
カンキツ	ミカンハダニ	並	防除員報告では平年並～やや少(-)。貯蔵するカンキツ類では、貯蔵中の被害を防ぐため、収穫期間近にはほ場で発生が確認された場合には、薬剤防除を行う。
	緑かび病 (貯蔵病害)	並	防除員報告では平年並～やや少(-)。収穫時には、果実表面に傷が付かないよう注意し、収穫当日は選果をしない。また、入庫前は必ず予措を行う。
冬春トマト	疫病	並	巡回調査では、発生を認めず平年並(±)。発病果、発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。

冬春ナス	うどんこ病	やや少	巡回調査は、発生を認めず平年比やや少（－）。 発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
レタス	細菌性病害 (斑点細菌病、軟腐病、腐敗病)	並	巡回調査では、斑点細菌病、軟腐病、腐敗病はいずれも発生を認めず（平年発病株率0.0%）、平年並であった（±）。 予防が基本となるため、被覆前に薬剤散布を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める（病害）。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

1月予報

病防第93号

令和2年(2020年)12月25日

各関係機関長様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第10号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第10号(1月予報)

I 気象予報:令和2年(2020年)12月24日福岡管区气象台発表(単位:%)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位:%)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	60	30	10
	降水量	20	40	40
	日照時間	50	30	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	灰色かび病	並	やや少	やや少(-)	やや多~少(-)	降水多~並(+)	
冬春 ナス	すすかび病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並(+)	降水多~並(+)	
イチゴ	うどんこ病	やや少	並	やや少(-)	やや多~並(+)	降水多~並(+)	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並(+)	気温低(-)	
	アザミウマ類	多	多	多(+)	並(±)	気温低(-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	並	並	ナス、イチゴ、 キュウリ 並 (±)	イチゴ やや多～並 ナス 並 (+)	降水多～並 (+)	
冬春 果菜類	コナジラミ類	並	並	ナス やや多 トマト、イチゴ、 キュウリ 並 (+)	ナス やや多～並 イチゴ、キュウリ 並 トマト 並～やや少 (±)	気温低(-)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	キュウリ 並 ナス やや少 (-)	キュウリ 並 ナス 並～やや少 (-)	気温低(-)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

III 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	葉かび病	やや少	巡回調査では、発生を認めず平年比やや少(-)。発病に注意し、発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
	すすかび病	やや少	巡回調査では、発生を認めず平年比やや少(-)。発病に注意し、発病葉は伝染源となるので早期に除去し、処分する。
冬春 ナス	うどんこ病	やや多	巡回調査では、一部多発ほ場が見られ平年比やや多(+)。多発後は、防除が困難なので初期防除を徹底する。
キュウリ	うどんこ病	並	巡回調査では平年並(±)。多発後は、防除が困難なので初期防除を徹底する。

作物	病虫害名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
キュウリ	べと病	やや少	巡回調査では平年比やや少(-)。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
レタス	菌核病	並	巡回調査では、平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	細菌性病害 (斑点細菌病、軟腐病、腐敗病)	並	巡回調査では、斑点細菌病、軟腐病、腐敗病いずれも発生を認めず平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	灰色かび病	並	巡回調査では、発生を認めず平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
【野菜病虫害の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。 ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

2月予報

病防第98号

令和3年(2021年)1月29日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第11号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第11号(2月予報)

I 気象予報: 令和3年(2021年)1月28日福岡管区気象台発表(単位: %)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	30	60
	降水量	40	40	20
	日照時間	20	40	40

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 トマト	疫病	並	並	並(±)	やや少~少 (-)	降水並~少 (-)	
	葉かび病	やや少	少	やや少(-)	並~やや少 (-)	降水並~少 (-)	
冬春 ナス	すすかび病	やや少	やや少	やや少(-)	並~やや少 (-)	降水並~少 (-)	
冬春 キュウリ	うどんこ病	やや多	やや多	多(+)	やや多(+)	降水並~少 (-)	
イチゴ	うどんこ病	やや少	並	やや少(-)	やや多~並 (+)	降水並~少 (-)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	ハダニ類	やや多	やや多	やや少(-)	やや多(+)	気温高(+)	
イチゴ	アザミウマ類	並	並	並(±)	やや多~並(+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病	やや少	やや少	ナス、イチゴ、キュウリ並 トマトやや少(-)	イチゴ、キュウリ並 トマトやや多~少 ナス並~少(-)	降水並~少(-)	
	コナジラミ類	やや多	やや多	ナス、キュウリやや多 トマト、イチゴ並(+)	ナスやや多~少 トマト、イチゴ、メロン、キュウリ並(-)	気温高(+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス、キュウリ並(±)	ナスやや多~やや少 キュウリやや少(-)	気温高(+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±)は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	すすかび病	並	巡回調査は、平年並(±)。 発病葉は伝染源となるので、早期に除去し処分する。
キュウリ	べと病	並	巡回調査は平年並(±)。 多発後は防除が困難なので、初期防除を徹底する。
メロン	べと病	並	防除員報告は平年並(±)。 肥料切れで多発するので、適正な肥培管理を行う。
	つる枯病	並	防除員報告は平年並(±)。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
スイカ	つる枯病	並	防除員報告は平年並～やや少(-)。 株元付近に発生が多いので、出来るだけ乾燥状態に保つ。
	菌核病	並	防除員報告は平年並～やや少(-)。 過度の灌水を避け、施設内の過湿防止に努める。 開花期から予防防除に努める。
レタス	菌核病	並	巡回調査では、平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	灰色かび病	並	巡回調査では、発生を認めず平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
	細菌性病害 (腐敗病、斑点細菌病、 軟腐病)	並	巡回調査では、腐敗病、斑点細菌病、軟腐病とも平年並(±)。 発病株は伝染源となるので、早期に除去し、処分する。
野菜全般	アブラムシ類	並	巡回調査は、イチゴ、キュウリ、レタスで平年並(±)。 発生を確認したら、直ちに薬剤防除を行う。

【野菜病害虫の共通対策事項】

- ・換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。
- ・多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。
- ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。

3月予報

病防第108号

令和3年(2021年)3月1日

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

病害虫発生予察情報について(送付)

令和2年度(2020年度)発生予報第12号を下記のとおり発表しましたので送付します。

令和2年度(2020年度)病害虫発生予報第12号(3月予報)

I 気象予報: 令和3年(2021年)2月25日福岡管区気象台発表(単位: %)

◎向こう1ヶ月の気象予報(単位: %)

予報対象地域	要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
九州北部全域 (含、山口県)	気温	10	20	70
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

II 【今後、注意すべき病害虫】

1 発生の概要

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
茶	カンザワハダニ	やや多	並	やや多(+)	-	気温高(+) 降水多~並 (-)	
カンキツ	かいよう病	やや多	並	やや多(+)	-	気温高(+) 降水多~並 (+)	
	ミカンハダニ	多	並	多(+)	-	気温高(+) 降水多~並 (-)	
冬春 トマト	灰色かび病	やや多	並	並(±)	やや多~ やや少(±)	降水多~並 (+)	
	葉かび病	やや少	少	やや少(-)	並~やや少 (-)	降水多~並 (+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
	すすかび病	やや少	並	やや少(-)	並~やや少(-)	降水多~並(+)	
冬春 トマト	黄化葉巻病	並	やや多	黄化葉巻病 並(±) コナジラミ 並(±)	黄化葉巻病 並~少(-) コナジラミ 並(±)	コナジラミ 気温高(+)	
冬春 ナス	すすかび病	並	並	並(±)	並~やや少(-)	降水多~並(+)	
キュウリ	うどんこ病	並	やや多	並(±)	並(±)	降水多~並(+)	
	べと病	やや多	やや多	やや多(+)	やや多(+)	降水多~並(+)	
ウリ科 野菜	キュウリ・メロン 退緑黄化病 スイカ退緑えそ病	やや多	やや多	退緑黄化病 多(+) コナジラミ 多(+)	キュウリ やや多 メロン 並 スイカ 並~やや少(±)	コナジラミ 気温高(+)	
イチゴ	うどんこ病	並	並	やや少(-)	やや多~少(-)	降水多~並(+)	
	ハダニ類	やや多	多	並(±)	多~やや多(+)	気温高(+)	
	アザミウマ類	やや多	やや多	やや多(+)	やや多~並(+)	気温高(+)	
冬春 果菜類	灰色かび病 (トマト除く)	やや多	やや多	ナス やや多 イチゴ 並 キュウリ 並 (+)	イチゴ やや多~並 キュウリ 並 ナス 並~少(-)	降水多~並(+)	

作物	病害虫名	発生予想		予想の根拠			備考
		平年比	前年比	巡回調査	防除員報告	気象要因	
冬春 果菜類	コナジラミ類	やや多	やや多	キュウリ 多 ナス やや多 トマト 並 イチゴ 並 (+)	スイカ 並 メロン 並 トマト 並 イチゴ 並 キュウリ 並 ナス 並～少 (±)	気温高 (+)	
	アザミウマ類 (イチゴ除く)	並	並	ナス 並 キュウリ やや少 (-)	ナス 並～やや少 キュウリ やや少 (-)	気温高 (+)	
	菌核病	並	並	キュウリ 並 (±)	スイカ 並～やや少 (-)	降水多～並 (+)	
	アブラムシ類	やや多	やや多	イチゴ やや多 トマト 並 ナス 並 キュウリ 並 (+)	イチゴ やや多 トマト 並 キュウリ 並 メロン 並 ナス 並～やや少 スイカ 並～やや少 (±)	気温高 (+)	

※予想の根拠末尾の括弧書きは、(+)は発生を助長する要因、(-)は発生を抑制する要因、(±) は影響が少ない要因であることを示す。

Ⅲ 【その他の病害虫】

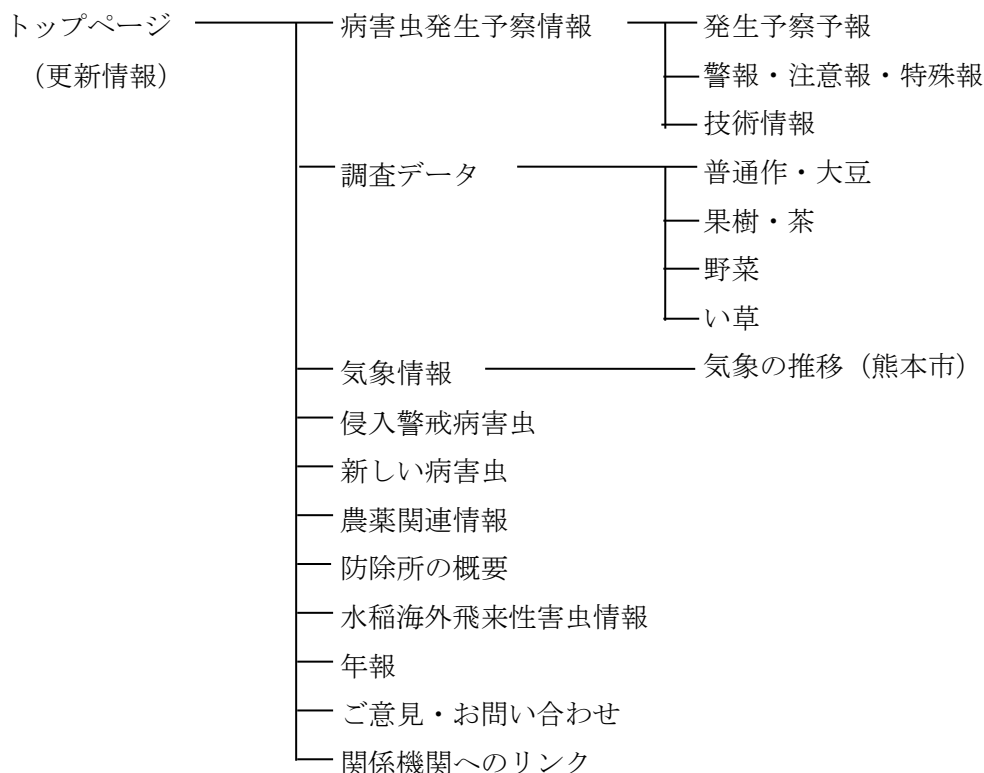
作物	病害虫名	発生予想 (平年比)	発生概況及び注意すべき事項等
冬春 トマト	疫病	並	巡回調査では、発生を認めず平年並（±）。 発病後は防除が困難なので、予防に重点をおく。 前年に発生が多かったほ場では、定期的に薬剤散布を行う。
スイカ	菌核病	並	防除員報告は、平年並～やや少（-）。 半促成栽培では3～4月の交配期頃から発生が多くなるので発生前から予防防除に努める。 発生ほ場では、菌核を残さないよう処分する。
ウリ科 野菜	つる枯病	並	防除員報告は、メロンで平年並、スイカで平年並～ やや少（-）。 株元周辺をできるだけ乾燥状態に保つ。 窒素質肥料の多用を避け、適正な肥培管理を行う。
【野菜病害虫の共通対策事項】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 換気や排水を良くし、過湿の防止に努める(病害)。 ・ 多発後は防除が困難になるので、早期に発見し初期防除に努める。 ・ 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。 			

(3) ホームページ掲載内容

ホームページアドレス： <http://www.jpnp.ne.jp/kumamoto/>

Eメールアドレス： byougaityuboujyo@pref.kumamoto.lg.jp

・掲載内容



調査データ掲載内容

掲載期間	掲載内容
4月～10月	セジロウカ・トビイロウカ・ヒメトビウカ・ツマグロヨコバイの誘殺状況（予察灯、ネットラップ）、コブノメカガ誘殺状況（フェロモントラップ）
4月～10月	チャハネアカメシ・ツヤアカメシ誘殺状況（予察灯、フェロモントラップ）、チャノコカクモンハマキ・チャハマキ・チャノホカガ誘殺状況（フェロモントラップ）、チャノキアサギミマ（黄色粘着板）
4月～10月	ハスモンヨトウ・コカガ・オオカバコカガの誘殺状況（フェロモントラップ）、アブラムシ類の誘殺状況（黄色水盤トラップ）
4月～10月	イグサシロムシカガの誘殺状況（予察灯）
4月～6月	イグサシロムシカガ越冬調査、イグサシロムシカガ発蛾最盛期予測
4月～5月	麦類赤かび病多発条件出現日予測
4月～10月	イネいもち病発生予測（BLASTAM）
6月～9月	クモヘリカメシ発生予測、ヒノキ球果口針鞘数調査、
7月～9月	チャノキアサギミマの発生ピーク予測、クワシロカガラムシふ化予測

3 植物検疫事業

(1) ジャガイモシストセンチュウ侵入警戒調査

平成23年4月に天草市五和町（通詞島）において本線虫が県内で初めて確認された。このため、県内産地への拡大を防止するため、対岸地域での発生の有無を調査した。

- 1) 調査日：令和2年6月2日
- 2) 調査地及びほ場数：天草市五和町二江（16ほ場）、天草市五和町鬼池（10ほ場）、天草市五和町御領（2ほ場）及び苓北町（2ほ場）計30ほ場
- 3) 調査方法：土壌検診（フェンウィック法）
- 4) 調査結果：通詞島対岸のほ場からシストセンチュウは確認されなかった。

(2) アリモドキゾウムシ侵入警戒調査

合成性フェロモンによる誘殺結果

市町村名	誘 殺 数							計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
大津町1	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町2	0	0	0	0	0	0	0	0
合志市	0	0	0	0	0	0	0	0
菊陽町	0	0	0	0	0	0	0	0
西原村	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) イモゾウムシ侵入警戒調査

- 1) 調査日：令和2年11月4～11日
- 2) 調査地：大津町、合志市、菊陽町、西原村、天草市（牛深町）
（アリモドキゾウムシ合成性フェロモン調査地点付近のサツマイモほ場）
- 3) 調査方法：収穫終了ほ場でのサツマイモ残渣の見取り調査
- 4) 調査結果

市町名	地点	発生の有無	状況
菊陽町	菊陽茶調査地点付近	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
大津町	大津フェロモントラップ調査地点付近	無	収穫前、蔓（地際部分）の調査
西原村	西原農協付近	無	収穫前、蔓（地際部分）の調査
西原村	小森（集荷所近く）	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
合志市	ヴィーヴル近く	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
天草市（久玉町）	県道26号沿い	無	収穫前、蔓（地際部分）の調査
天草市（久玉町）	県道26号沿い	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
天草市（深海町）	県道26号沿い	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
天草市（深海町）	県道26号沿い	無	掘り取り後、残さ（茎、イモ）調査
天草市（河浦町）	県道26号沿い	無	収穫前、蔓（地際部分）の調査

(4) スイカ果実汚斑細菌病侵入警戒調査

[定期調査]

- 1) 調査日：令和2年10月13日（益城町）
令和3年2月8日（山鹿市）
- 2) 調査地：益城町および山鹿市のスイカ育苗ほ場
- 3) 調査方法：育苗ほ場における苗の発病状況の見取り調査

4) 調査結果

育苗床におけるスイカ果実汚斑細菌病の発生状況

市町村名	調査ほ場数	生育状況	発生の有無
益城町	5	2～3葉期（台木及び穂木）	無
山鹿市	5	1～5葉期（台木及び穂木）	無

(5) ミバエ類等特殊病害虫侵入警戒調査

①対象病害虫名：ミカンコミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)								合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
合志市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(16増設)	-	-	-	4	0	1	0	0	0	5
あさぎり町		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計19地点		0	0	1	4	1	1	0	0	7

②対象病害虫名：ウリミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)								合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
合志市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさぎり町		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計19地点		0	0	0	0	0	0	0	0	0

③対象病害虫名：チチュウカイミバエ

市町村名	No.	誘殺数(頭)								合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
合志市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市		0	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
天草市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
あさぎり町		0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計19地点		0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3 その他

- 1 病害虫診断
- 2 気象概要

1 病害虫診断

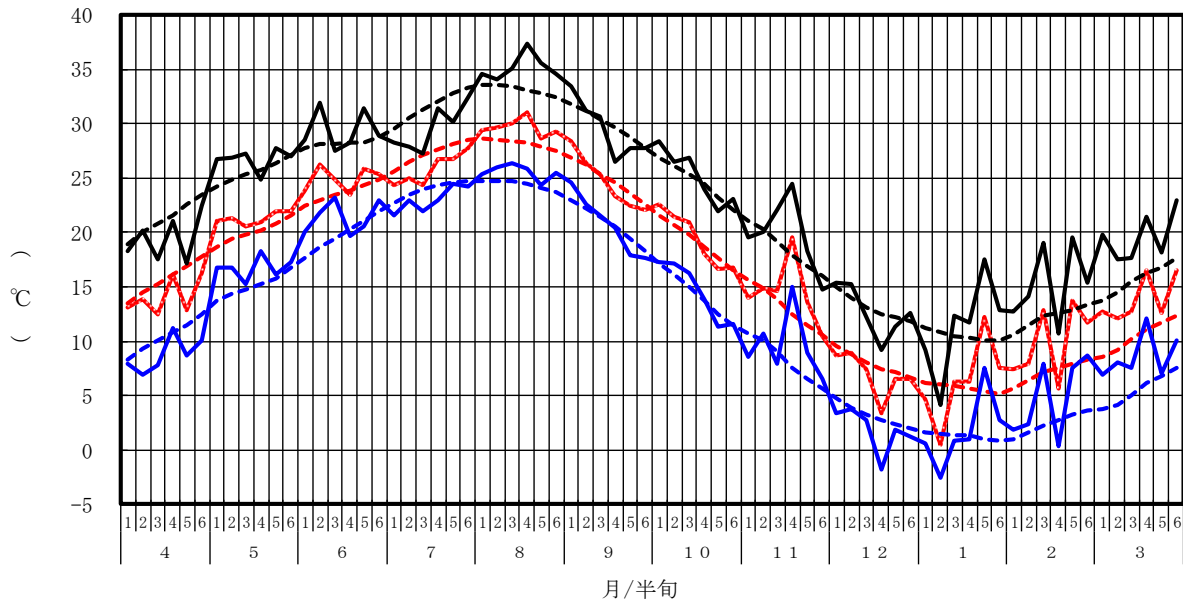
No.	受付 月日	作物名	症状	診断方法等	診断結果
1	4/2	キュウリ	葉の硬質化、斑、ギザ葉、成長点付近に奇形葉、実の肥大不良	ELISA	不明
2	4/14	スイカ	子葉に褐斑、縁に灰褐色の病斑	検鏡、菌分離、イムノストリップ	褐斑細菌病
3	4/16	スイカ	芯止まり、成長点付近の葉の黄化や縮葉	接種	ウイルス病ではない
4	4/20	トマト	下葉～中位葉の黄化	RT-PCR	ToCVIによる黄化病
5	5/13	ほおずき	上位葉中心に、えそ、黄化、よじれ	検鏡、接種、ELISA、イムノストリップ	CMV、TMV、ToMV、TMGMVではない
6	6/4	トマト	成長点と果実のえそ症状	ELISA	ToMVによるモザイク病
7	6/4	トマト	成長点と果実のえそ症状	ELISA	ToMVによるモザイク病
8	5/29	コネギ	かすり状の斑点、楕円形の病斑	検鏡	アザミクマ類による食害、ボトリチス属菌による葉枯病
9	5/27	ゴボウ	ゴボウの先端や切り口から腐敗	検鏡	細菌
10	6/1	ゴボウ	ゴボウの先端や切り口から腐敗	検鏡	細菌
11	6/11	ニガウリ	晴天時の萎れ、雨天で回復	イムノストリップ	青枯病
12	6/11	メロン	葉の黄化	RT-PCR	CCYVによる黄化病
13	5/12	ナス	日中萎れる	イムノストリップ	青枯病ではない
14	6/12	小麦	子実の中が黒い粉状化	検鏡	コムギなまぐさ黒穂病
15	6/12	水稲	ばか苗症状	菌分離	ばか苗病
16	6/12	水稲	ばか苗症状	菌分離	ばか苗病
17	6/12	ニンニク	水浸状に腐敗、とろけ	検鏡、菌分離	不明
18	6/18	イチゴ	株の萎れ、ランナー先焼け、クラウンの褐色	検鏡、菌分離、ナス接種	不明
19	6/18	キクイモ	葉の食害	検鏡	クチブトゾウムシの一種
20	6/22	水稲	育苗中に苗の枯死	菌分離	苗立枯病
21	6/24	レンコン	生育不良、葉の褐変症状	検鏡、菌分離	腐敗病
22	7/9	水稲	育苗中に苗の枯死	検鏡	枯死部は苗立枯病
23	7/15	ニガウリ	葉の斑点症状、果実の黒褐変化	検鏡	斑点病
24	8/12	トマト	下～中位葉の黄化、症状が悪化すると枯死	検鏡、接種	トマトフザリウム株腐病
25	8/24	ブドウ	葉に褐斑、黄変、主幹基部に近い方から発生、落葉	検鏡	不明
26	9/9	水稲	白穂が散見	検鏡、菌分離	不明
27	8/27	セルリー	育苗床中央部で苗の萎れ、腐敗、枯れ	検鏡、分離	F.oxysporumによる萎黄病
28	9/15	キュウリ	葉のモザイク症状、株のしおれ	RT-PCR、ELISA	MYSVによる黄化えそ病、CCYVによる退緑黄化病
29	7/10	グリア	葉にかすれ状の食害痕	検鏡	クリパネアザミウマによる食害
30	8/27	トマト	生長点付近の矮化、黄化症状	PCR、ELISA	TYLCVによる黄化葉巻病
31	9/24	カンショ	芋の割れ、黒ずみ	検鏡、菌分離	不明
32	9/24	キク	茎頂部から茎葉が萎れ、後々に株全体が枯死	イムノストリップ	青枯病
33	10/1	大豆	葉焼病、立枯症状、地際部に赤い粒	検鏡	ダイズ黒根腐病
34	9/29	カンショ	成首部分の茎が黒変	菌分離	サツマイモ基腐病
35	10/23	ニガウリ	生長点付近の萎縮症状、中位葉のモザイク症状	ELISA、接種	ウイルス病ではない
36	10/23	ミニトマト	生長点付近の黄化、萎縮	RCR	TYLCVによる黄化葉巻病
37	11/4	ショウガ	葉の黄化、塊茎の腐敗	菌分離	立枯病
38	11/4	カンショ	塊根に黒斑、腐敗	LAMPキット	サツマイモ基腐病
39	11/5	カンショ	葉の黄化、しおれ、茎の割れ	LAMPキット	サツマイモ基腐病
40	11/5	カンショ	葉の黄化、一部の枯れ	LAMPキット	サツマイモ基腐病
41	11/5	カンショ	塊根に黒斑、腐敗	菌分離、LAMPキット	黒斑病
42	11/5	カンショ	葉の黄化、しおれ、茎の黒変	検鏡、菌分離、LAMPキット	乾腐病
43	10/22	トマト	中位葉に斑点、葉の裏の白いカビ、進行すると枯死	検鏡	不明
44	11/10	キュウリ	葉に黄化えそ病のような症状	ELISA	MYSVによる黄化えそ病
45	11/25	カンショ	地上部の枯死、成首の変色	LAMPキット	サツマイモ基腐病ではない
46	11/27	ナス	下葉の萎れ、葉脈間の枯れ	イムノストリップ	青枯病
47	12/1	カンショ	貯蔵芋洗浄時の黒色円形の病斑	LAMPキット	サツマイモ基腐病
48	12/1	カンショ	貯蔵芋洗浄時の黒色円形の病斑	LAMPキット	サツマイモ基腐病
49	12/2	ショウガ	植付け後、親ショウガが腐敗、褐色に軟化	イムノストリップ	青枯病ではない
50	12/3	ミニトマト	地際部から数十センチ上まで茎の褐変、萎れ	イムノストリップ	青枯病
51	12/4	タマネギ	葉が歪に曲がり、腐れ	検鏡	べと病
52	2/2	大麦	葉の白化、葉の萎れ	検鏡、分離	病気ではない
53	12/8	スイカ	葉の奇形、萎縮、白斑	RT-PCR、ELISA	WMV2によるモザイク病
54	12/16	ミニトマト	生長点の柳葉状態の萎縮(脇芽も萎縮)	ELISA、接種	ウイルス病ではない
55	1/28	カンショ	黒あざの症状(内部に進展なし)、食害痕のような黒斑(内部に進展あり)	検鏡	表面の黒あざ症状:黒あざ病の可能性 食害痕のような黒斑:立枯病の可能性
56	3/5	ゴボウ	洗浄時にくびれ、黒斑症状	検鏡、菌分離、ベルマン法	不明
57	3/5	ゴボウ	洗浄時にくびれ	検鏡、菌分離、ベルマン法	不明
58	3/9	ナス	苗株元茎部変色、木化、割れ、白色粉状物の付着症状	検鏡、菌分離	不明
59	3/10	スイカ	小蔓4本仕立ての1本のみ葉の奇形	ELISA	ウイルス病ではない
60	3/12	大麦	葉の部分的な黄化、カスリ症状	ELISA	縞萎縮病

2 気象概要

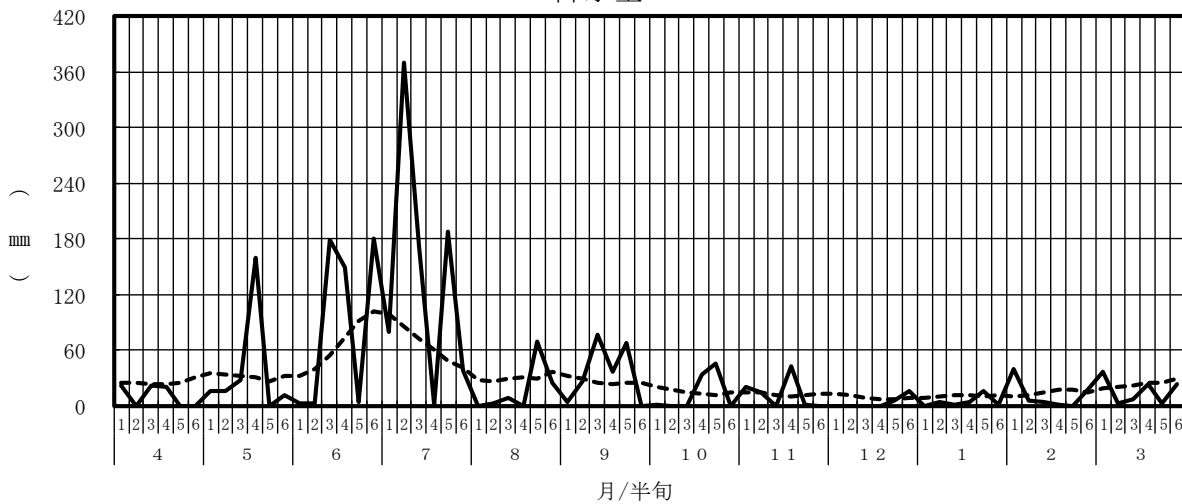
熊本市の気温、降水量、日照時間の推移

(実線：本年、点線：平年値)

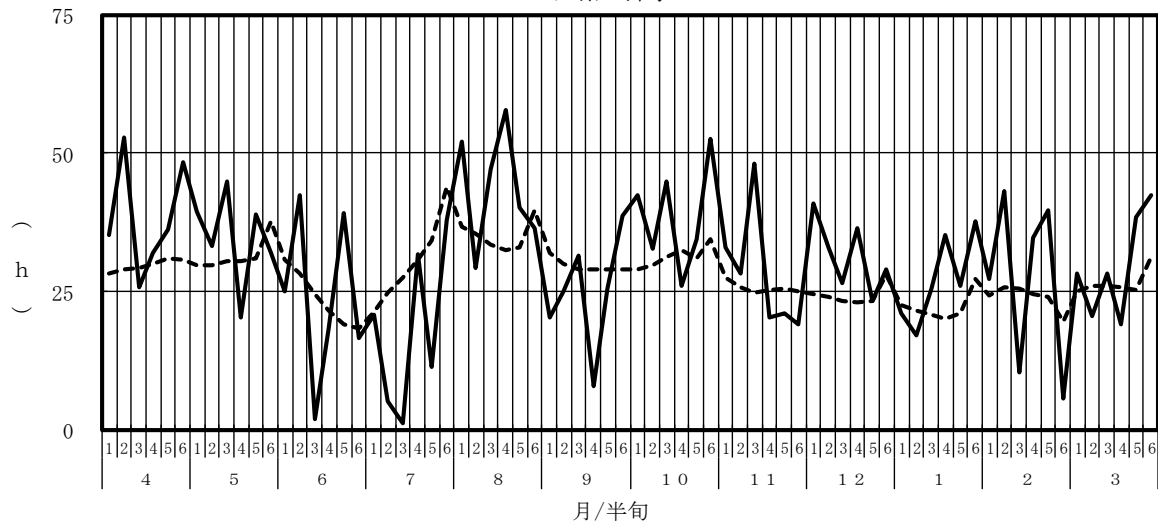
気温 (最高、平均、最低)



降水量



日照時間



病虫害発生予察情報サービス

病虫害防除に役立つ情報を提供しています。

ホームページ <http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/>

熊本県病虫害防除所

(農業研究センター 生産環境研究所 予察指導室)

〒861-1113 熊本県合志市栄3801

TEL : 096 (248) 6490~91

FAX : 096 (248) 6493

発行者：熊本県

所属：病虫害防除所

発行年度：令和3年度

(2021年度)